

北名古屋市
男女共同参画意識調査報告書

平成 30 年3月

北名古屋市

目次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	2
	(2) 調査の実施概要	2
	(3) 報告書の見方	3
2	市民意識調査結果	5
	(1) 回答者の属性	6
	(2) 家庭生活等について	10
	(3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	16
	(4) 女性の社会参画について	23
	(5) 少子化について	26
	(6) 配偶者などからの暴力（DV）やセクハラについて	28
	(7) 男女共同参画社会について	35
	(8) 北名古屋市の男女共同参画の取組について	42
3	中学生調査結果	47
	(1) 回答者の属性	48
	(2) 家庭や学校でのあなたの生活について	50
	(3) 将来の進路について	63
	(4) 男女交際について	72
	(5) 男女共同参画について	75
4	大学生調査結果	81
	(1) 回答者の属性	82
	(2) 家庭や地域でのあなたの生活について	84
	(3) 男女の家庭や職業などのあり方について	89
	(4) 職業生活について	95
	(5) 交際相手からの暴力（デートDV）について	99
	(6) 男女共同参画社会について	105
5	事業所調査結果	115
	(1) 回答者の属性	116
	(2) 従業員の就労状態について	118
	(3) 女性の雇用管理の状況等について	119
	(4) 「仕事」と「育児や介護」の両立支援について	122
	(5) ワーク・ライフ・バランスについて	125
	(6) ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）を防止する取組について	129
	(7) 男女共同参画を推進する上で市に期待することについて	130

6	国・愛知県との比較／経年比較.....	131
	（1）国・愛知県との比較.....	132
	（2）経年比較.....	141
7	自由回答.....	211
	（1）市民調査.....	212
	（2）中学生調査.....	222
	（3）大学生調査.....	225
	（4）事業所調査.....	226
8	考察.....	229

1 調査の概要

(1) 調査の目的

北名古屋市では、男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮し、一人ひとりが自己実現できる“認めあい助けあうまち北名古屋～男女いきいき輝く健康快適都市～”を目指して、「北名古屋市男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな取組を実施しています。

このたび、平成 30 年度を初年度とする第 2 次北名古屋市男女共同参画プランの策定基礎資料とするとともに、これまでの取組の成果を検証するため、アンケート方式による男女共同参画意識調査を実施しました。

(2) 調査の実施概要

1 調査期間

平成 28 年 11 月 1 日から 11 月 30 日まで

2 調査対象

市民調査 : 18 歳以上の市民 1,500 名 (無作為抽出)
中学生調査 : 市内中学 2 年生 367 名
大学生調査 : 名古屋芸術大学学生 200 名
事業所調査 : 市内事業所 500 社

3 調査手続き

市民調査・事業所調査 : 郵送により調査票を配布し、本人に記入を求めた。
大学生調査・中学生調査 : 学校を通じて調査票を配布し、本人に記入を求めた。

4 回収結果

	市民調査	中学生調査	大学生調査	事業所調査
配布数	1500	367	200	500
回収数	603	365	100	211
回収率	40.2%	99.5%	50.0%	42.2%

(3) 報告書の見方

●集計について

本報告書では、設問ごとに全体の集計結果とクロス集計結果を記載しています。なお、クロス集計結果では、性別等の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数と全体の回答者総数は合致しません。

●「N」について

グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

●「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても、合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるもの等）は、「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

2 市民意識調査結果

(1) 回答者の属性

問A 性別 (単数回答)

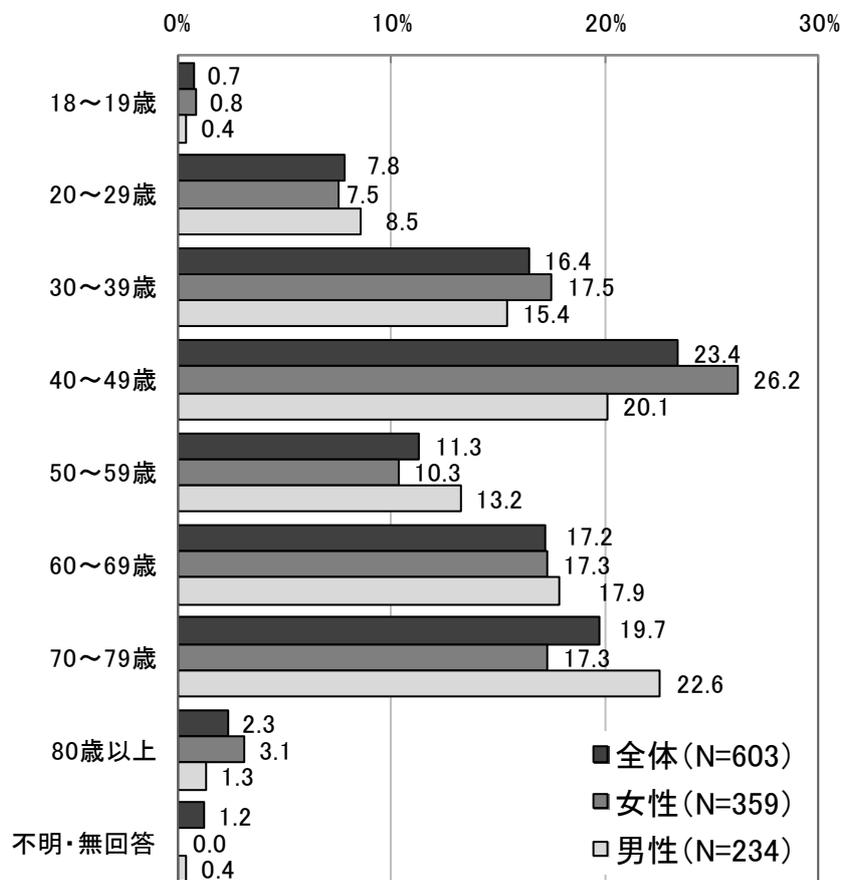
回答者の性別は、「女性」が59.5%、「男性」が38.8%となっています。



問B 年齢 (単数回答)

回答者の年齢は、「40～49歳」が23.4%と最も高く、次いで「70～79歳」が19.7%、「60～69歳」が17.2%となっています。

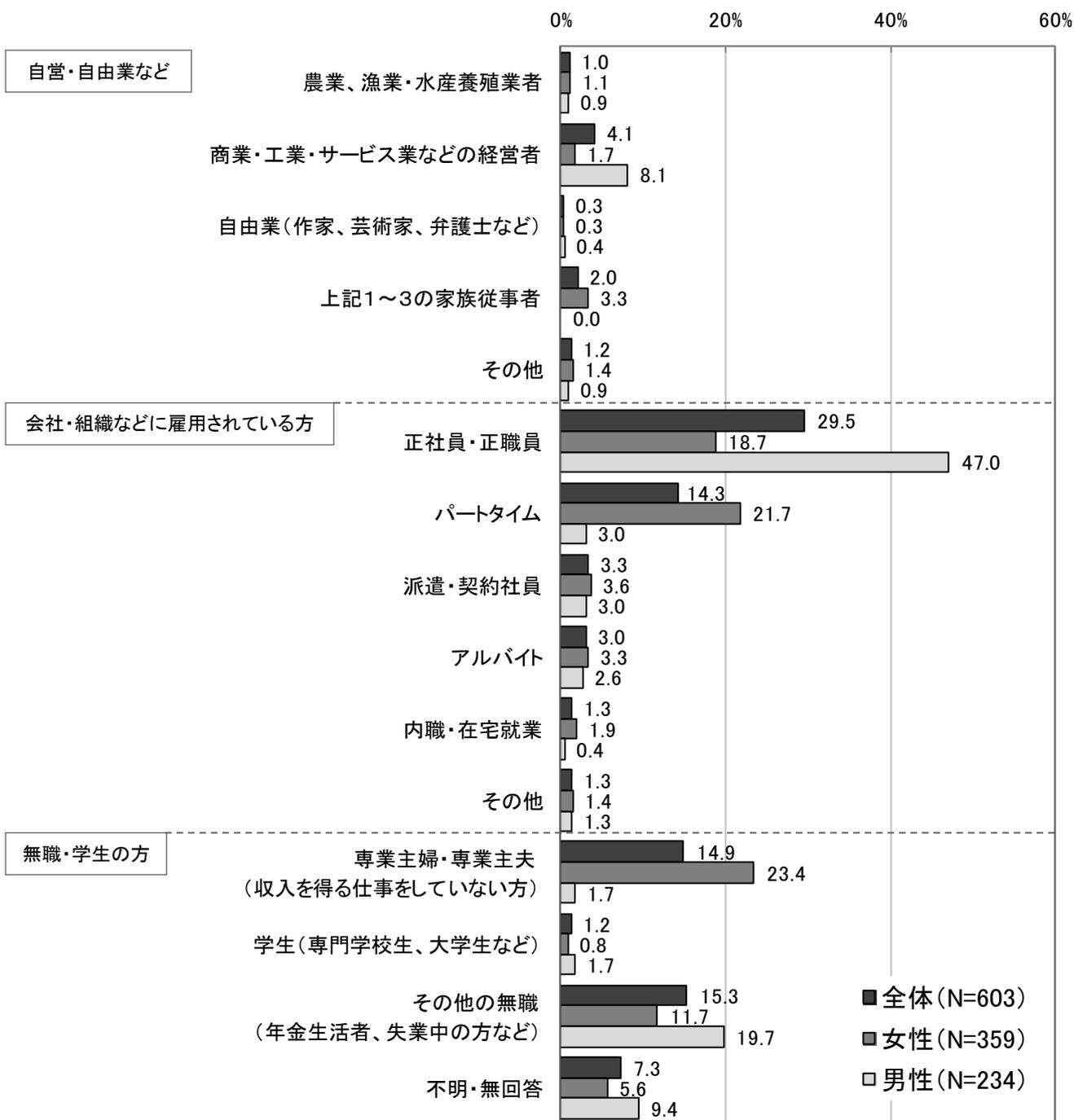
性別で見ると、女性では、「40～49歳」が26.2%と最も高く、次いで「30～39歳」が17.5%、「60～69歳」「70～79歳」が17.3%となっています。男性では、「70～79歳」が22.6%と最も高く、次いで「40～49歳」が20.1%、「60～69歳」が17.9%となっています。



問C 職業（単数回答）

回答者の職業は、「正社員・正職員」が29.5%と最も高く、次いで「その他の無職（年金生活者、失業中の方など）」が15.3%、「専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）」が14.9%となっています。

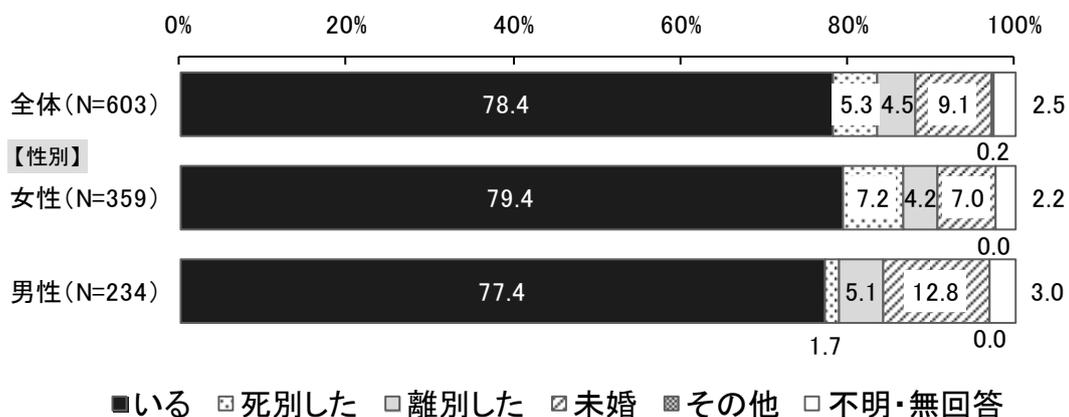
性別で見ると、女性では「専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）」23.4%が最も高く、次いで「パートタイム」が21.7%となっています。男性では「正社員・正職員」が47.0%と最も高く、次いで「その他の無職（年金生活者、失業中の方など）」が19.7%となっています。



問D 配偶者（夫または妻、事実婚も含む）（単数回答）

回答者の配偶者の有無は、「いる」が78.4%と最も高く、次いで「未婚」が9.1%、「死別した」が5.3%となっています。

性別で見ると、女性では「いる」が79.4%と最も高く、次いで「死別した」が7.2%となっています。男性では「いる」が77.4%と最も高く、次いで「未婚」が12.8%となっています。

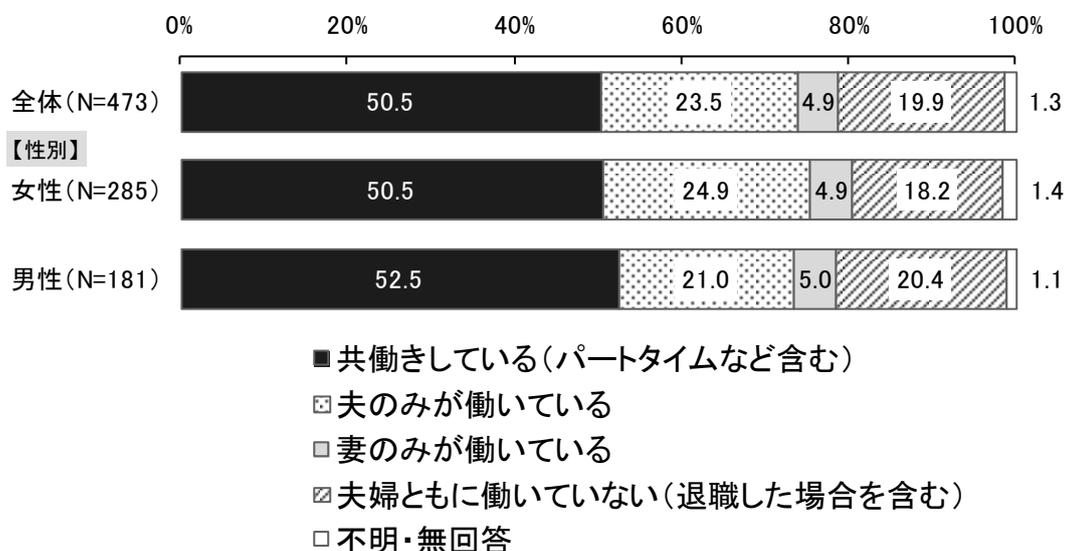


【問Dで「配偶者（夫または妻、事実婚も含む）がいる」と回答した方のみ】

問D-1 ご家庭の就業状況（単数回答）

回答者の家族の就業状況は、「共働きしている（パートタイムなど含む）」が50.5%と最も高く、次いで「夫のみが働いている」が23.5%、「夫婦ともに働いていない（退職した場合も含む）」が19.9%となっています。

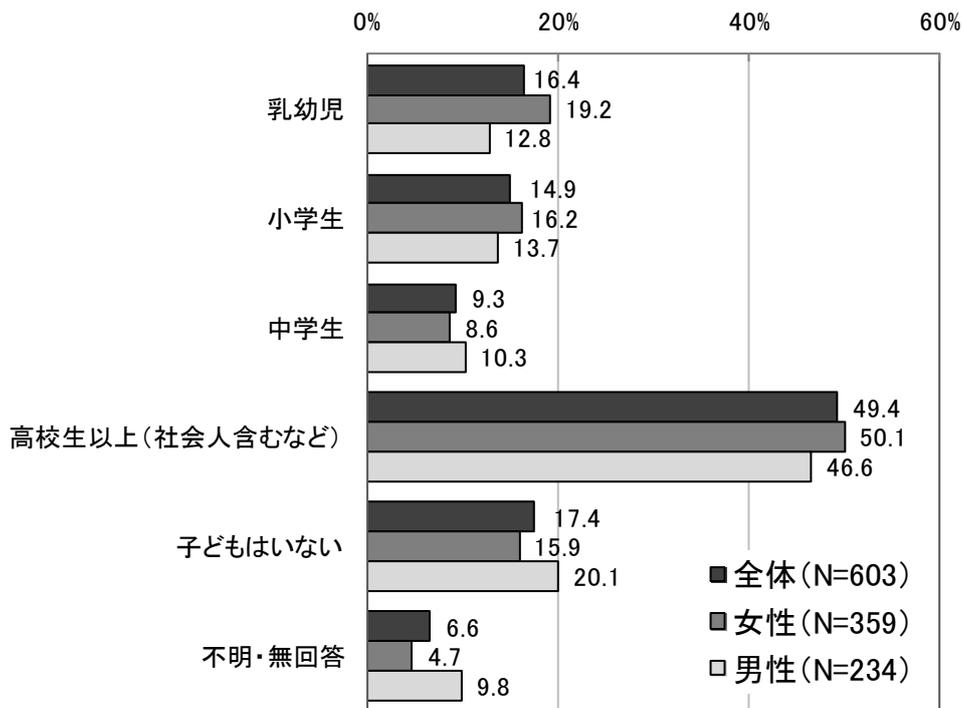
性別で見ると、男女ともに「共働きしている（パートタイムなど含む）」が5割を超え最も高く、次いで「夫のみが働いている」が2割を超えています。



問E あなたには、お子さん（同居していないお子さんを含む）はいますか。（複数回答）

回答者の子どもの有無は、「高校生以上（社会人含むなど）」が49.4%と最も高く、次いで「子どもはいない」が17.4%、「乳幼児」が16.4%となっています。

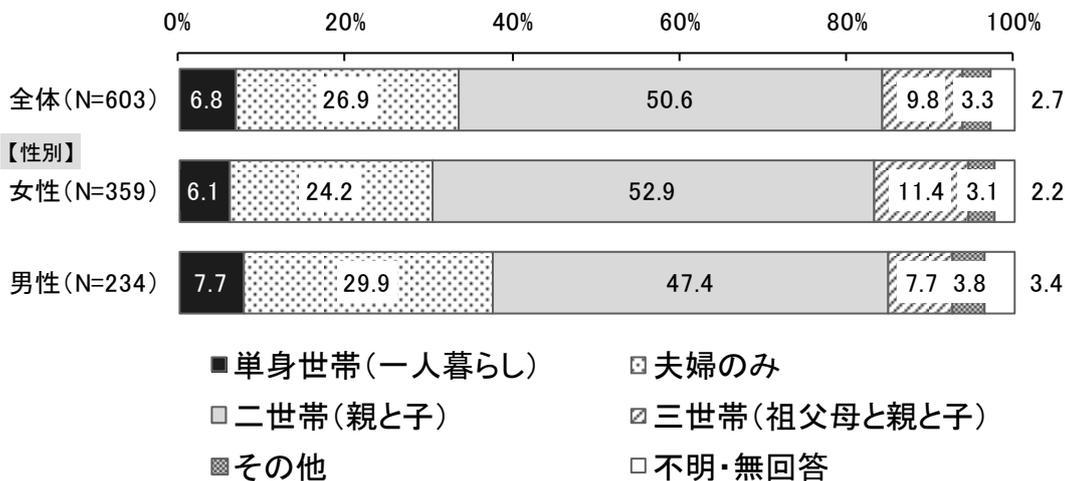
性別で見ると、女性では「高校生以上（社会人含むなど）」が50.1%と最も高く、次いで「乳幼児」が19.2%となっています。男性では「高校生以上（社会人含むなど）」が46.6%と最も高く、次いで「子どもはいない」が20.1%となっています。



問F 家族構成（単数回答）

回答者の家族構成は、「二世帯（親と子）」が50.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が26.9%、「三世帯（祖父母と親と子）」が9.8%となっています。

性別で見ると、男女ともに「二世帯（親と子）」が約5割と最も高く、次いで「夫婦のみ」が2割を超えています。



(2) 家庭生活等について

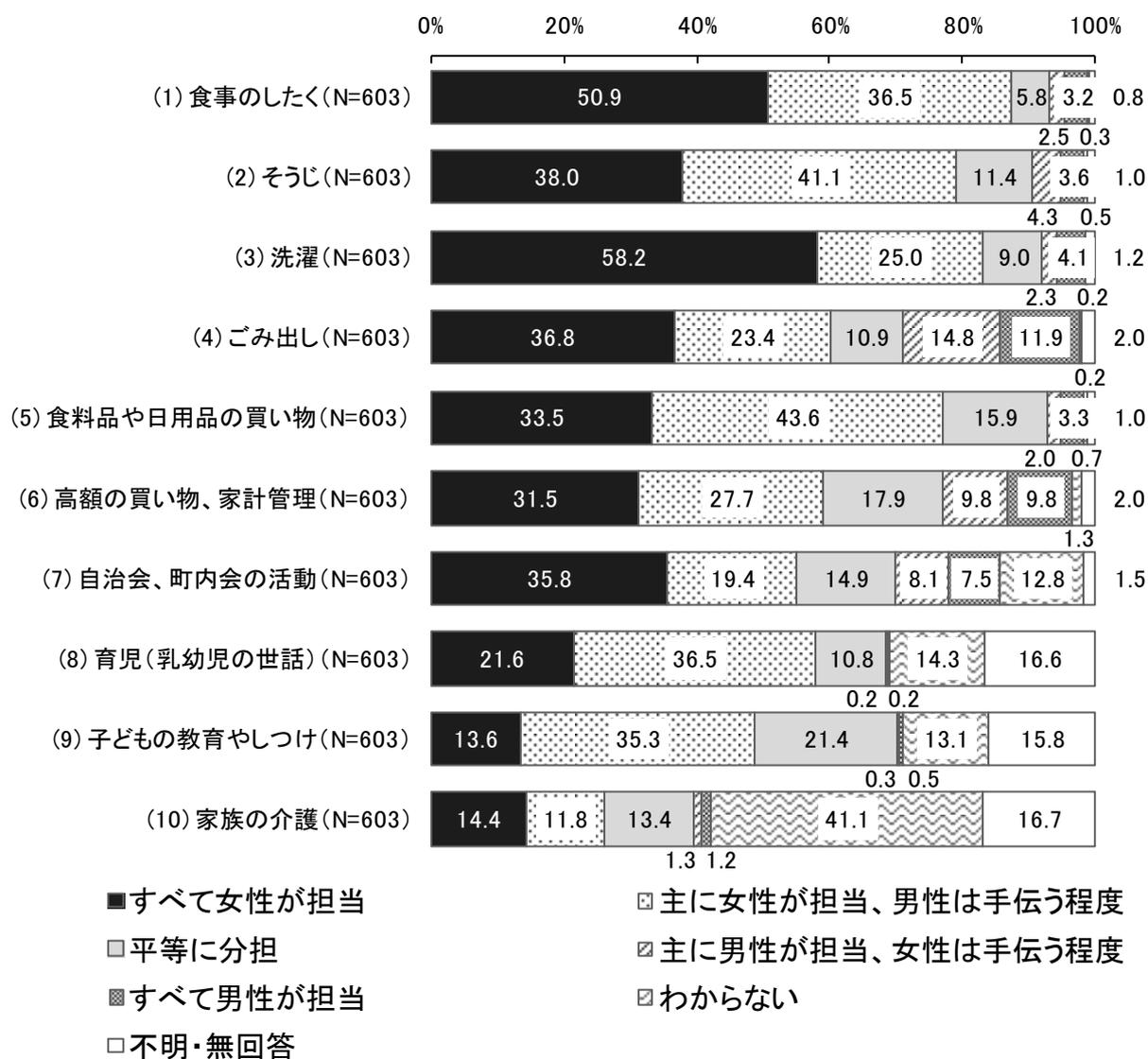
問1 家庭内の役割分担について、あなたの家庭では、次の項目でどのように分担していますか。
(単数回答)

問1の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『女性が担当』…「すべて女性が担当」と「主に女性が担当、男性は手伝う程度」を合算

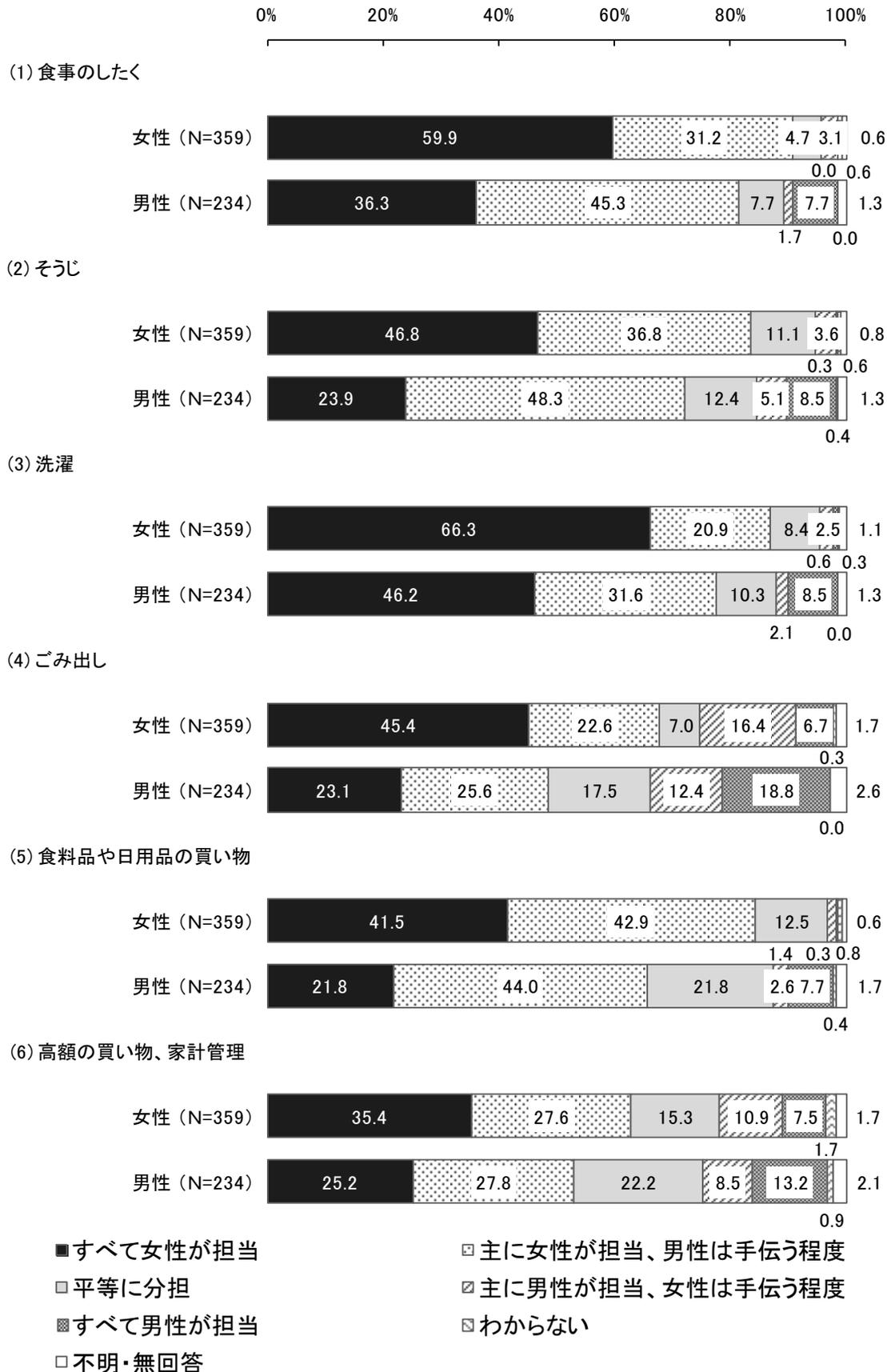
『男性が担当』…「すべて男性が担当」と「主に男性が担当、女性は手伝う程度」を合算

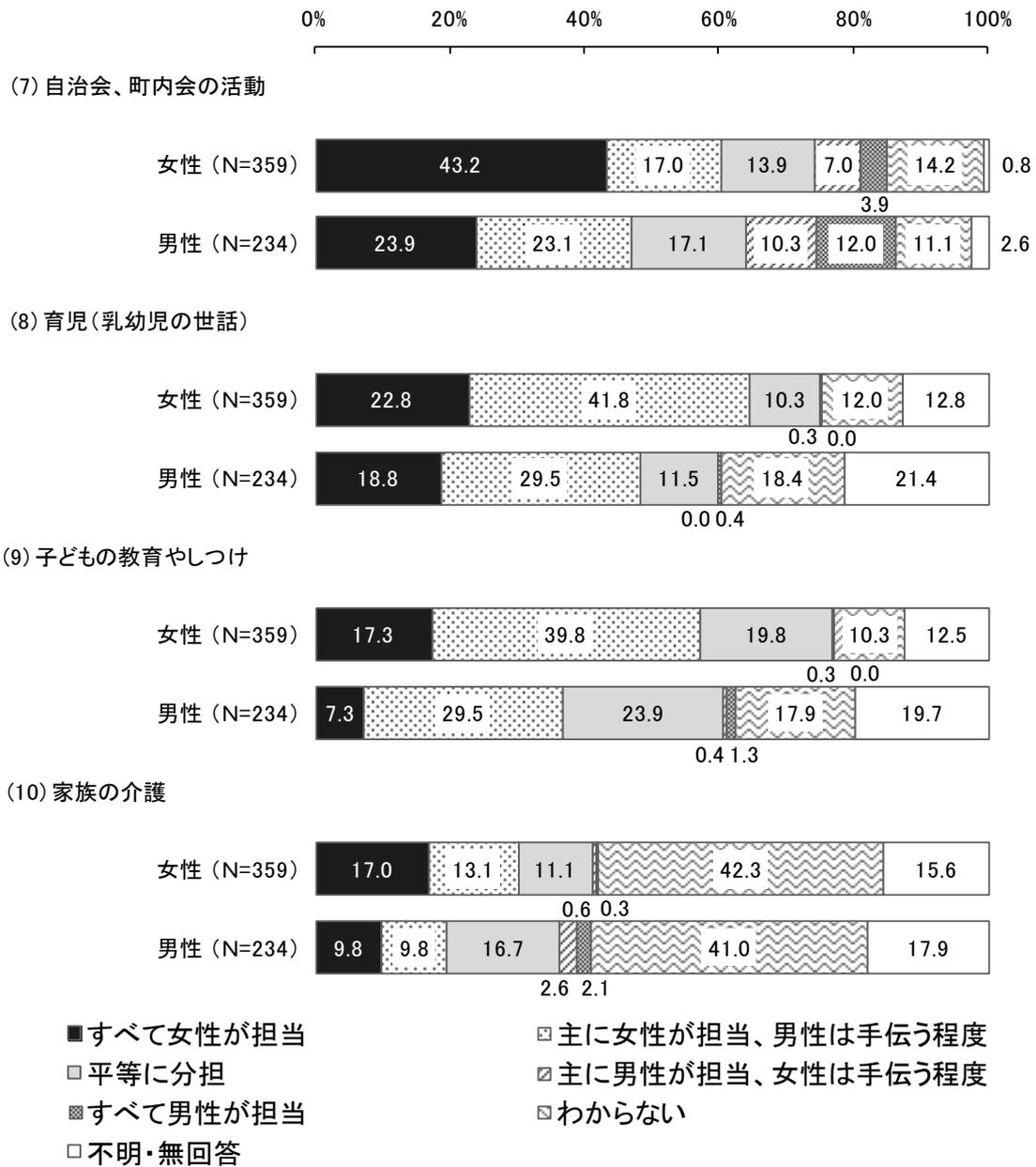
すべての項目で『女性が担当』の割合が『男性が担当』より高く、「(1) 食事のしたく」「(2) そうじ」「(3) 洗濯」では8割を超えています。『男性が担当』の割合が比較的高い項目は、「(4) ごみ出し」「(6) 高額の買い物、家計管理」となっています。



男女別比較

性別で見ると、すべての項目において、女性は男性に比べて『女性が担当』の割合が高くなっています。一方で、すべての項目において、男性は女性に比べて「平等に分担」『男性が担当』の割合が高くなっています。

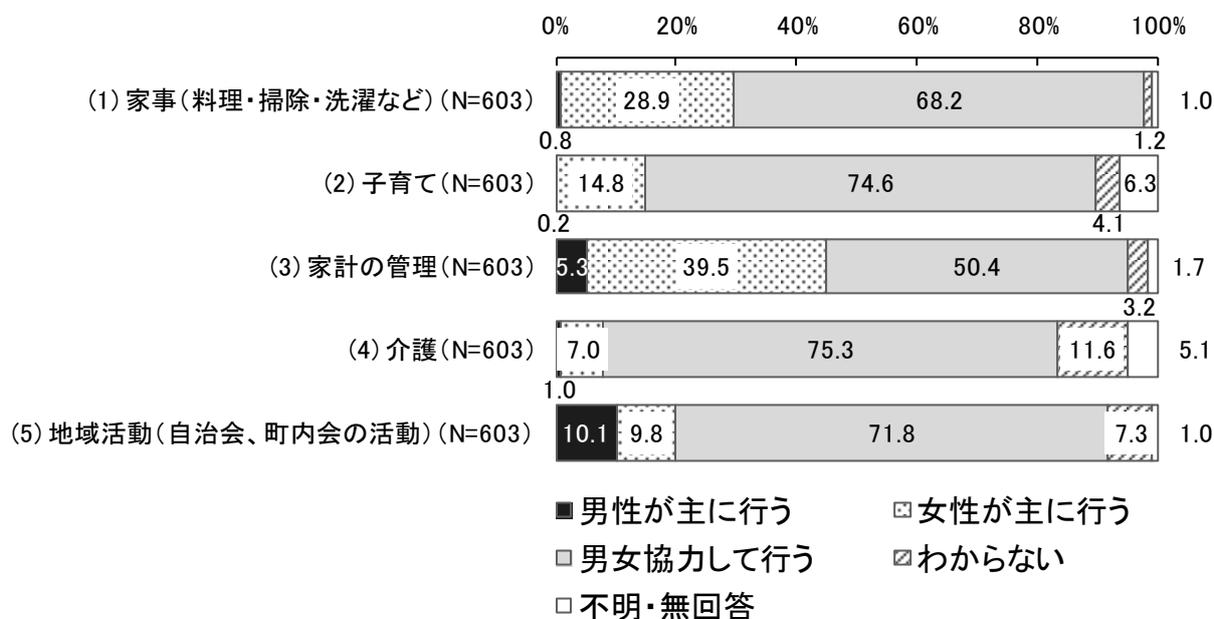




**問2 あなたは、家庭生活上の項目についてどのようにするのが一番よいと思いますか。
(単数回答)**

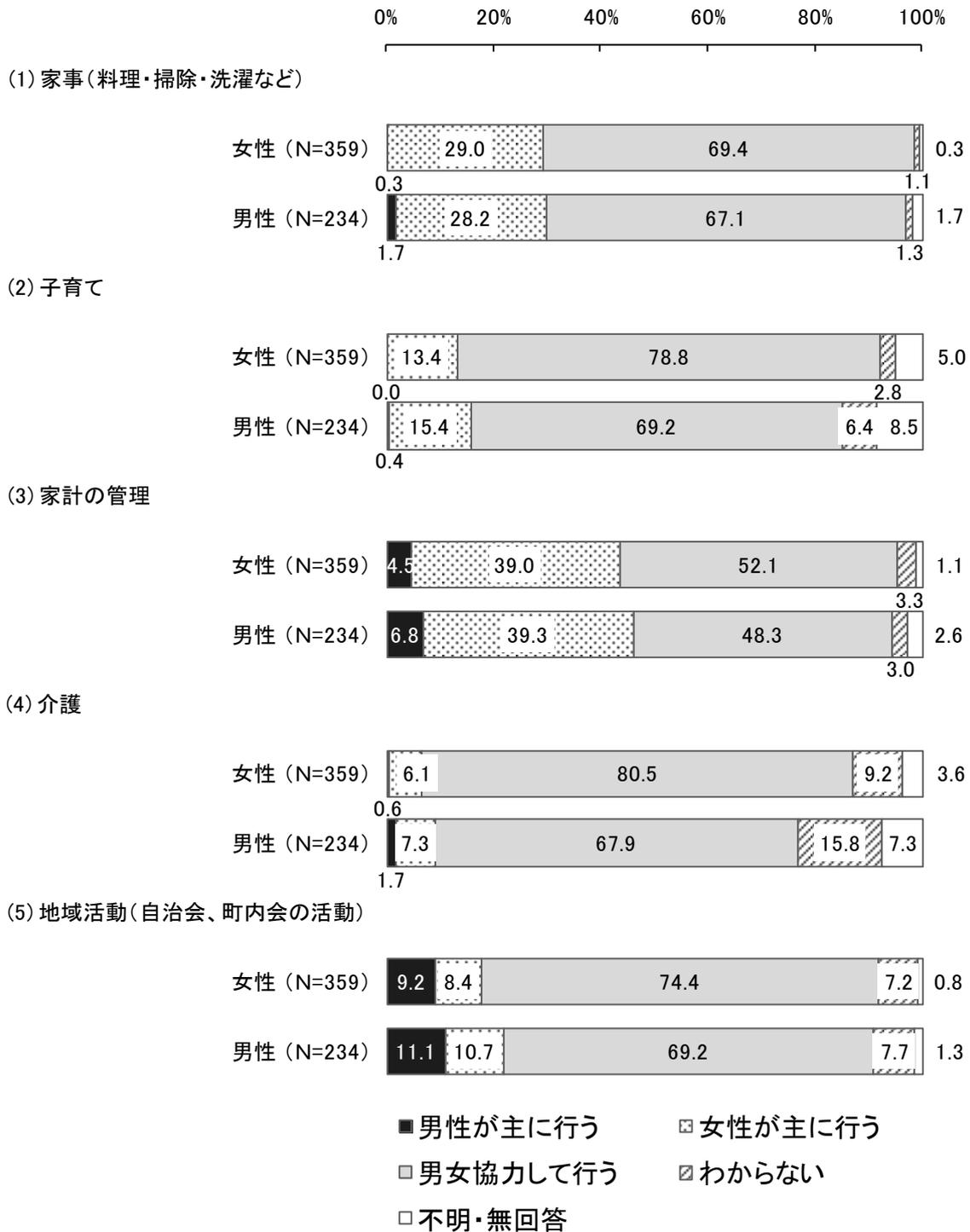
すべての項目で「男女協力して行う」の割合が5割を超え、最も高くなっています。

「女性が主に行う」の割合が「男性が主に行う」より高い項目は「(1) 家事(料理・掃除・洗濯など)」「(2) 子育て」「(3) 家計の管理」「(4) 介護」、
「男性が主に行う」の割合が「女性が主に行う」より高い項目は「(5) 地域活動(自治会、町内会の活動)」となっています。



男女別比較

性別で見ると、すべての項目で女性は男性に比べて「男女協力して行う」の割合が高くなっています。また、「女性が主に行う」の割合には、性別により2ポイント程度の差異しか生じていません。



問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方があります。あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

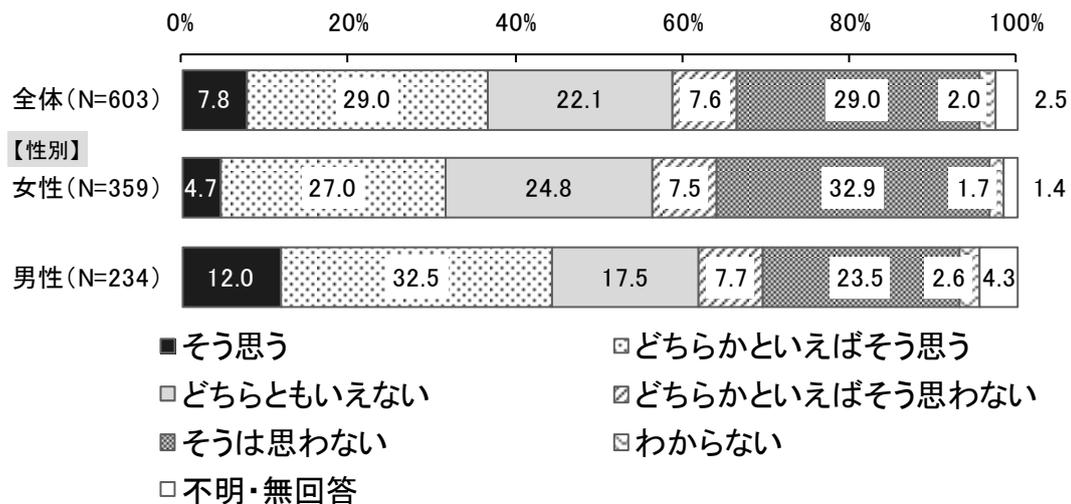
問3の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

男女の役割分担の考えについて、『賛成』が36.8%、『反対』が36.6%となっています。

性別でみると、女性では『反対』が40.4%と『賛成』の31.7%よりも高く、一方で、男性では『賛成』が44.5%と『反対』の31.2%よりも高くなっています。



(3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問4 (1) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、現実の生き方はどれでしょうか。(単数回答)

問4 (1) の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

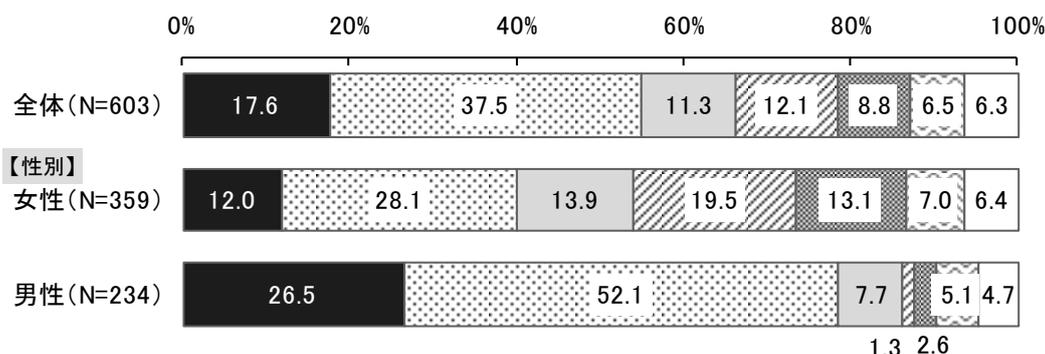
『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

現実の生き方は、『仕事優先』が55.1%と最も高く、次いで『家庭・地域優先』が20.9%、『両立』が11.3%となっています。

性別で見ると、女性では男性より『家庭・地域優先』『両立』が高く、男性では女性より『仕事優先』が高くなっています。『家庭・地域優先』と『仕事優先』について性別により大きな差異がみられます。



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
- ▨ 家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる
- 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
- ▣ 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
- ▩ 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する
- わからない
- 不明・無回答

問4 (2) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、望ましい生き方はどれでしょう。(単数回答)

問4 (2) の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

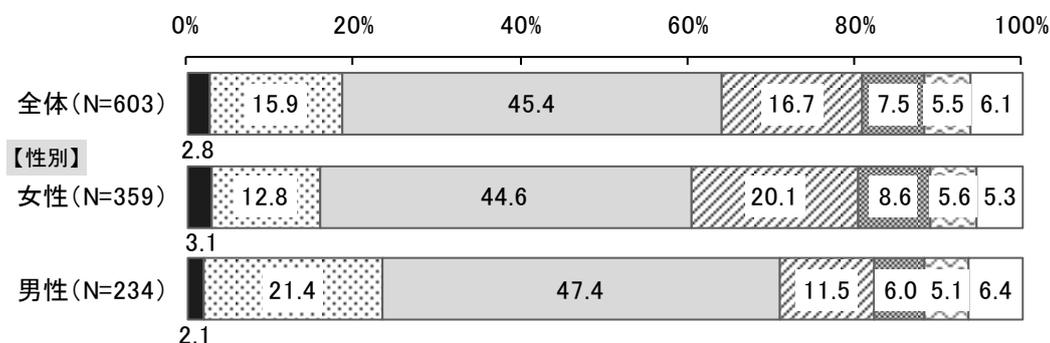
『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

望ましい生き方は、『両立』が45.4%と最も高く、次いで『家庭・地域優先』が24.2%、『仕事優先』が18.7%となっています。

性別でみると、女性では男性より『家庭・地域優先』が高く、男性では女性より『仕事優先』『両立』が高くなっています。

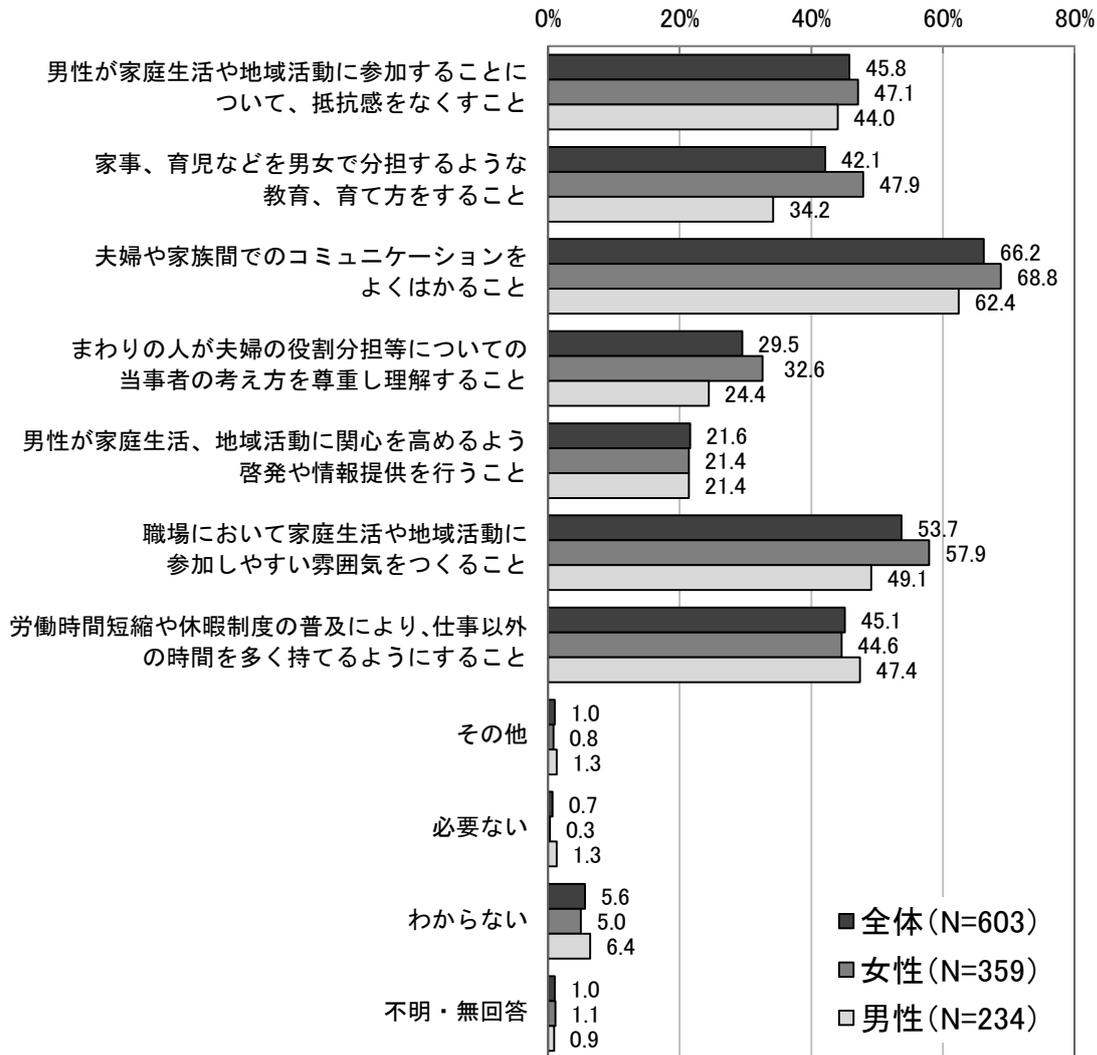


- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
- ▣ 家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる
- 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
- ▣ 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
- ▣ 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する
- ▣ わからない
- 不明・無回答

問5 あなたは、男性が女性とともに家庭生活（家事、育児、介護）、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

家庭生活や地域活動への男性の積極的参加に必要なことについては、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が66.2%と最も高く、次いで「職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくること」が53.7%となっています。

性別でみると、「その他」、「必要ない」、「わからない」以外の項目では、「労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにすること」のみ、男性が女性の割合より高くなっています。



問6（1） 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が育児休業を取得することについてどう思いますか。（単数回答）

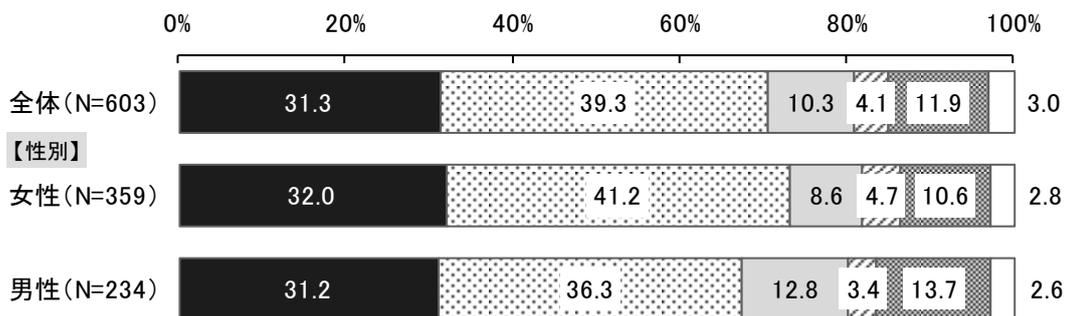
問6（1）の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『取得した方がよい』…「積極的に取得した方がよい」と「どちらかといえば取得した方がよい」を合算

『取得しない方がよい』…「取得しない方がよい」と「どちらかといえば取得しない方がよい」を合算

男性の育児休業取得については、『取得した方がよい』が70.6%、『取得しない方がよい』が14.4%となっています。

性別でみると、男女ともに、『取得した方がよい』が約7割となっています。



- 積極的に取得した方がよい
- ▨ どちらかといえば取得した方がよい
- どちらかといえば取得しない方がよい
- ▧ 取得しない方がよい
- ▩ わからない
- 不明・無回答

問6(2) 育児や家族介護を行うために、法律に基づき育児休業や介護休業を取得できる制度があります。あなたは、この制度を活用して、男性が介護休業を取得することについてどう思いますか。(単数回答)

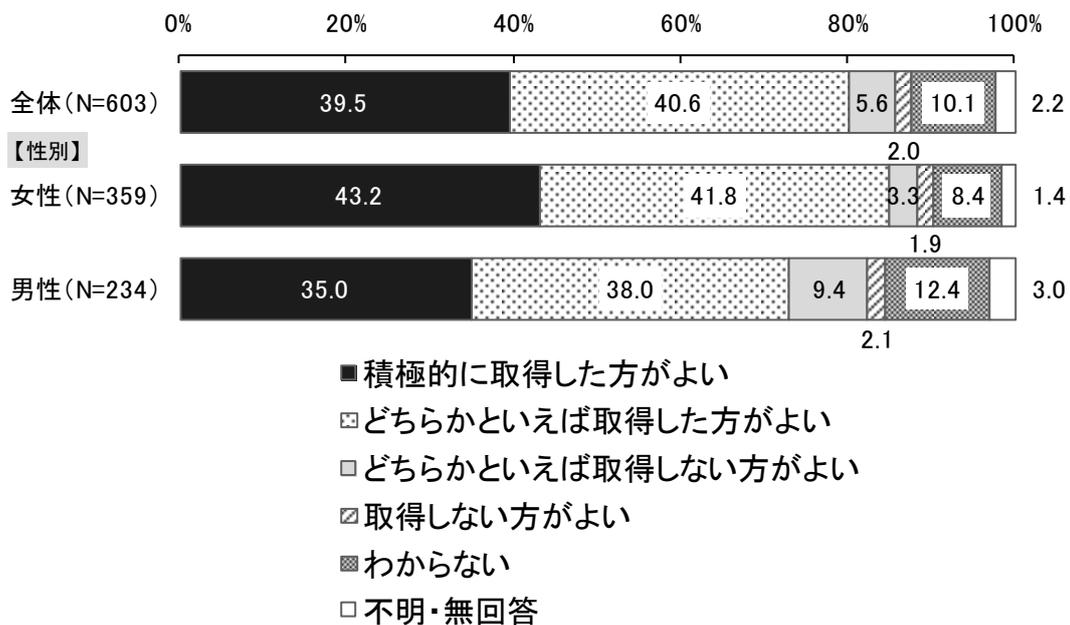
問6(2)の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『取得した方がよい』…「積極的に取得した方がよい」と「どちらかといえば取得した方がよい」を合算

『取得しない方がよい』…「取得しない方がよい」と「どちらかといえば取得しない方がよい」を合算

男性の介護休業取得については、『取得した方がよい』が80.1%、『取得しない方がよい』が7.6%となっています。

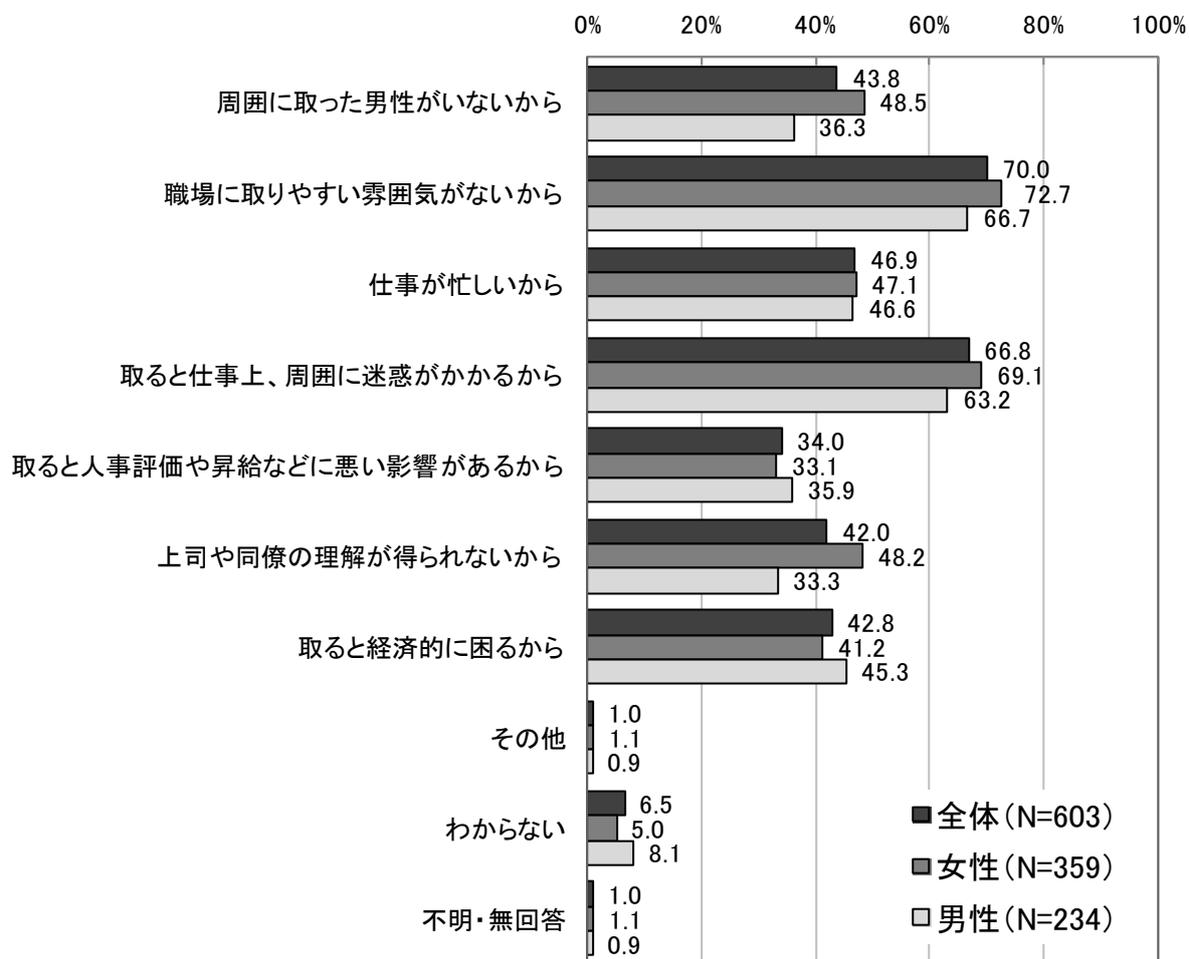
性別でみると、男女ともに『取得した方がよい』が70%を超えています。



問7 あなたは、男性が育児休業・介護休業を取りづらい理由は何だと思いますか。(複数回答)

男性が各制度を利用しにくい理由は、「職場に取りやすい雰囲気がないから」が70.0%と最も高く、次いで「取ると仕事上、周囲に迷惑がかかるから」が66.8%となっています。

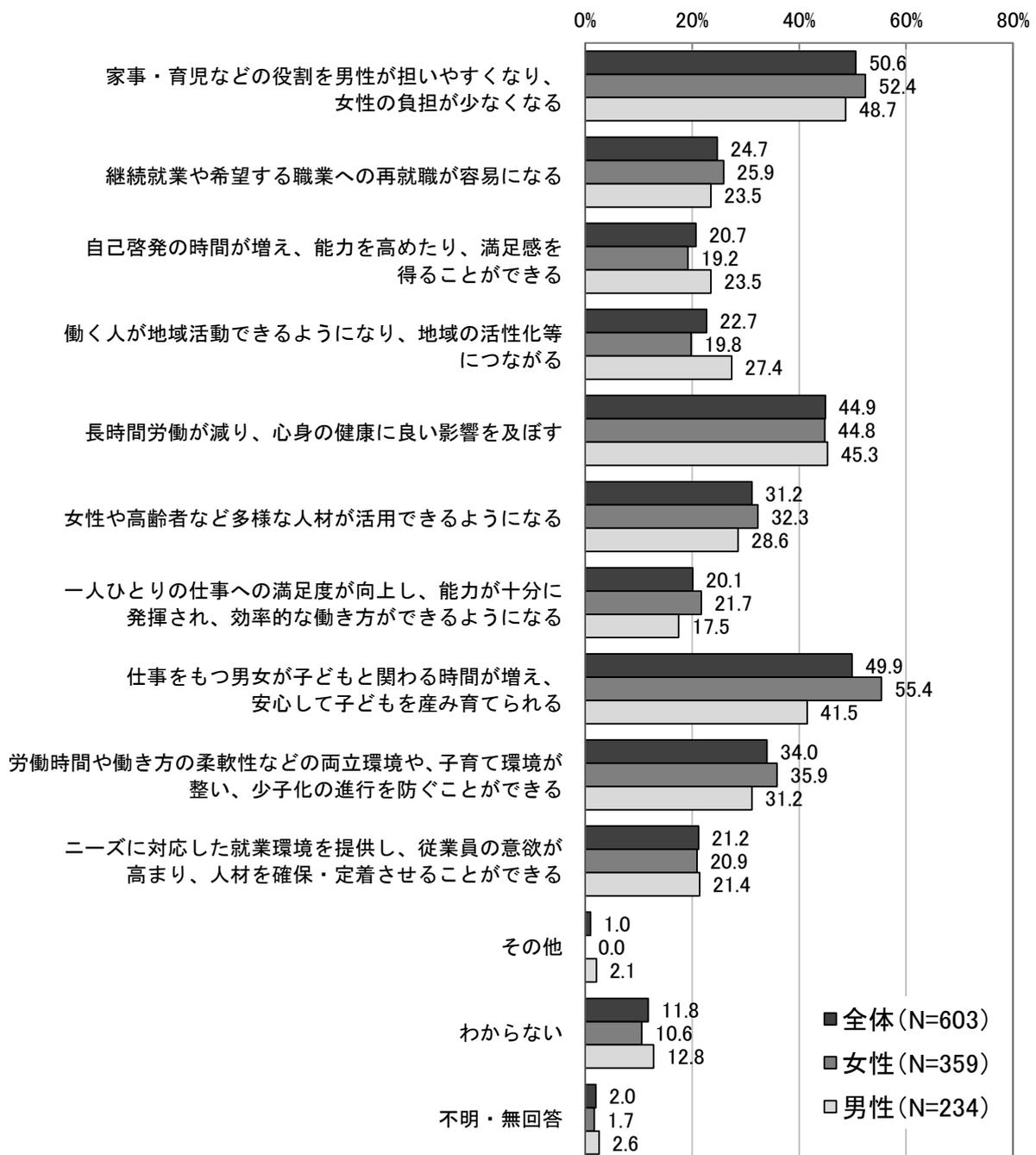
性別で見ると、「わからない」以外の項目では、「取ると人事評価や昇給などに悪い影響があるから」、「取ると経済的に困るから」のみ男性が女性の割合より高くなっています。



**問8 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進することの効果について、あなたは
どう思いますか。（複数回答）**

ワーク・ライフ・バランスの推進がもたらす効果については、「家事・育児などの役割を男性が担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」が50.6%と最も高く、次いで「仕事を持つ男女が子どもと関わる時間が増え、安心して子どもを産み育てられる」が49.9%となっています。

性別で見ると、女性では「仕事を持つ男女が子どもと関わる時間が増え、安心して子どもを産み育てられる」が55.4%と最も高く、次いで「家事・育児などの役割を男性が担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」が52.4%となっています。男性では「家事・育児などの役割を男性が担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」が48.7%と最も高く、次いで「長時間労働が減り、心身の健康に良い影響を及ぼす」が45.3%となっています。「仕事を持つ男女が子どもと関わる時間が増え、安心して子どもを産み育てられる」は、性別により13.9ポイントの差異があります。

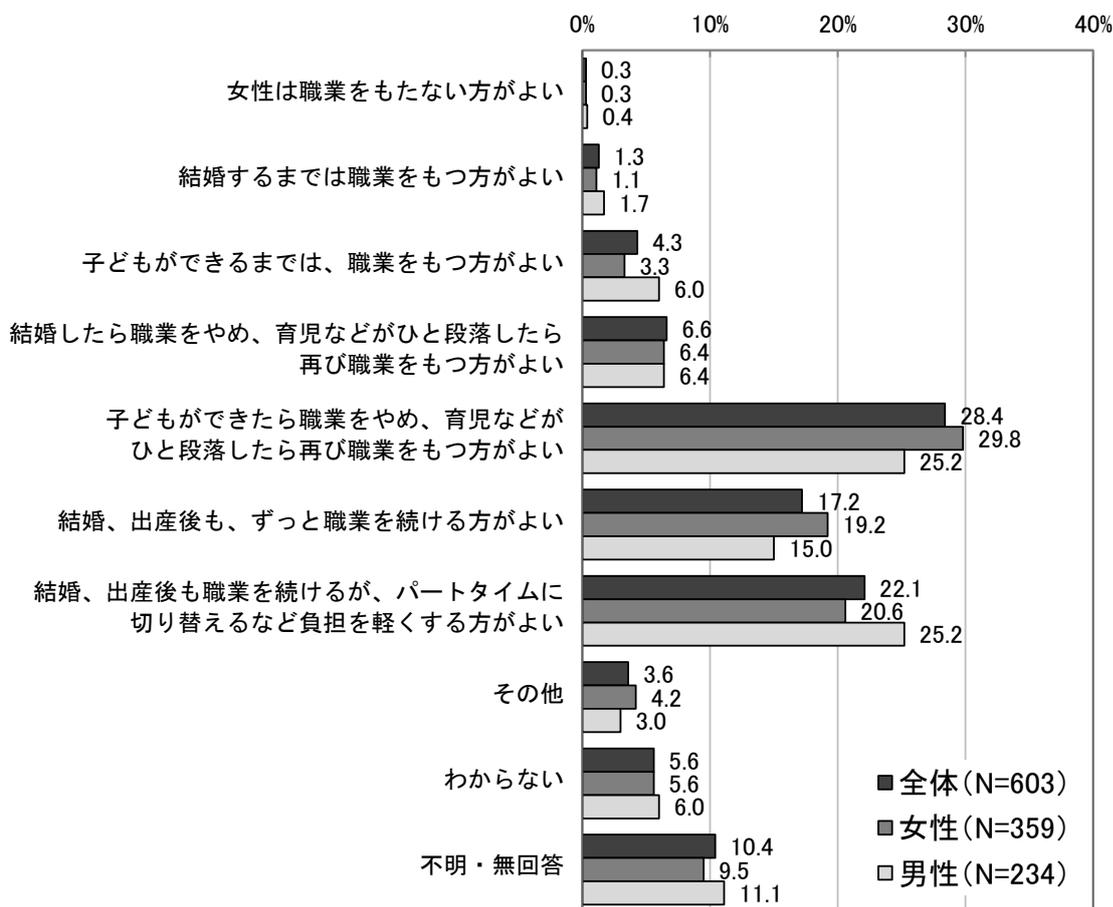


(4) 女性の社会参画について

問9 あなたは、女性の職業と生活設計について、どのように考えますか。(単数回答)

女性の職業と生活設計については、「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」が28.4%と最も高く、次いで「結婚、出産後も職業を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」が22.1%となっています。

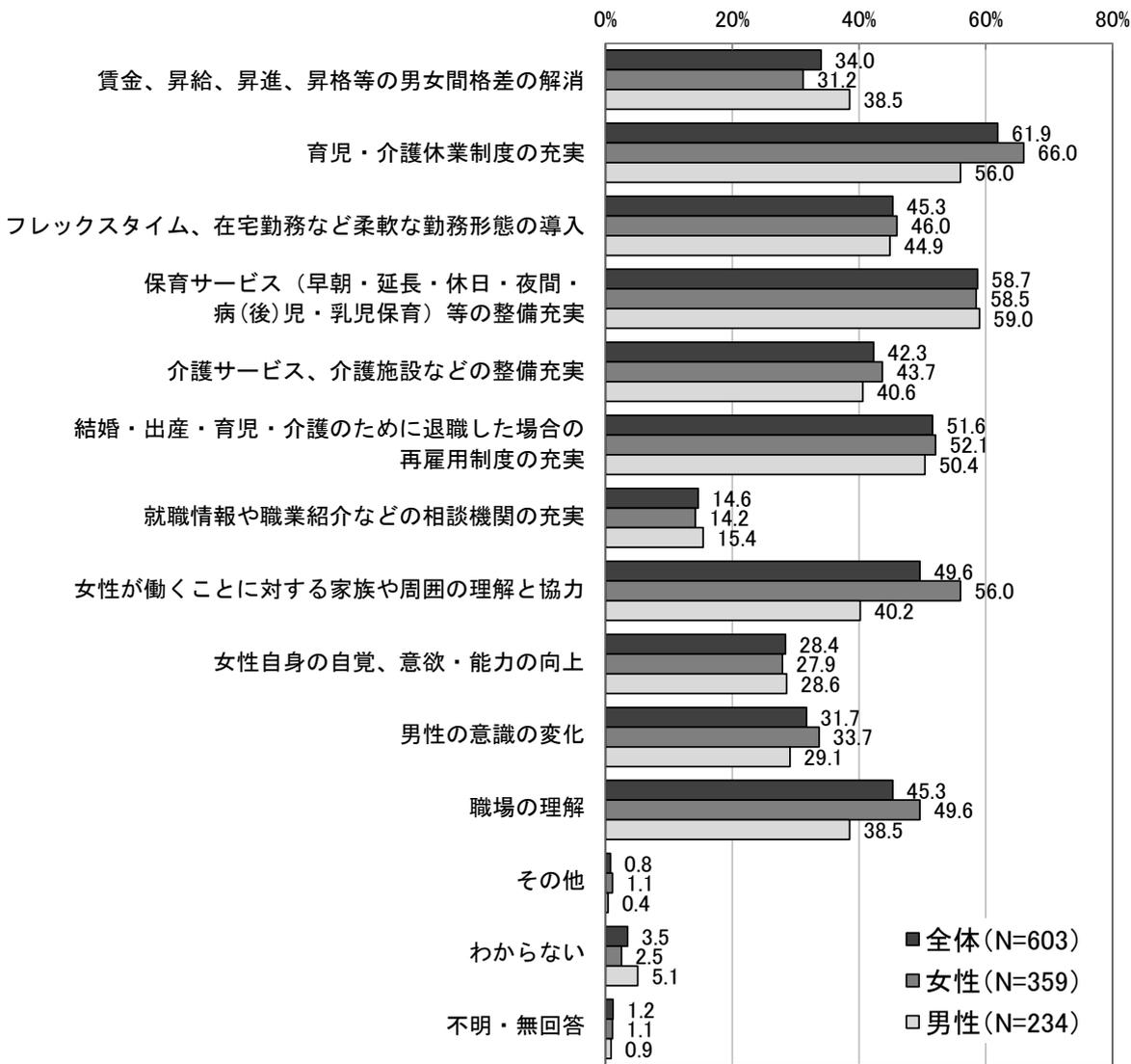
性別でみると、女性では「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」が29.8%と最も高く、次いで「結婚、出産後も職業を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」が20.6%となっています。男性では「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」、「結婚、出産後も職業を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」が25.2%と最も高く、次いで「結婚、出産後もずっと職業を続ける方がよい」が15.0%となっています。



問10 あなたは、女性が働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

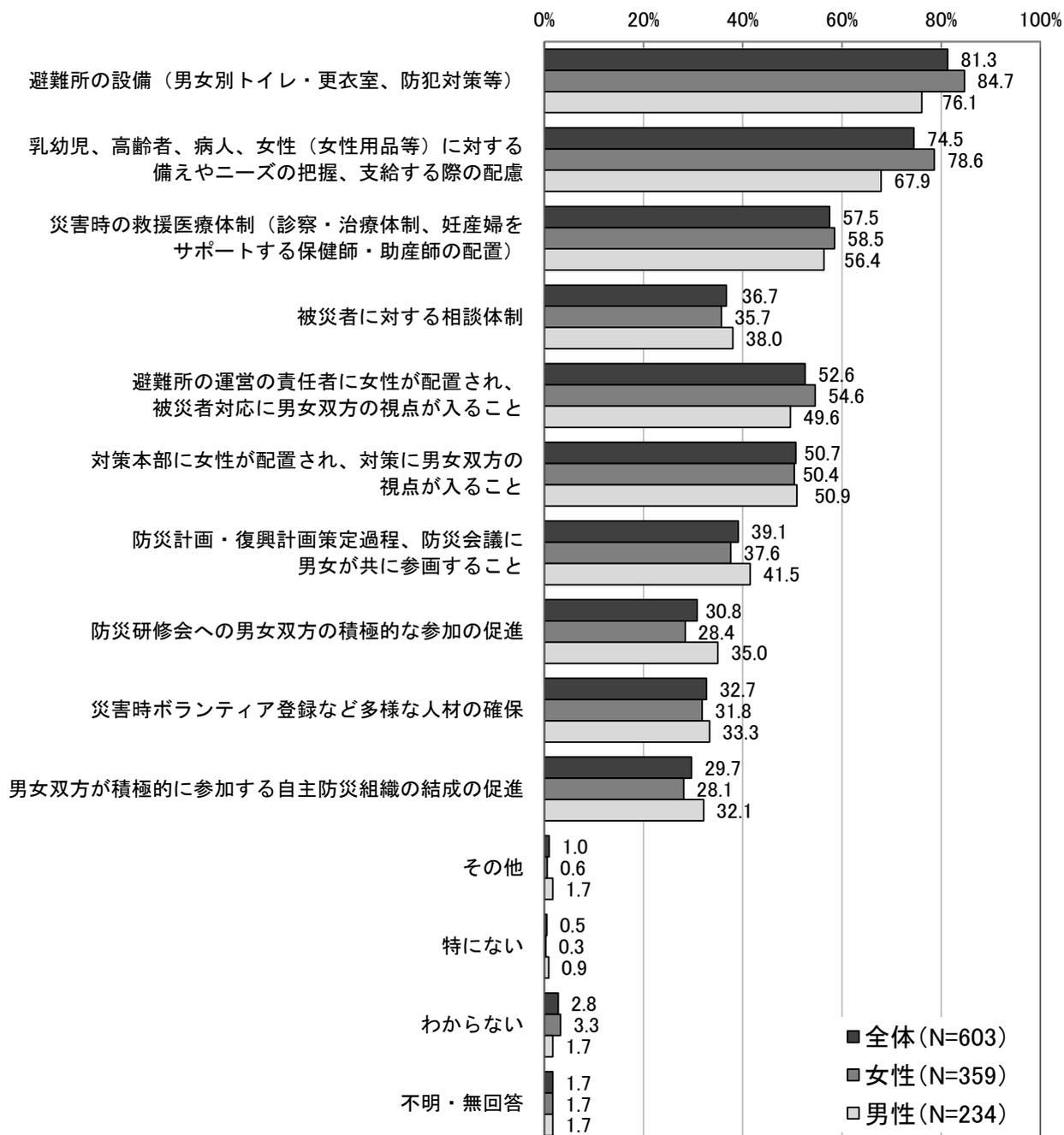
女性が働き続けるために必要なことについては、「育児・介護休業制度の充実」が61.9%と最も高く、次いで「保育サービス等の整備充実」が58.7%となっています。

性別で見ると、女性では「育児・介護休業制度の充実」が66.0%と最も高く、次いで「保育サービス等の整備充実」が58.5%となっています。男性では、「保育サービス等の整備充実」が59.0%と最も高く、次いで「育児・介護休業制度の充実」が56.0%となっています。また、性別により「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」では15.8ポイント、「職場の理解」では11.1ポイントの差異があります。



問 11 東日本大震災以降、防災、災害、復興の場において、男女の視点の違いに配慮した取組が必要と考えられるようになってきました。あなたは、防災活動に関して男女共同参画の視点を活かすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

防災活動に必要な取組は、「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」が81.3%と最も高く、次いで「乳幼児、高齢者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が74.5%となっています。性別でみると、男性、女性で必要な取組の上位3項目は一致しますが、「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」で8.6ポイント、乳幼児、高齢者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」で10.7ポイント差異があります。

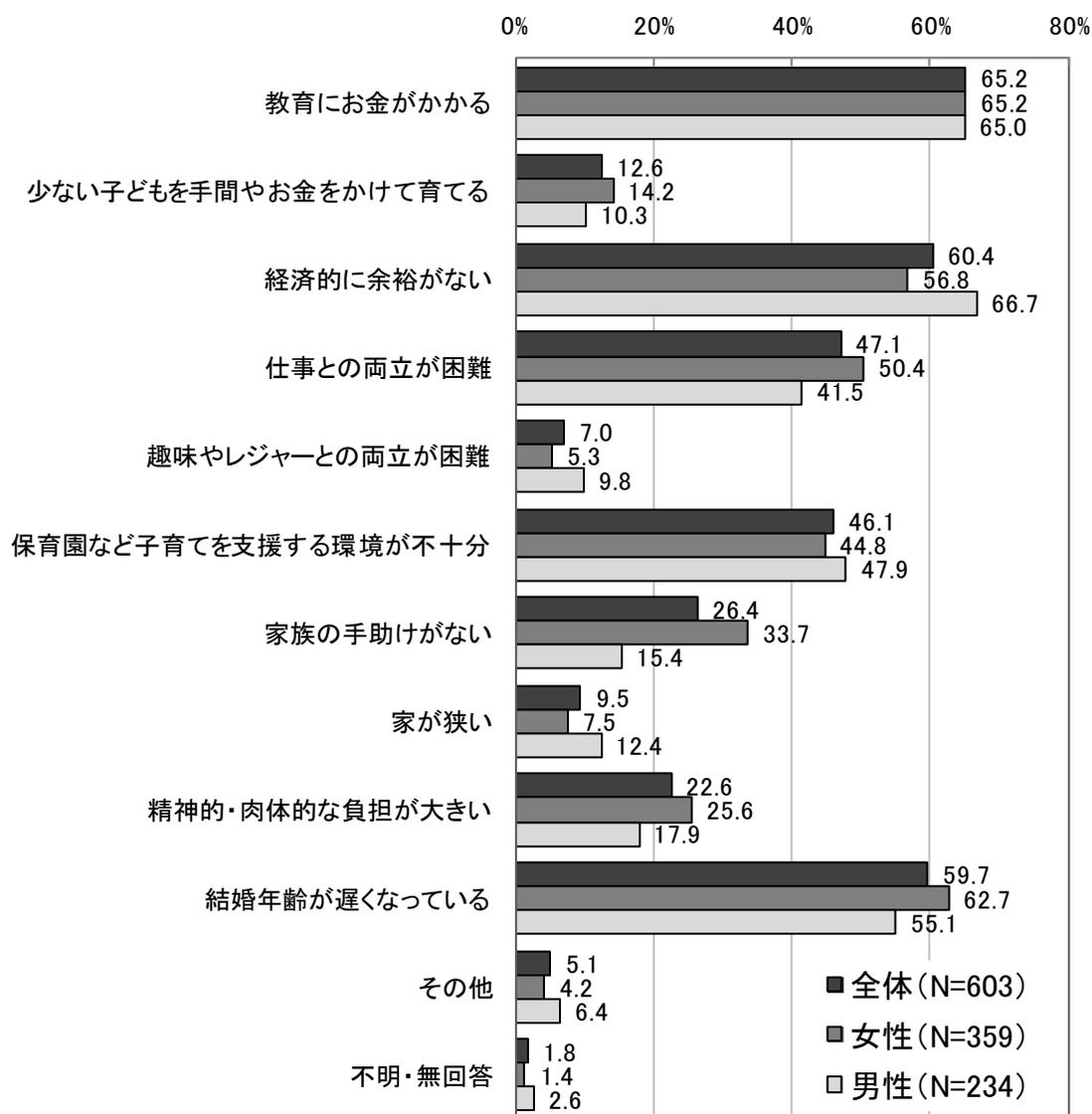


(5) 少子化について

問12 あなたは、子どもの数が少なくなる原因はどのようなことだと思いますか。(複数回答)

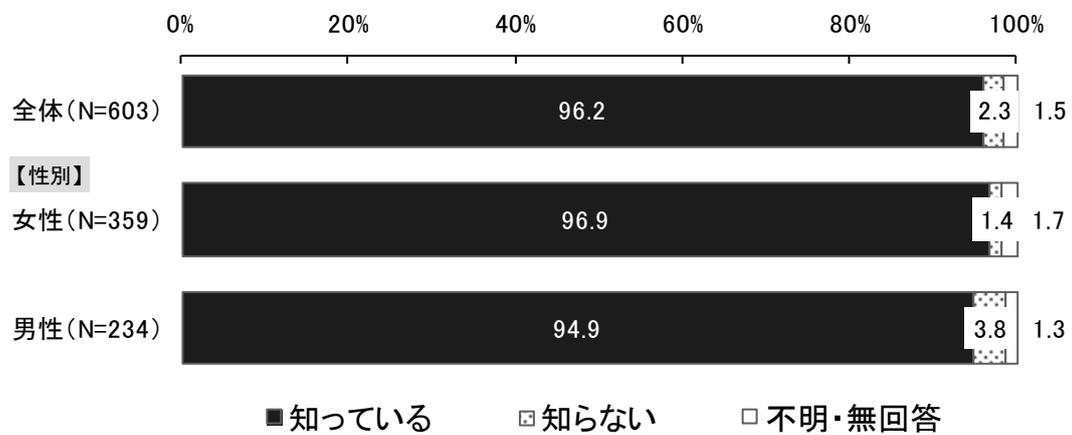
少子化の原因は、「教育にお金がかかる」が65.2%と最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が60.4%、「結婚年齢が遅くなっている」が59.7%となっています。

性別で見ると、女性では「教育にお金がかかる」が65.2%と最も高く、次いで「結婚年齢が遅くなっている」が62.7%となっています。男性では「経済的に余裕がない」が66.7%と最も高く、次いで「教育にお金がかかる」が65.0%となっています。「家族の手助けがない」については、性別により18.3ポイントの差異があります。



問 13 あなたは女性の妊娠について、年齢が高くなるにつれ、妊娠しにくくなったり、流産する可能性が高くなるとともに、母体への危険リスクが高まることを知っていますか。(単数回答)

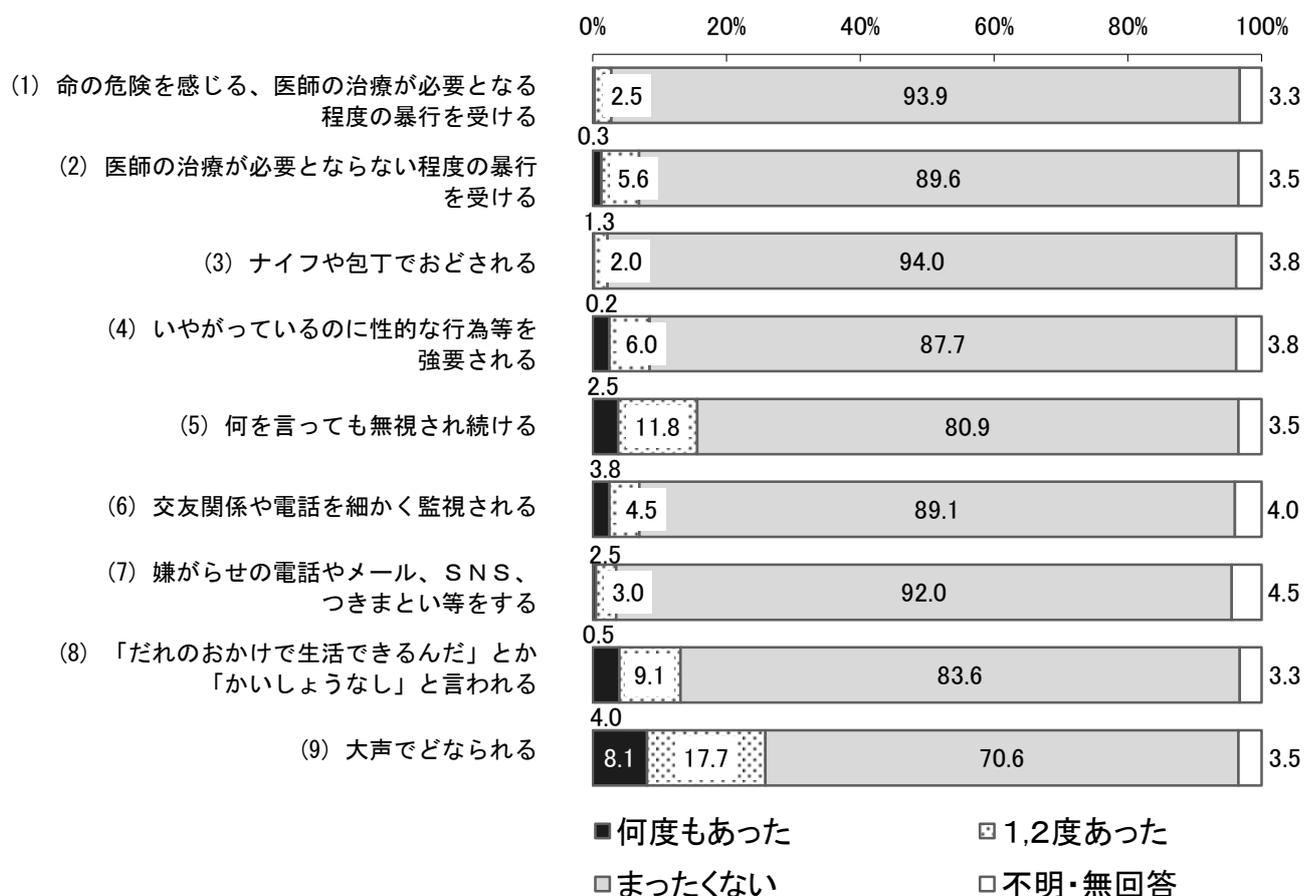
高齢出産のリスクについては、「知っている」が96.2%、「知らない」が2.3%となっています。
性別で見ると、男女とも「知っている」が90%を超えています。



(6) 配偶者などからの暴力(DV)やセクハラについて

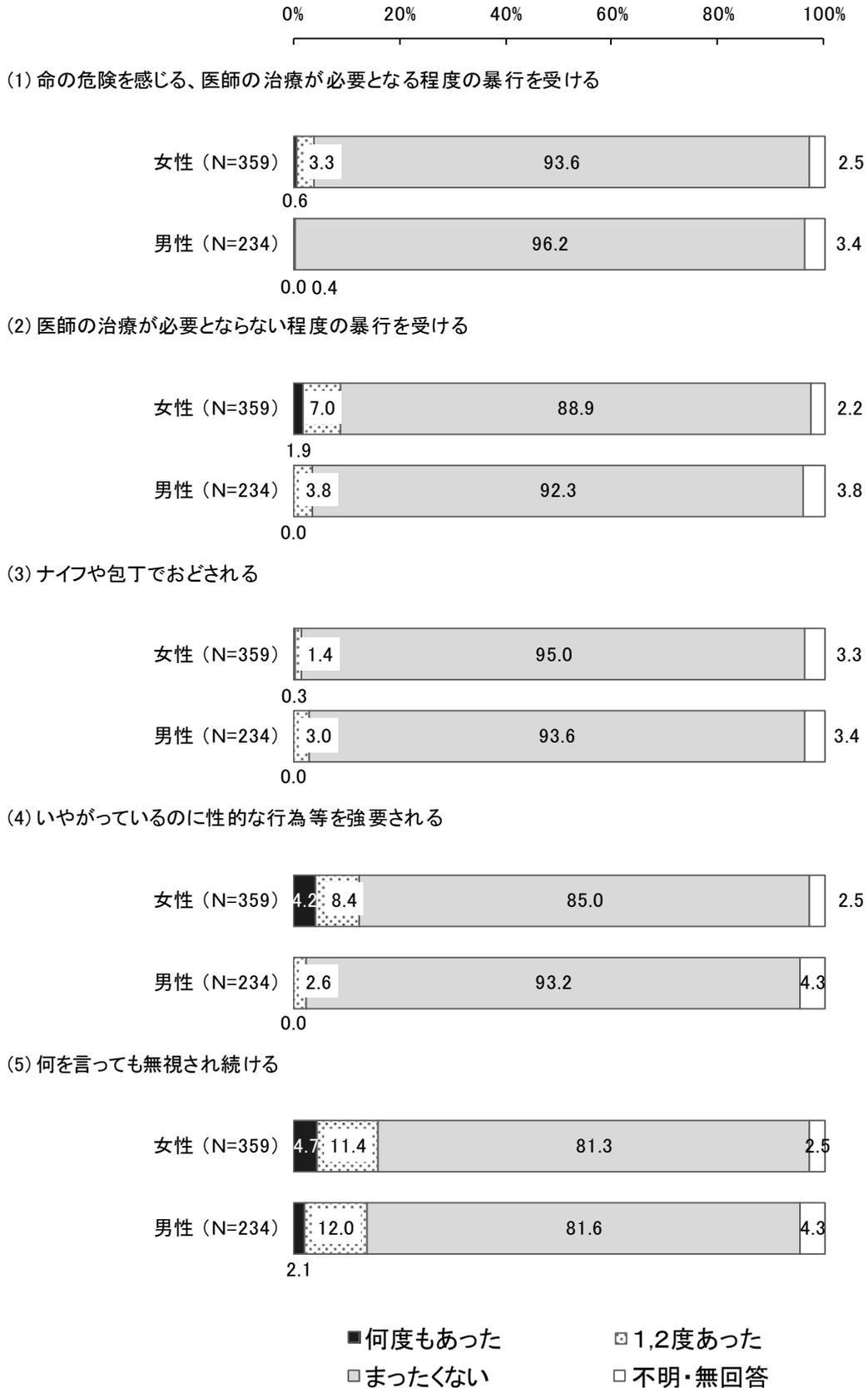
問 14 あなたはこれまでに、あなたの夫や妻、恋人などから、次のようなことをされたことがありますか。(単数回答)

DVの被害経験については、各項目で「まったくない」が最も高くなっていますが、「(5) 何を言っても無視され続ける」で15.6%、「(8) だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしょうなし」と言われる」で13.1%、「(9) 大声でどなられる」については25.8%となっています。また、「(1) 命の危険を感じる、医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける」という被害者が2.8%存在しています。



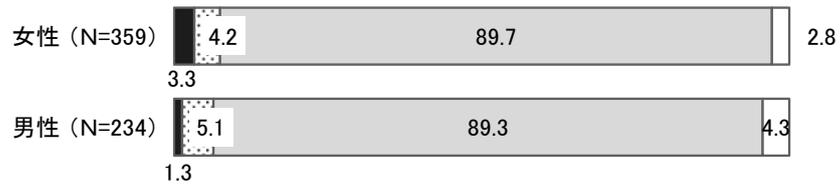
男女別比較

性別で見ると、「(3) ナイフや包丁でおどされる」以外の被害経験は、すべて女性が男性の割合より高くなっています。性別により「(9) 大声でどなられる」では16.2ポイント、「(4) いやがっているのに性的な行為等を強要される」では10.0ポイントの差異があります。

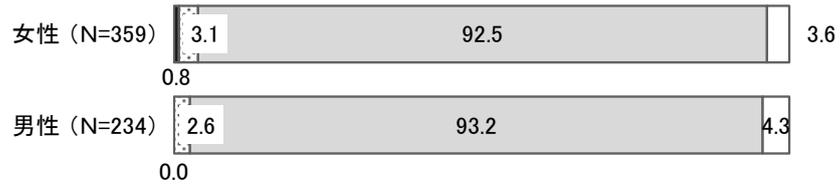


0% 20% 40% 60% 80% 100%

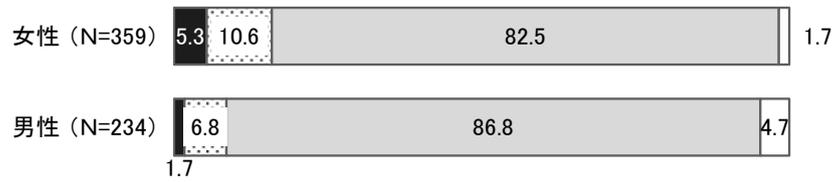
(6) 交友関係や電話を細かく監視される



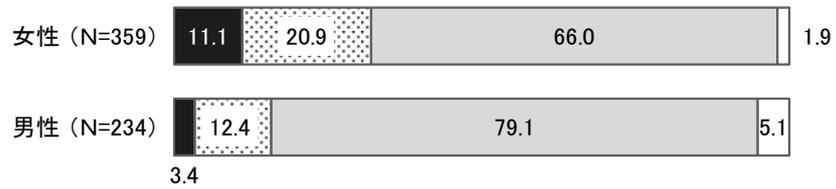
(7) 嫌がらせの電話やメール、SNS、つきまとい等をする



(8) 「だれのおかげで生活できるんだ」とか「かいしようなし」と言われる



(9) 大声でどなられる

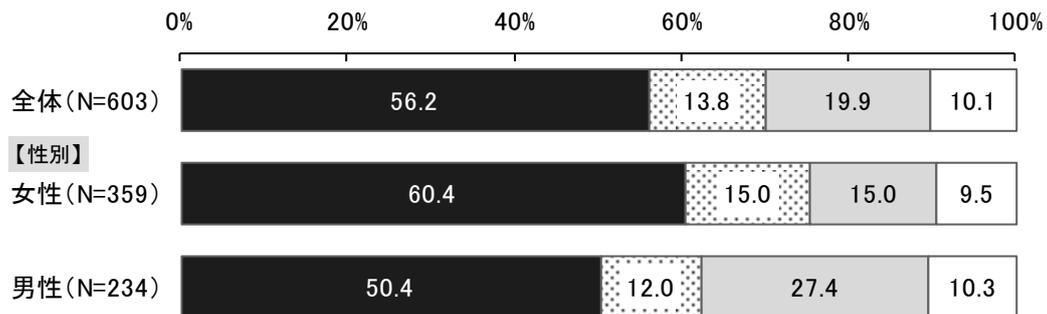


■ 何度もあった □ 1,2度あった
 □ まったくない □ 不明・無回答

問 15 夫や妻、恋人などから、暴力を受けた場合に誰かに打ち明けたり、相談しましたか。暴力を受けたことがない人は受けた場合を想定して教えてください。(単数回答)

暴力を受けた際の相談等については、「相談した(する)」が 56.2%と最も高く、次いで「相談しようと思わなかった(思わない)」が 19.9%、「相談できなかった(できない)」が 13.8%となっています。

性別で見ると、「相談した(する)」は女性で 60.4%、男性で 50.4%と 10.0ポイントの差異があります。また、「相談しようと思わなかった(思わない)」は女性で 15.0%、男性で 27.4%と 12.4ポイントの差異があります。



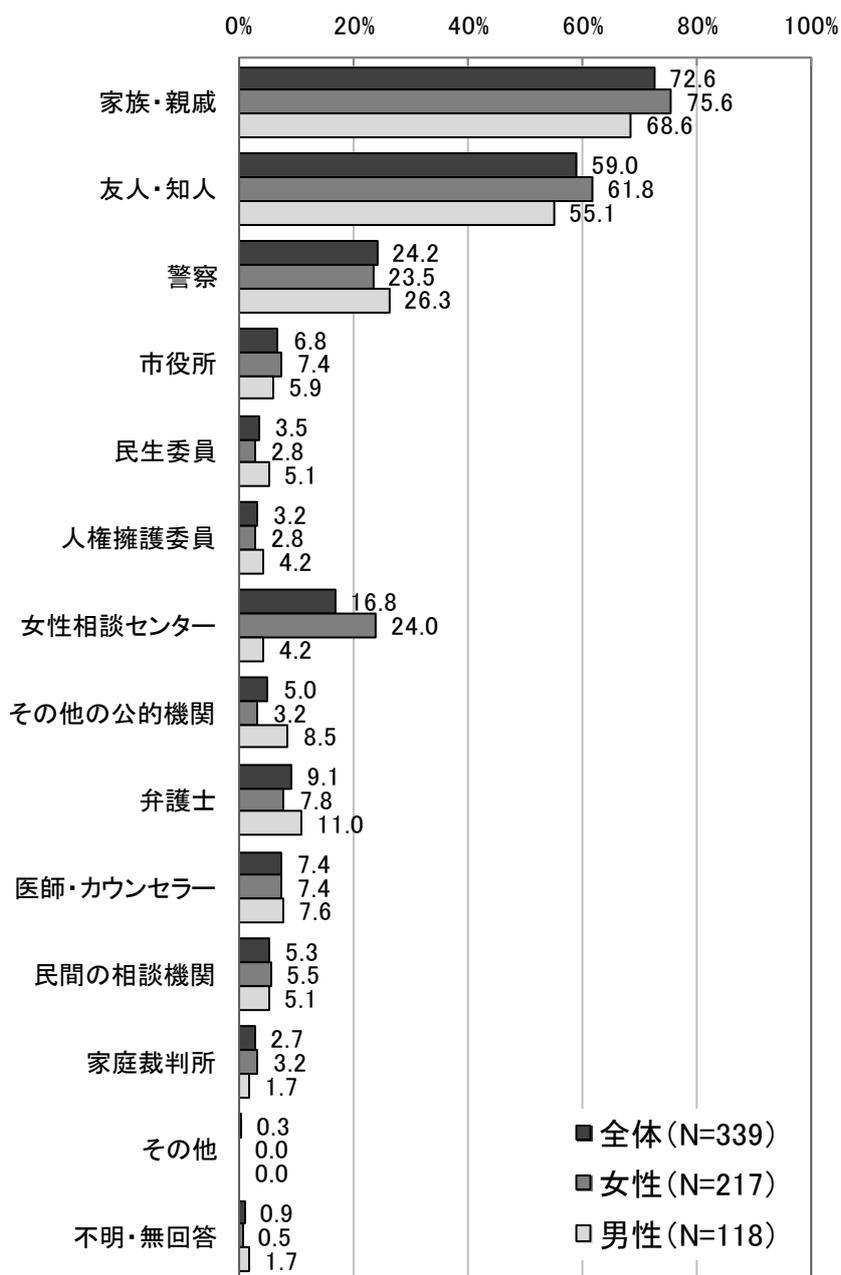
- 相談した(する)
- ▣ 相談できなかった(できない)
- 相談しようと思わなかった(思わない)
- 不明・無回答

【問 15 で「相談した（する）」と回答した方のみ】

問 15-1 誰（どこ）に相談しましたか（しますか）。（複数回答）

相談先については、「家族・親戚」が 72.6%と最も高く、次いで「友人・知人」が 59.0%となっています。

性別で見ると、「家族・親戚」、「友人・知人」に次いで、女性では「女性相談センター」が 24.0%、男性では「警察」が 26.3%と高くなっています。

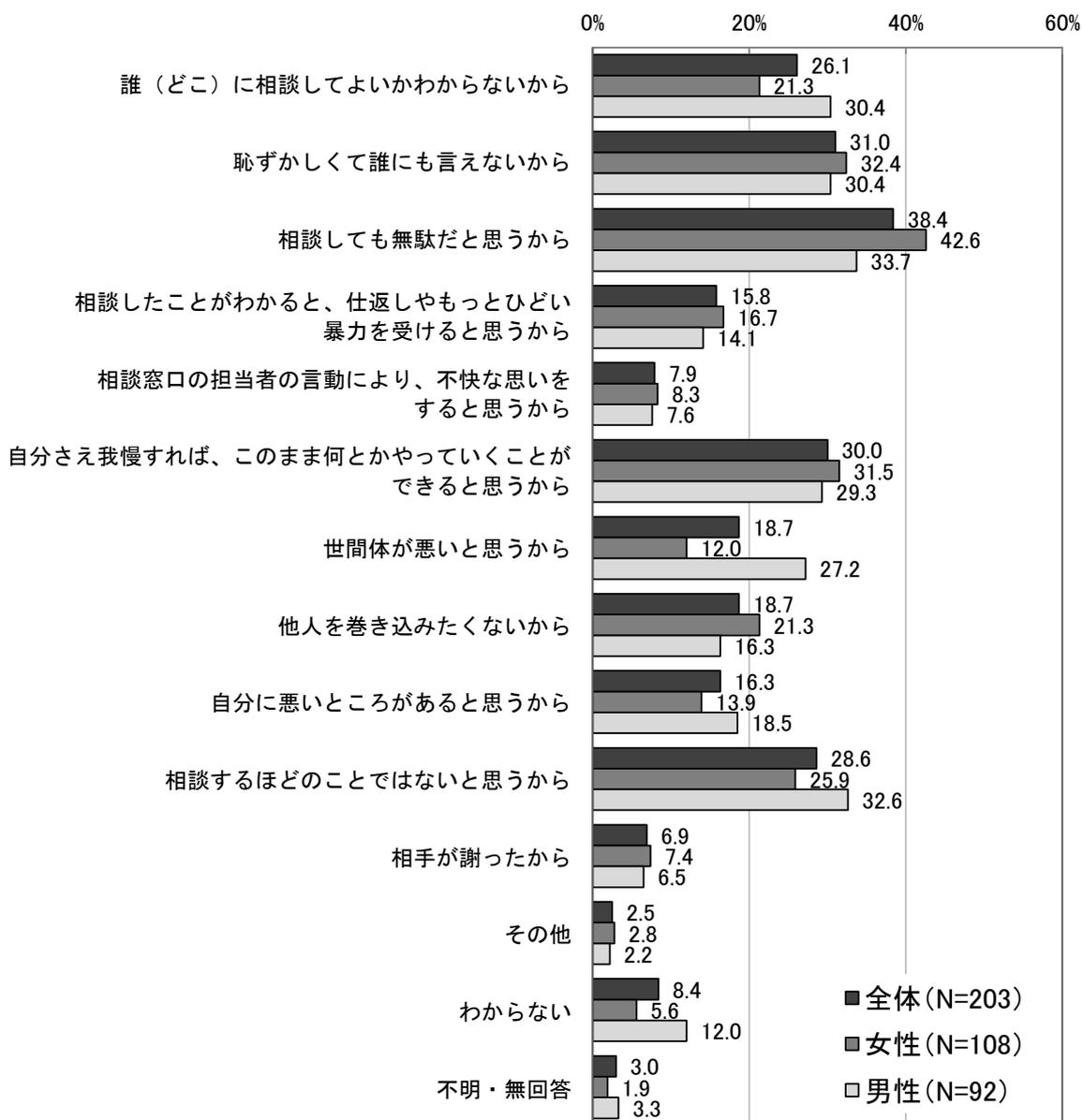


【問 15 で「相談できなかった（できない）」「相談しようと思わなかった（思わない）」と回答した方のみ】

問 15-2 問 15 で相談できなかった（できない）・相談しようと思わなかった（思わない）のはなぜですか。（複数回答）

相談できなかった（相談しようと思わなかった）理由は、「相談しても無駄だと思うから」が 38.4%と最も高く、次いで「恥ずかしくて誰にも言えないから」が 31.0%、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思うから」が 30.0%となっています。

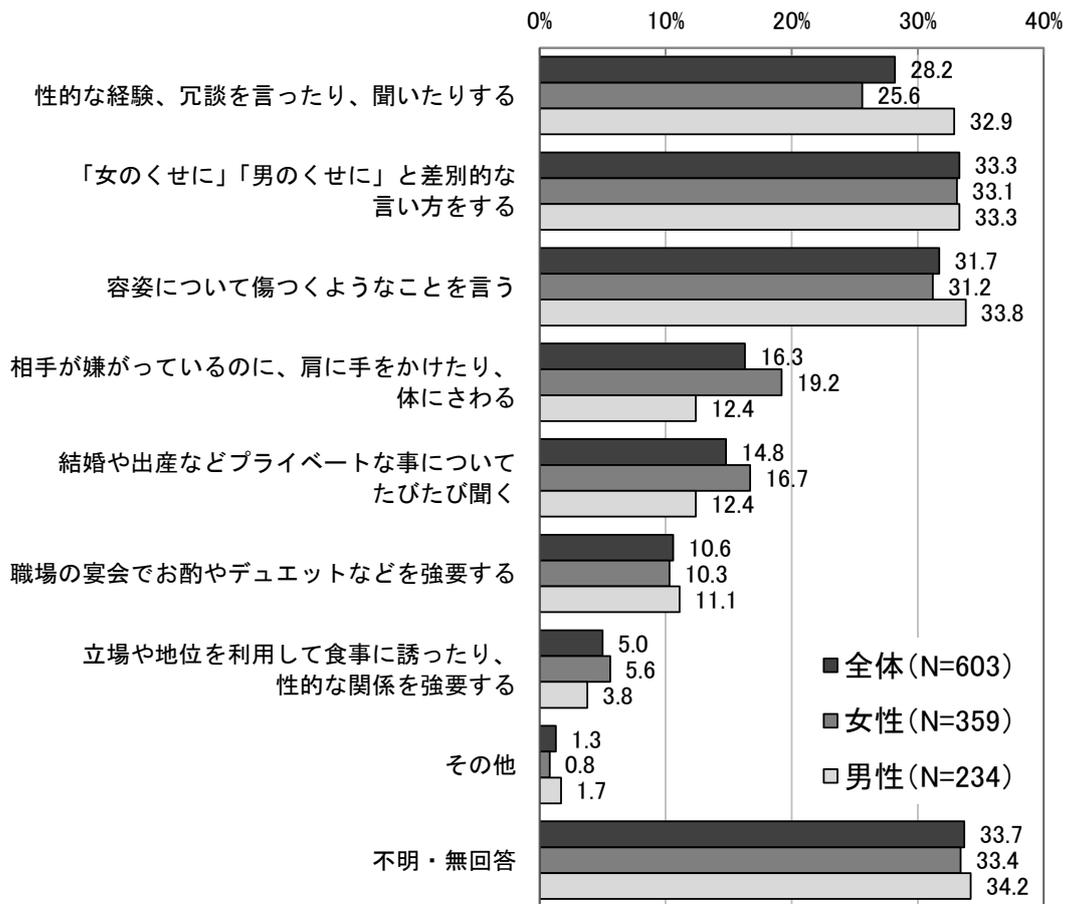
性別で見ると、「相談しても無駄だと思うから」に次いで、女性では「恥ずかしくて誰にも言えないから」が 32.4%、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思うから」が 31.5%と高く、男性では「相談するほどのことではないと思うから」が 32.6%、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」、「誰（どこ）に相談してよいかわからないから」が 30.4%と高くなっています。また、「世間体が悪いと思うから」は女性で 12.0%、男性で 27.2%と 15.2 ポイントの差異があります。



問 16 あなたは、次のような、セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を身近で見たり聞いたり、あるいは自分自身が受けたことや、したことがありますか。（複数回答）

見聞きしたり、被害にあったセクシュアル・ハラスメントの内容については、「女のくせに」「男のくせに」と差別的な言い方をする」が 33.3%と最も高く、次いで「容姿について傷つくようなことを言う」が 31.7%、「性的な経験、冗談を言ったり、聞いたりする」が 28.2%となっています。

性別による差異は「性的な経験、冗談を言ったり、聞いたりする」で 7.3 ポイント、「相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、体にさわる」で 6.8 ポイント、「結婚や出産などプライベートな事についてたびたび聞く」で 4.3 ポイントとなっています。



(7) 男女共同参画社会について

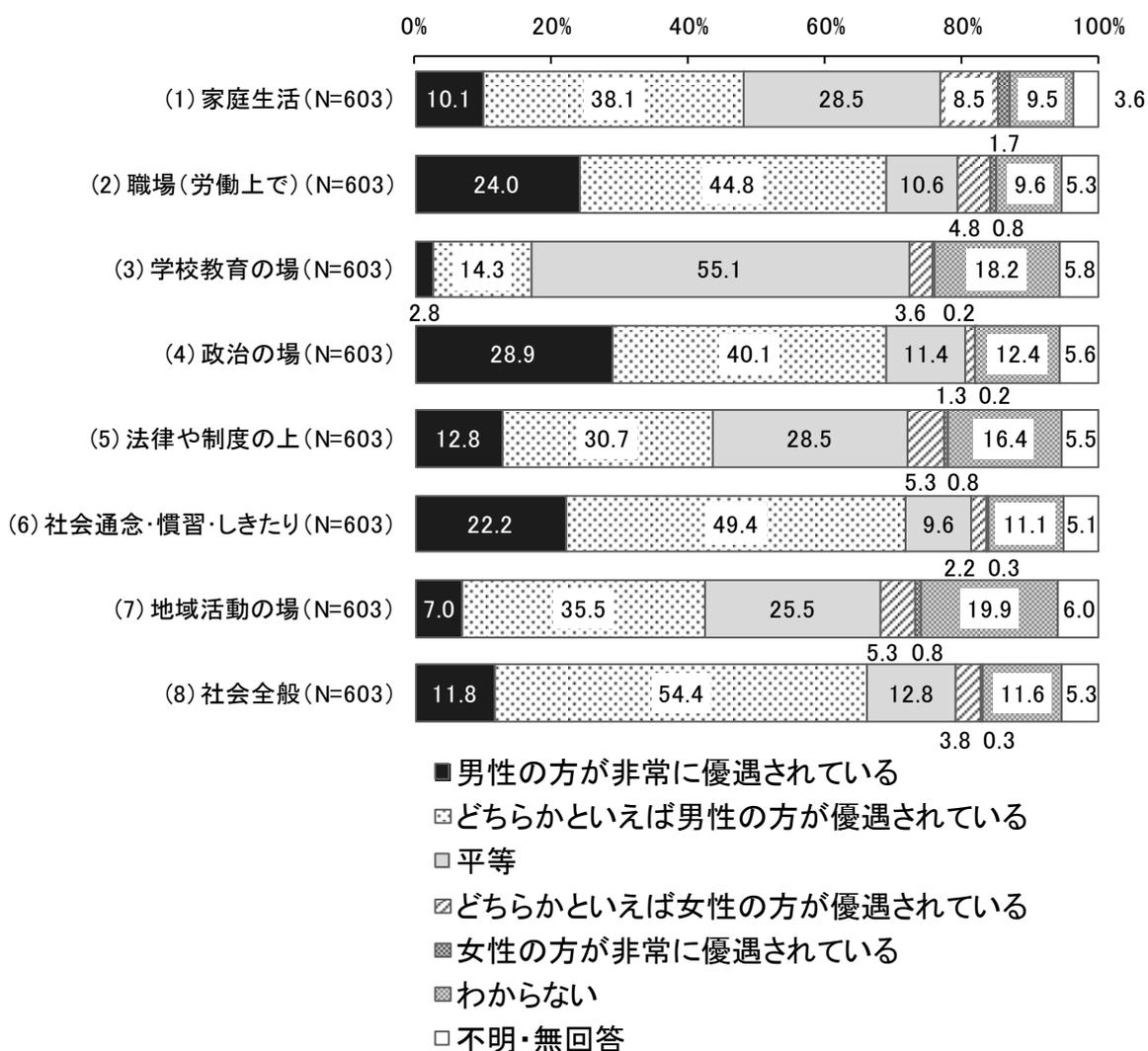
問17 あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問17の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

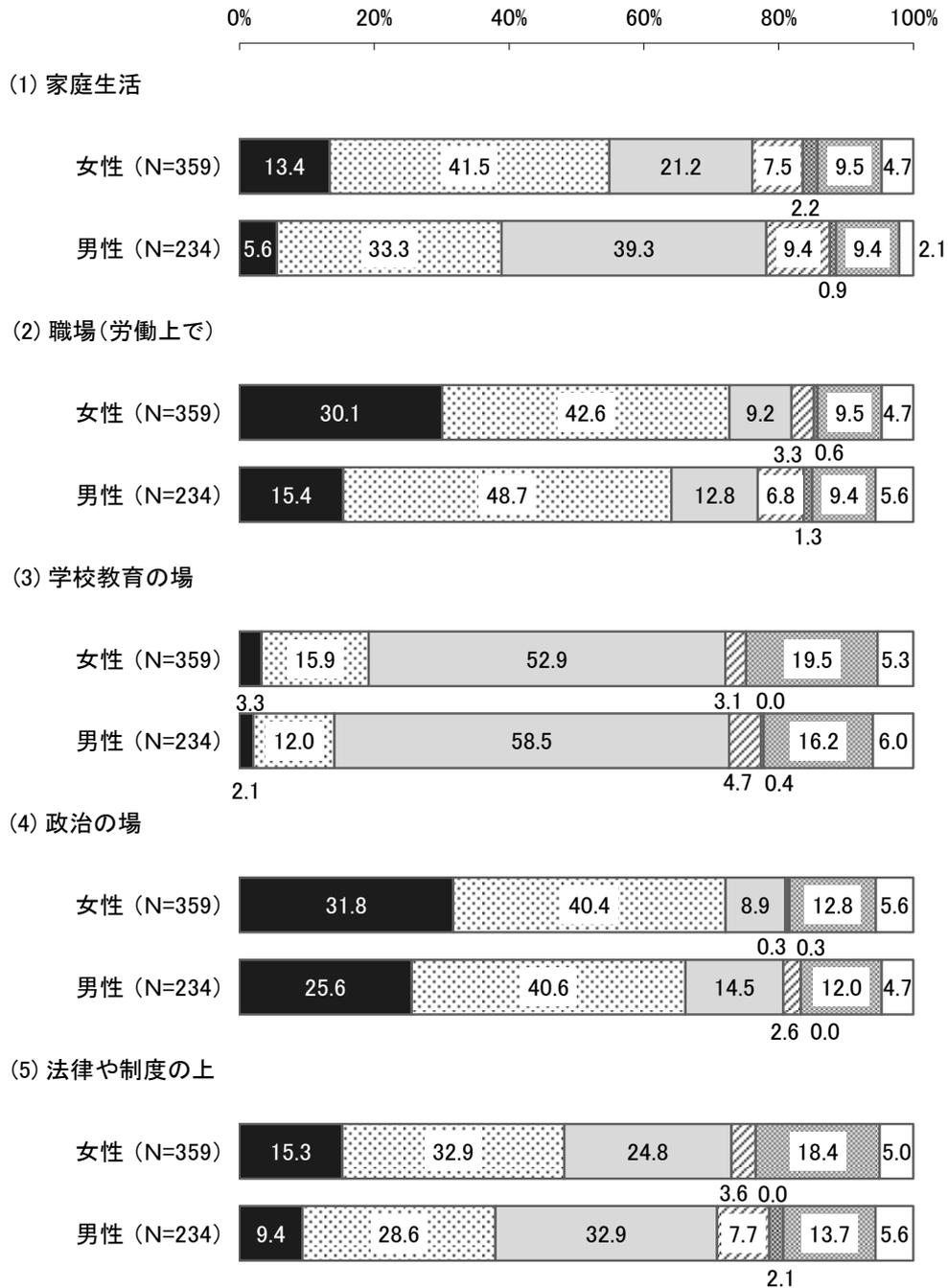
『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

男女の地位の平等については、「(3) 学校教育の場」を除くすべての項目で『男性優遇』が最も高くなっています。特に「(6) 社会通念・慣習・しきたり」で71.6%、「(4) 政治の場」で69.0%、「(2) 職場(労働上で)」で68.8%と『男性優遇』が高くなっています。

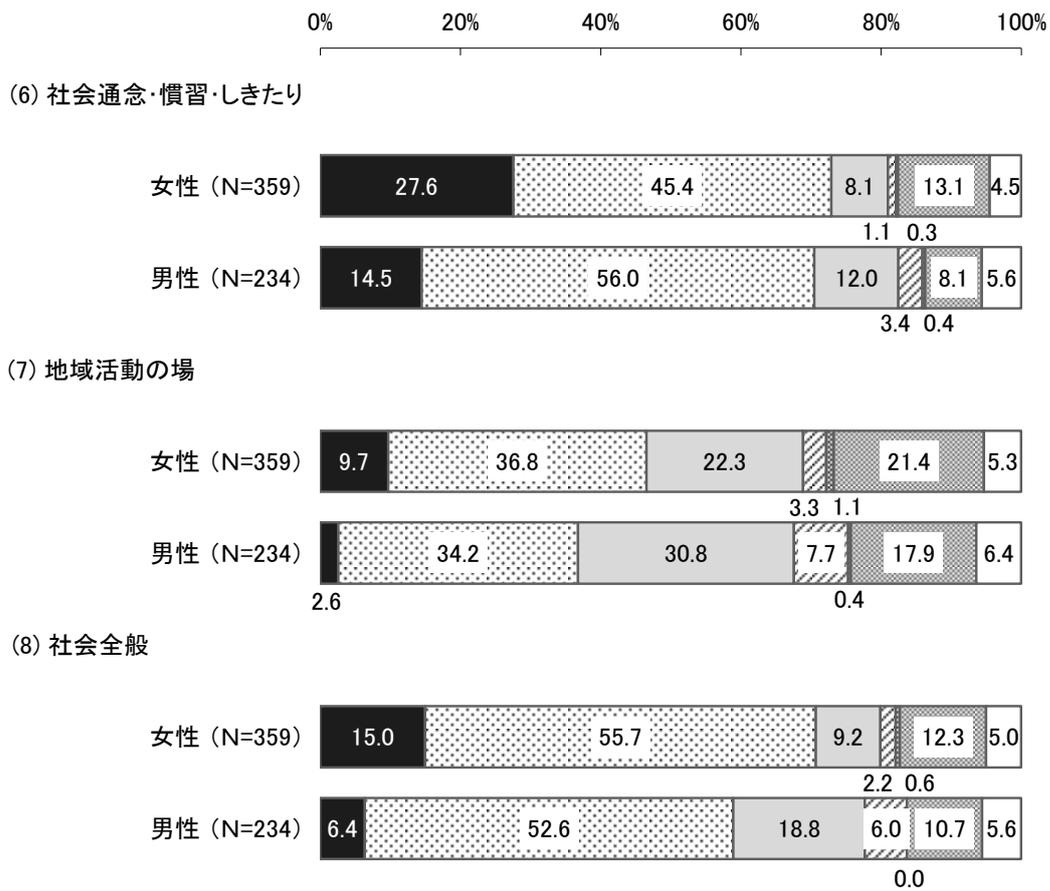


男女別比較

性別で見ると、すべての項目で女性は男性よりも『男性優遇』の割合が高くなっています。一方、すべての項目で男性は女性よりも「平等」『女性優遇』の割合が高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▣ わからない
- 不明・無回答



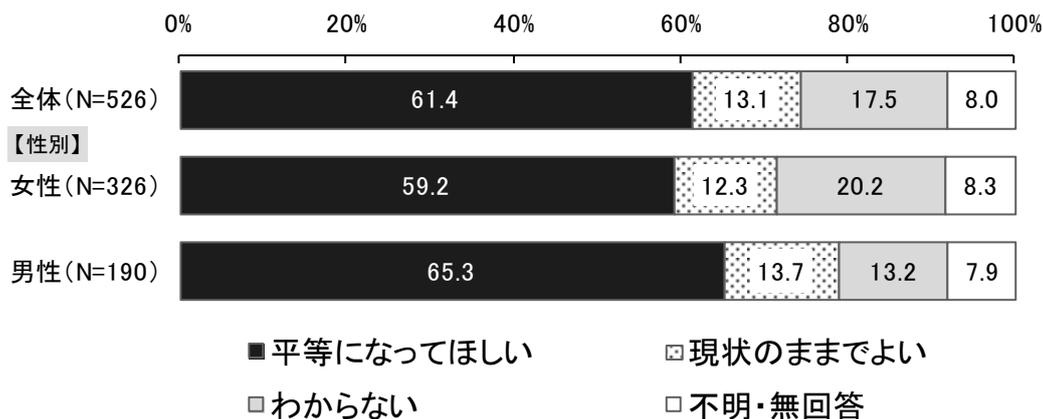
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

【問 17 の項目（8）社会全般で「平等」以外を回答した方のみ】

問 17-1 あなたは、社会全般で男女の地位が平等になることについてどのように思いますか。
（単数回答）

男女の地位については、「平等になってほしい」が 61.4%と最も高く、次いで「わからない」が 17.5%、「現状のままでよい」が 13.1%となっています。

性別でみると、男女ともに「平等になってほしい」が最も高く、男性は女性よりも 6.1 ポイント高くなっています。



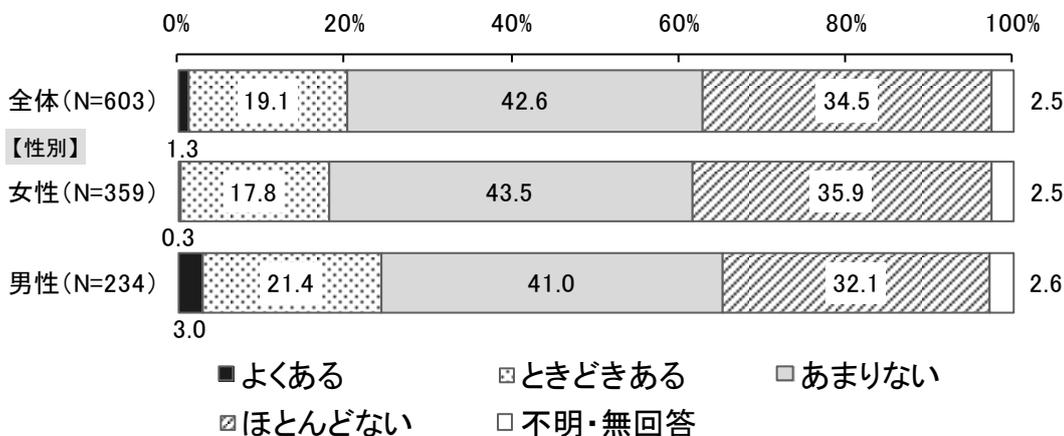
問 18 男女共同参画社会についての情報を得る機会がありますか。（単数回答）

問 18 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

- 『ある』…「よくある」と「ときどきある」を合算
- 『ない』…「ほとんどない」と「あまりない」を合算

情報を得る機会については、『ある』が 20.4%、『ない』が 77.1%となっています。

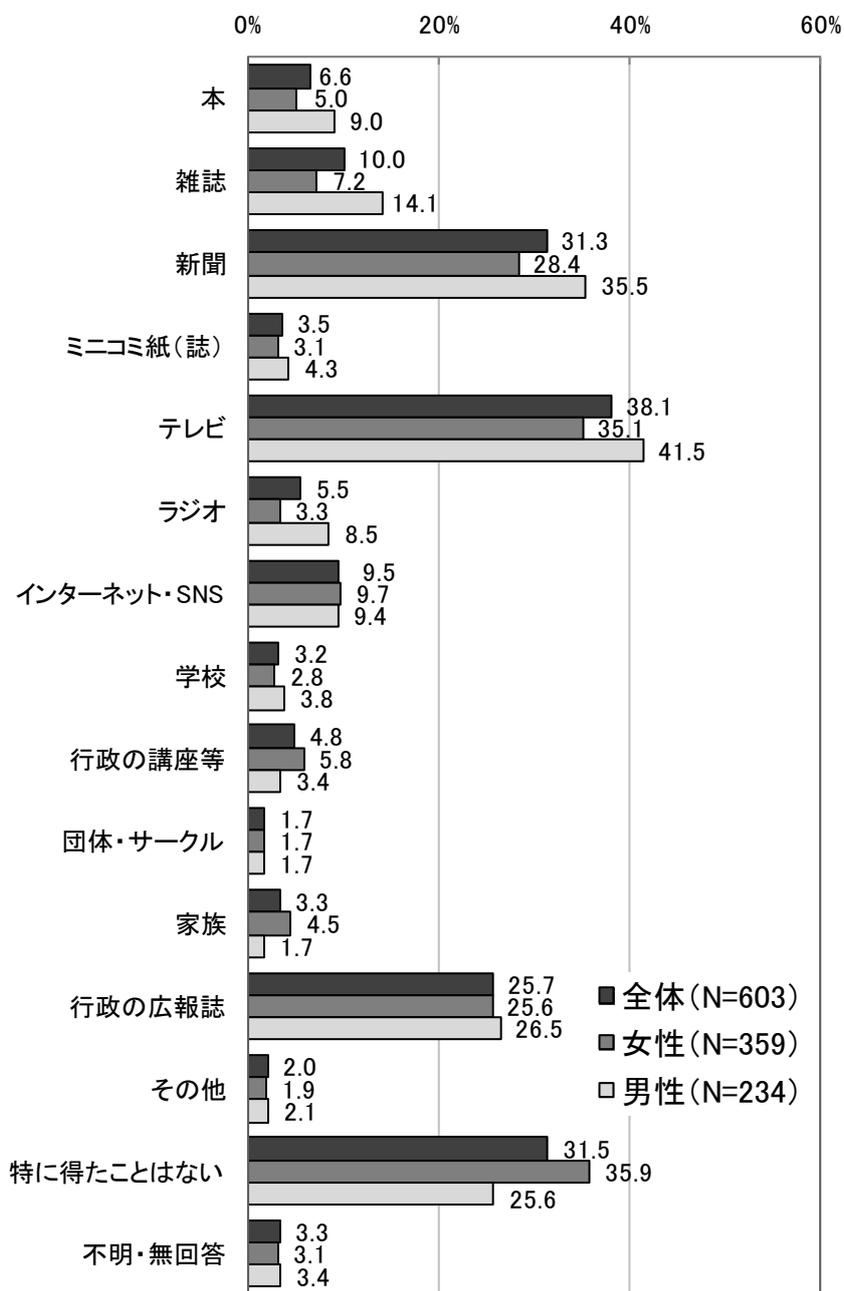
性別でみると、女性では『ある』が 18.1%、『ない』が 79.4%、男性では『ある』が 24.4%、『ない』が 73.1%となっています。



問 19 男女共同参画社会についての情報は何かから得ましたか。(複数回答)

情報源については、「テレビ」が38.1%と最も高く、次いで「新聞」が31.3%、「行政の広報誌」が25.7%となっています。また、情報を「特に得たことはない」が31.5%となっています。

性別で見ると、「インターネット・SNS」、「行政の講座等」、「家族」以外の情報源については、女性より男性の割合が高くなっています。



問 20 あなたは、男女共同参画社会の実現についてどのように思いますか。(単数回答)

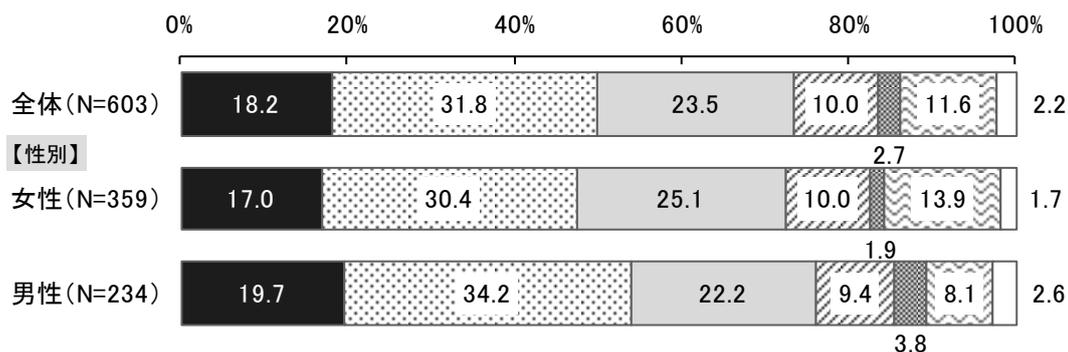
問 20 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『期待している』…「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合算

『期待していない』…「期待しない」と「どちらかといえば期待していない」を合算

男女共同参画社会の実現については、『期待している』が 50.0%、「どちらともいえない」が 23.5%、『期待していない』が 12.7%となっています。

性別で見ると、女性では男性より「どちらともいえない」が高く、男性では女性より『期待している』『期待していない』が高くなっています。

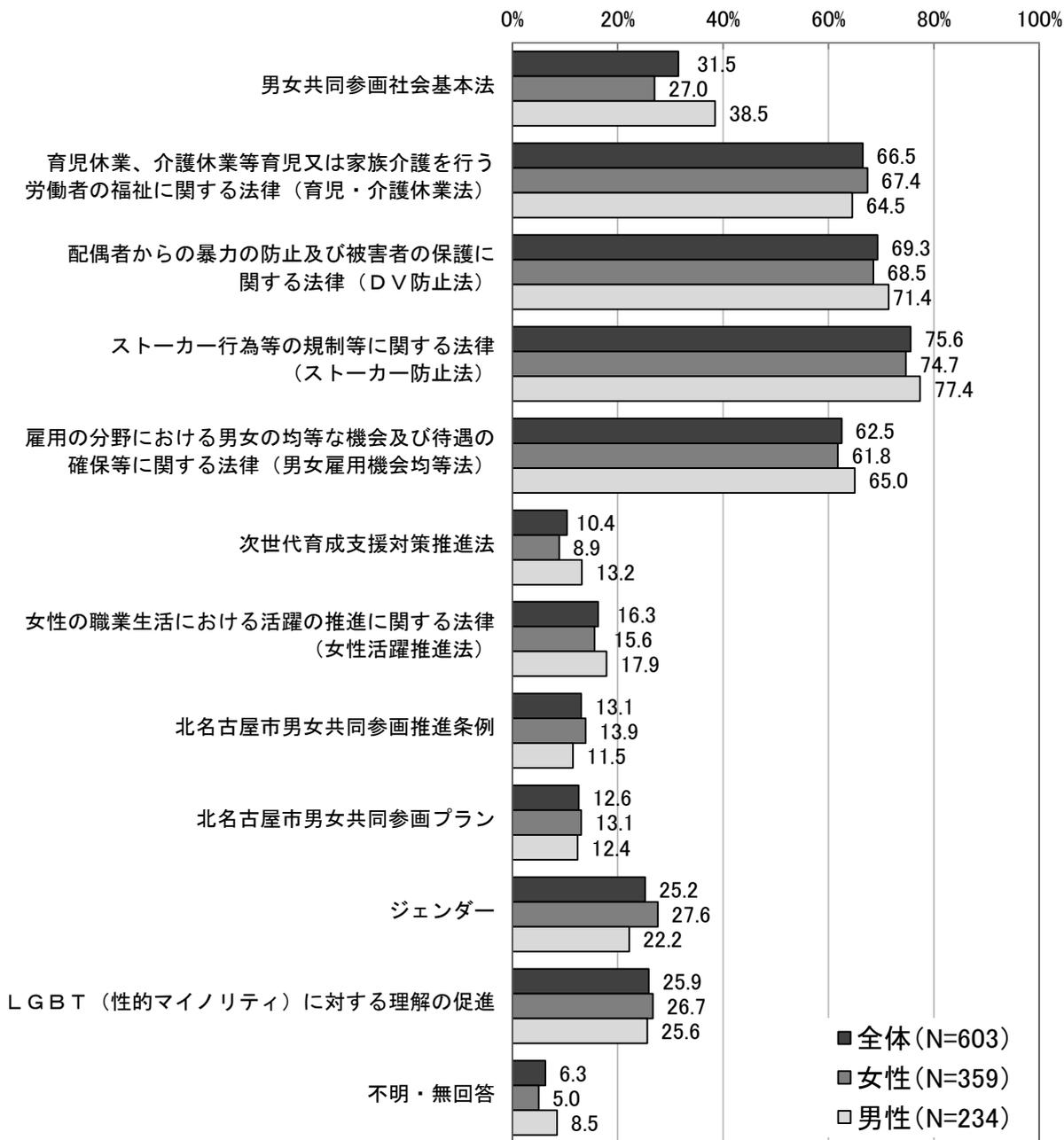


- 期待している
- どちらともいえない
- 期待しない
- 不明・無回答
- ▣ どちらかといえば期待している
- ▣ どちらかといえば期待していない
- ▣ わからない

問 21 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(複数回答)

見聞きしたことがある言葉は、「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー防止法）」が75.6%と最も高く、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」が69.3%となっています。

性別で見ると、男女ともに「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー防止法）」が最も高く、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」となっています。「男女共同参画社会基本法」については女性で27.0%、男性で38.5%と11.5ポイントの差異があります。

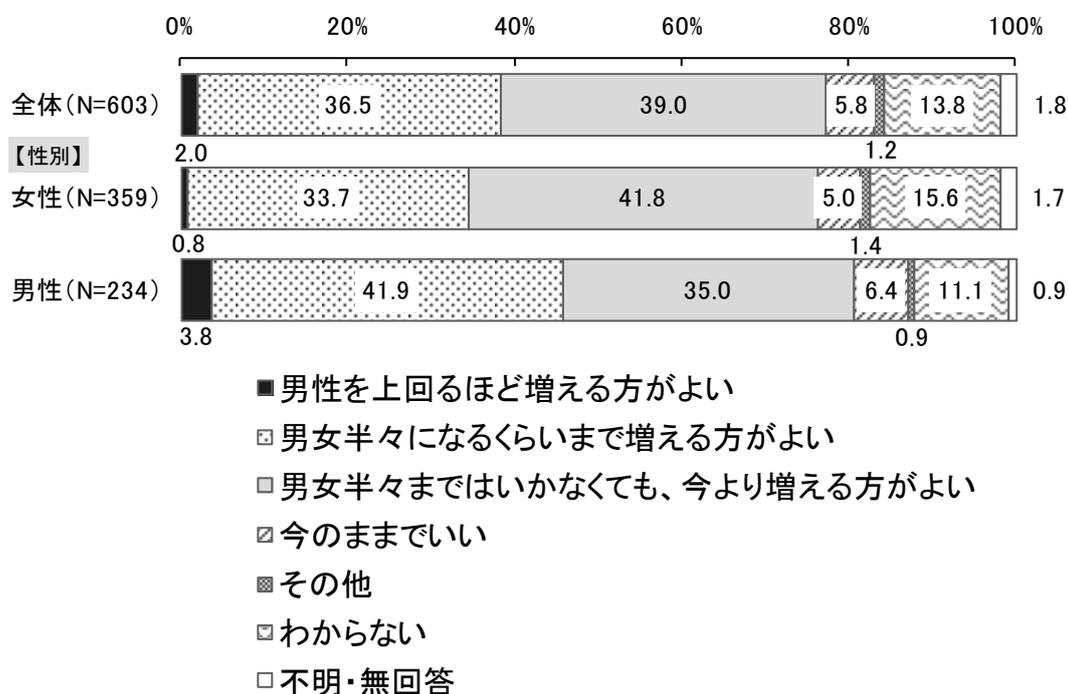


(8) 北名古屋市の男女共同参画の取組について

問 22 あなたは、審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについてどう思いますか。(単数回答)

政策・方針決定の場への女性参画については、「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が 39.0%と最も高く、次いで「男女半々になるくらいまで増える方がよい」が 36.5%となっています。

性別で見ると、「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が女性で 41.8%、男性で 35.0%と 6.8 ポイント差異があり、「男女半々になるくらいまで増える方がよい」が女性で 33.7%、男性で 41.9%と 8.2 ポイントの差異があります。



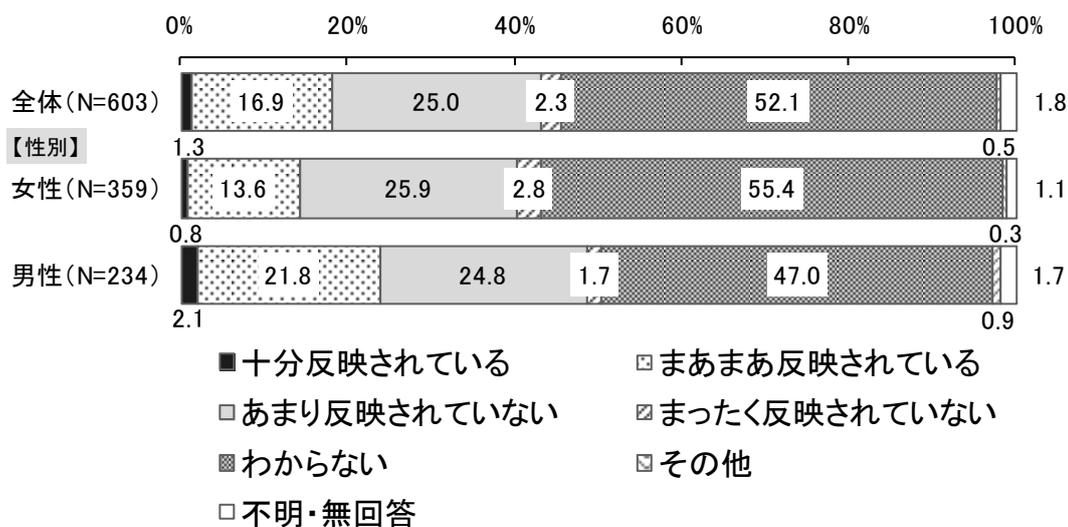
問 23 あなたは、市の政策に女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
(単数回答)

問 23 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

- 『反映されている』…「十分反映されている」と「まあまあ反映されている」を合算
- 『反映されていない』…「まったく反映されていない」と「あまり反映されていない」を合算

政策に対する女性の意見や考え方については、『反映されている』が 18.2%、『反映されていない』が 27.3%、「わからない」が 52.1%となっています。

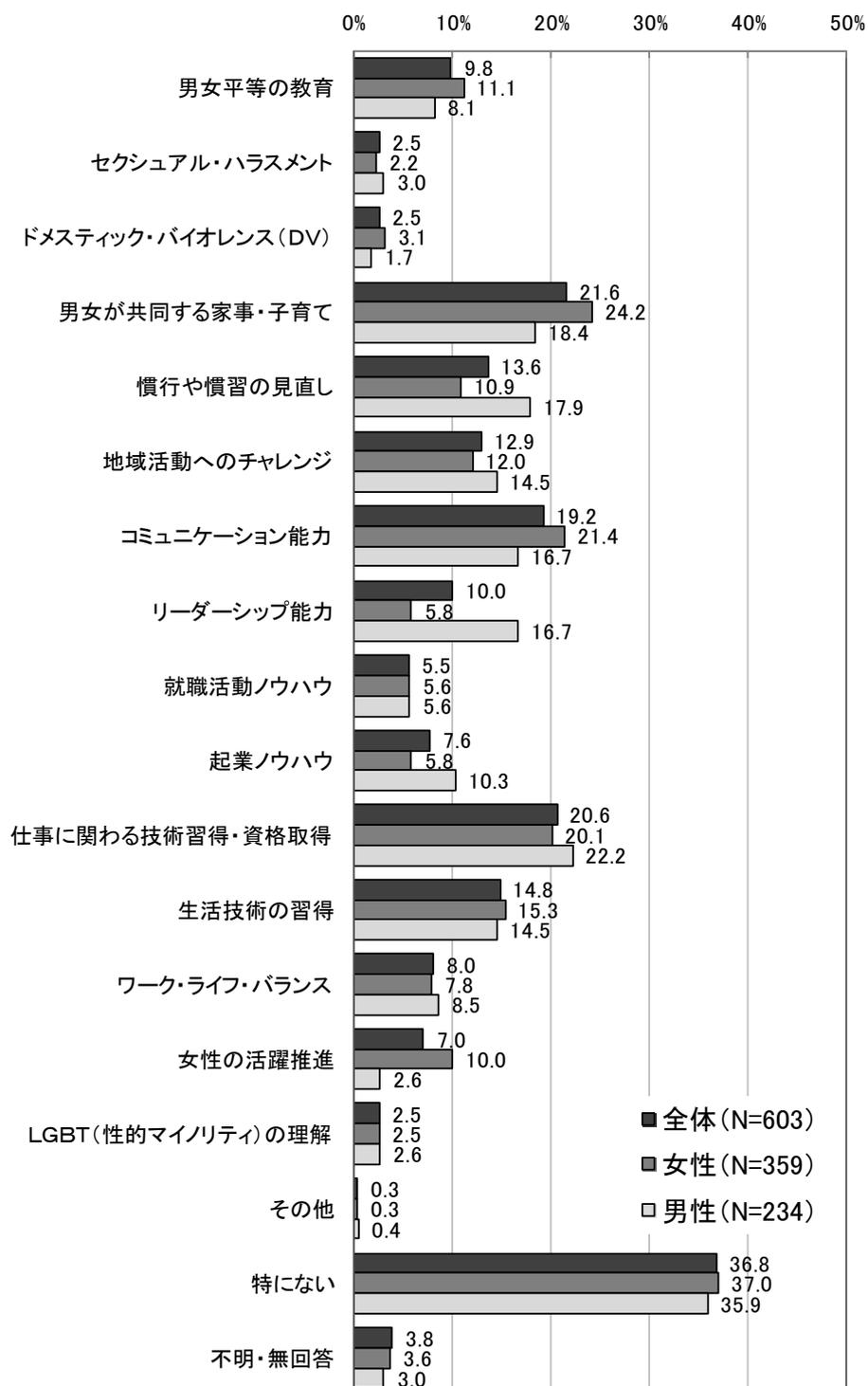
性別でみると、『反映されている』が女性で 14.4%、男性で 23.9%と 9.5 ポイントの差異があります。また、男女ともに「わからない」が約 50%となっています。



問 24 今後、あなたはどのようなテーマの講座・講演会等があれば参加したいですか。
(複数回答)

参加したい講座・講演会等のテーマについては、「男女が共同する家事・子育て」が21.6%と最も高く、次いで「仕事に関わる技術習得・資格取得」が20.6%、「コミュニケーション能力」が19.2%となっています。

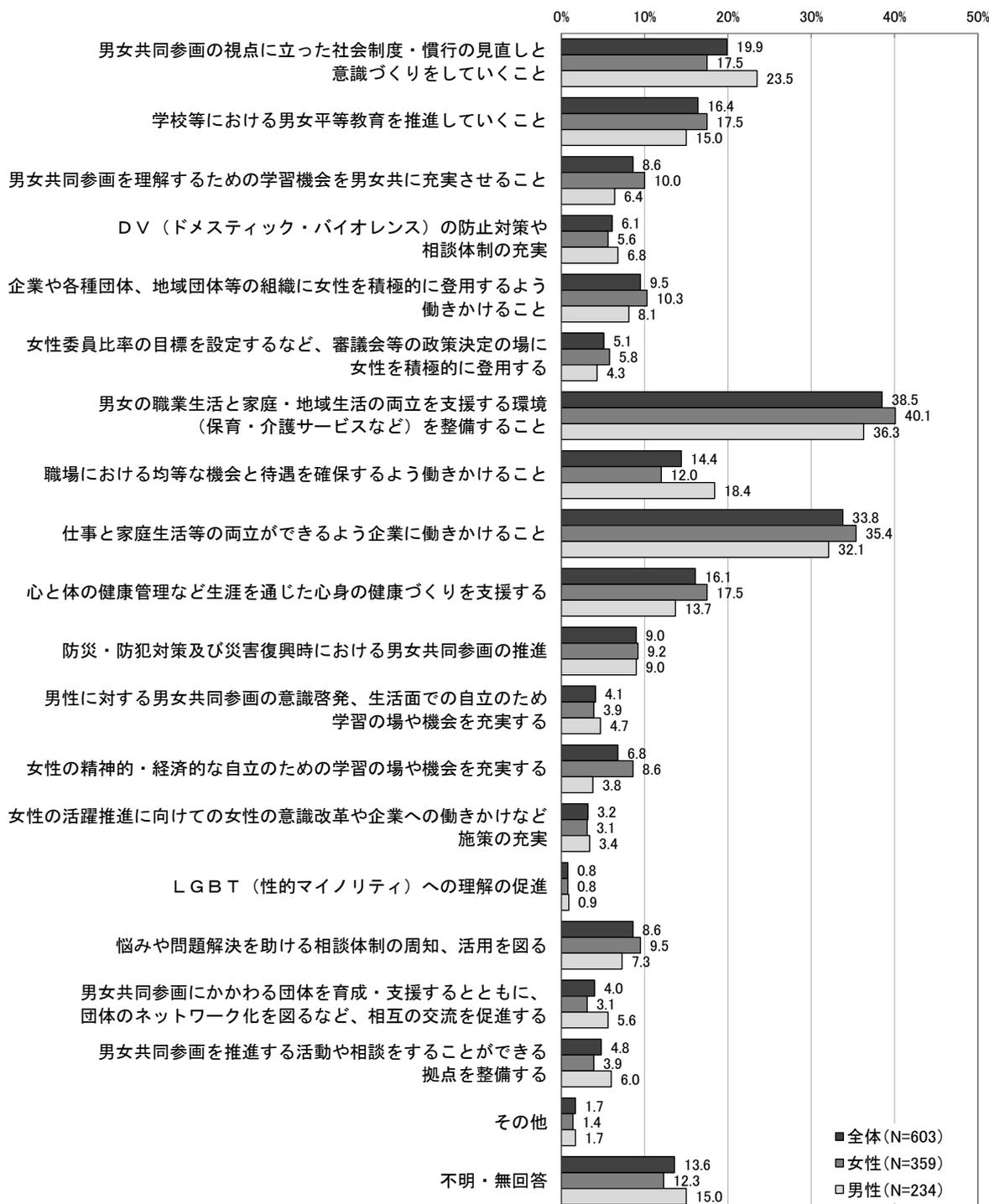
性別で見ると、女性では「男女が共同する家事・子育て」が24.2%と最も高く、次いで「コミュニケーション能力」が21.4%となっています。男性では「仕事に関わる技術習得・資格取得」が22.2%と最も高く、次いで「男女が共同する家事・子育て」が18.4%となっています。また、性別による差異が最も大きいテーマは「リーダーシップ能力」で、女性で5.8%、男性で16.7%と10.9ポイントの差異となっています。



問25 あなたは、今後、北名古屋市が男女共同参画のまちづくりとして重点的に取り組むべきこととは何だと思えますか。(複数回答)

市が重点的に取り組むべきことは、「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立を支援する環境（保育・介護サービスなど）を整備すること」が38.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活等の両立ができるよう企業に働きかけること」が33.8%となっています。

性別で見ると、上位3項目は一致していますが、「職場における均等な機会と待遇を確保するよう働きかけること」で6.4ポイント、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しと意識づくりをしていくこと」で6.0ポイントなど、性別により差異がみられる項目もあります。

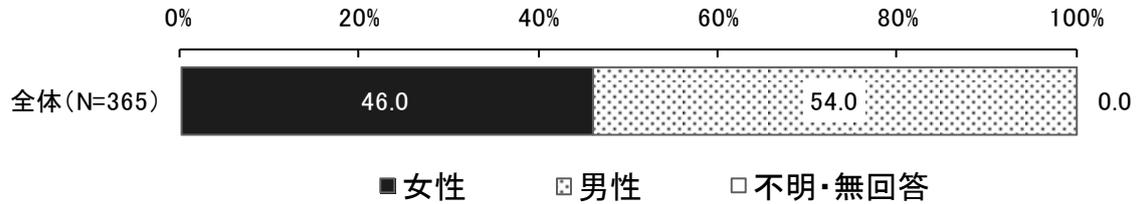


3 中学生調査結果

(1) 回答者の属性

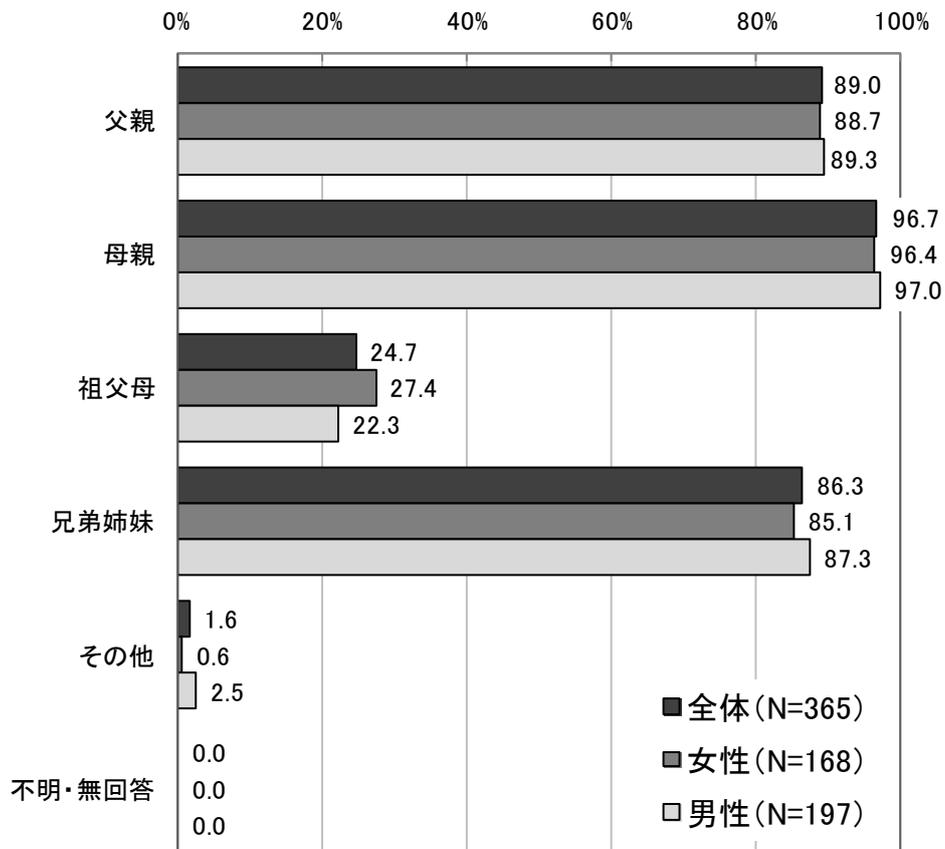
問A 性別（単数回答）

回答者の性別は、「女性」が46.0%、「男性」が54.0%となっています。



問B あなたと一緒に暮らしている家族は誰ですか。（複数回答）

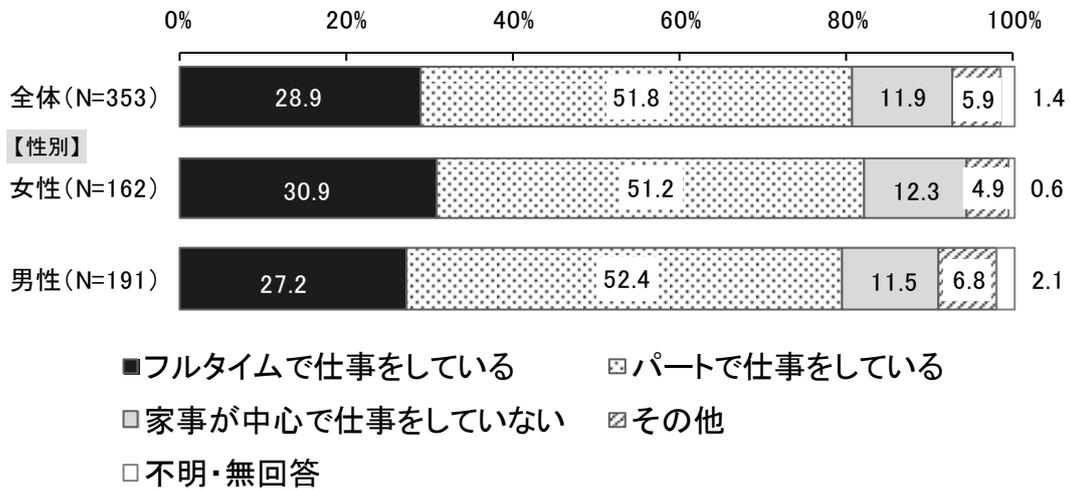
回答者の家族構成員は、「母親」の割合が96.7%と最も高く、次いで「父親」、「兄弟姉妹」となっています。



【問Bで、「母親」と回答した方のみ】

問C あなたのお母さんは仕事をしていますか。(単数回答)

回答者の母親の就業について、「パートで仕事をしている」が51.8%と最も高くなっています。次いで「フルタイムで仕事をしている」が28.9%となっています。



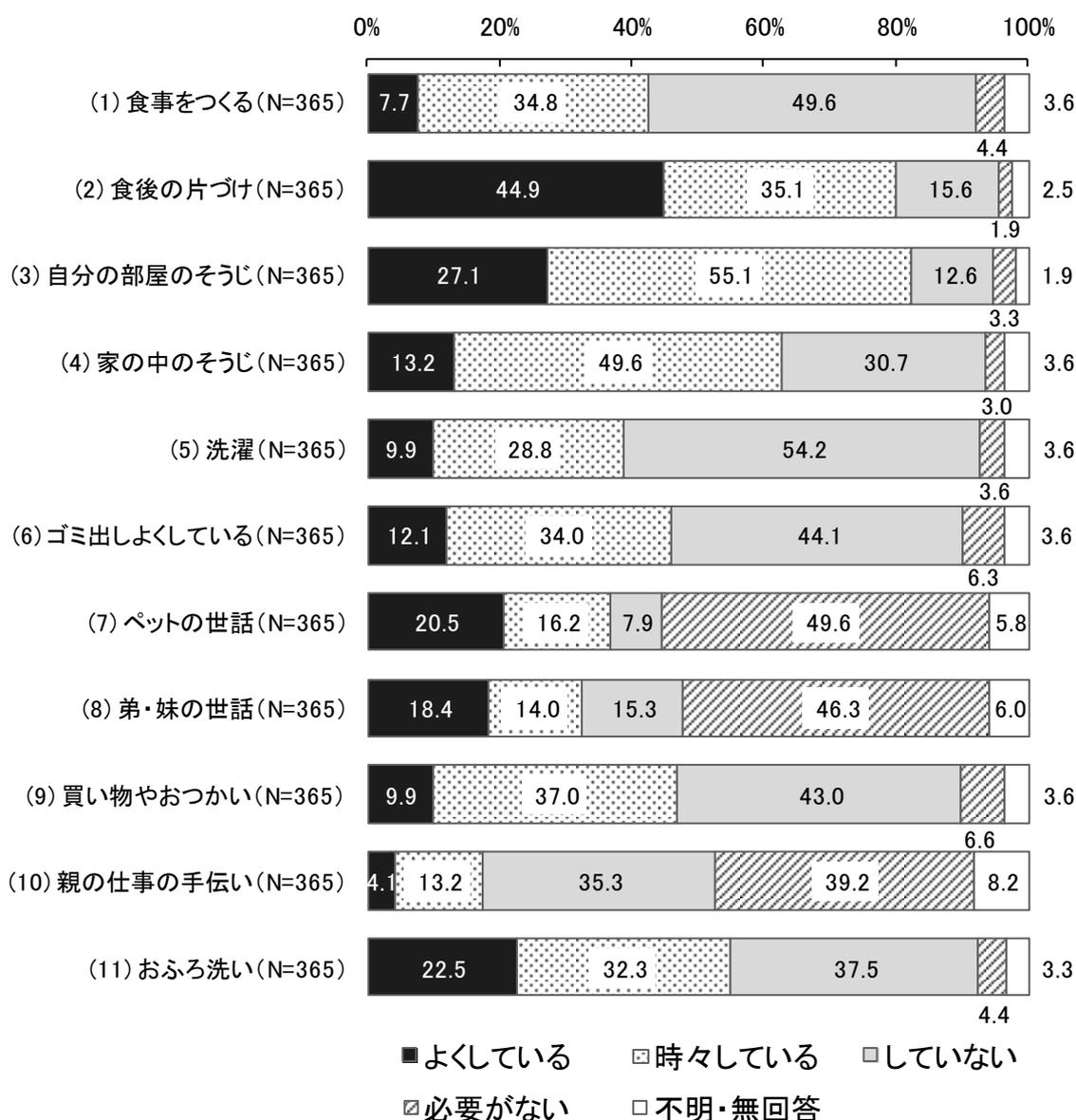
(2) 家庭や学校でのあなたの生活について

問1 あなたは、家の中でお手伝いをどれくらいしていますか。(単数回答)

問1の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

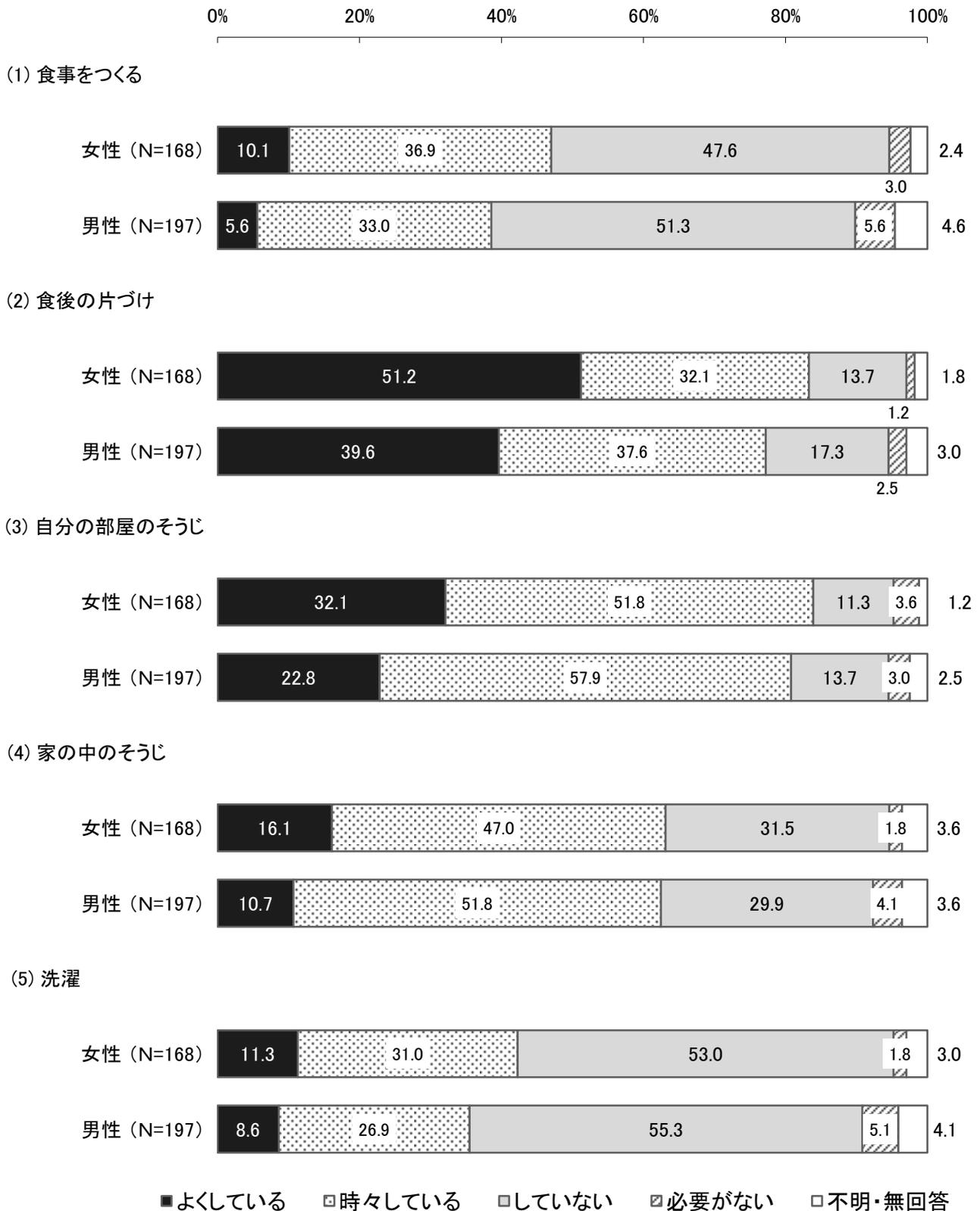
『している』…「よくしている」と「時々している」を合算

お手伝いの現状について、『している』の割合が最も高い項目は「(3) 自分の部屋のそうじ」で82.2%、次いで「(2) 食後の片づけ」で80.0%となっています。「よくしている」の割合が最も高い項目は「(2) 食後の片づけ」で44.9%となっています。また、「していない」の割合が最も高い項目は「(5) 洗濯」で54.2%となっています。



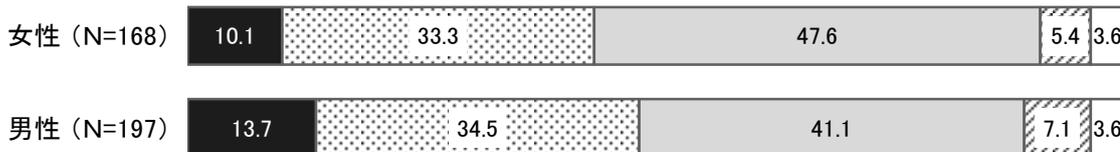
男女別比較

性別でみると、お手伝いの現状について「(6)ゴミ出し」、「(7)ペットの世話」「(11)おふろ洗い」以外の項目で女性は男性に比べて『している』の割合が高くなっています。

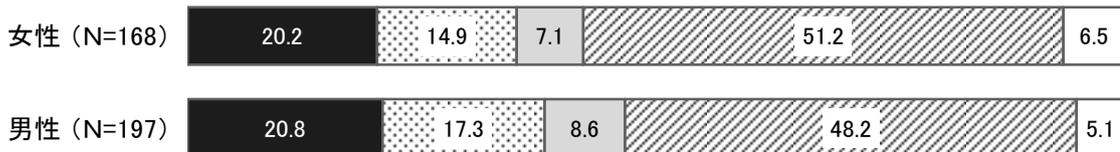


0% 20% 40% 60% 80% 100%

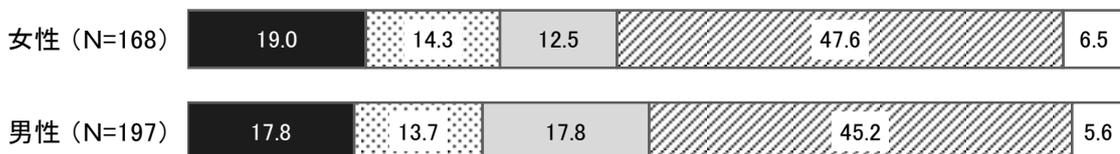
(6) ゴミ出し



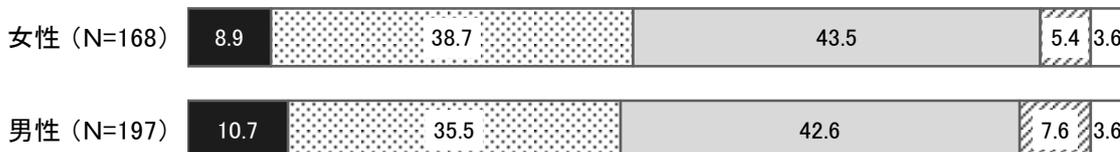
(7) ペットの世話



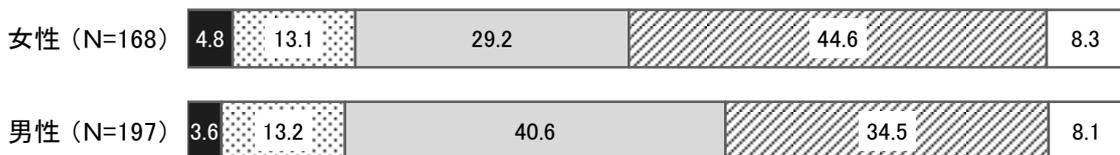
(8) 弟・妹の世話



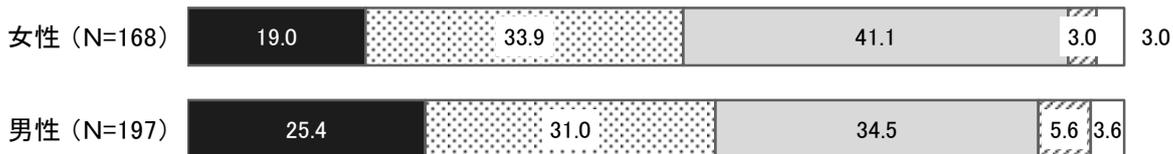
(9) 買い物やおつかい



(10) 親の仕事の手伝い



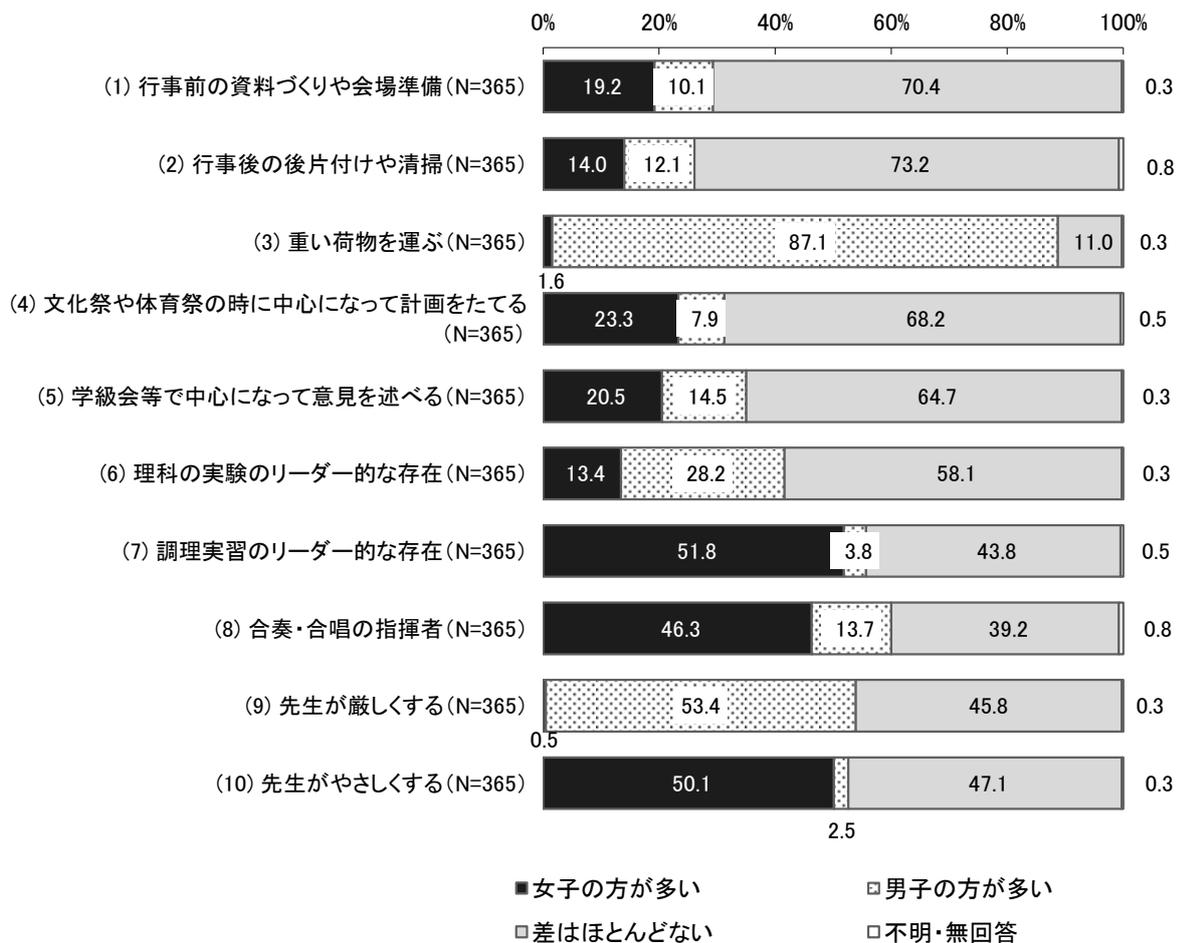
(11) お風呂洗い



■よくしている □時々している □していない □必要がない □不明・無回答

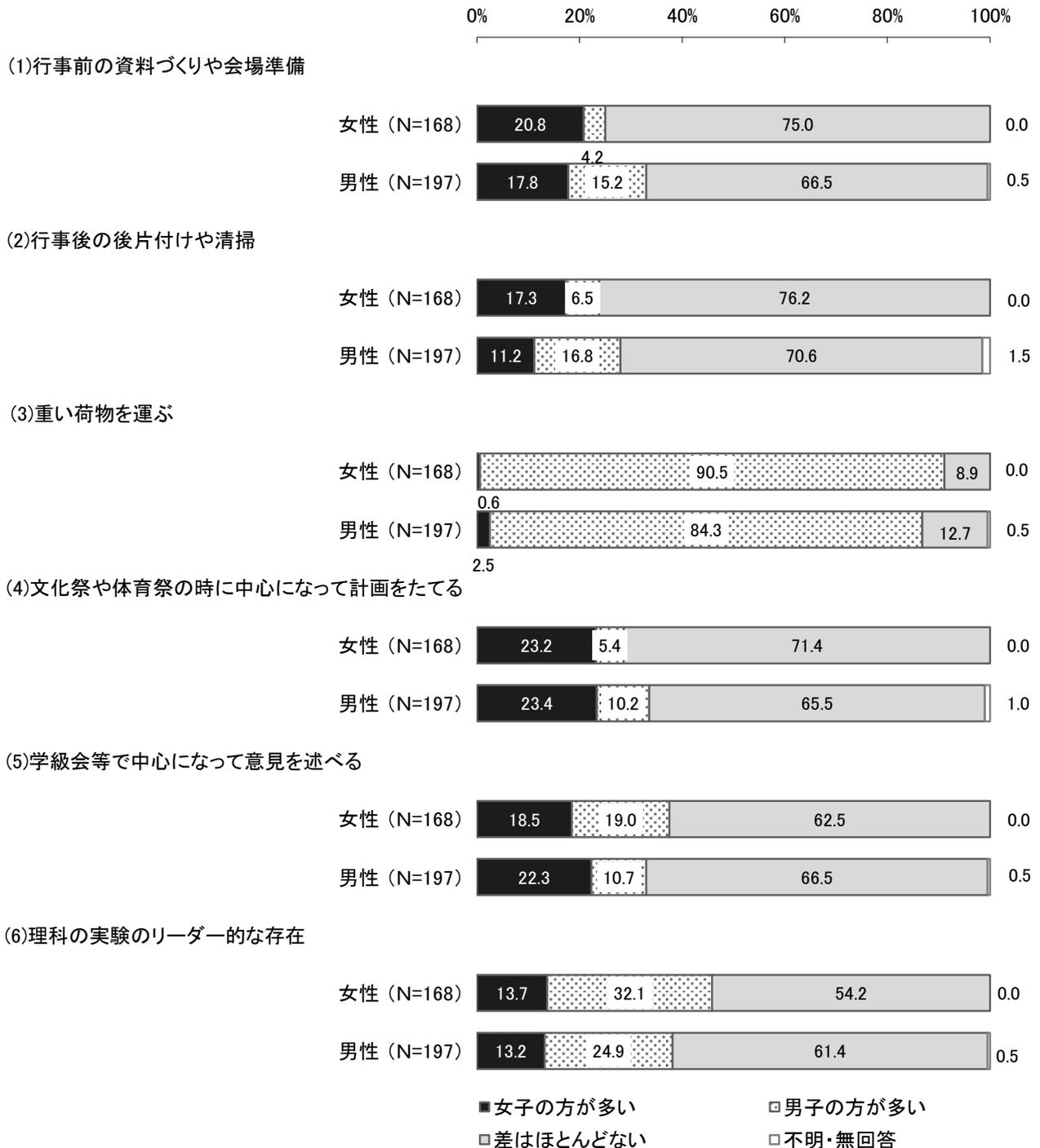
問2 あなたのクラスでまたは学校で、次のような時は女子と男子のどちらが多いとあなたは感じていますか。(単数回答)

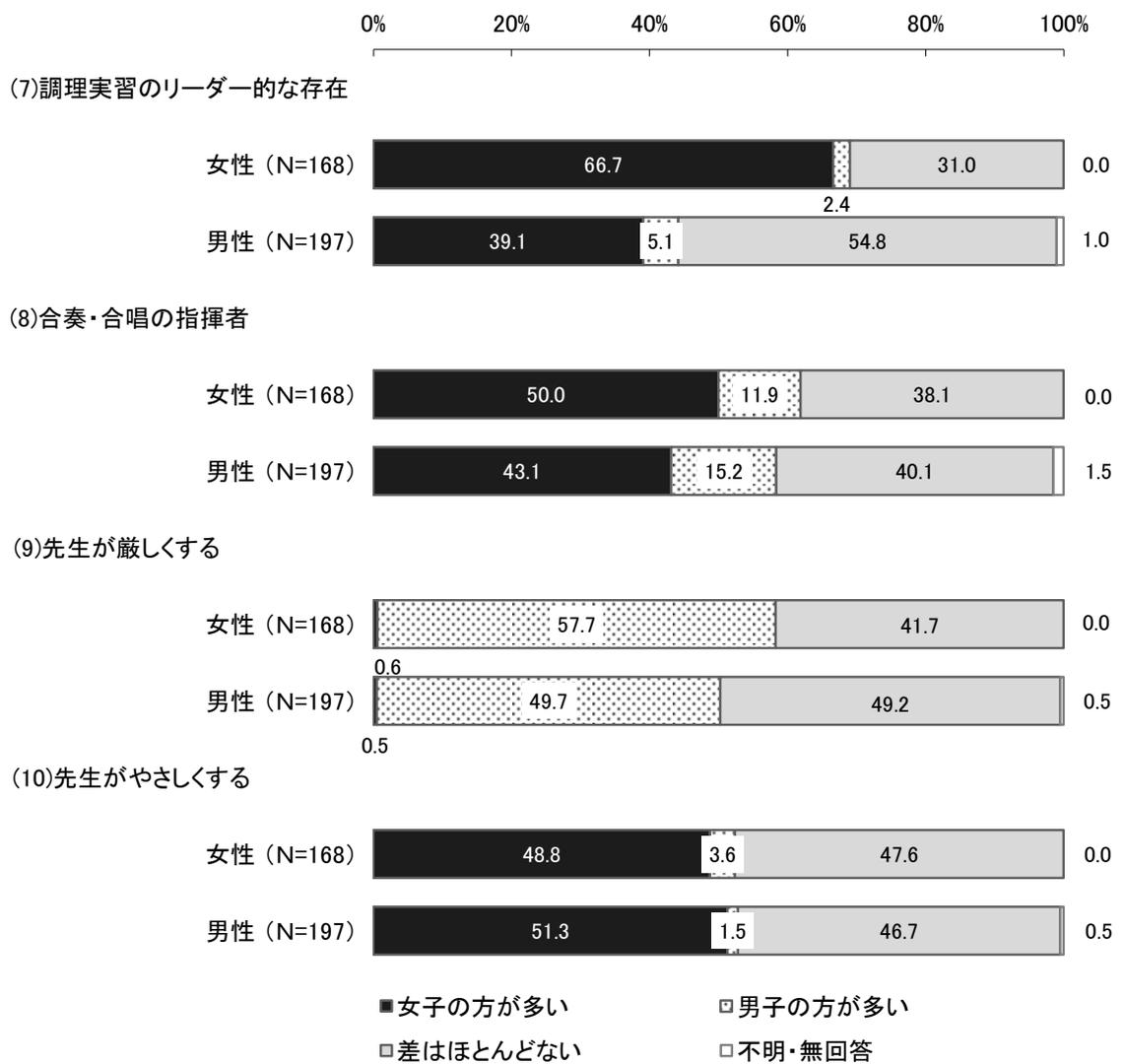
各項目での男女の分担等に対する意識ついて、「女子の方が多い」の割合が最も高い項目は「(7) 調理実習のリーダー的な存在」で51.8%となっており、次いで「(10) 先生がやさしくする」で50.1%となっています。一方で、「男子の方が多い」の割合が最も高い項目は「(3) 重い荷物を運ぶ」で87.1%となっており、次いで「(9) 先生が厳しくする」で53.4%となっています。



男女別比較

性別でみると、各項目での男女の分担等に対する意識について、「女子の方が多い」の割合が最も高い項目は女性で「(7) 調理実習のリーダー的な存在」が 66.7%となっており、男性で「(10) 先生が優しくする」が 51.3%となっています。「男子の方が多い」の割合が最も高い項目は男女ともに「(3) 重い荷物を運ぶ」となっています。

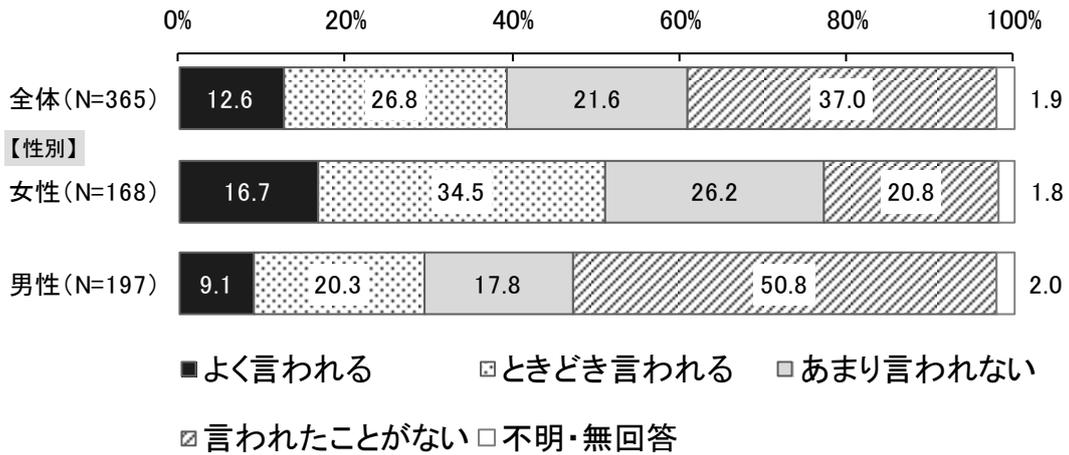




問3 あなたは、「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

各項目で性別によって行動を縛られる発言を受けた経験について、全体では「言われたことがない」の割合が37.0%と最も高くなっています。

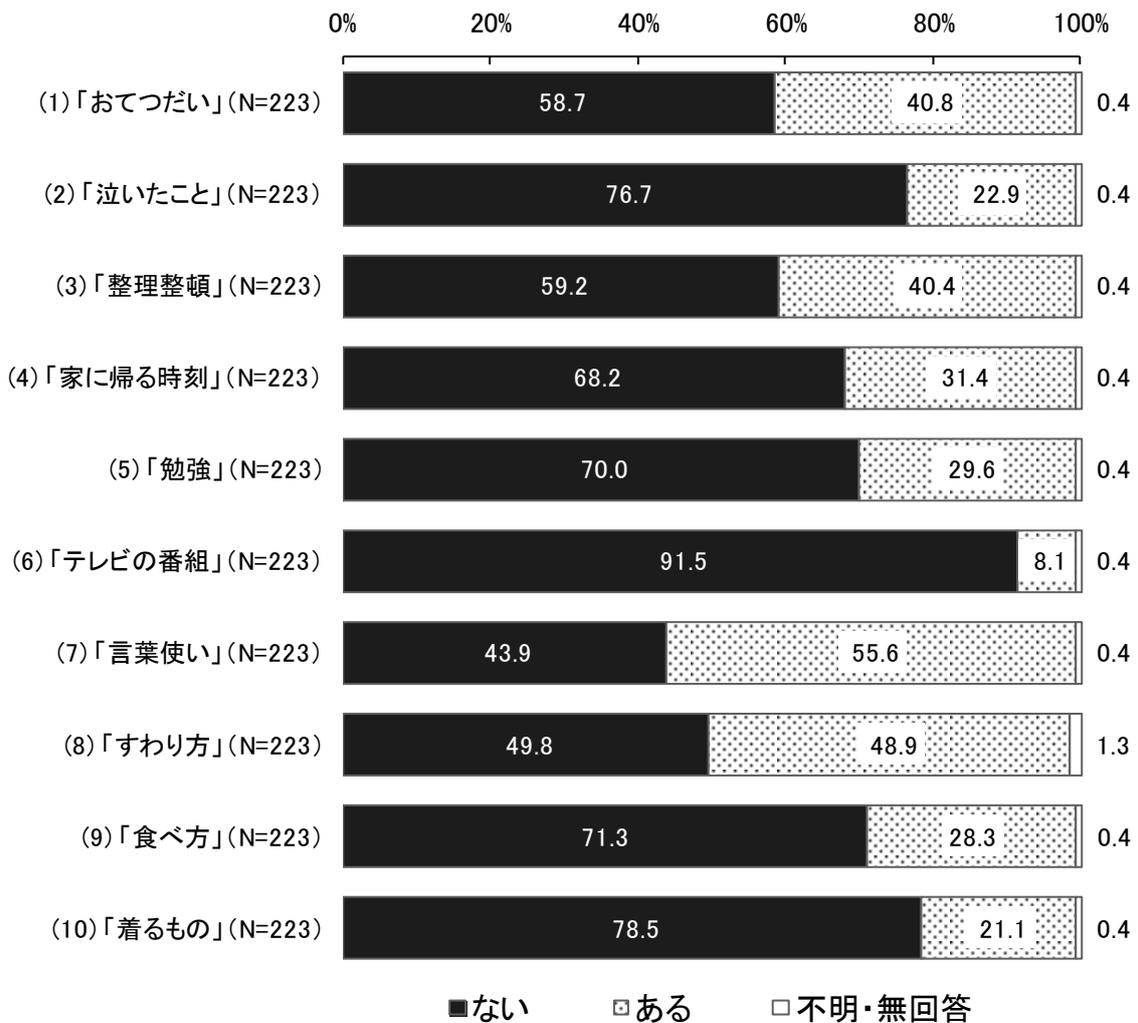
性別で見ると、女性は「ときどき言われる」の割合が34.5%と最も高くなっており、男性は「言われたことがない」の割合が50.8%と最も高くなっています。「言われたことがない」については、女性で20.8%、男性で50.8%と30.0ポイントの差異があります。



【問3で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われたい」と回答した方のみ】

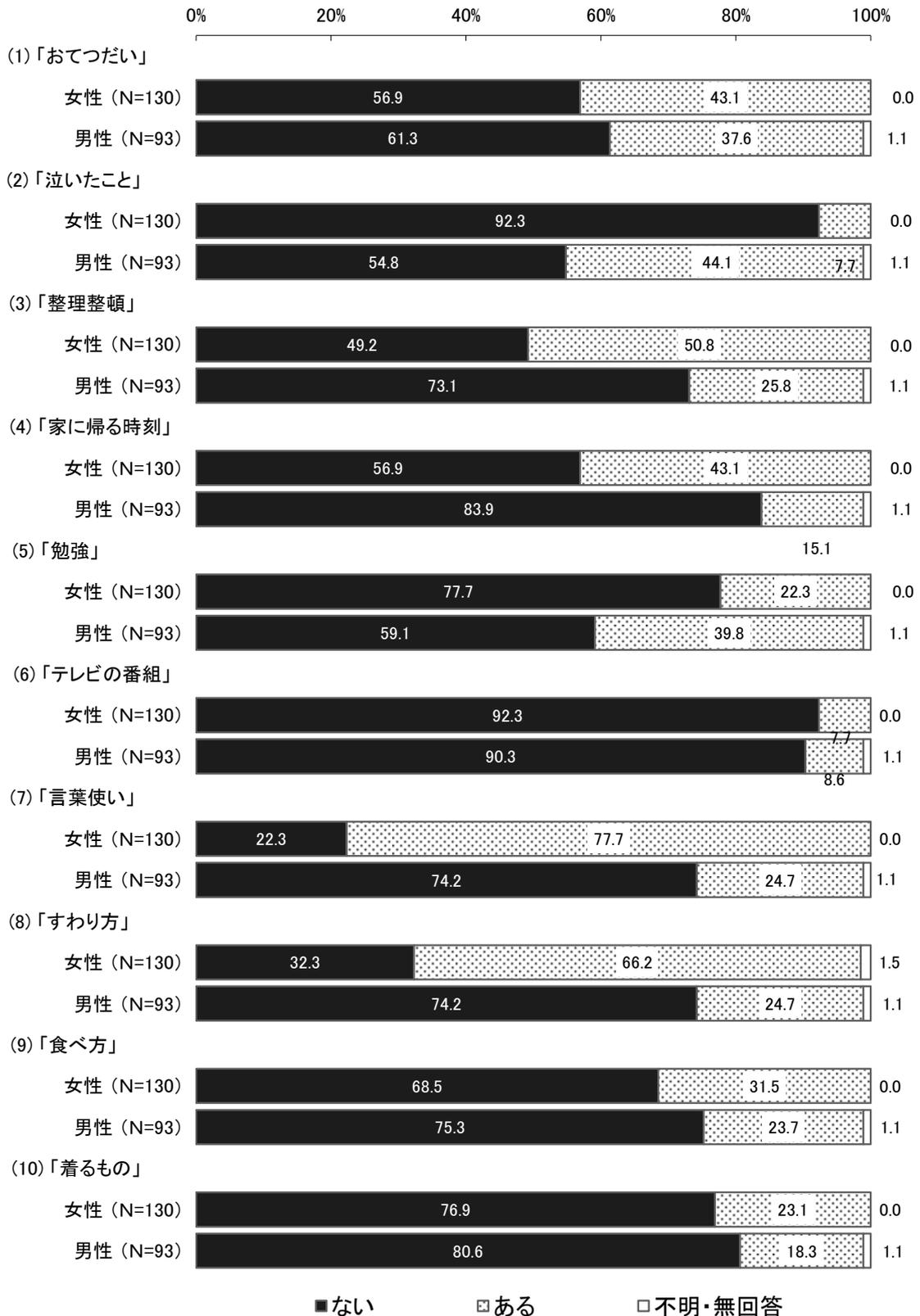
問4-1 次のことで、「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

性別により行動を縛られる発言を受けた経験について、「ある」の割合が最も高い項目は「(7) 言葉使い」で55.6%、次いで「(8) すわり方」で48.9%となっています。「ない」の割合が最も高い項目は「(6) テレビの番組」で91.5%となっています。



男女別比較

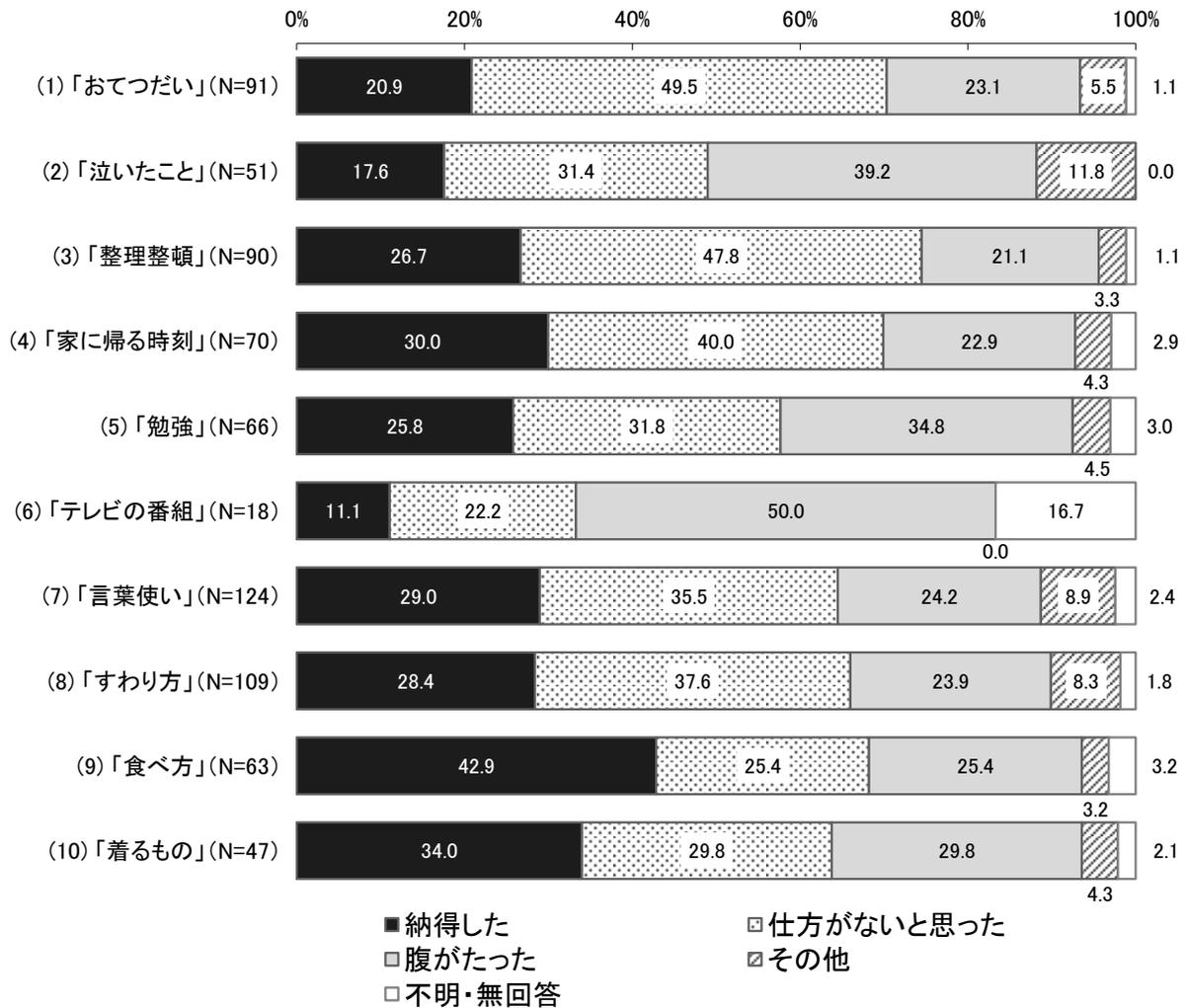
性別でみると、男女で行動を縛られる発言を受けた経験について、女性では「ある」の割合が最も高い項目は「(7) 言葉使い」で77.7%、次いで「(8) すわり方」で66.2%となっています。男性では「ある」の割合が最も高い項目は「(2) 泣いたこと」で44.1%、次いで「(5) 勉強」で39.8%となっています。



【問4-1で「ある」と回答した方のみ】

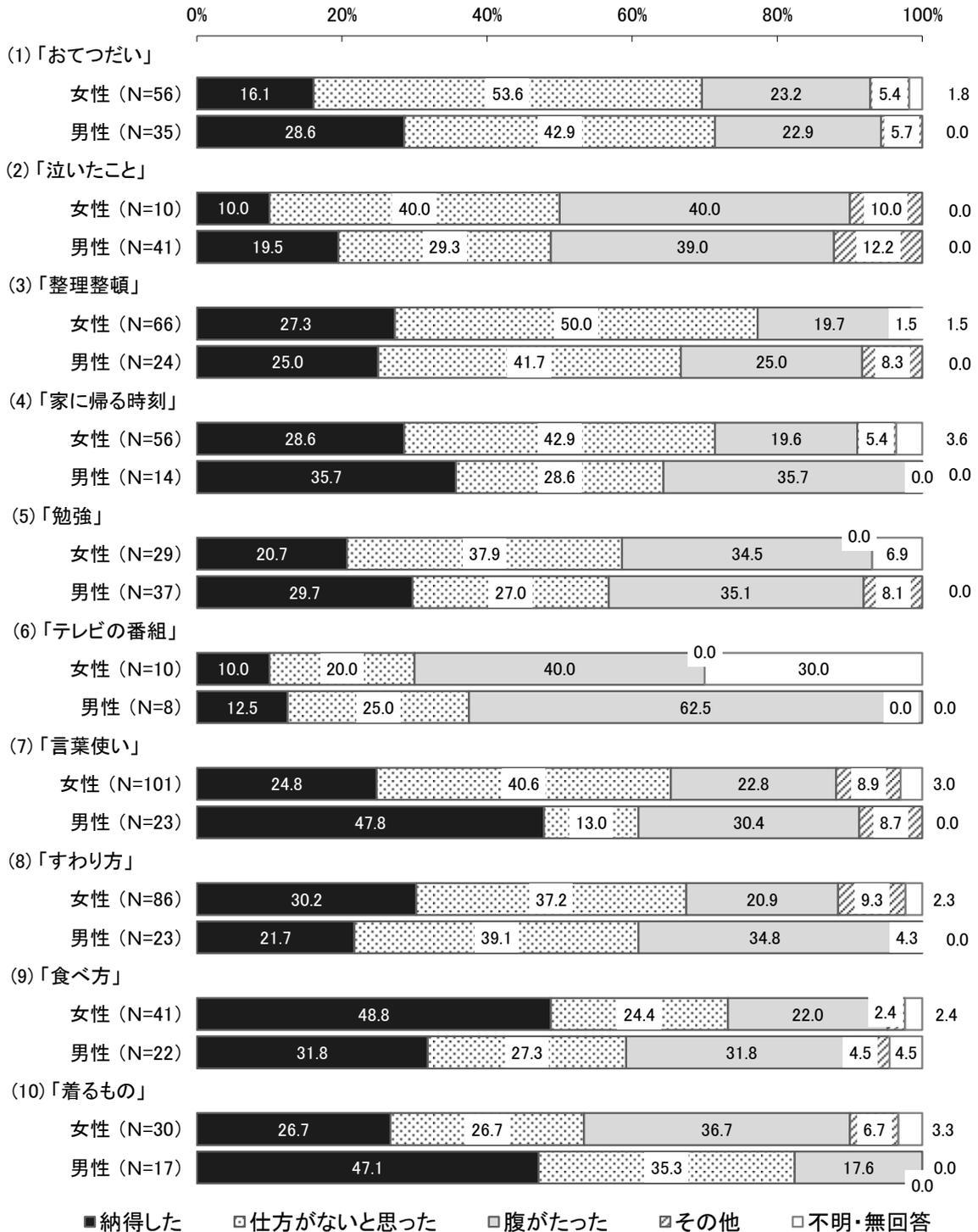
問4-2 次のことで、「女だから○○○しなさい」や「男だから○○○しなさい」と言われた時の気持ち（単数回答）

性別により行動を縛られる発言を受けた時の気持ちについて、「納得した」の割合が最も高い項目は「(9) 食べ方」で42.9%となっており、「仕方がないと思った」の割合が最も高い項目は「(1) おてつだい」で49.5%となっており、「腹がたった」の割合が最も高い項目は「(6) テレビ番組」で50.0%となっています。



男女別比較

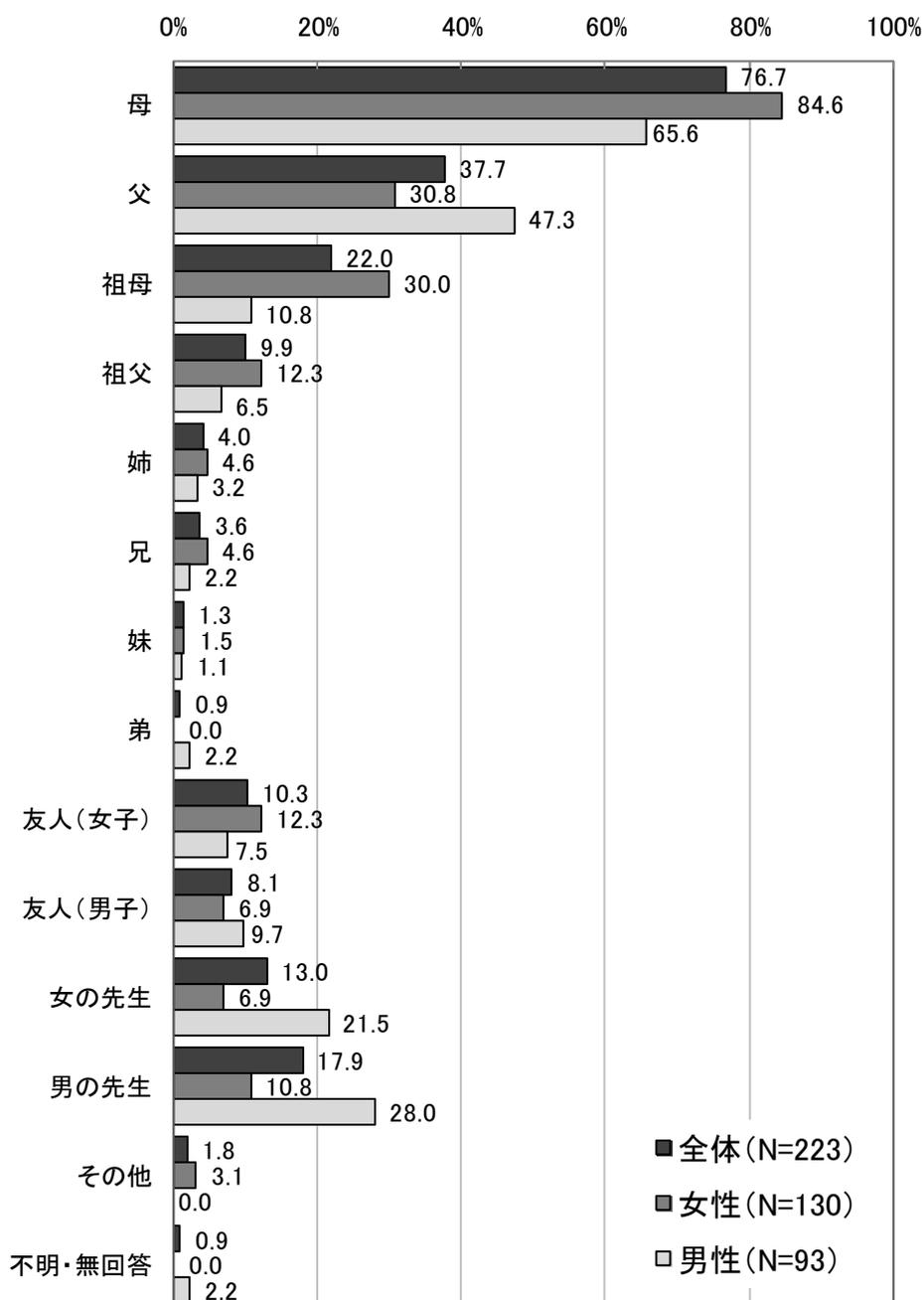
性別でみると、性別によって行動を縛られる発言を受けた時の気持ちについて、女性では「納得した」の割合が最も高い項目は「(9) 食べ方」で48.8%、「仕方がないと思った」の割合が最も高い項目は「(1) おてつだい」で53.6%、「腹がたった」の割合が最も高い項目は「(2) 泣いたこと」、「(6) テレビの番組」で40.0%となっています。男性では、「納得した」の割合が最も高い項目は「(7) 言葉使い」で47.8%、「仕方がないと思った」の割合が最も高い項目は「(1) おてつだい」で42.9%、「腹がたった」の割合が最も高い項目は「(6) テレビの番組」で62.5%となっています。



【問3で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われたい」と回答した方のみ】

問5 だれから言われることが多いですか。(複数回答)

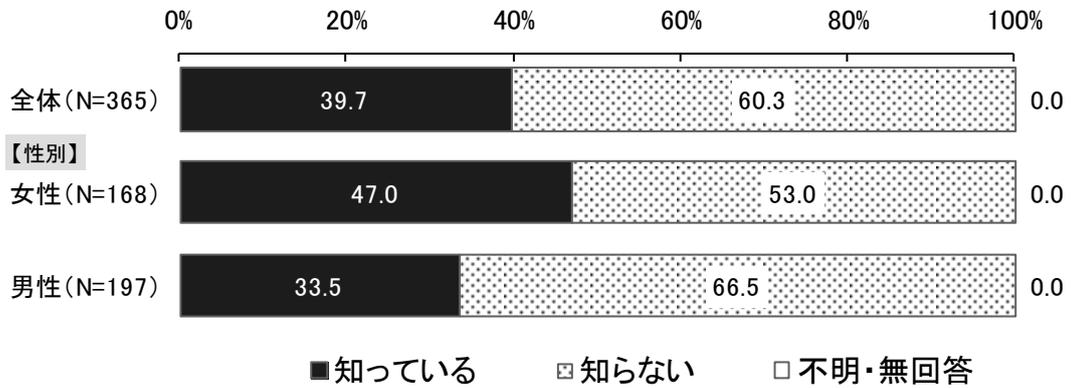
性別によって行動を縛る発言については、女性で 84.6%、男性で 65.6%と「母」から言われる割合が最も高く、次いで女性で 30.8%、男性で 47.3%と「父」から言われる割合が高くなっています。女性では「母」から言われる割合が男性よりも 19.0 ポイント高く、男性では「父」から言われる割合が女性よりも 16.5 ポイント高くなっています。



問6 あなたは、妊娠・出産に最も適した年齢は、20代、遅くとも35歳頃といわれているのを知っていますか。(単数回答)

妊娠・出産の適齢期は全体では「知っている」の割合が39.7%、「知らない」の割合が60.3%となっています。

性別で見ると、男性は女性に比べ「知らない」の割合が13.5ポイント高くなっています。

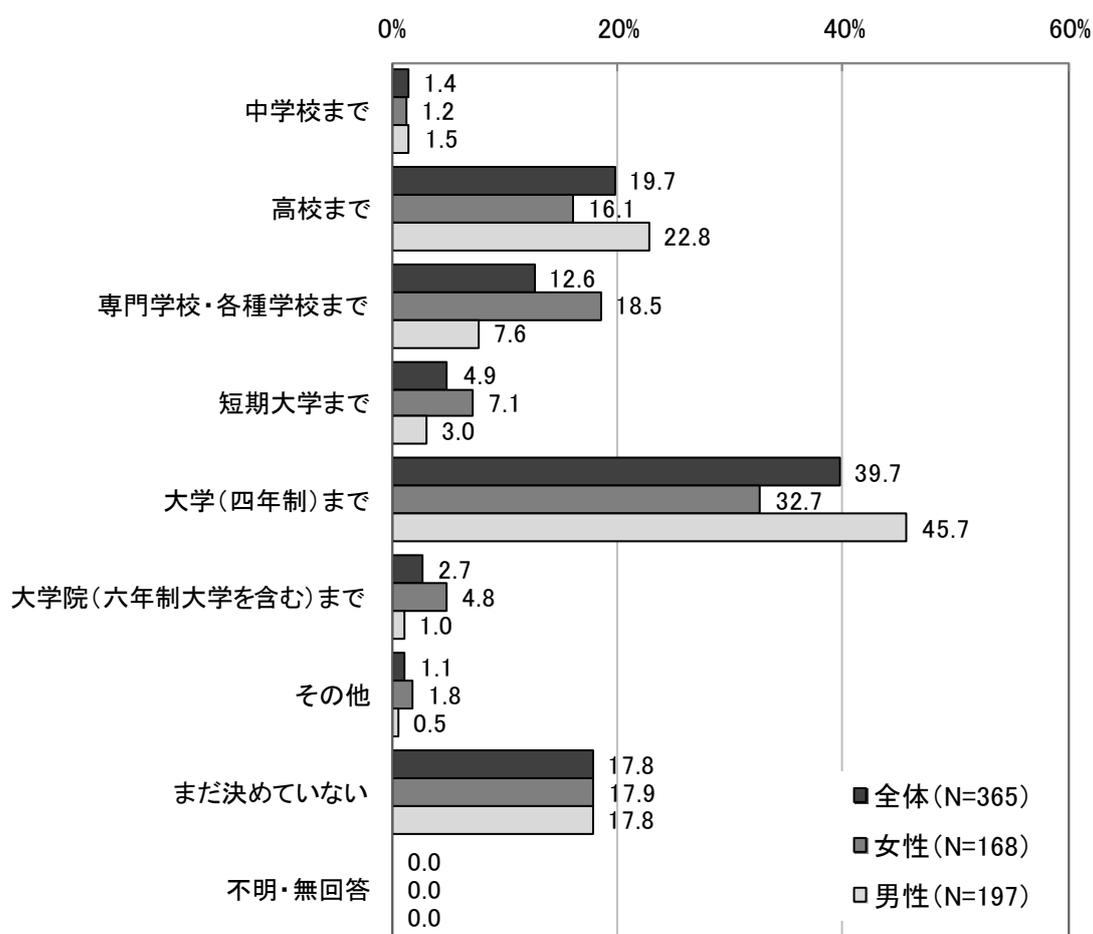


(3) 将来の進路について

問7 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。(単数回答)

学歴について、全体では「大学(四年制)まで」が39.7%と最も高く、次いで「高校まで」が19.7%となっています。

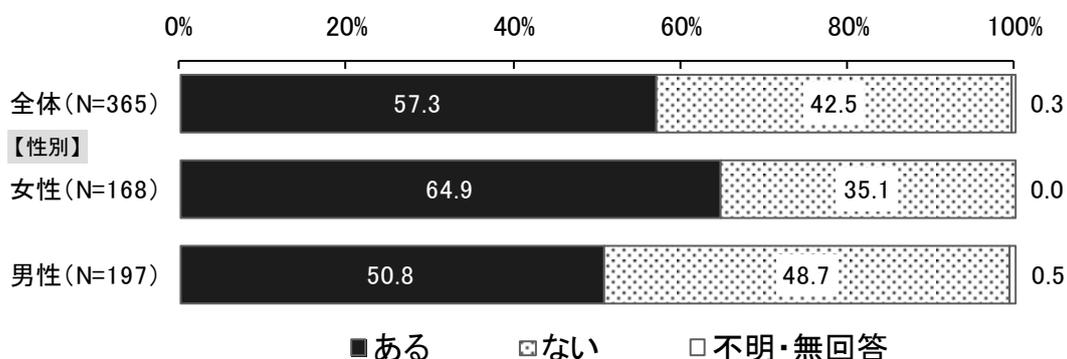
性別でみると、「大学(四年制)まで」では女性が32.7%、男性が45.7%と13.0ポイントの差異があり、「専門学校・各種学校まで」では女性が18.5%、男性が7.6%と10.9ポイントの差異があります。



問8 あなたには、将来なりたい職業はありますか（単数回答）

なりたい職業について、全体では「ある」の割合が57.3%となっています。

性別でみると、女性は「ある」の割合が64.9%と、男性の50.8%よりも高くなっています。



女性		人数(%)	男性		人数(%)
1	保育士	19 (17.6%)	1	スポーツ関係	17 (17.3%)
2	服飾関係	12 (11.1%)	2	保育士	6 (6.1%)
3	医療関係	7 (6.5%)	3	医療関係	5 (5.1%)
4	動物関係	7 (6.5%)	4	先生	5 (5.1%)
5	美容師	6 (5.6%)	5	車関係	5 (5.1%)
6	漫画家・イラストレーター	5 (4.6%)	6	鉄道関係	5 (5.1%)
7	パティシエ	4 (3.7%)	7	飲食業	5 (5.1%)
8	先生	3 (2.8%)	8	漫画家・イラストレーター	3 (3.1%)
9	音楽関係	3 (2.8%)	9	建築士	3 (3.1%)
10	飲食業	2 (1.9%)	10	大工	3 (3.1%)
11	小説家	2 (1.9%)	11	ユーチューバー	3 (3.1%)
12	プロゴルファー	1 (0.9%)	12	工業	3 (3.1%)
13	花屋	1 (0.9%)	13	警察官	2 (2.0%)
14	公務員	1 (0.9%)	14	ゲーム関係	2 (2.0%)
15	天文学者	1 (0.9%)	15	農家	2 (2.0%)
16	人を助ける仕事	1 (0.9%)	16	エンジニア	2 (2.0%)
17	本屋の店員	1 (0.9%)	17	市役所の職員	2 (2.0%)
18	キャビンアテンダント	1 (0.9%)	18	ビートボクサー	1 (1.0%)
19	カウンセリングの弁護士	1 (0.9%)	19	アパレル業	1 (1.0%)
20	ウェディングプランナー	1 (0.9%)	20	ペットショップ	1 (1.0%)
21	外交官	1 (0.9%)	21	鍛冶屋	1 (1.0%)
22	車の整備士	1 (0.9%)	22	ドライバー	1 (1.0%)
23	警察官	1 (0.9%)	23	介護士	1 (1.0%)
24	デザイン科	1 (0.9%)	24	運送業	1 (1.0%)
25	百貨店の店員さん	1 (0.9%)	25	ロボットクリエイター	1 (1.0%)

女性		人数(%)	男性		人数(%)
26	ユーチューバー	1 (0.9%)	26	司書	1 (1.0%)
27	建築家	1 (0.9%)	27	ボートレーサー	1 (1.0%)
28	保険会社	1 (0.9%)	28	消防士	1 (1.0%)
29	声優	1 (0.9%)	29	福祉、ボランティア系	1 (1.0%)
30	芸能人	1 (0.9%)	30	接客業	1 (1.0%)
31	その他	4 (3.7%)	31	自営業	1 (1.0%)
			32	水族館の飼育スタッフ	1 (1.0%)
			33	漁師	1 (1.0%)
	回答者数	108 (100%)		回答者数	98 (100%)

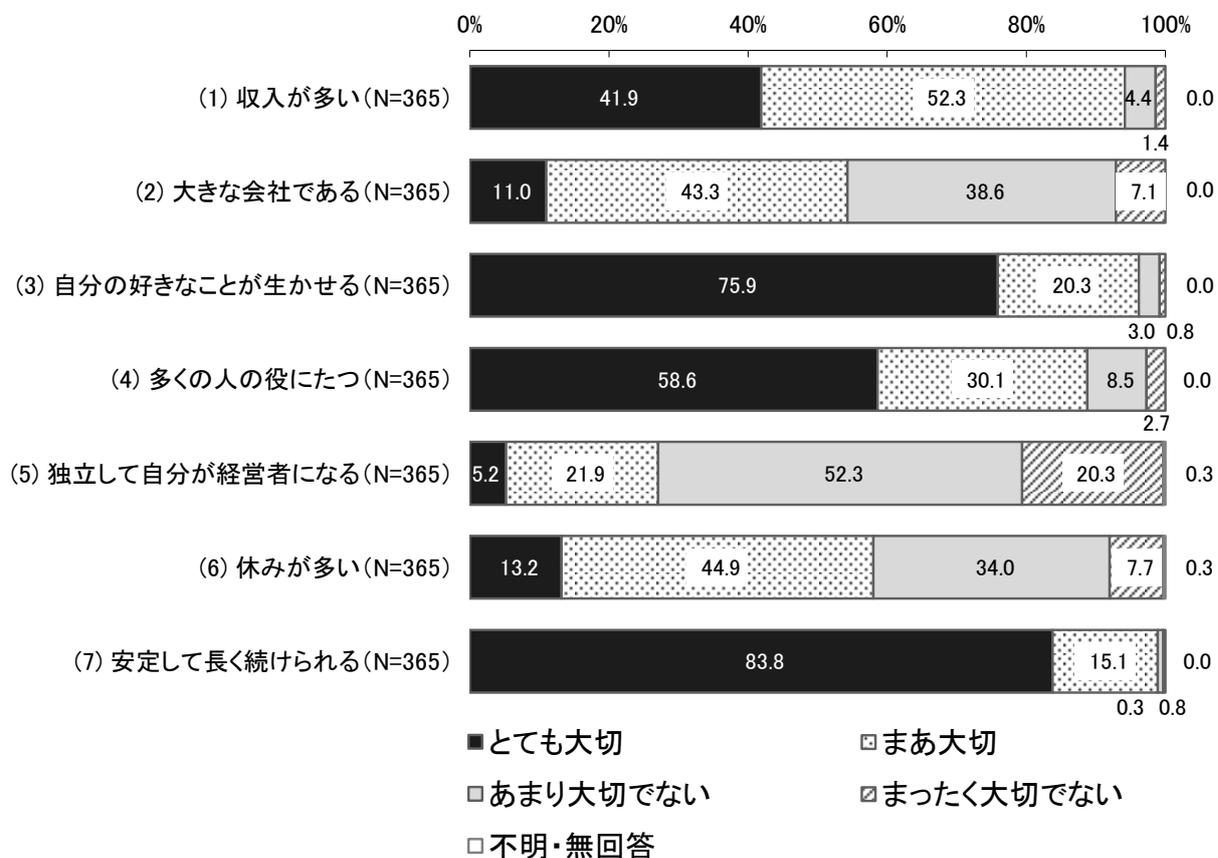
問9 職業を選ぶとしたら、あなたは次のようなことをどれくらい大切に考えますか。(単数回答)

問9の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『大切』…「とても大切」と「まあ大切」を合算

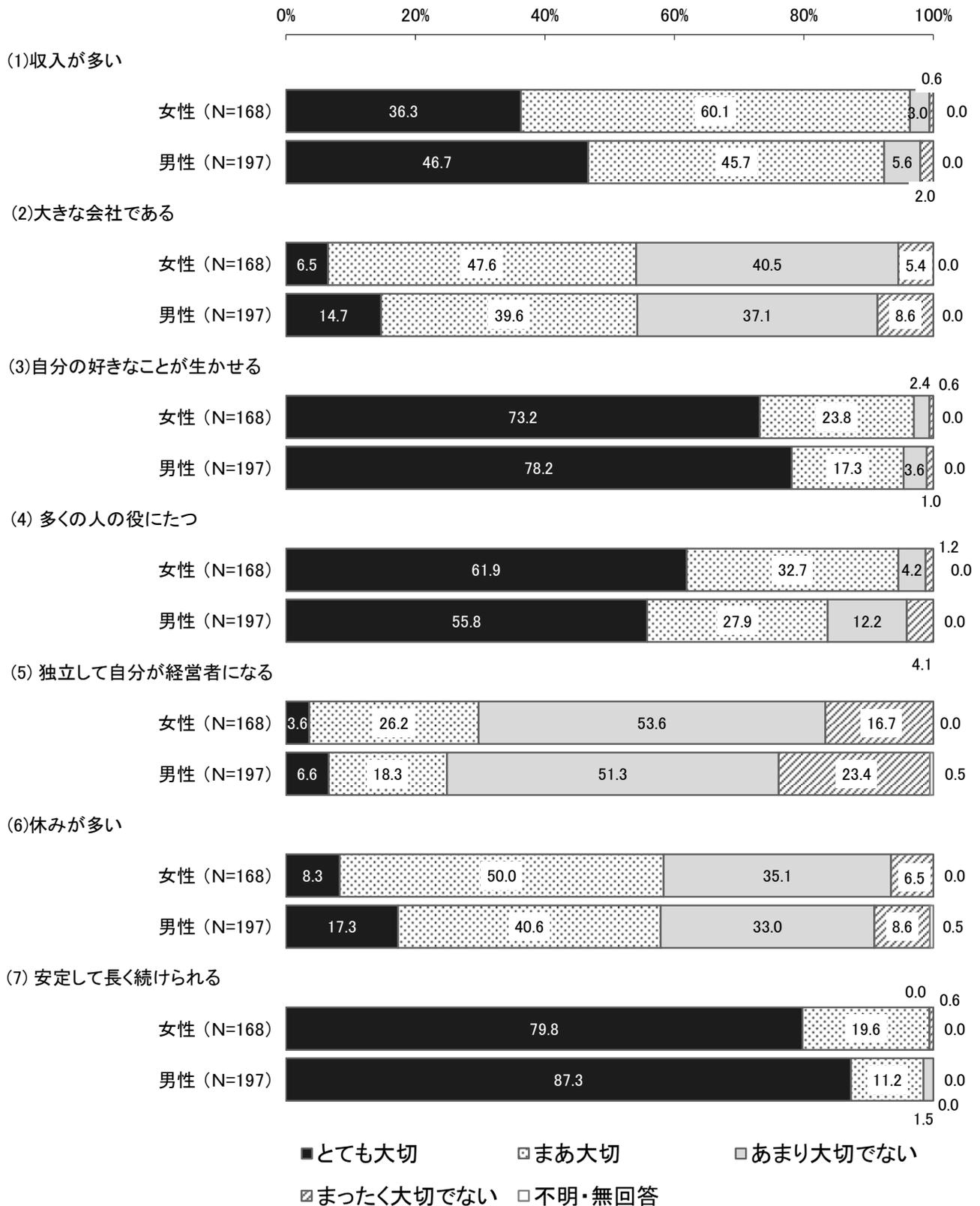
『大切でない』…「まったく大切でない」と「あまり大切でない」を合算

職業を選択する上で『大切』と考える割合が最も高い項目は「(7) 安定して長く続けられる」で98.9%、次いで「(3) 自分の好きなことが生かせる」で96.2%となっています。『大切でない』と考える割合が最も高い項目は「(5) 独立して自分が経営者になる」で72.6%となっています。



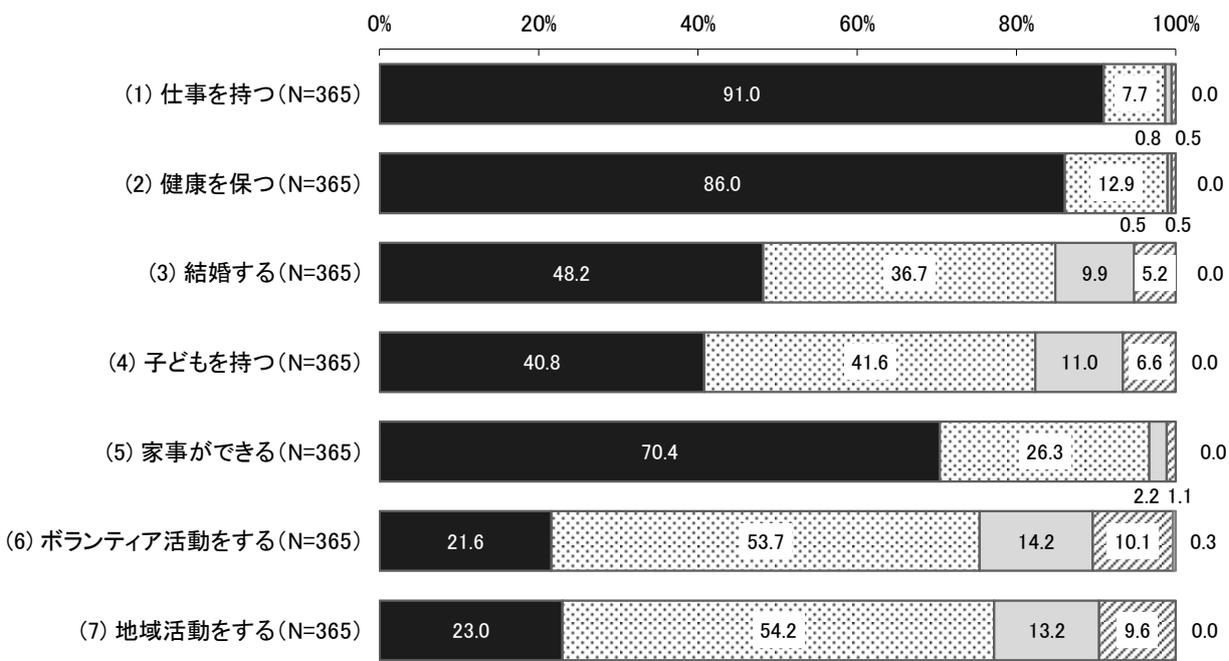
男女別比較

性別でみると、職業を選択する上で、男女ともに『大切』と考える割合が最も高い項目は「(7) 安定して長く続けられる」となっています。また、『大切』と考える項目として、「(4) 多くの人の役に立つ」が女性で94.6%、男性で83.7%と10.9ポイントの差異があります。それ以外の項目では、性別により5ポイント以上の差異はありません。



問 10 将来、あなたが希望する生活をするために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。
(単数回答)

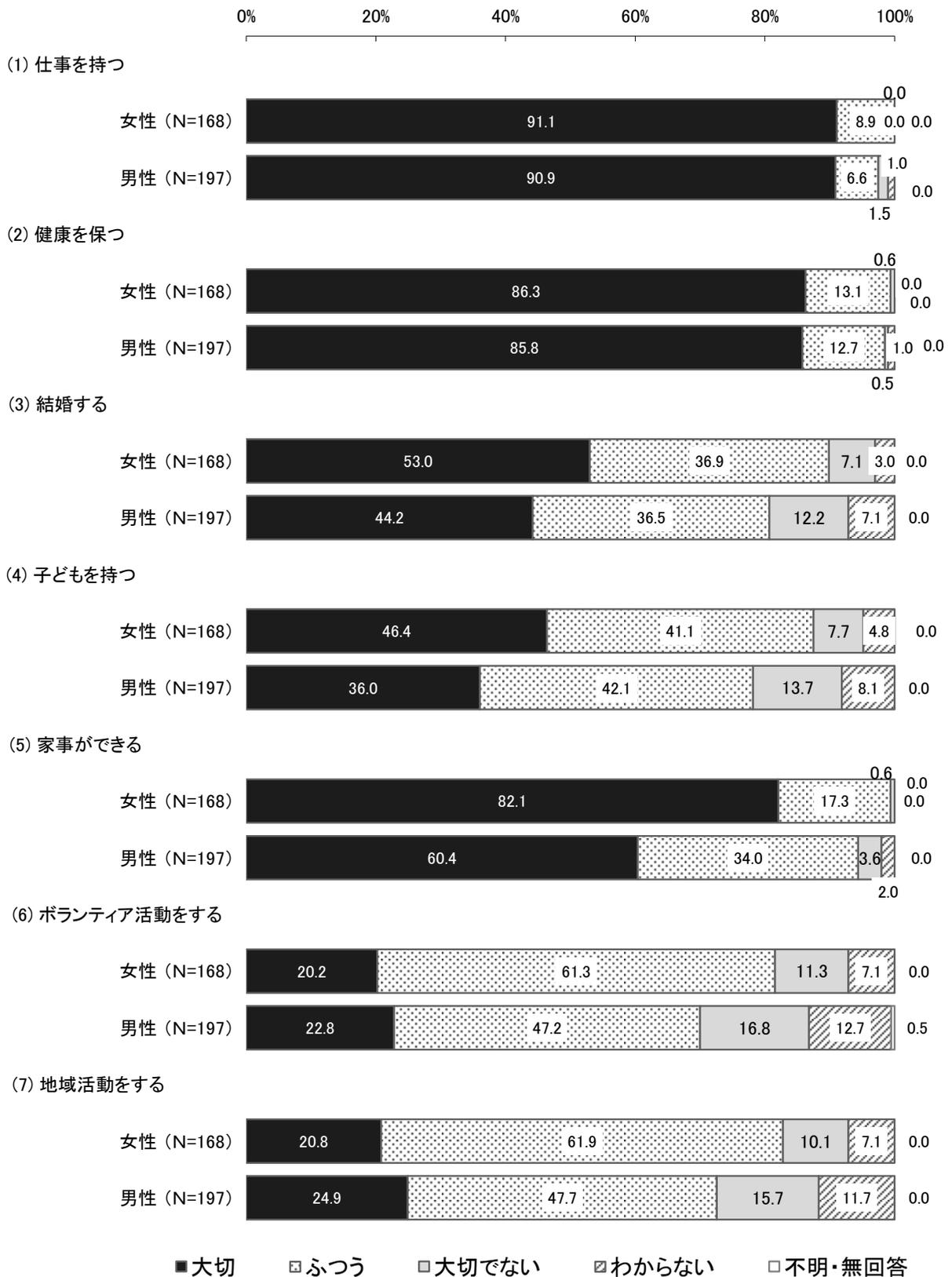
希望する生活をするために、「大切」と考える割合が最も高い項目は「(1) 仕事を持つ」で 91.0%、次いで「(2) 健康を保つ」で 86.0%、「(5) 家事ができる」で 70.4%となっています。「大切でない」と考える割合が最も高い項目は「(6) ボランティア活動をする」で 14.2%となっています。



■大切 □ふつう □大切でない □わからない □不明・無回答

男女別比較

性別で見ると、希望する生活をするために「大切」と考える割合が最も高い項目は、男女ともに「(1) 仕事を持つ」となっています。また、「大切」と考える割合の差異について「(5) 家事ができる」で21.7ポイント、「(4) 子どもを持つ」で10.4ポイント、「(3) 結婚する」で8.8ポイント、男性よりも女性の割合が高くなっています。

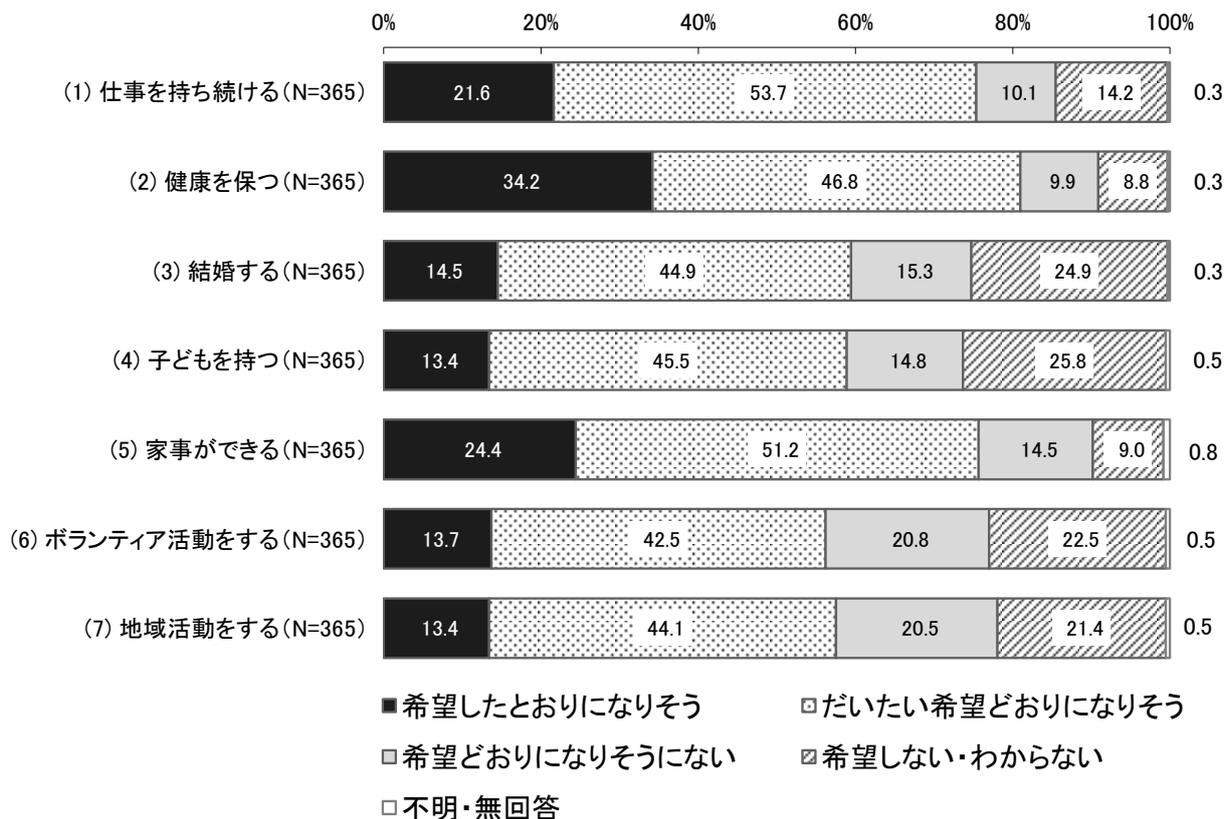


問 11 将来、次のことはあなたの希望どおりになりそうですか。(単数回答)

問 11 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

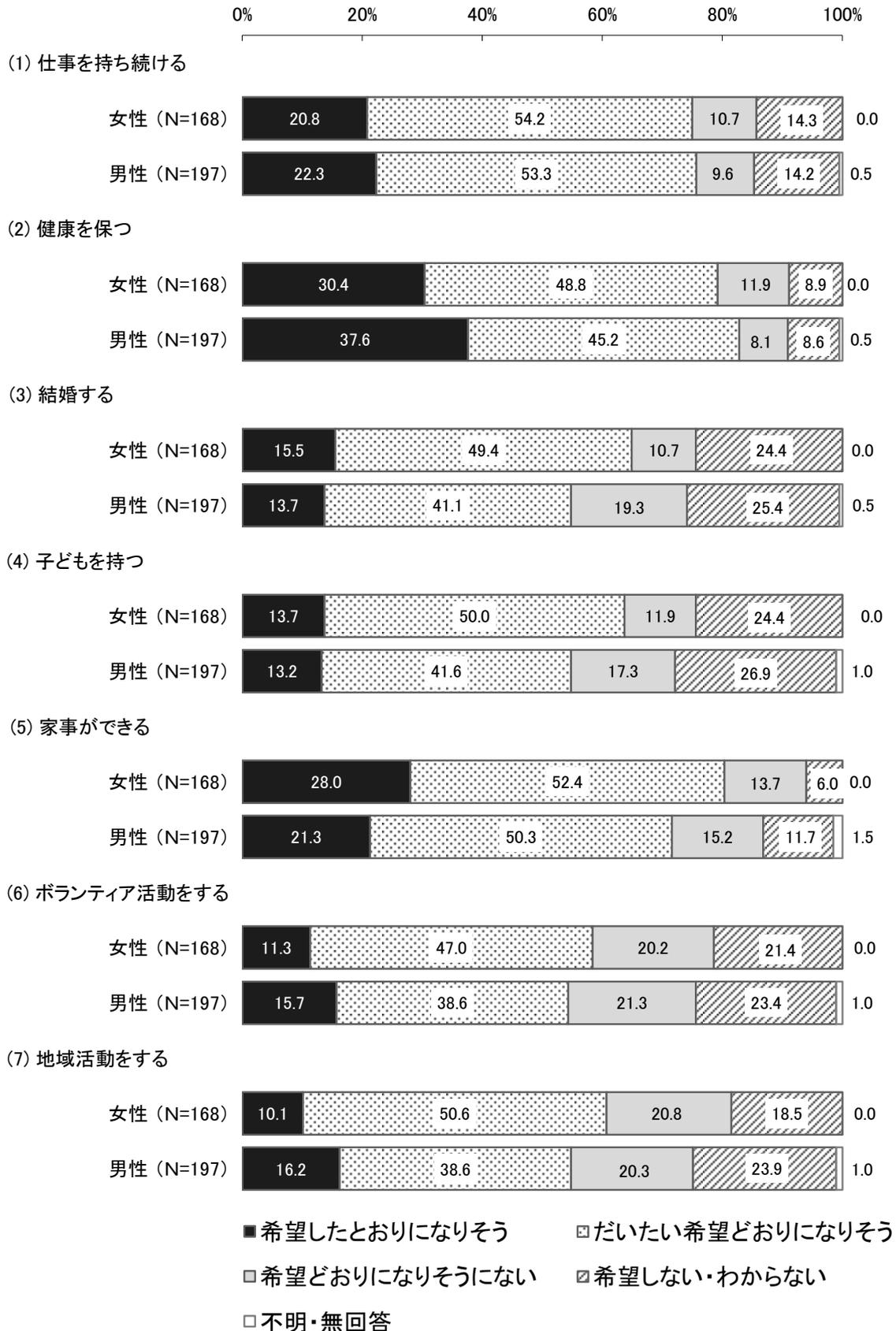
『希望どおり』…「希望したとおりになりそう」と「だいたい希望どおりになりそう」を合算

将来、『希望どおり』と見込む割合が最も高い項目は「(2) 健康を保つ」で 81.0%、次いで「(5) 家事ができる」で 75.6%となっています。「希望どおりになりそうにない」と見込む割合が最も高い項目は「(6) ボランティア活動をする」で 20.8%となっています。また、「希望しない・わからない」の割合は「(4) 子どもを持つ」で 25.8%、「(3) 結婚する」で 24.9%と高くなっています。



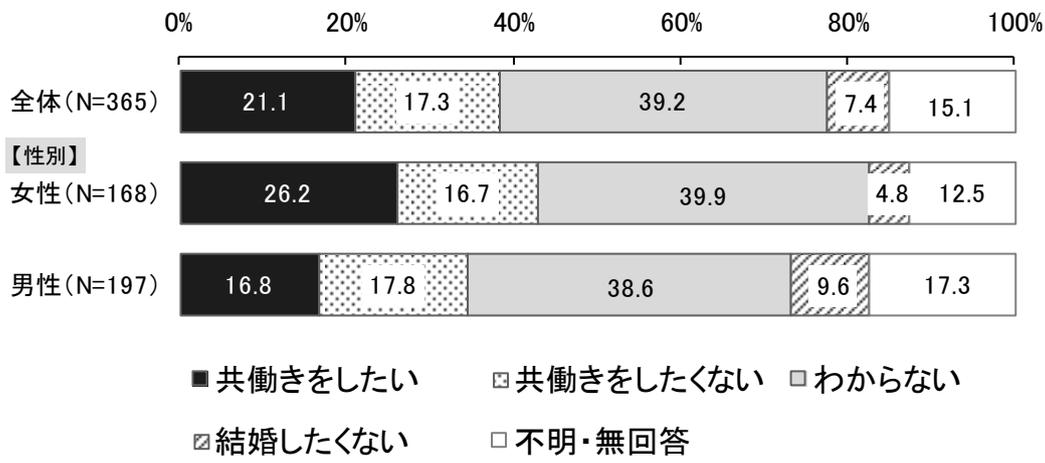
男女別比較

性別でみると、各項目で将来、希望どおりになりそうかについて、女性で『希望どおり』の割合が最も高い項目は「(5) 家事ができる」が80.4%となっており、男性で『希望どおり』の割合が最も高い項目は「(2) 健康を保つ」が82.8%となっています。



問 12 あなたは、将来、結婚したら共働きをするつもりですか。(単数回答)

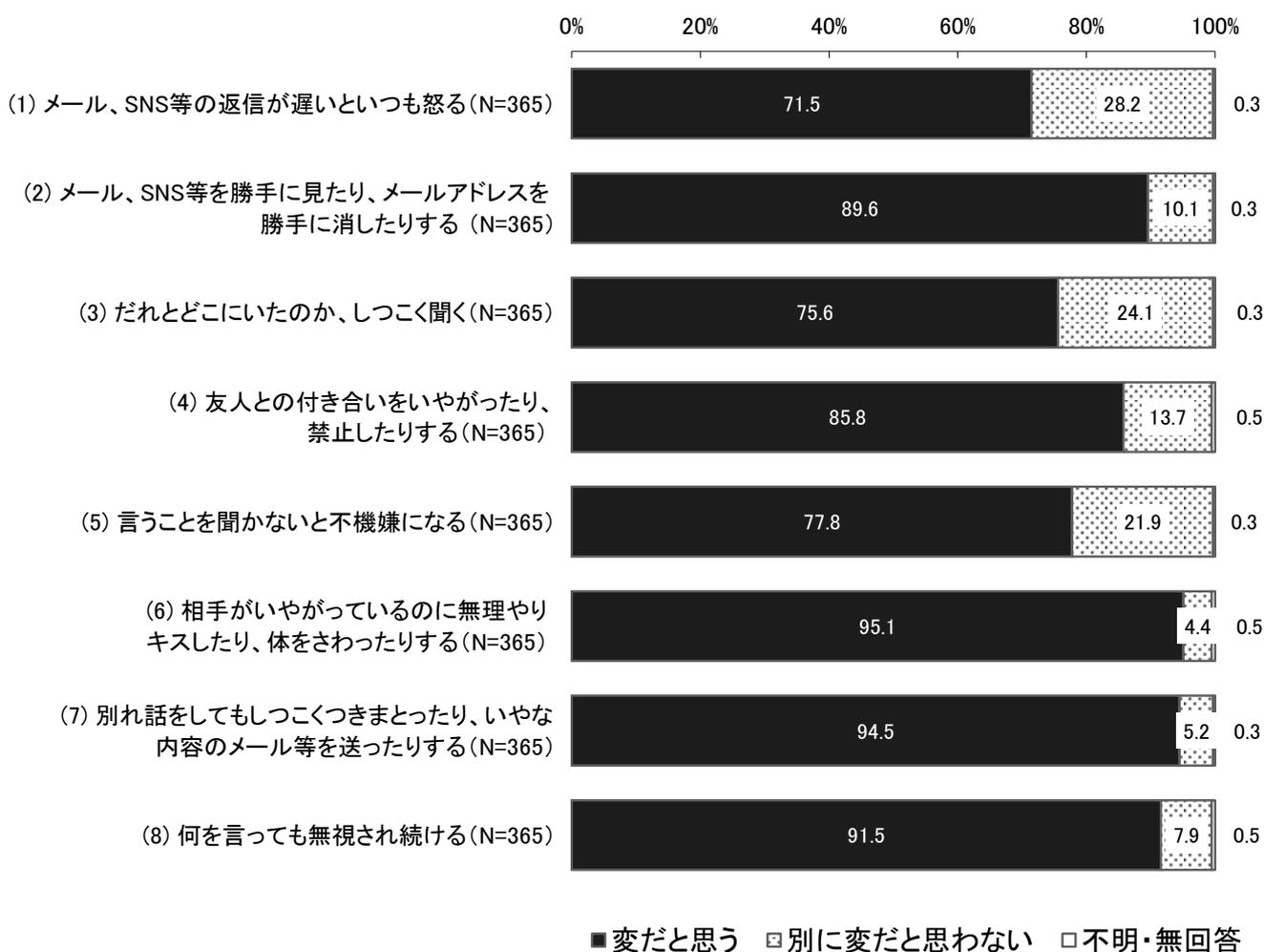
共働きの意思について、全体では「わからない」の割合が 39.2%と最も高くなっています。性別で見ると、女性では「共働きをしたい」の割合が 26.2%であるのに対し、男性では 16.8%となっています。また、「結婚したくない」の割合が女性では 4.8%、男性では 9.6%となっています。



(4) 男女交際について

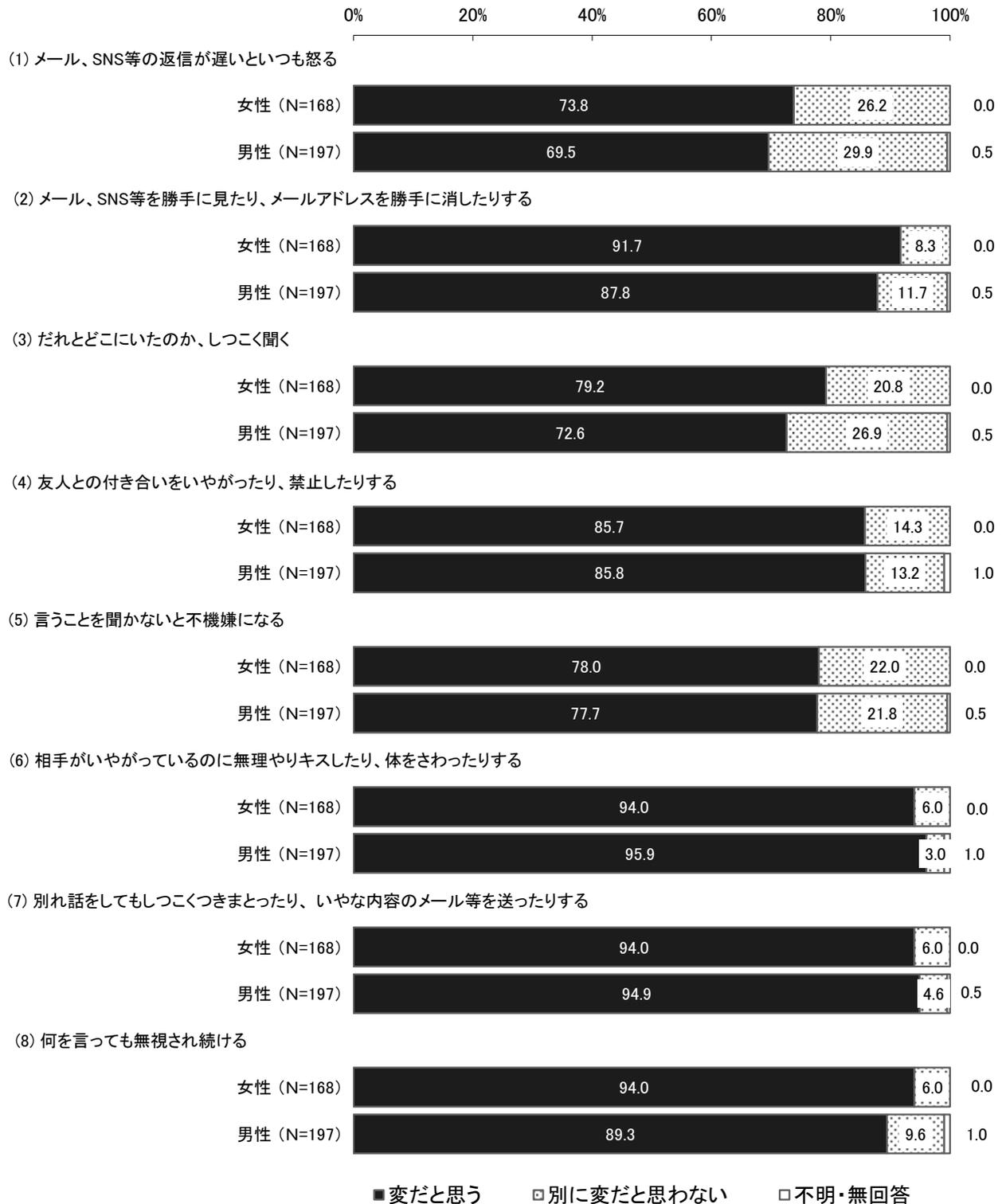
問 13 あなたは、男女交際について次の(1)～(8)のような関係をどのように思いますか。
(単数回答)

男女交際における関係性について、全項目で「変だと思う」が70%を超えています。「変だと思う」の割合が最も高い項目は「(6) 相手がいやがっているのに無理やりキスしたり、体をさわったりする」で95.1%、次いで「(7) 別れ話をしてもしつこくつきまったり、いやな内容のメール等を送ったりする」で94.5%となっています。一方で「別に変だと思わない」の割合が最も高い項目は「(1) メール、SNS等の返信が遅いといつも怒る」で28.2%、「(3) だれとどこにいたのか、しつこく聞く」で24.1%となっています。



男女別比較

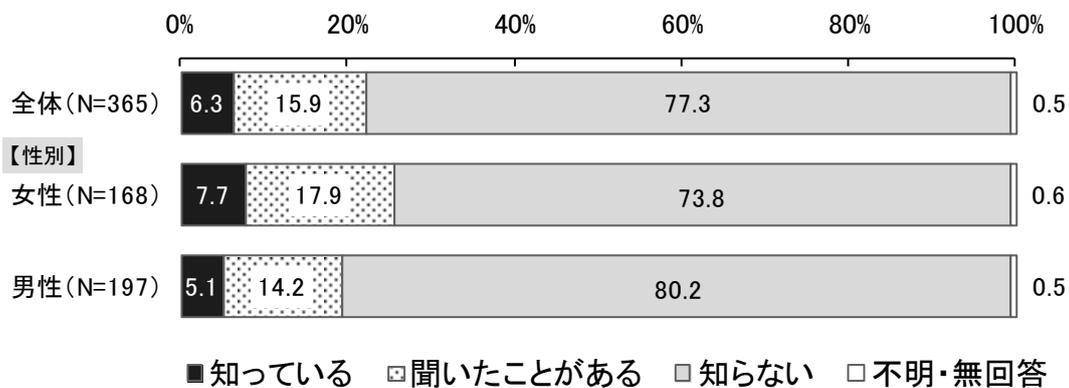
性別でみると、男女交際における関係性について、性別により5ポイント以上の差異があるものは「(3)だれとどこにいたのか、しつこく聞く」のみで、「変だと思う」が女性で79.2%、男性で72.6%となっています。



問 14 あなたは「デートDV」という言葉を知っていますか。(単数回答)

「デートDV」という言葉の認知度について、全体では「知っている」が、6.3%、「聞いたことがある」が15.9%、「知らない」が77.3%となっています。

性別で見ると、女性は男性に比べ「知っている」が2.6ポイント、「聞いたことがある」が3.7ポイント高くなっています。

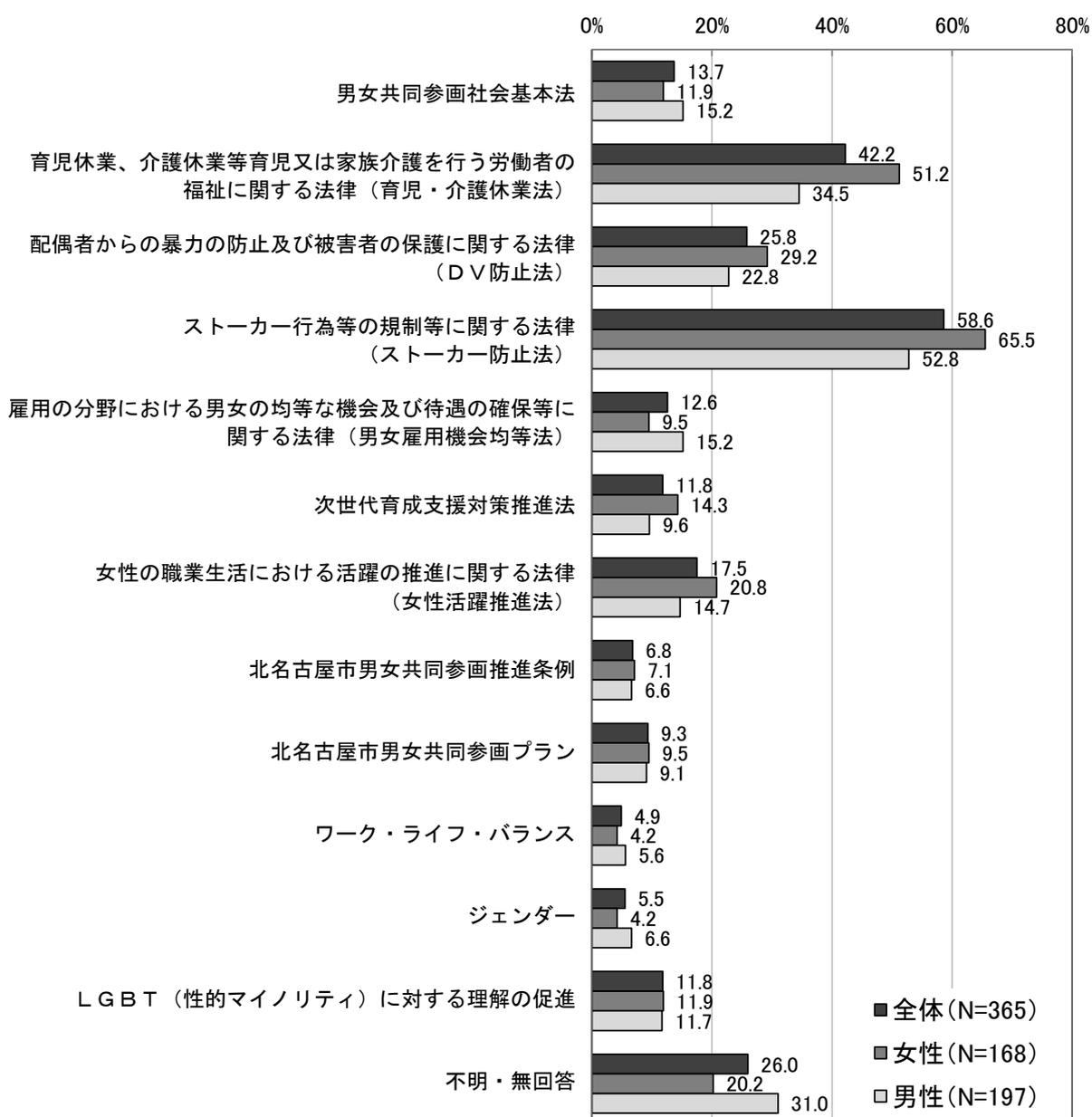


(5) 男女共同参画について

問 15 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、男女ともに、「ストーカー行為等に規制等に関する法律(ストーカー防止法)」が最も高く、次いで「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」となっています。

性別でみると、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)」で16.7ポイント、「ストーカー行為等の規制等に関する法律(ストーカー防止法)」で12.7ポイント、男性よりも女性の割合が高くなっています。



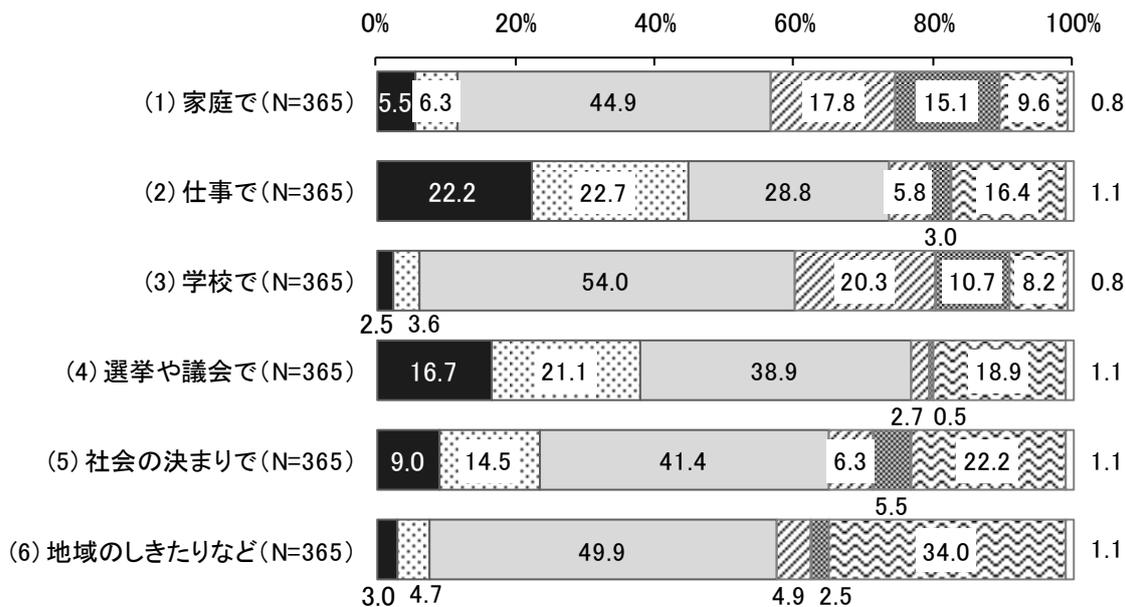
問 16 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 16 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『女性優遇』…「女性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」を合算

『男性優遇』…「男性のほうが優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合算

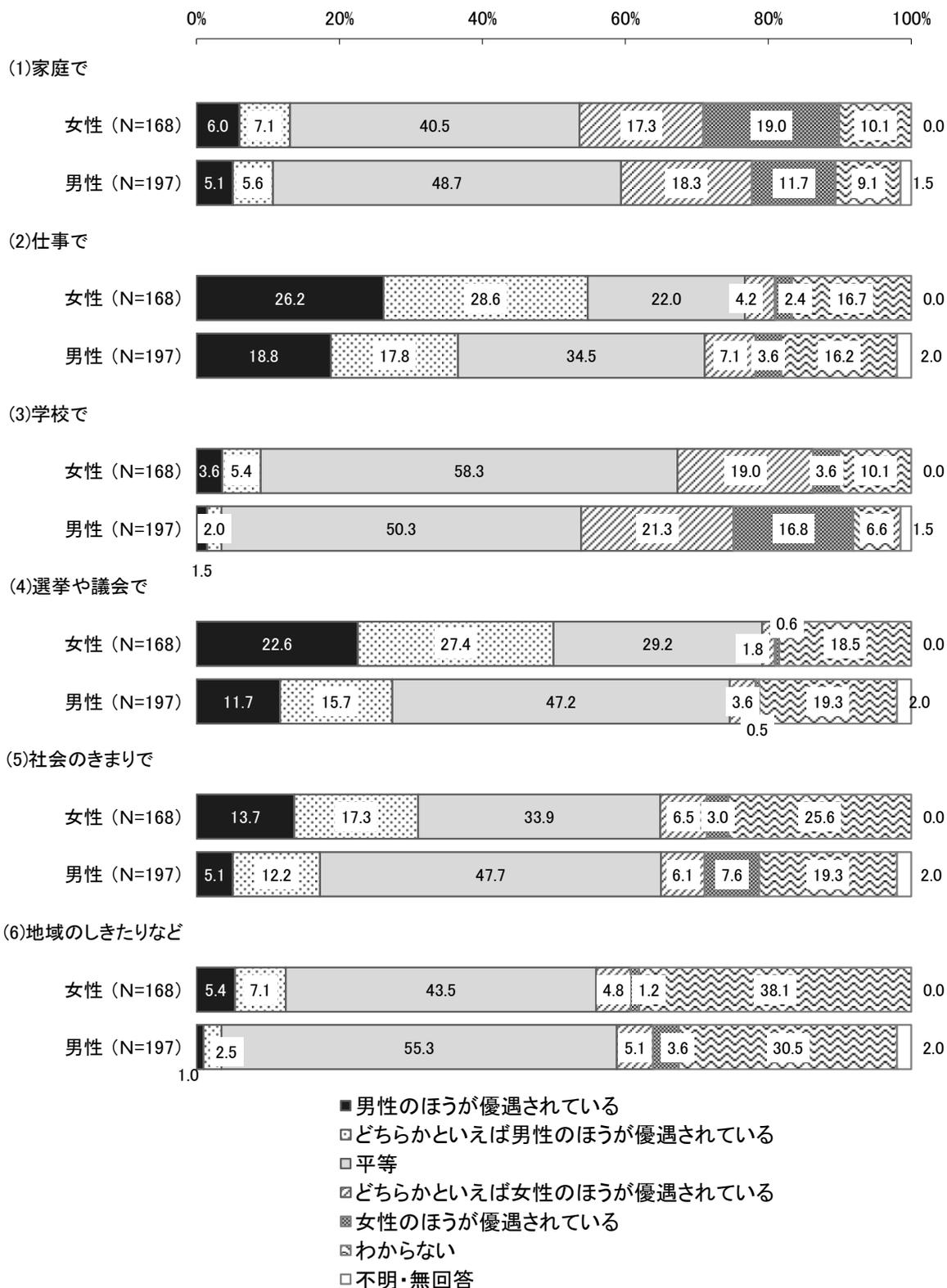
男女の地位の平等について、「(2) 仕事で」を除くすべての項目で「平等」の割合が最も高くなっています。「(1) 家庭で」、「(3) 学校で」を除いた項目で『男性優遇』は『女性優遇』に比べ高い割合となっています。



- 男性のほうが優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性のほうが優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性のほうが優遇されている
- 女性のほうが優遇されている
- ▣ わからない
- 不明・無回答

男女別比較

性別でみると、すべての項目で女性は男性よりも『男性優遇』とする割合が高くなっています。「(1) 家庭で」、「(3) 学校で」を除くすべての項目で男性は女性よりも「平等」『女性優遇』とする割合が高くなっています。『男性優遇』とする割合が最も高い項目は男女ともに「(2) 仕事で」となっています。『女性優遇』とする割合が最も高い項目は女性では「(1) 家庭で」が 36.3%となっており、男性では「(3) 学校で」が 38.1%となっています。



問 17 「男性は仕事をして家族を養い、女性は家庭を守る」という考え方があります。あなたは
この考え方についてどう思いますか。(単数回答)

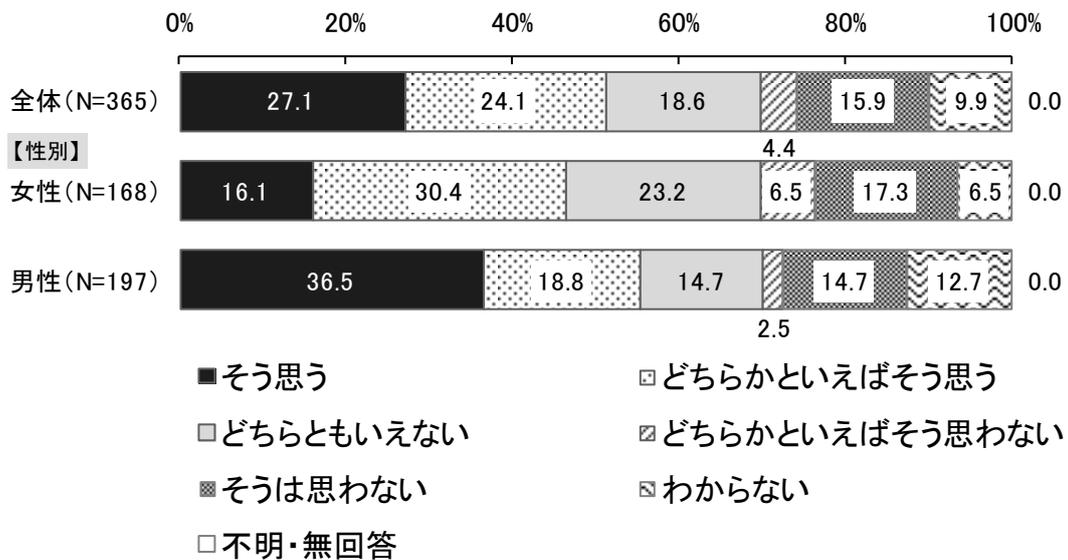
問 17 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

「男性は仕事をして家族を養い、女性は家庭を守る」という考え方について、全体では『賛成』が 51.2%、
『反対』が 20.3%となっています。

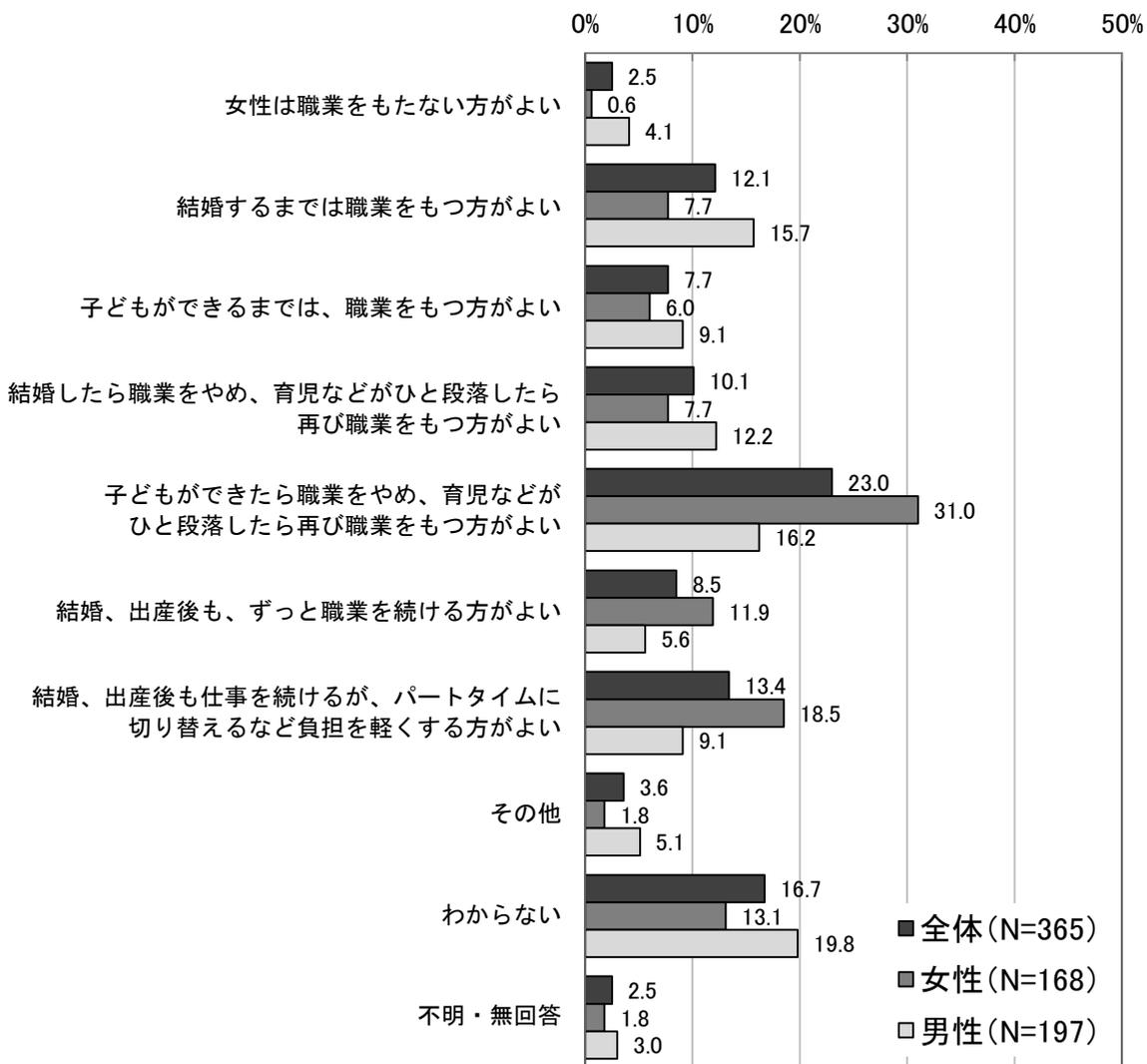
性別でみると、女性は『賛成』の割合が 46.5%であるのに対し、男性は『賛成』の割合が 55.3%となっ
ています。



問 18 あなたは、女性が仕事を持つことについて、どのように考えますか。(単数回答)

女性が仕事を持つことに対する考えについて、全体では「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」の割合が23.0%で最も高くなっています。

性別で見ると、女性は「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」が31.0%で最も高く、次いで「結婚、出産後も仕事を続けるが、パートタイムに切り替えるなど負担を軽くする方がよい」が18.5%となっています。男性は「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」が16.2%と最も高く、次いで「結婚するまで職業をもつ方がよい」が15.7%となっています。



4 大学生調査結果

(1) 回答者の属性

問A 性別 (単数回答)

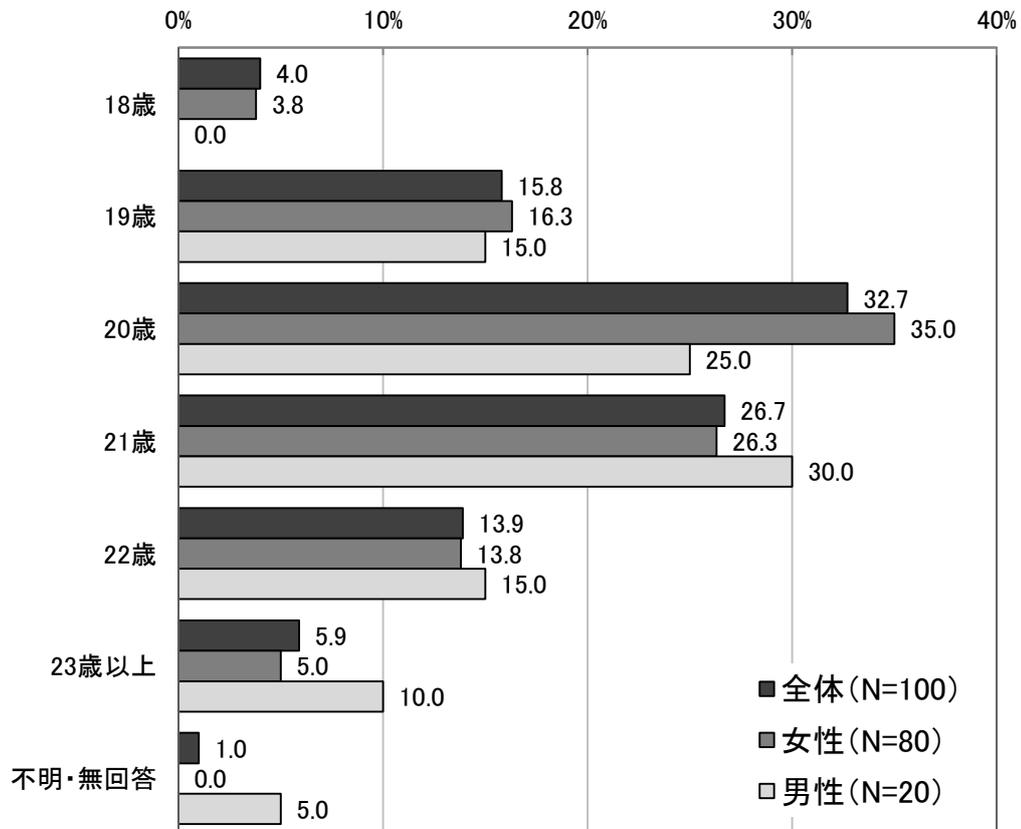
回答者の性別は、「女性」が80.0%、「男性」が20.0%となっています。



問B 年齢 (数量回答)

回答者の年齢は、「20歳」が32.7%と最も高く、次いで「21歳」が26.7%となっています。

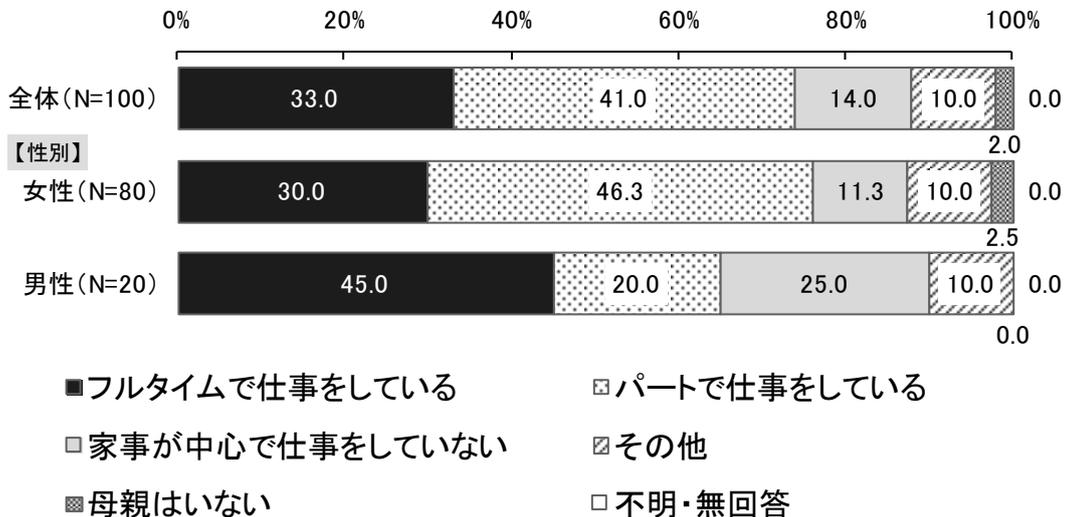
性別でみると、女性では「20歳」が35.0%と最も高く、次いで「21歳」が26.3%、「19歳」が16.3%となっています。男性では「21歳」が30.0%と最も高く、次いで「20歳」が25.0%、「19歳」、「22歳」が15.0%となっています。



問C あなたのお母さんは仕事をしていますか。(単数回答)

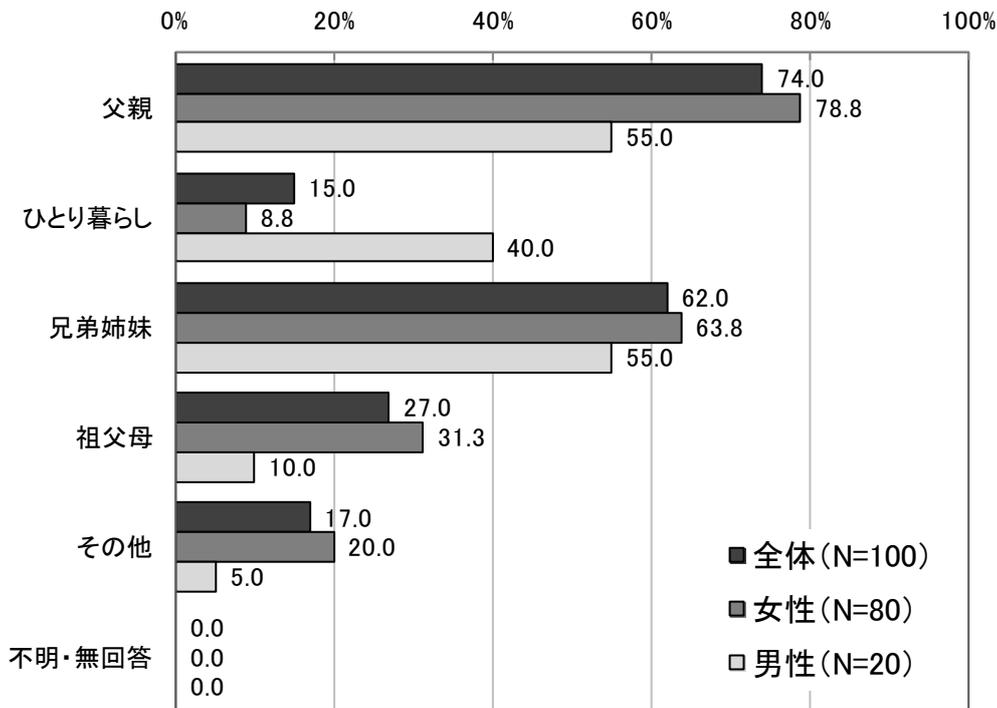
母親の就業状況について、「パートで仕事をしている」が 41.0%と最も高く、次いで「フルタイムで仕事をしている」が 33.0%となっています。

性別でみると、女性では「パートで仕事をしている」が 46.3%、男性では「フルタイムで仕事をしている」が 45.0%と最も高くなっています。



問D あなたと一緒に暮らしている家族は誰ですか。(複数回答)

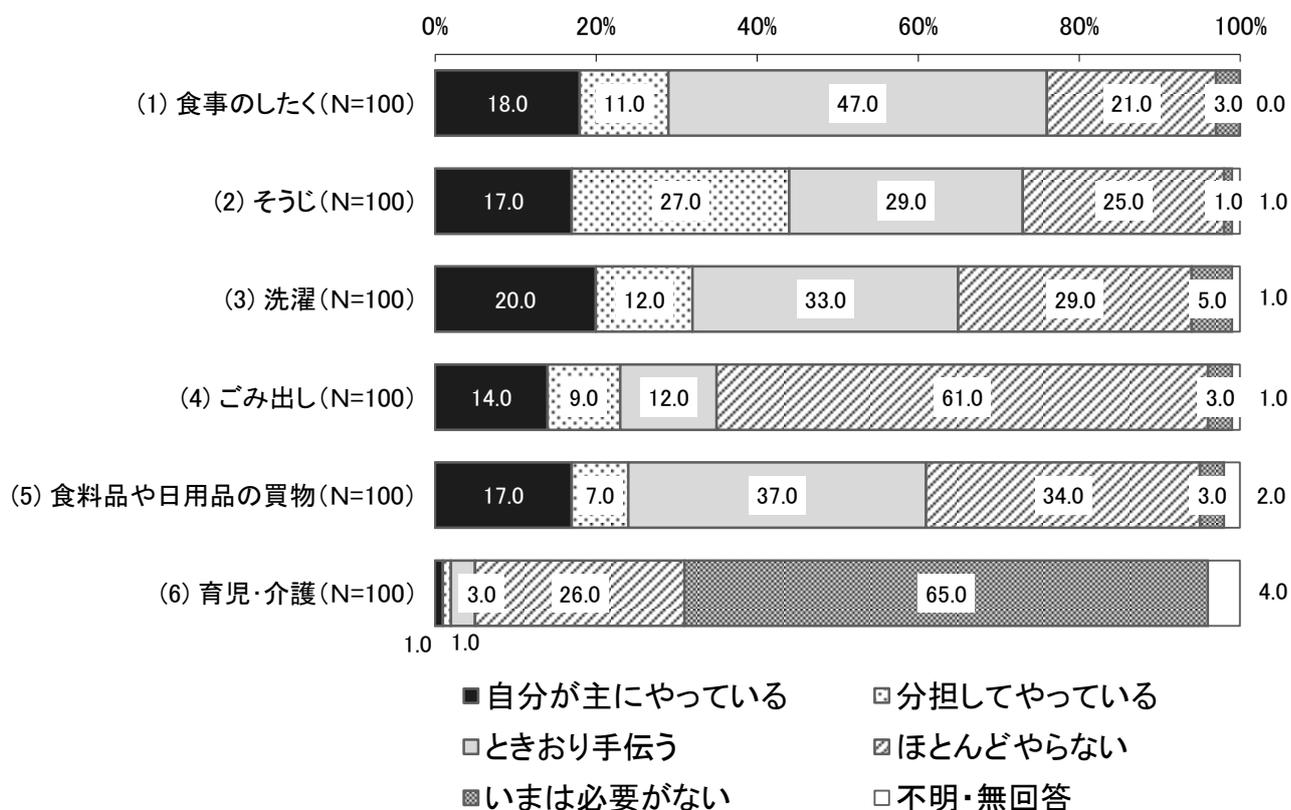
回答者の家族構成員は、「父親」が 74.0%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が 62.0%となっています。



(2) 家庭や地域でのあなたの生活について

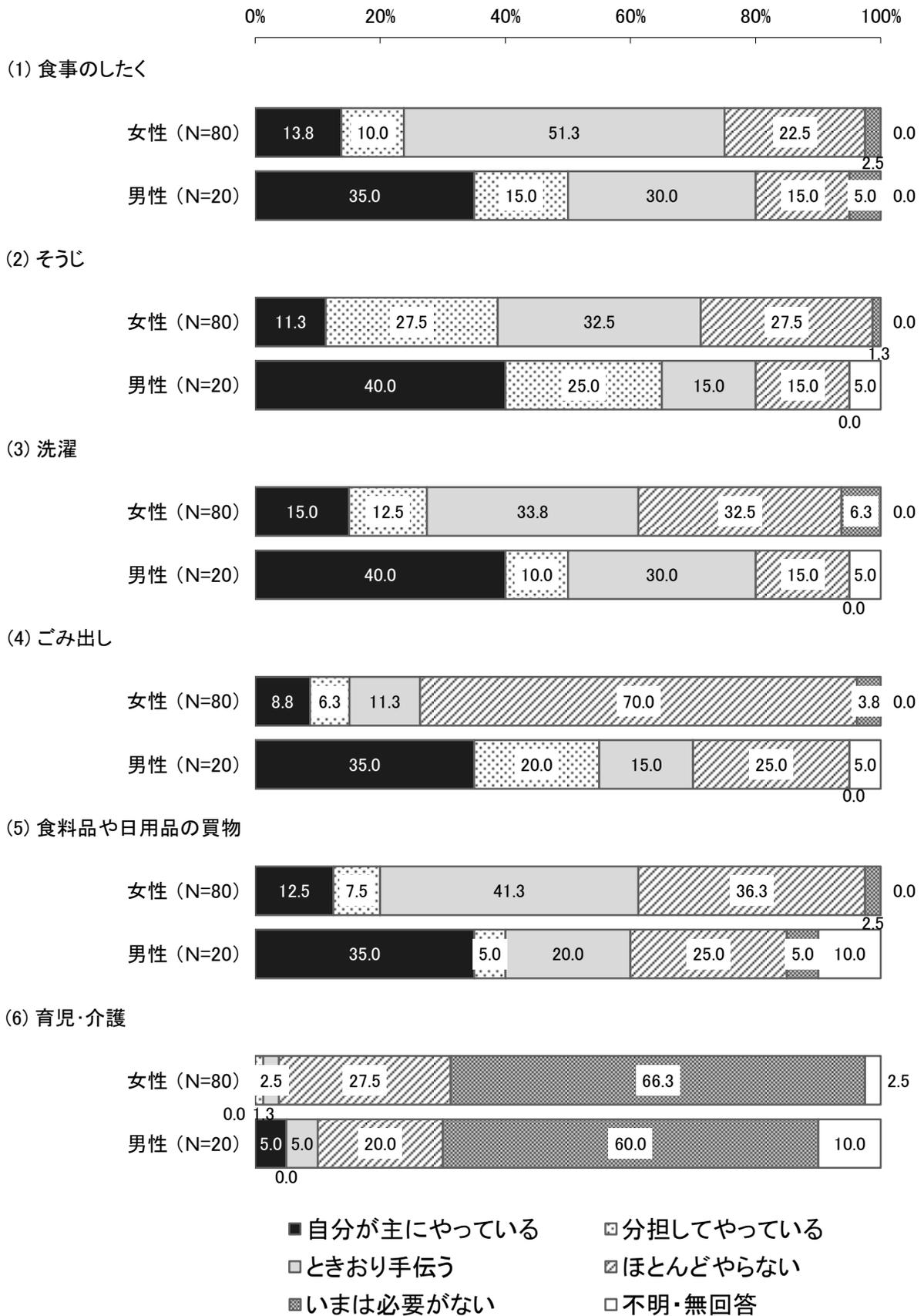
問1 あなたは、次のことがらをどの程度やっていますか。(単数回答)

家事について、「自分が主にやっている」が最も高い項目は「(3) 洗濯」で 20.0%、「分担してやっている」が最も高い項目は「(2) そうじ」で 27.0%、「ときおり手伝う」が最も高い項目は「(1) 食事のしたく」で 47.0%、「ほとんどやらない」が最も高い項目は、「(4) ごみ出し」で 61.0%、「いまは必要がない」が最も高い項目は「(6) 育児・介護」で 65.0%となっています。



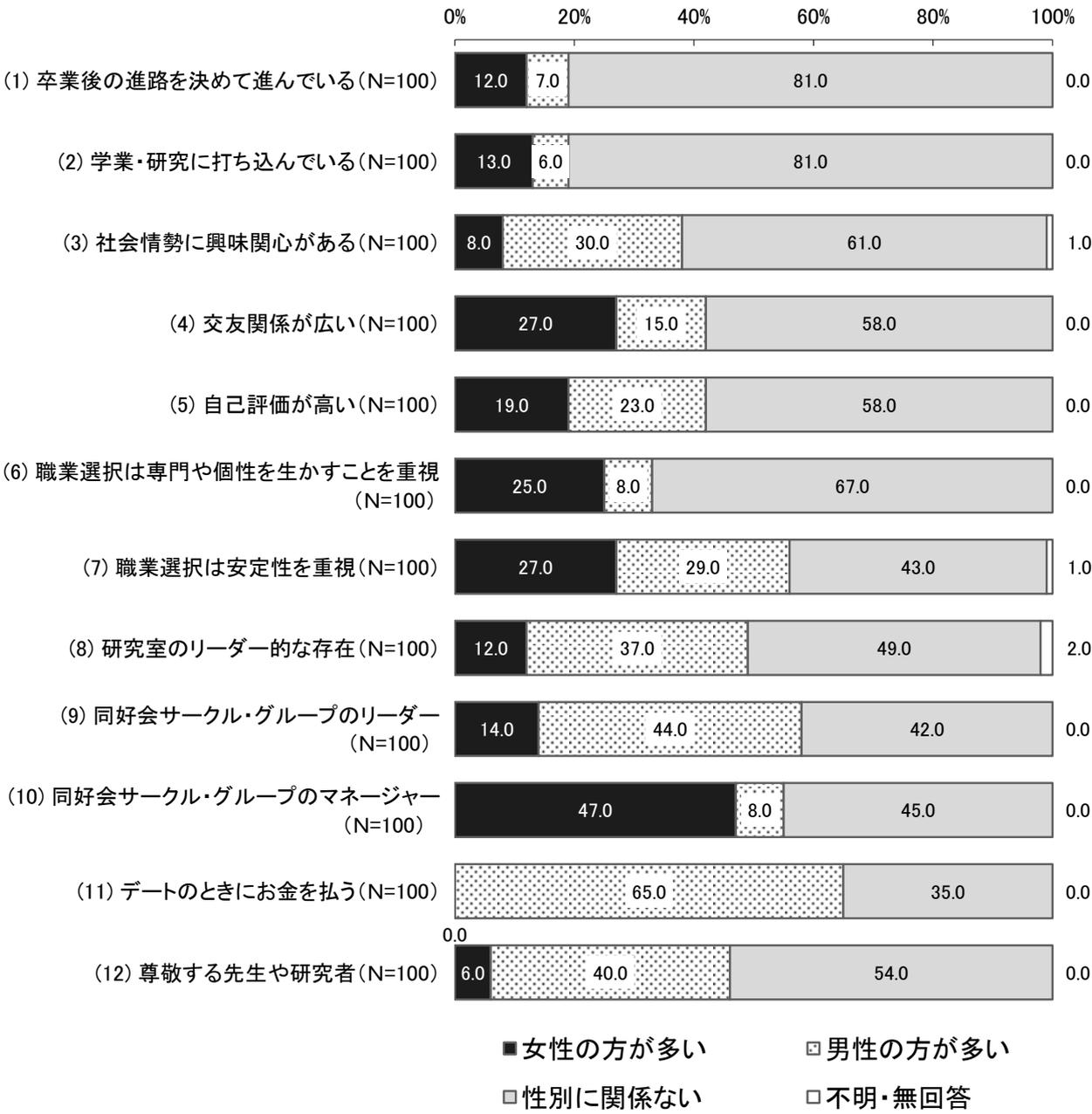
男女別比較

性別で見ると、すべての項目において、女性は男性に比べて「ほとんどやらない」、男性では女性に比べて「自分が主にやっている」が高くなっています。



問2 あなたのまわりで、次のようなことは女性と男性のどちらに多いと思いますか。(単数回答)

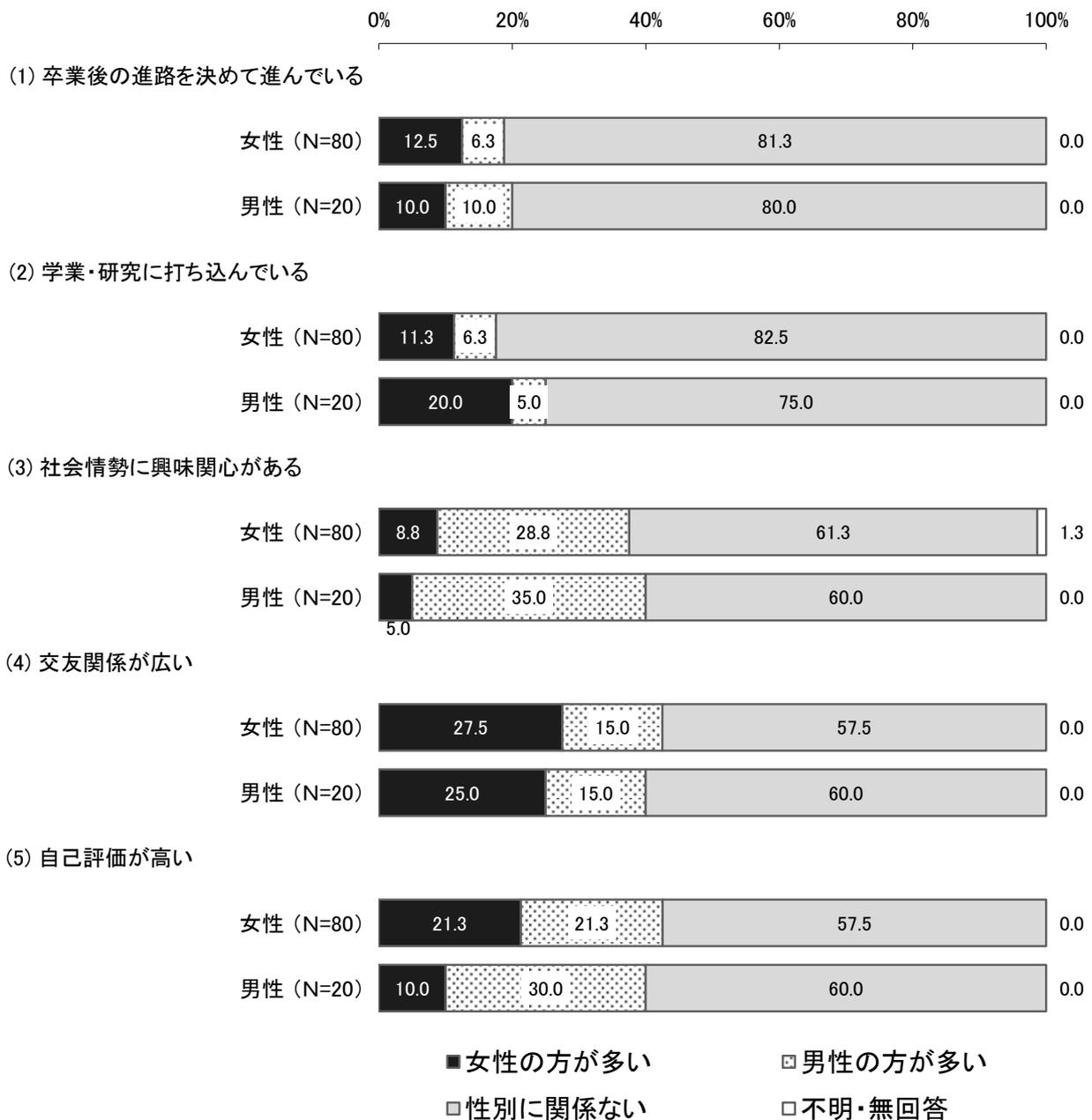
「女性の方が多い」こととして「(10) 同好会サークル・グループのマネージャー」で 47.0%、「男性の方が多い」こととして「(11) デートのときにお金を払う」で 65.0%、次いで「(9) 同好会サークルグループのリーダー」で 44.0%となっています。「性別に関係ない」は「(1) 卒業後の進路を決めて進んでいる」、「(2) 学業・研究に打ち込んでいる」、「(3) 社会情勢に興味関心がある」、「(4) 交友関係が広い」、「(5) 自己評価が高い」、「(6) 職業選択は専門や個性を生かすことを重視」、「(12) 尊敬する先生や研究者」で 50%を超えています。

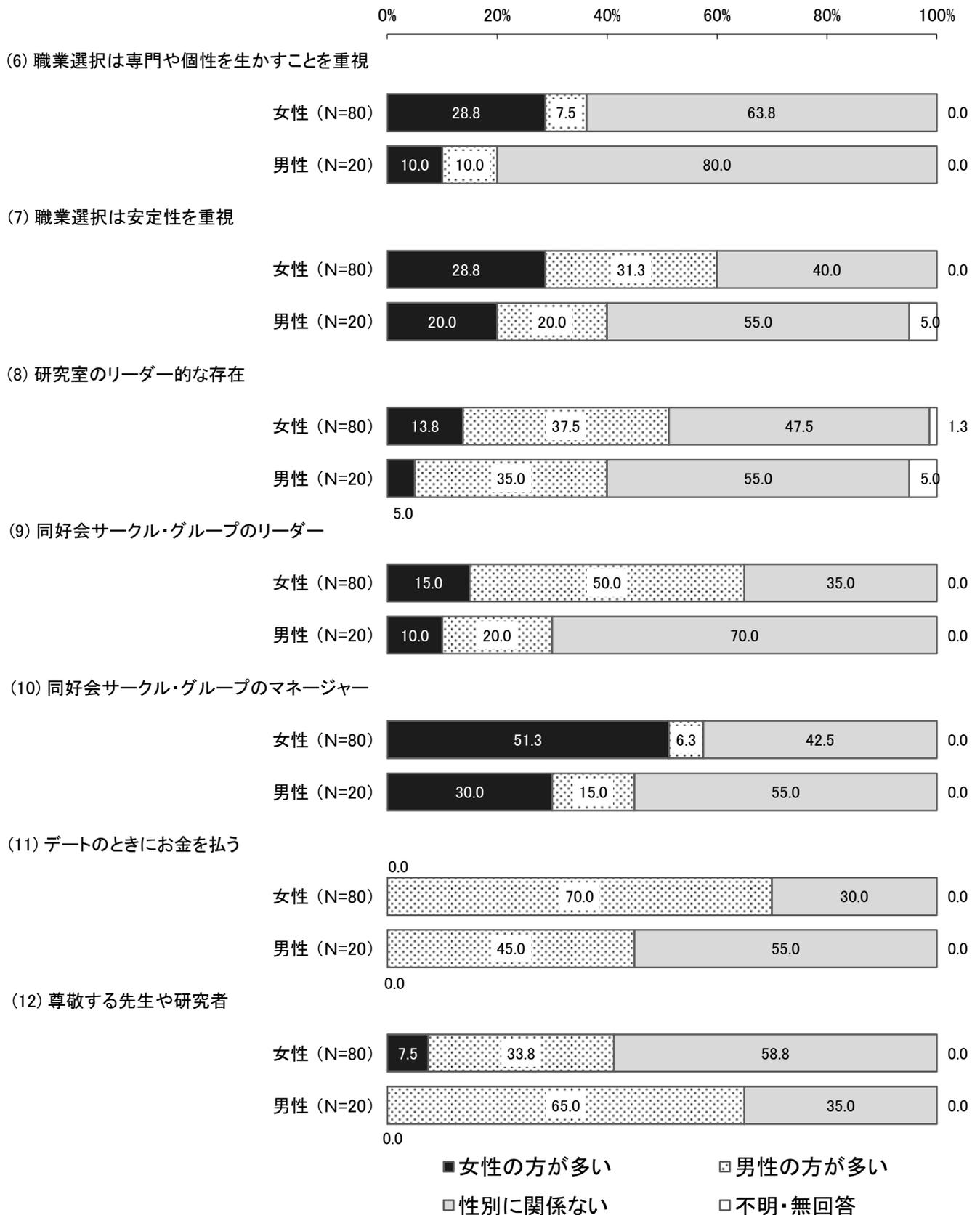


男女別比較

性別でみると、女性が男性より10ポイント以上高くなっている項目は「女性の方が多い」において「(5) 自己評価が高い」、「(6) 職業選択は専門や個性を生かすことを重視」、「(10) 同好会サークル・グループのマネージャー」となっています。一方、「男性の方が多い」において「(7) 職業選択は安定性を重視」、「(9) 同好会サークル・グループのリーダー」、「(11) デートのときにお金を払う」となっています。「性別に関係ない」において「(12) 尊敬する先生や研究者」となっています。

男性が女性より10ポイント以上高くなっている項目は「男性の方が多い」において「(12) 尊敬する先生や研究者」、「性別に関係ない」において「(6) 職業選択は専門や個性を生かすことを重視」、「(7) 職業選択は安定性を重視」、「(9) 同好会サークル・グループのリーダー」、「(10) 同好会サークル・グループのマネージャー」、「(11) デートのときにお金を払う」となっています。





(3) 男女の家庭や職業などのあり方について

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

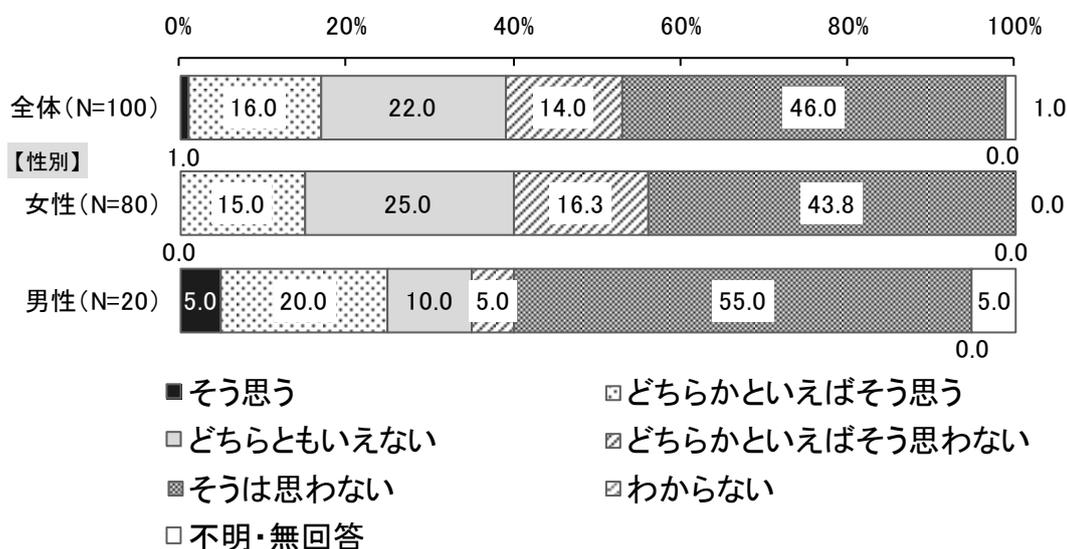
問3の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

男女の役割分担の考え方については、『賛成』が17.0%、『反対』が60.0%、「どちらともいえない」が22.0%となっています。

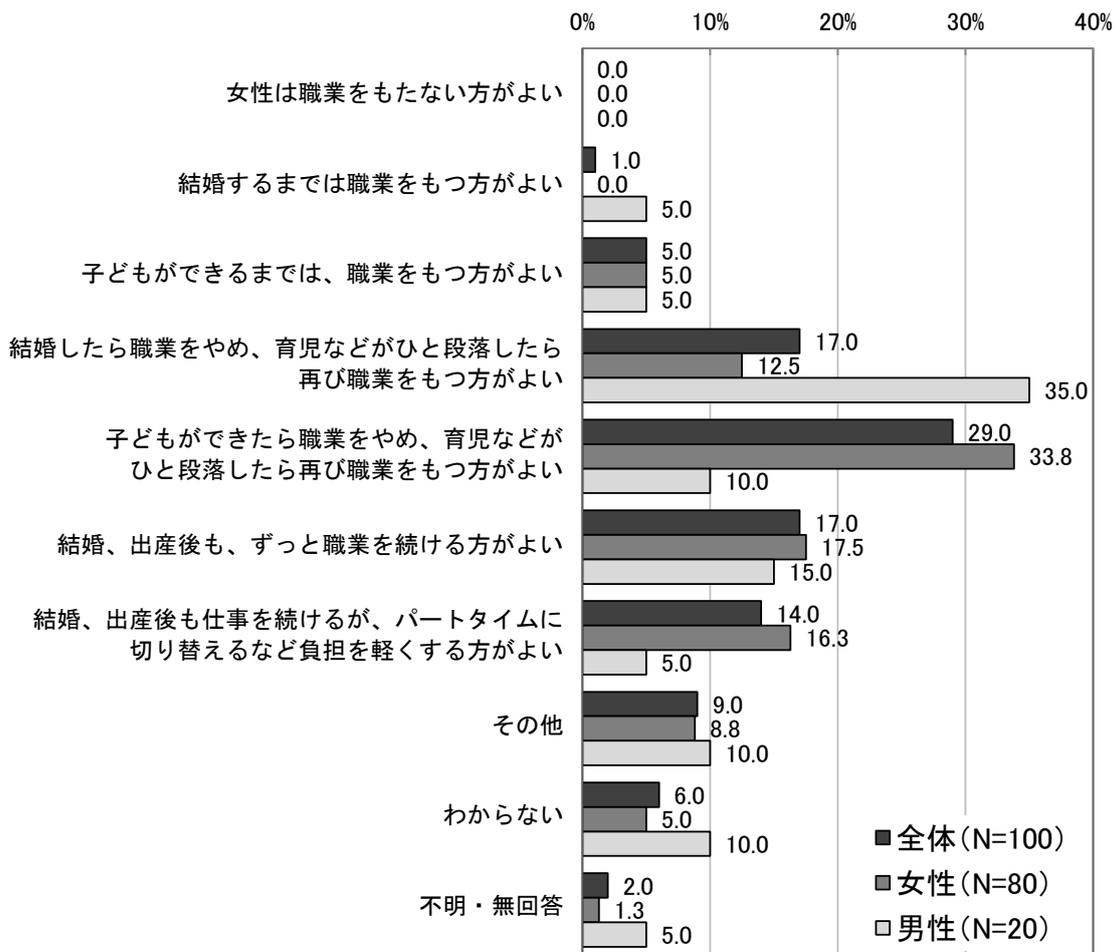
性別でみると、男女ともに『反対』が60%を超えています。男性では『賛成』とする割合が女性よりも10.0ポイント高くなっています。



問4 女性の職業と生活設計について、どのようにお考えになりますか。(単数回答)

女性の職業と生活設計については、「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」が 29.0%と最も高く、次いで「結婚したら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」、「結婚、出産後も、ずっと職業を続ける方がよい」が 17.0%となっています。

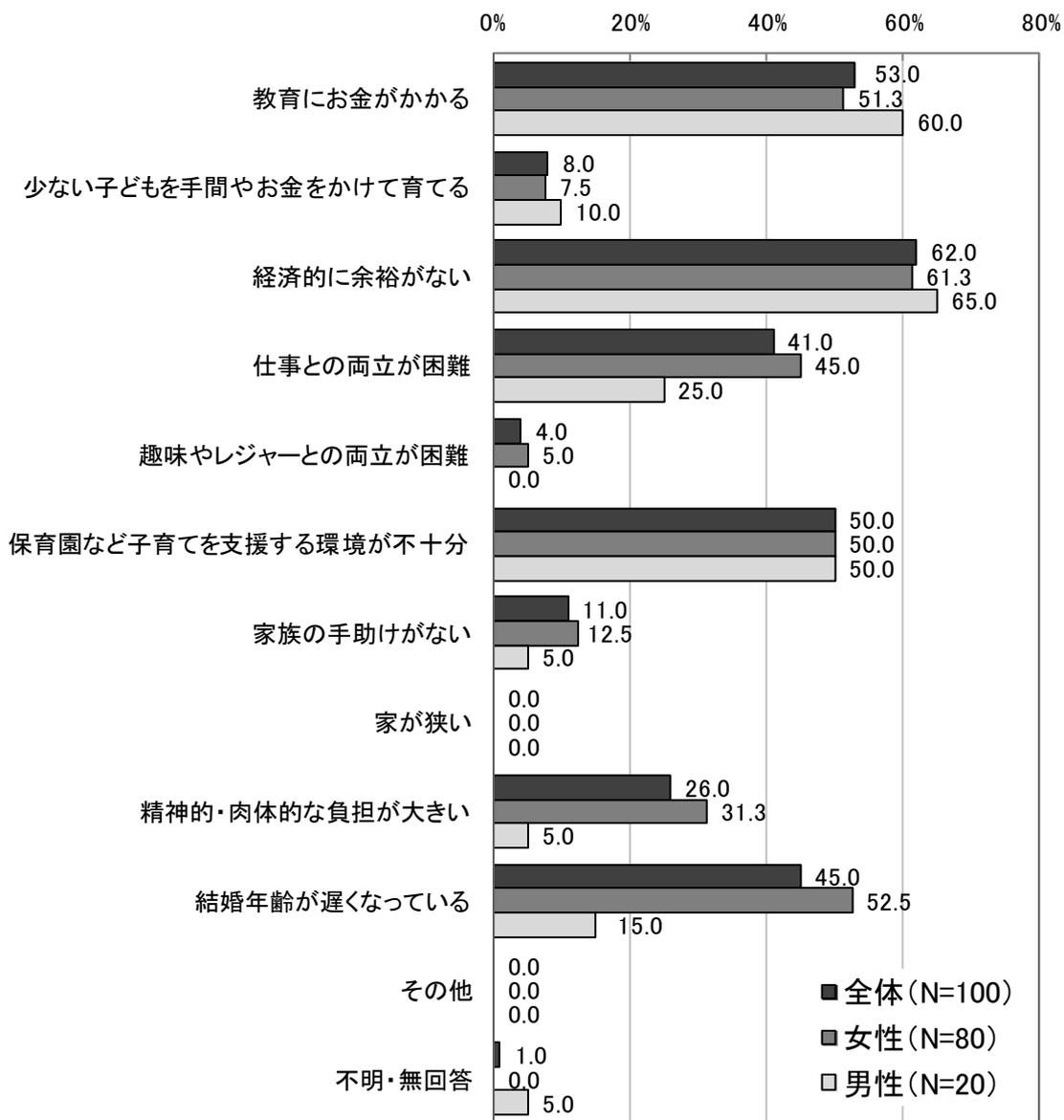
性別でみると、女性では「子どもができたら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」が 33.8%、男性では「結婚したら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業をもつ方がよい」が 35.0%で最も高くなっています。



問5 あなたは、少子化の原因はどのようなことと思いますか。(複数回答)

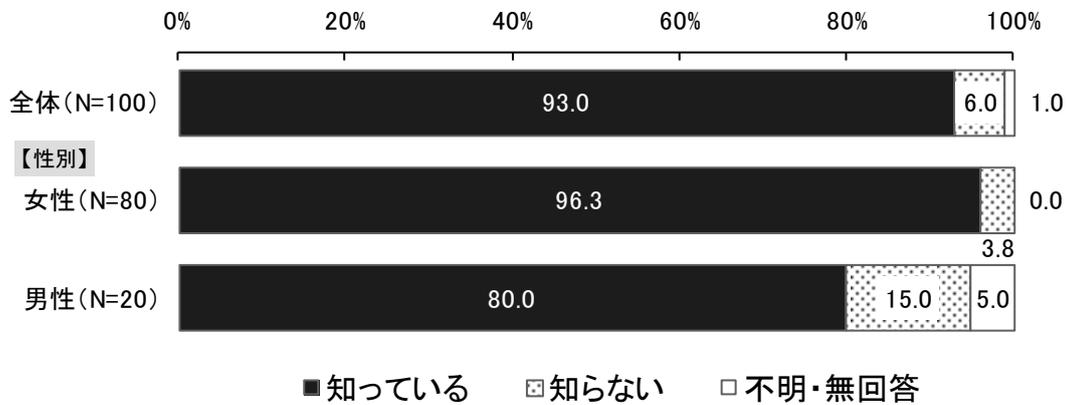
少子化の原因については、「経済的に余裕がない」が62.0%と最も高く、次いで「教育にお金がかかる」が53.0%、「保育園など子育てを支援する環境が不十分」が50.0%となっています。

性別により20ポイント以上の差異がある項目は、「結婚年齢が遅くなっている」で37.5ポイント、「精神的・肉体的な負担が大きい」で26.3ポイント、「仕事との両立が困難」で20.0ポイント女性が男性よりも高くなっています。



問6 あなたは女性の妊娠について、年齢が高くなるにつれ、妊娠しにくくなったり、流産する可能性が高くなるとともに、母体への危険リスクが高まることを知っていますか。(単数回答)

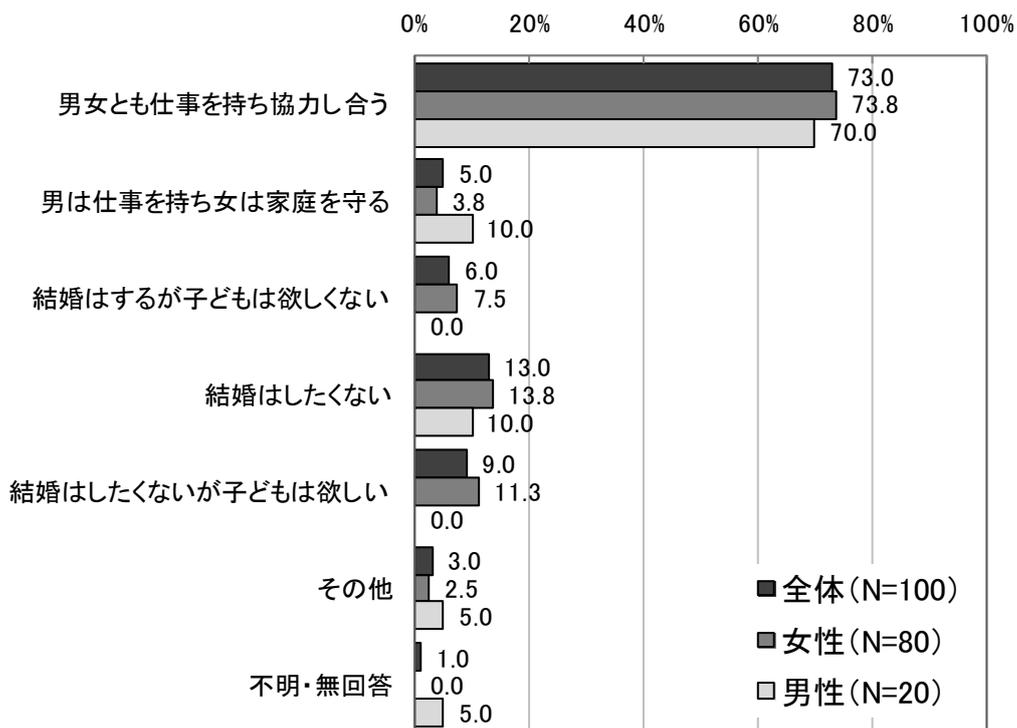
高齢出産のリスクについては、「知っている」が93.0%、「知らない」が6.0%となっています。
性別で見ると、「知っている」は女性が96.3%、男性が80.0%、「知らない」は女性が3.8%、男性が15.0%となっています。



問7 あなたは、結婚生活についてどんな考えをもっていますか。(複数回答)

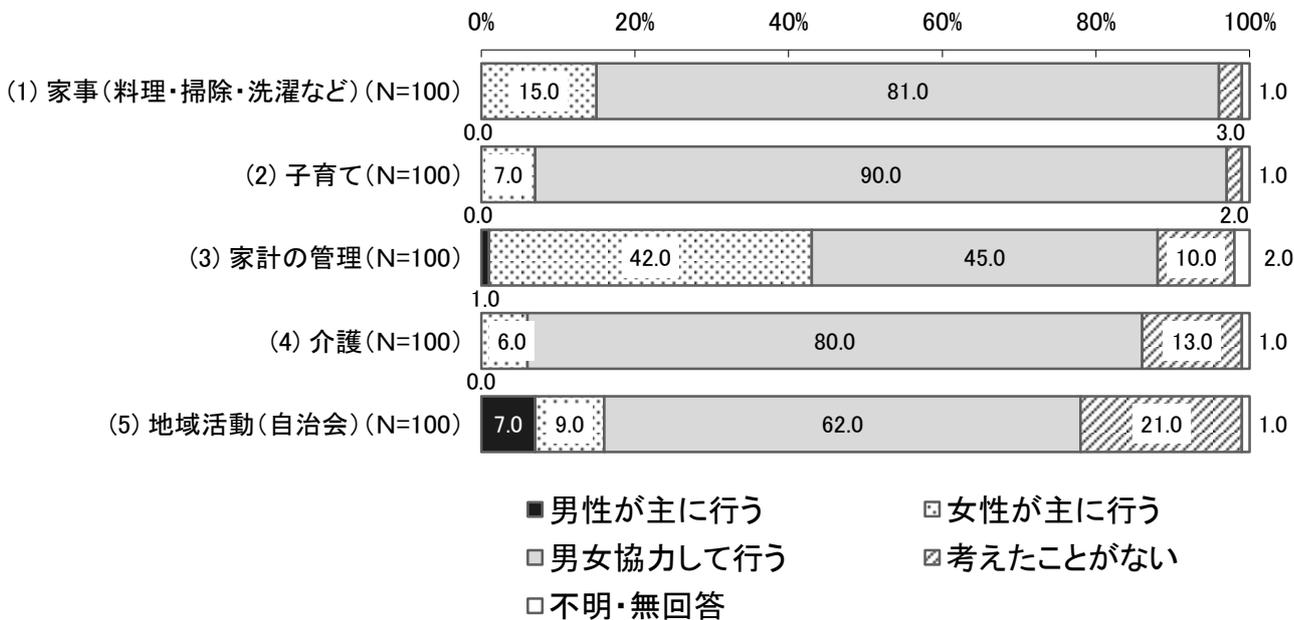
結婚生活については、「男女とも仕事を持ち協力し合う」が73.0%と最も高く、次いで「結婚はしたくない」が13.0%、「結婚はしたくないが子どもは欲しい」が9.0%となっています。

性別で見ると、女性では「男女とも仕事を持ち協力し合う」が73.8%で最も高く、次いで「結婚はしたくない」が13.8%となっています。男性では「男女とも仕事を持ち協力し合う」が70.0%で最も高く、次いで「男は仕事を持ち女は家庭を守る」、「結婚はしたくない」が10.0%となっています。



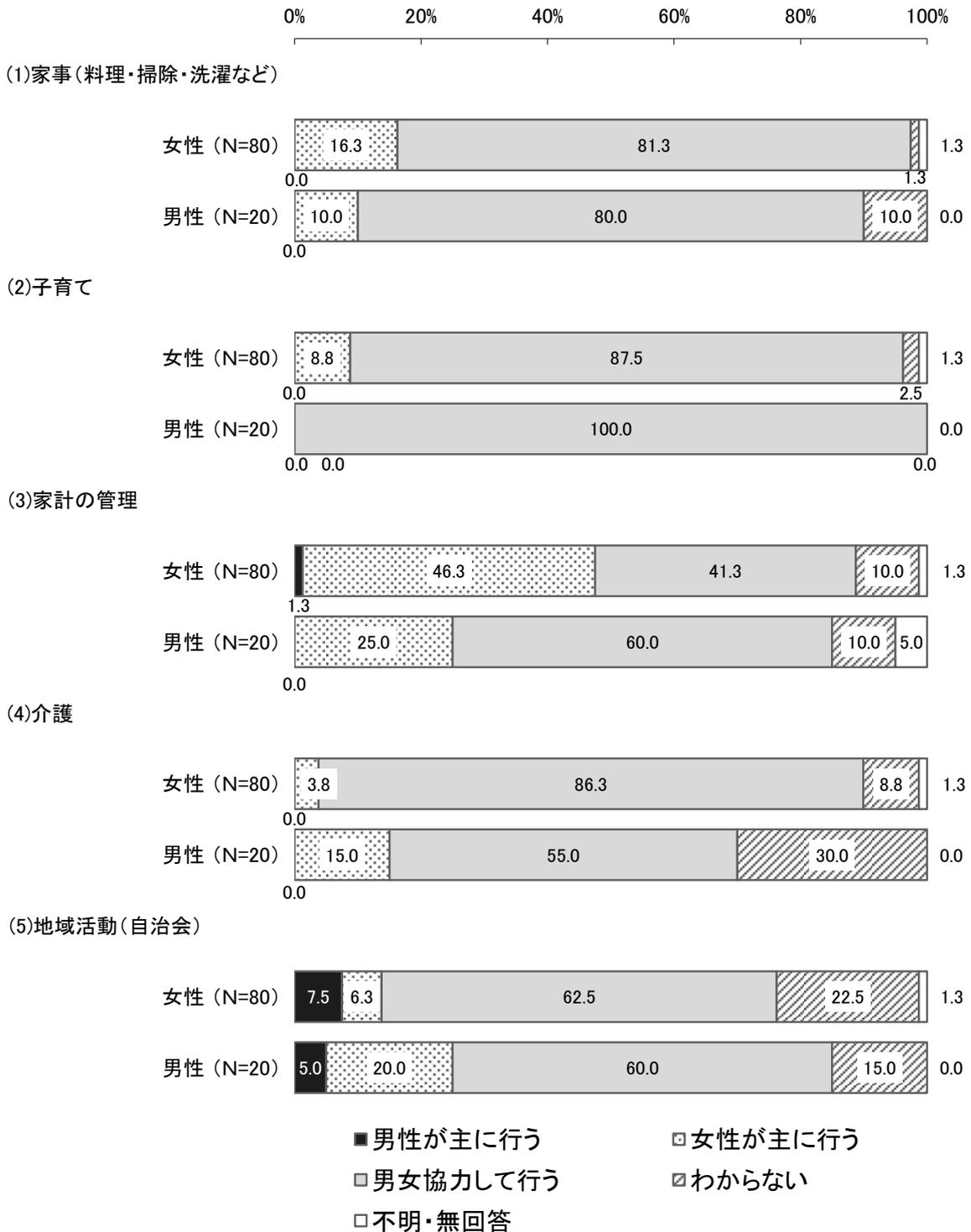
問8 あなたは、結婚生活についてどのようにするのが一番よいと思いますか。(単数回答)

すべての項目で「男女協力して行う」が最も高く、特に「(2) 子育て」、「(1) 家事(料理・掃除・洗濯など)」、「(4) 介護」では80%を超えています。一方で、各項目で特徴がみられ、「(3) 家計の管理」では「女性が主に行う」が42.0%と高く、「(5) 地域活動(自治会)」では他の項目にほとんど回答がない「男性が主に行う」が7.0%となっています。



男女別比較

性別でみると、女性が男性より 10 ポイント以上高いのは、「(3) 家計の管理」では「女性が主に行う」、「(4) 介護」では「男女協力して行う」、男性が女性より 10 ポイント以上高いのは、「(2) 子育て」、「(3) 家計の管理」では「男女協力して行う」、「(4) 介護」、「(5) 地域活動（自治会）」では「女性が主に行う」となっています。

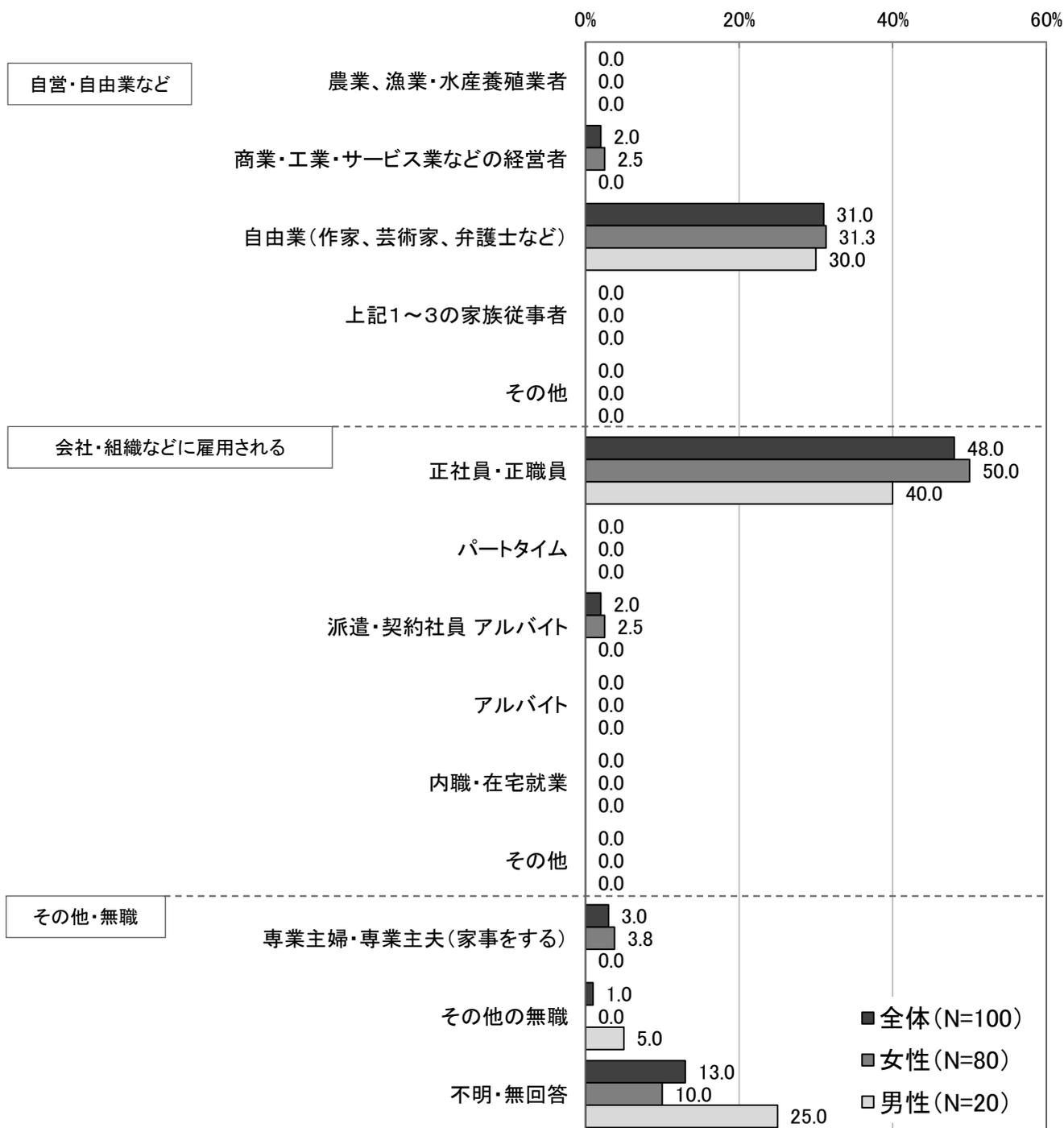


(4) 職業生活について

問9 あなたが希望する職業や働き方はどれにあたりますか。(単数回答)

希望の職業や働き方については、「正社員・正職員」が48.0%と最も高く、次いで「自由業（作家、芸術家、弁護士など）」が31.0%となっています。

性別でみると、男女ともに「正社員・正職員」が最も高く、次いで「自由業（作家、芸術家、弁護士など）」となっています。



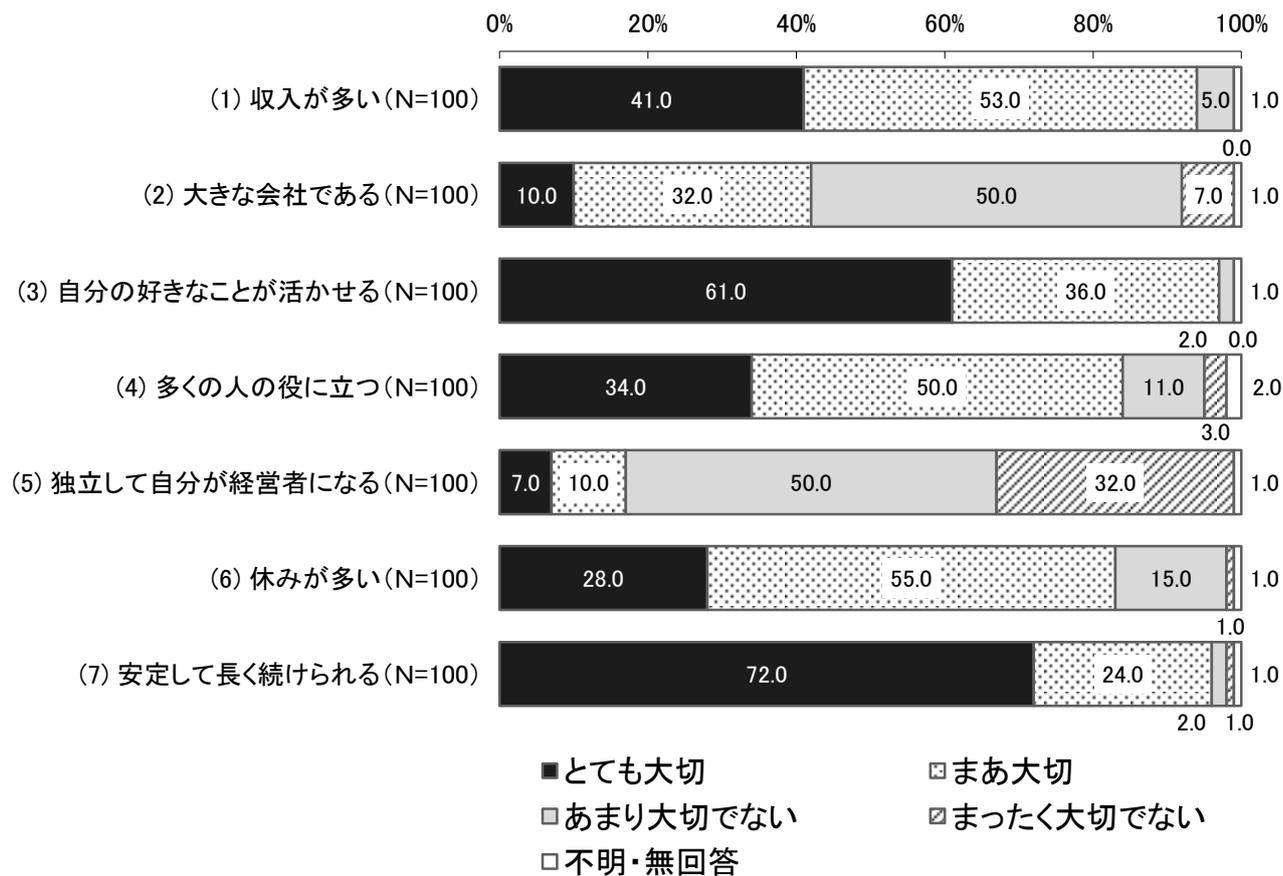
問 10 職業を選ぶとしたら、あなたは次のようなことをどれくらい大切に考えますか。(単数回答)

問 10 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『大切』…「とても大切」と「まあ大切」を合算

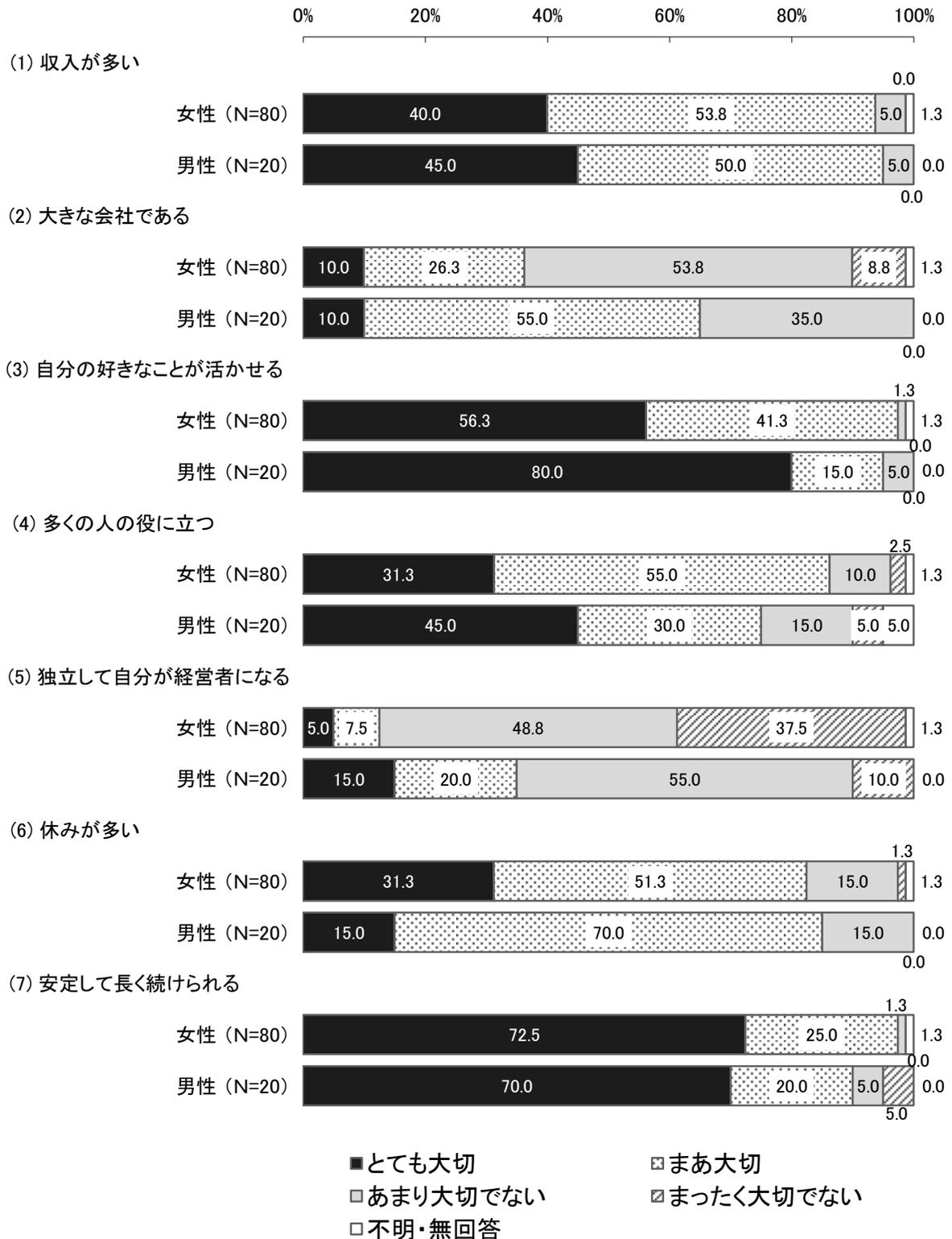
『大切にない』…「まったく大切にない」と「あまり大切にない」を合算

職業を選択する上で、『大切』と考えることについては、「(1) 収入が多い」、「(3) 自分の好きなことが活かせる」、「(7) 安定して長く続けられる」で 90%を超えています。『大切にない』と考えることについては、「(2) 大きな会社である」、「(5) 独立して自分が経営者になる」で 50%を超えています。



男女別比較

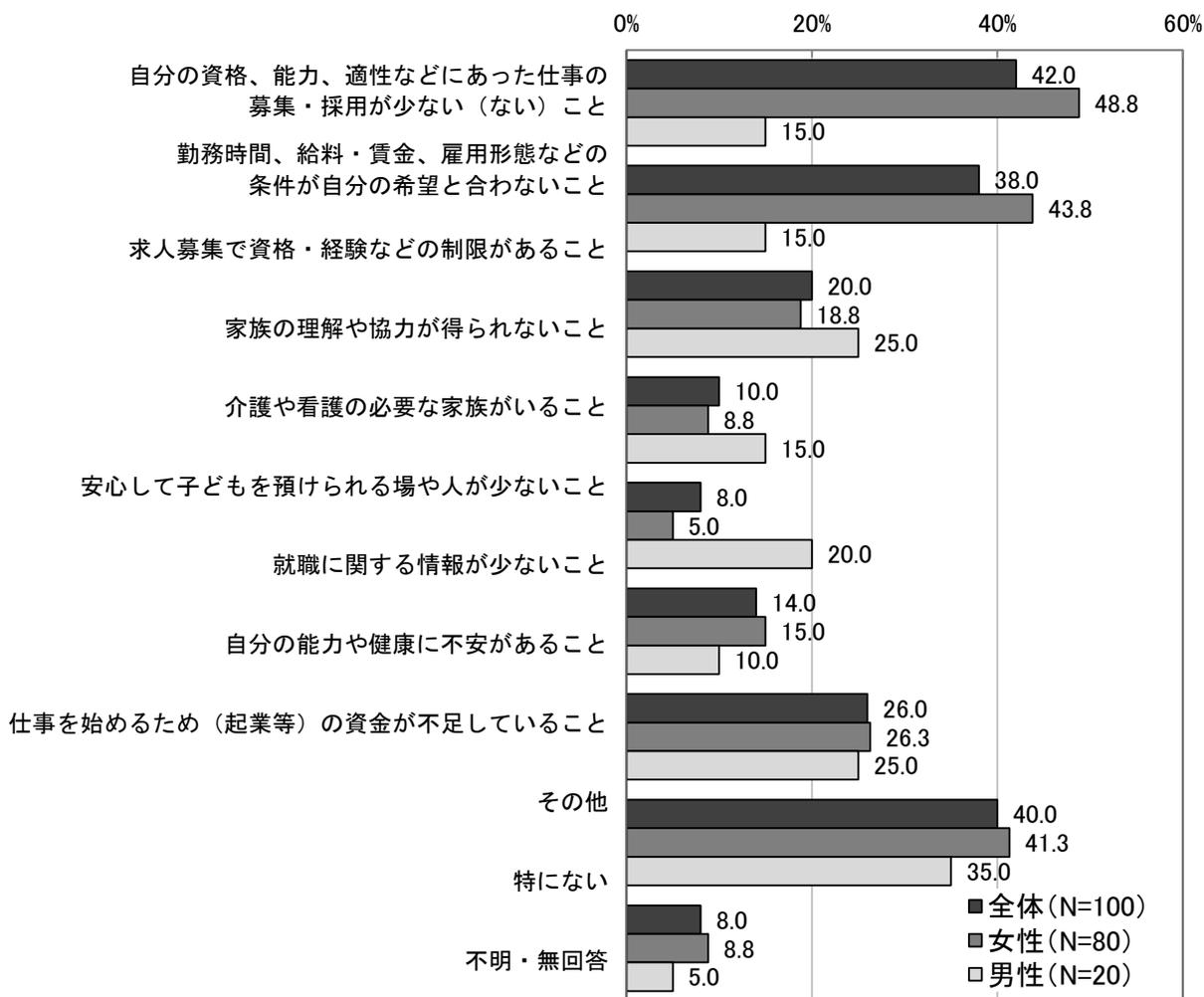
性別でみると、職業を選択する上で、男女ともに『大切』と考える割合が最も高い項目は、「(3) 自分の好きなことが活かせる」となっています。また、性別により10ポイント以上の差異がある項目は、「(2) 大きな会社である」で28.7ポイント、「(5) 独立して自分が経営者になる」で22.5ポイント女性よりも男性が高く、「(4) 多くの人に役に立つ」で11.3ポイント男性よりも女性が高くなっています。



問11 あなたは、希望する職業や働き方をする上で、何か不安がありますか。(複数回答)

希望の職業や働き方に関する不安は、「自分の資格、能力、適性などにあった仕事の募集・採用が少ない(ない)こと」が42.0%と最も高く、次いで「自分の能力や健康に不安があること」が40.0%、「勤務時間、給料・賃金、雇用形態などの条件が自分の希望と合わないこと」が38.0%となっています。

性別でみると、女性が男性より10ポイント以上高いのは「自分の資格、能力、適性などにあった仕事の募集・採用が少ない(ない)こと」、「勤務時間、給料・賃金、雇用形態などの条件が自分の希望と合わないこと」、男性が女性より10ポイント以上高いのは「介護や看護の必要な家族がいること」となっています。

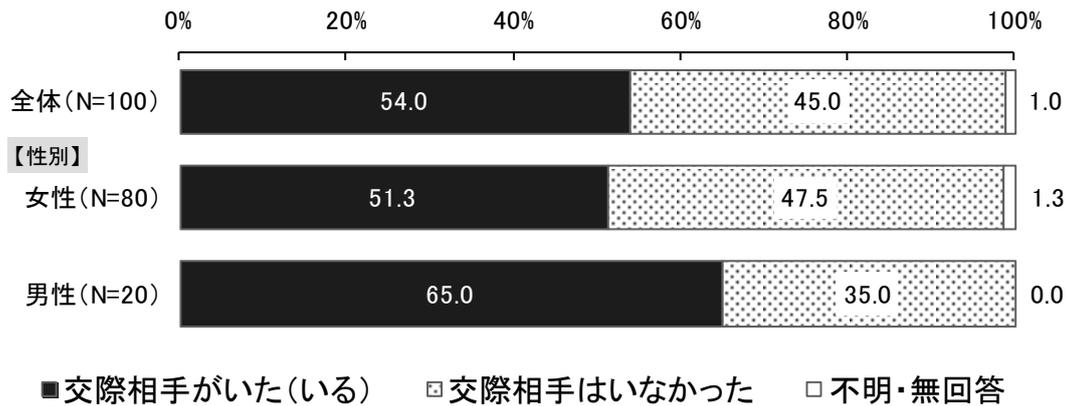


(5) 交際相手からの暴力（デートDV）について

問12 あなたには、10代からこれまでに交際相手（配偶者含む）がいましたか。（単数回答）

交際相手の存在については、「交際相手があった（いる）」が54.0%、「交際相手はいなかった」が45.0%となっています。

性別でみると、「交際相手があった（いる）」が女性では51.3%、男性では65.0%となっています。



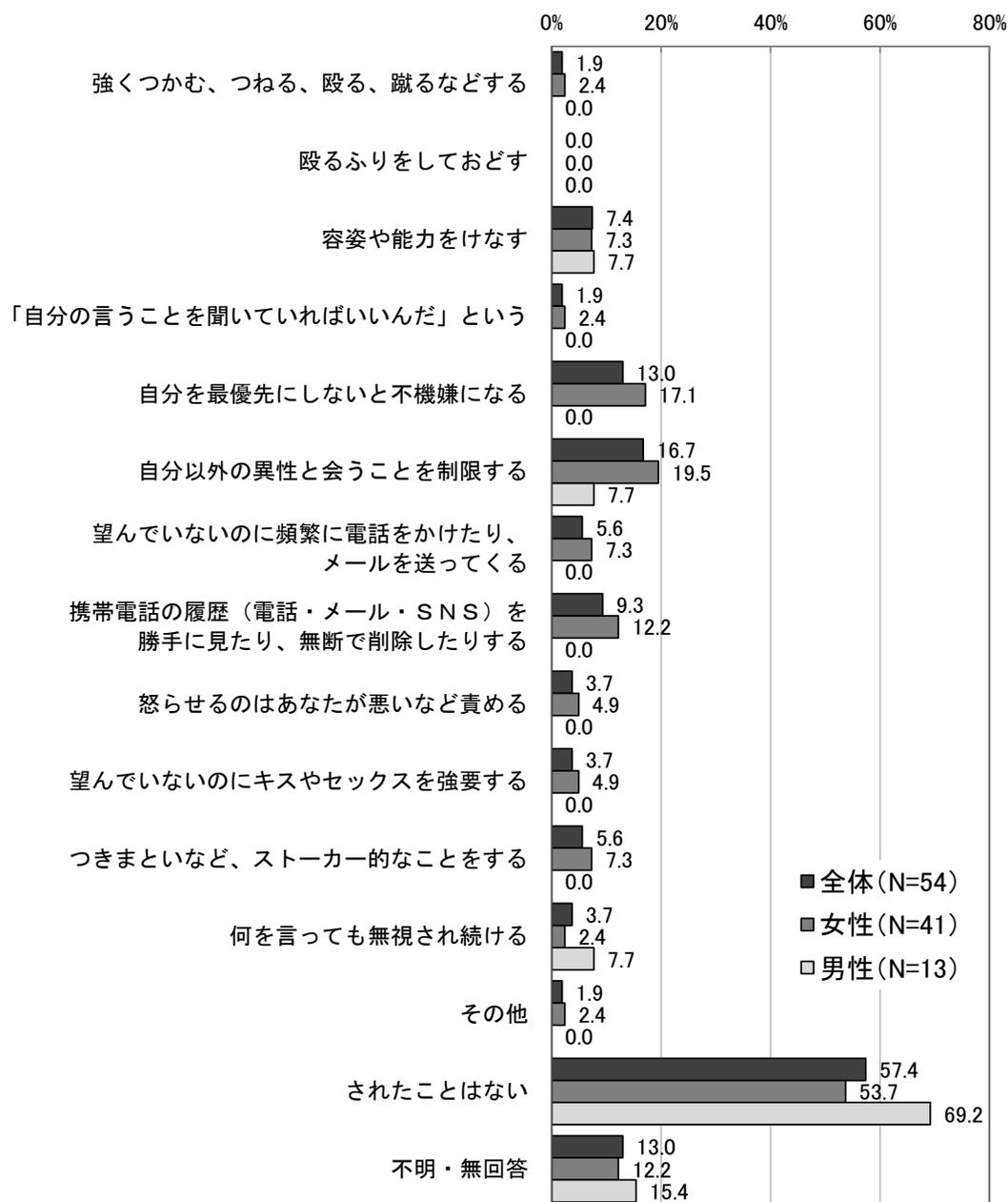
【問 12 で「交際相手がいた（いる）」と回答した方のみ】

問 13 あなたは、10代からこれまでに交際相手から次のようなことをされたことがありますか。
(複数回答)

1 10代にあったこと

10代のDV被害については、「されたことはない」が57.4%と最も高く、次いで「自分以外の異性と会うことを制限する」が16.7%、「自分を最優先にしないと不機嫌になる」が13.0%となっています。

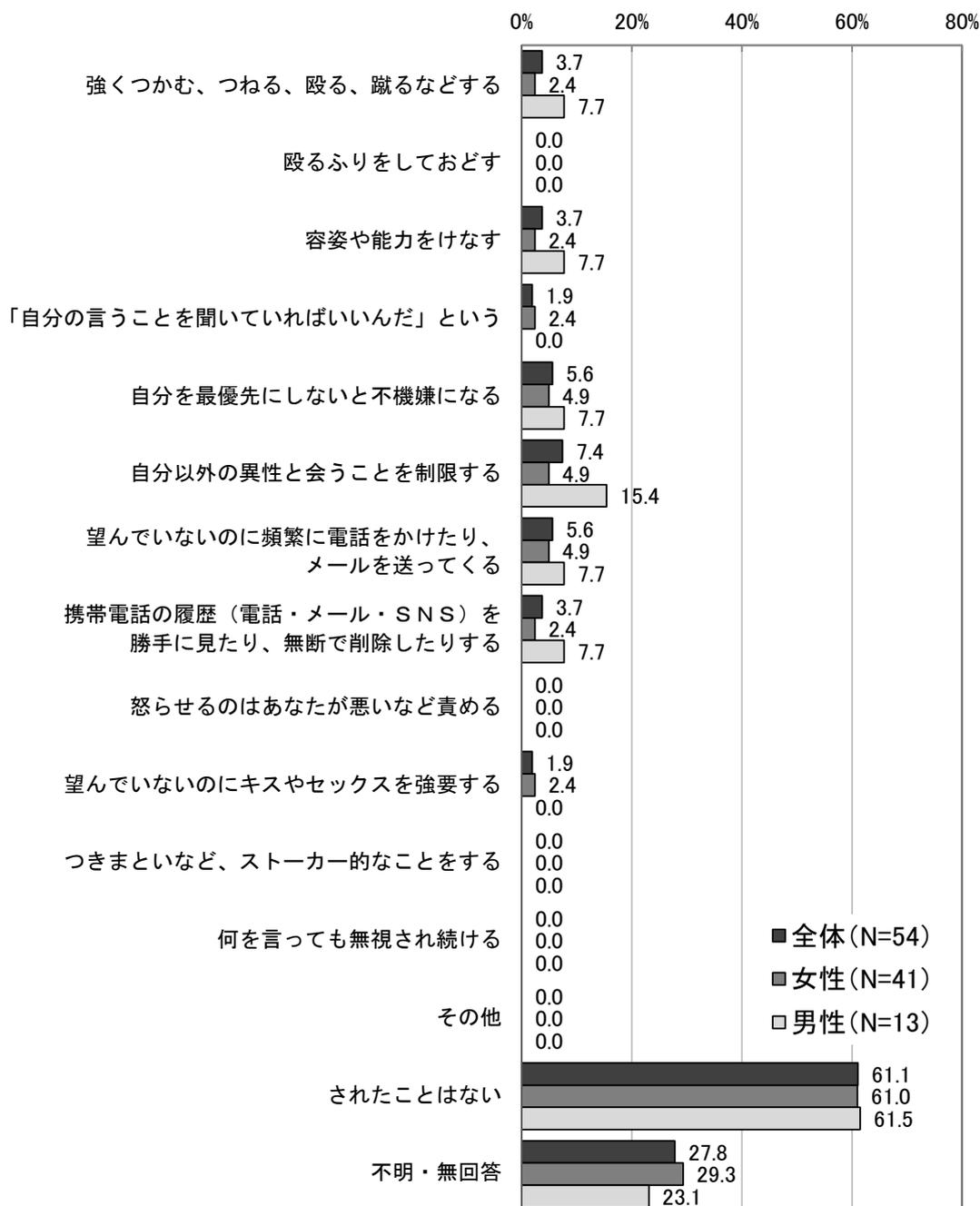
性別で見ると、女性では、「殴るふりをしておどす」以外のすべての項目において被害経験が報告されています。一方、男性では「容姿や能力をけなす」、「自分以外の異性と会うことを制限する」、「何を言っても無視され続ける」という被害経験が報告されています。性別により10ポイント以上の差異がある項目は、「自分を最優先にしないと不機嫌になる」で17.1ポイント、「携帯電話の履歴（電話・メール・SNS）を勝手に見たり、無断で削除したりする」で12.2ポイント、「自分以外の異性と会うことを制限する」で11.8ポイント、女性が男性より高くなっています。また、「されたことはない」で15.5ポイント、男性が女性より高くなっています。



2 20代にあったこと

20代のDV被害経験については、「されたことはない」が61.1%と最も高く、次いで「自分以外の異性と会うことを制限する」が7.4%となっています。

性別でみると、女性が男性より高い項目は「自分の言うことを聞いていればいいんだ」という、「望んでいないのにキスやセックスを強要する」のみで、「強くつかむ、つねる、殴る、蹴るなどする」、「容姿や能力をけなす」、「自分を最優先にしないと不機嫌になる」、「自分以外の異性と会うことを制限する」、「望んでいないのに頻繁に電話をかけてきたり、メールを送ってくる」、「携帯電話の履歴（電話・メール・SNS）を勝手に見たり、無断で削除したりする」では男性が女性より高くなっています。



問 14 あなたは、交際相手に問 13 のような行為を受けたとき、誰かに打ち明けたり、相談しましたか。(単数回答)

※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

DVを受けた際に、「相談した(する)」が73.0%と最も高く、次いで「相談しようと思わなかった(思わない)」が17.0%、「相談できなかった(できない)」が6.0%となっています。

性別でみると、「相談した(する)」は女性が男性よりも10.0ポイント高く、「相談しようと思わなかった(思わない)」は男性が女性よりも16.2ポイント高くなっています。



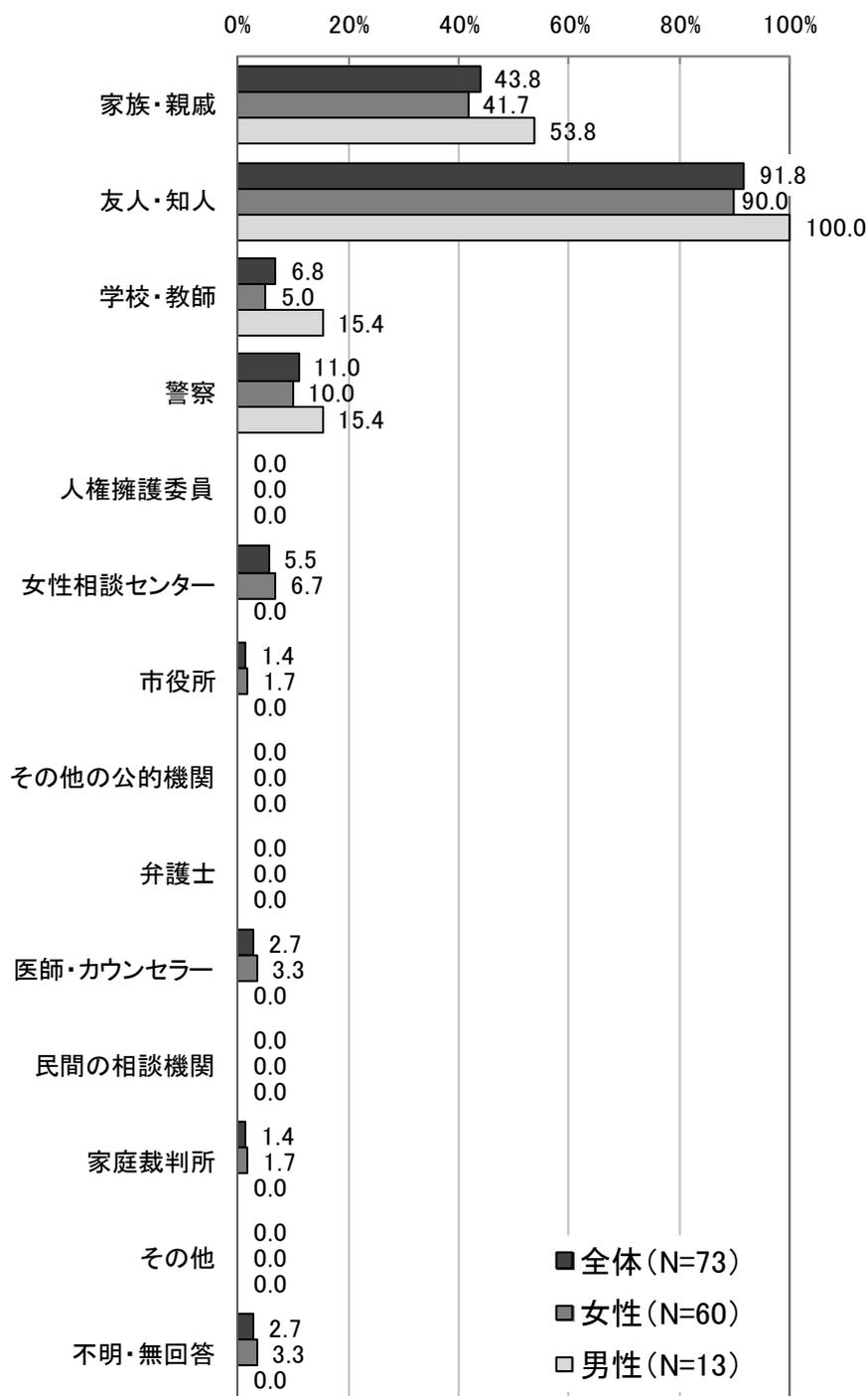
- 相談した(する)
- ▨ 相談できなかった(できない)
- 相談しようと思わなかった(思わない)
- 不明・無回答

【問 14 で「相談した（する）」と回答した方のみ】

問 14-1 誰（どこ）に相談しますか（しましたか）。（複数回答）

※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

相談先については、「友人・知人」が91.8%と最も高く、次いで「家族・親戚」が43.8%となっています。
性別で見ると、男女とも「友人・知人」が最も高く、次いで「家族・親戚」となっています。

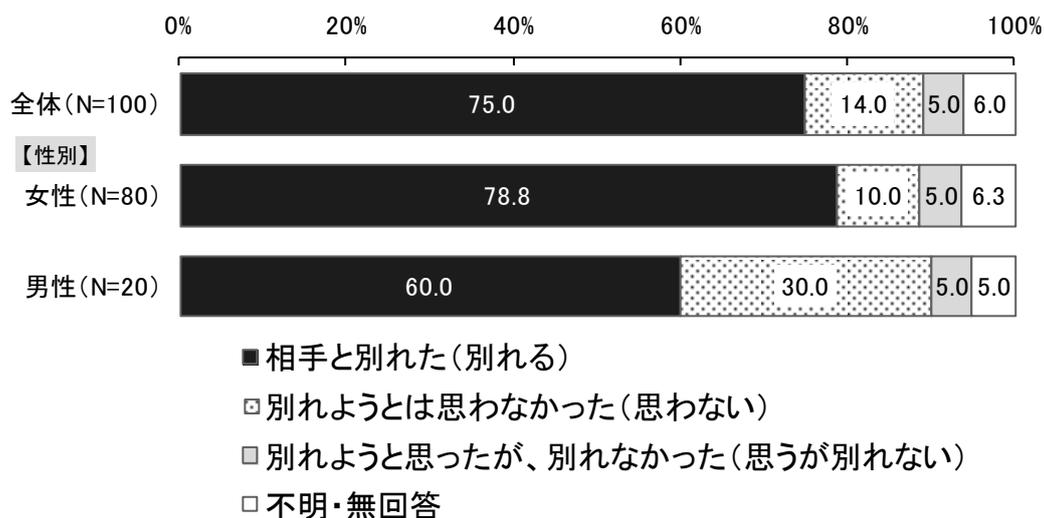


問 14-2 あなたは、交際相手に問 13 のような行為を受けたとき、どうしましたか。(単数回答)

※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

DVを受けた際に、「相手と別れた(別れる)」が75.0%と最も高く、次いで「別れようとは思わなかった(思わない)」が14.0%となっています。

性別でみると、女性では男性より「相手と別れた(別れる)」が18.8ポイント高く、男性では女性より「別れようとは思わなかった(思わない)」が20.0ポイント高くなっています。



【問 14-2 で「別れようと思ったが、別れなかった(思うが別れない)」と回答した方のみ】

問 14-3 あなたが、相手と別れなかった(別れない)最も大きな理由は何ですか。(単数回答)

相手と別れなかった(別れない)理由は、「怖くて逃げだせない」が3件で最も多く、「恋人同士なのだから、イヤなことある程度しかたがないと思った」、「相手が謝ったから」がそれぞれ1件となっています。

単位：件

	普段はとてもやさしいから信じたと思った	恋人同士なのだから、イヤなことある程度しかたがないと思った	自分にも悪いところがあると思った	相手も気の毒なところがあり、救えるのは私だけだと思った	別れることに相手が同意しない	怖くて逃げだせない	相手が謝ったから	その他
全体(N=5)	-	1	-	-	-	3	1	-
女性(N=4)	-	-	-	-	-	3	1	-
男性(N=1)	-	1	-	-	-	-	-	-

(6) 男女共同参画社会について

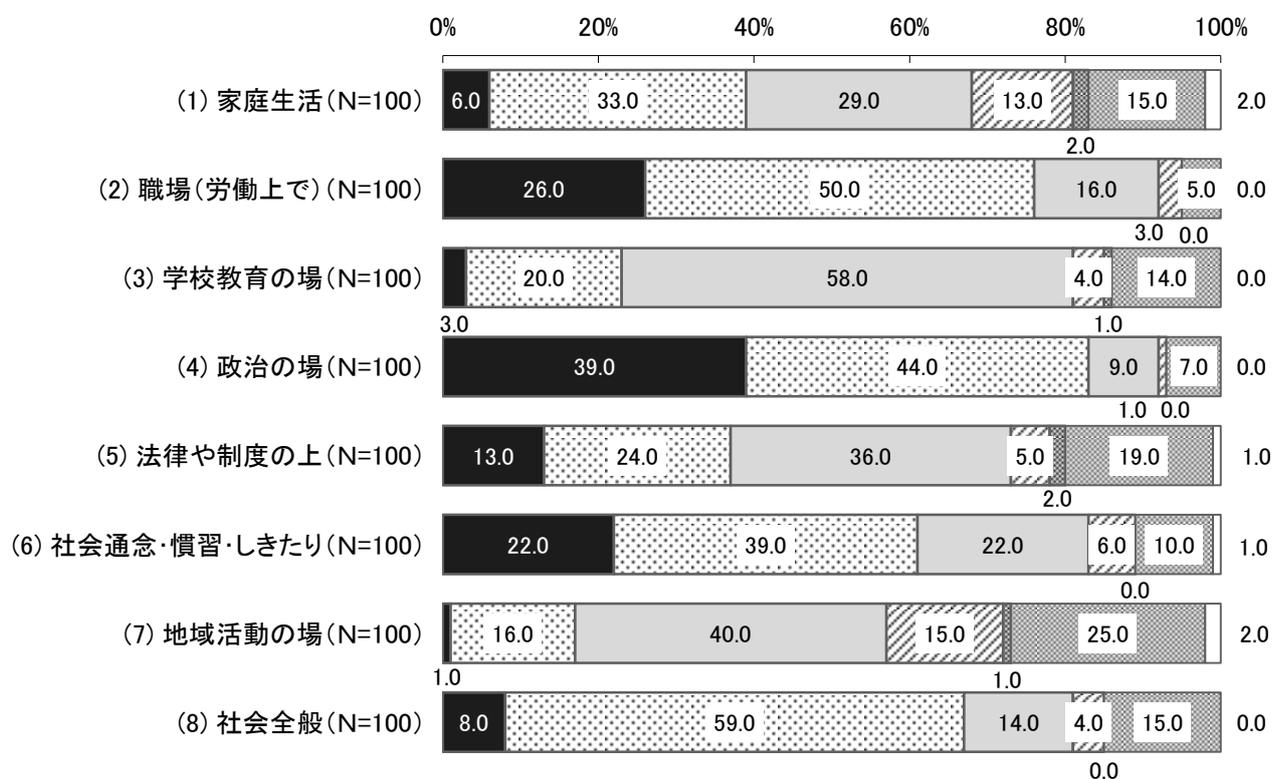
問 15 あなたは、次にあげる分野で男女地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 15 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

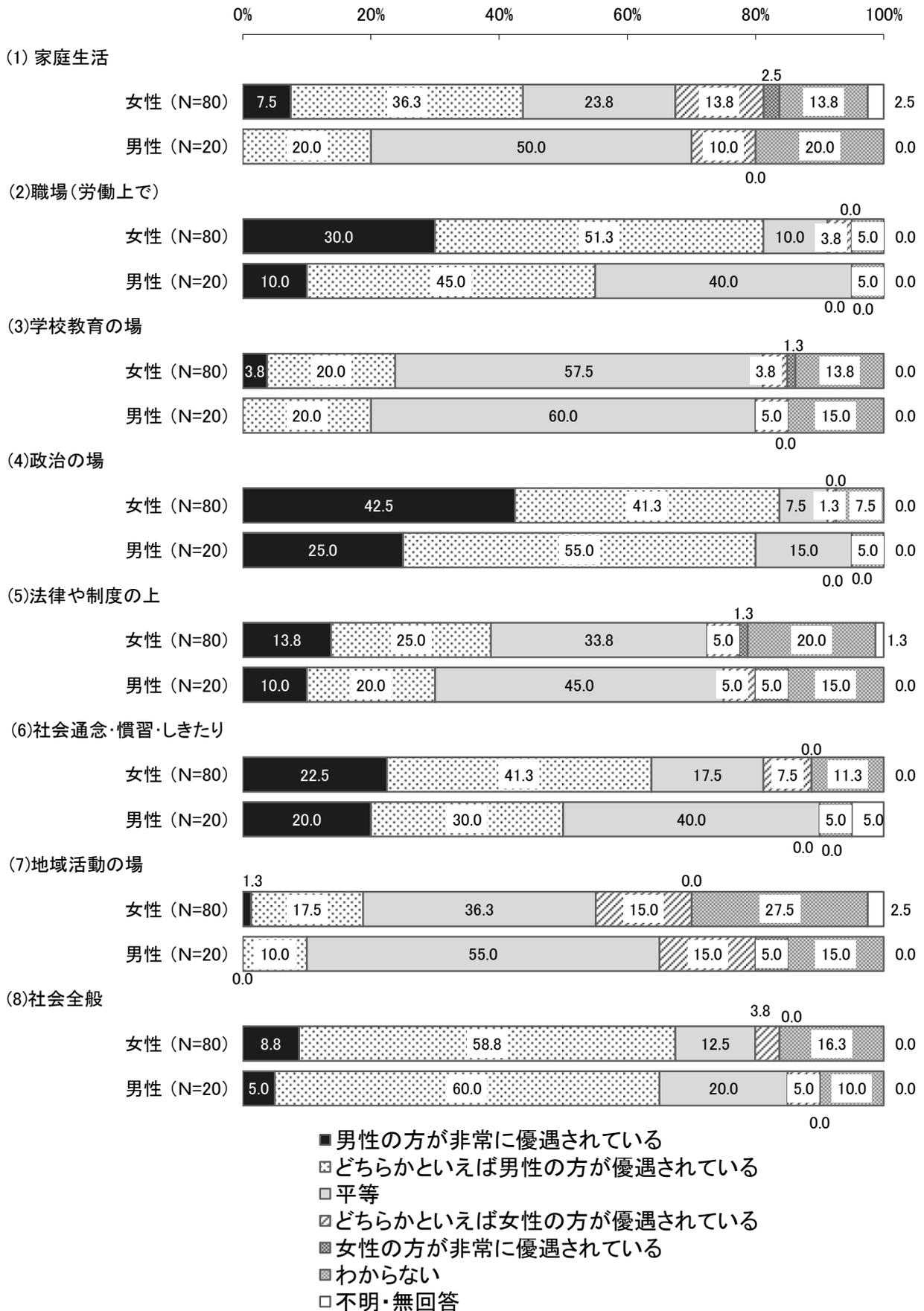
男女の地位の平等については、「(3) 学校教育の場」、「(7) 地域活動の場」を除くすべての項目で『男性優遇』が最も高くなっています。特に「(4) 政治の場」で83.0%、「(2) 職場(労働上で)」で76.0%と『男性優遇』が高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

男女別比較

性別で見ると、すべての項目において、女性は男性より『男性優遇』の割合が高くなっています。一方、すべての項目で男性は女性より「平等」の割合が高くなっています。

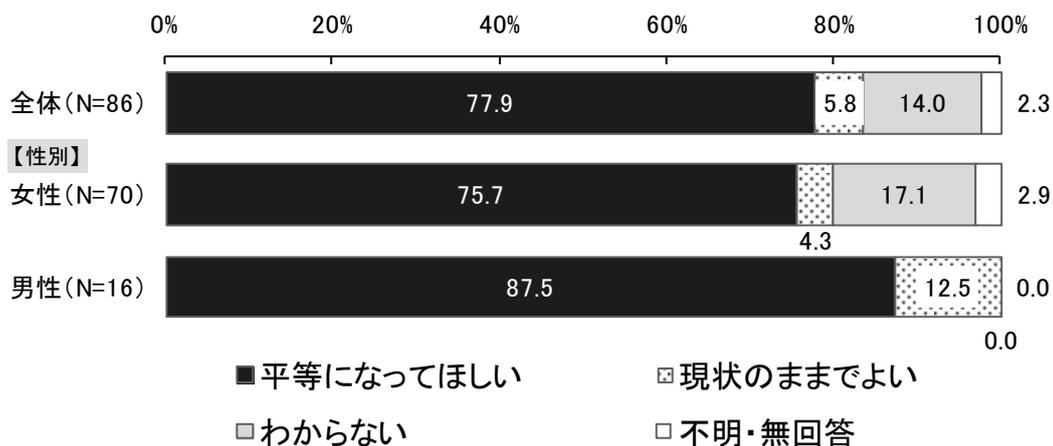


【問 15 の項目（8）社会全般で「平等」以外を回答した方のみ】

問 15-1 あなたは、社会全般で男女の地位が平等になることについてどのように思いますか。
（単数回答）

男女の地位平等については、「平等になってほしい」が 77.9%と最も高く、次いで「わからない」が 14.0%、「現状のままでよい」が 5.8%となっています。

性別でみると、男女ともに「平等になってほしい」が最も高く、男性は女性よりも 11.8 ポイント高くなっています。



問 16 男女共同参画社会についての情報を得る機会がありますか。（単数回答）

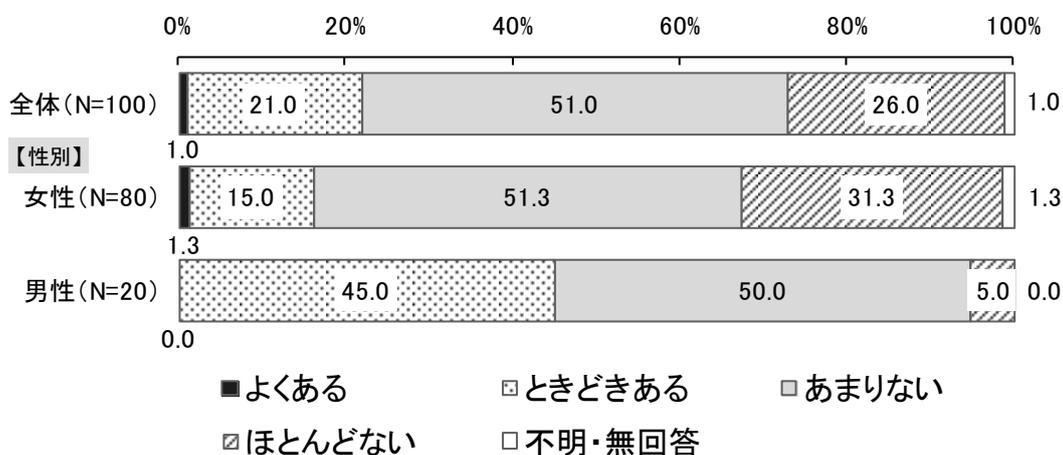
問 16 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『ある』…「よくある」と「ときどきある」を合算

『ない』…「ほとんどない」と「あまりない」を合算

男女共同参画社会に関する情報入手の機会については、『ある』が 22.0%、『ない』が 77.0%となっています。

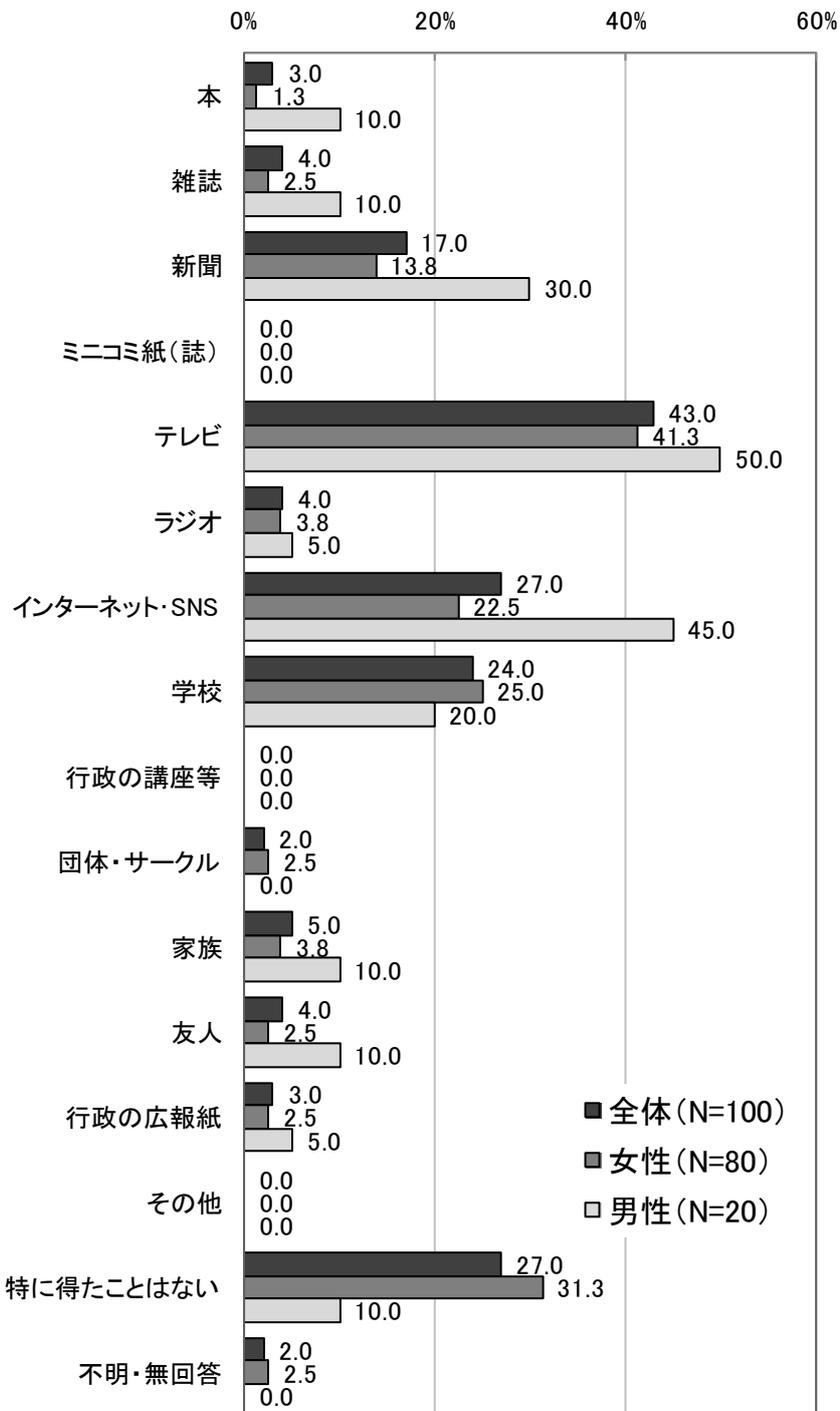
性別でみると、女性では『ある』が 16.3%、『ない』が 82.6%、男性では『ある』が 45.0%、『ない』が 55.0%となっています。



問17 男女共同参画社会についての情報は何かから得ていますか。(複数回答)

情報源については、「テレビ」が43.0%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が27.0%、「学校」が24.0%となっています。また、情報を「特に得たことはない」が27.0%となっています。

性別でみると、「学校」、「団体・サークル」以外の情報源については、女性より男性が高くなっています。



問 18 あなたは、男女共同参画社会の実現についてどのように思いますか。(単数回答)

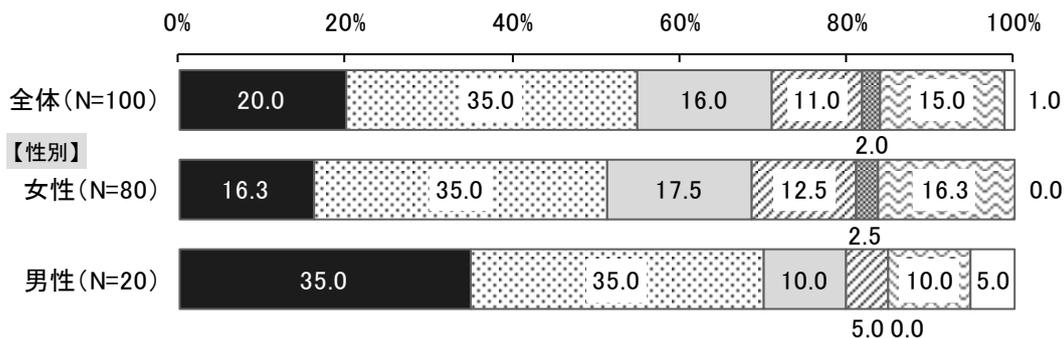
問 18 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『期待している』…「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合算

『期待していない』…「期待しない」と「どちらかといえば期待していない」を合算

男女共同参画社会の実現について、『期待している』が 55.0%、「どちらともいえない」が 16.0%、『期待していない』が 13.0%となっています。

性別でみると、女性は男性より「どちらともいえない」『期待していない』が高く、男性は女性より『期待している』が高くなっています。

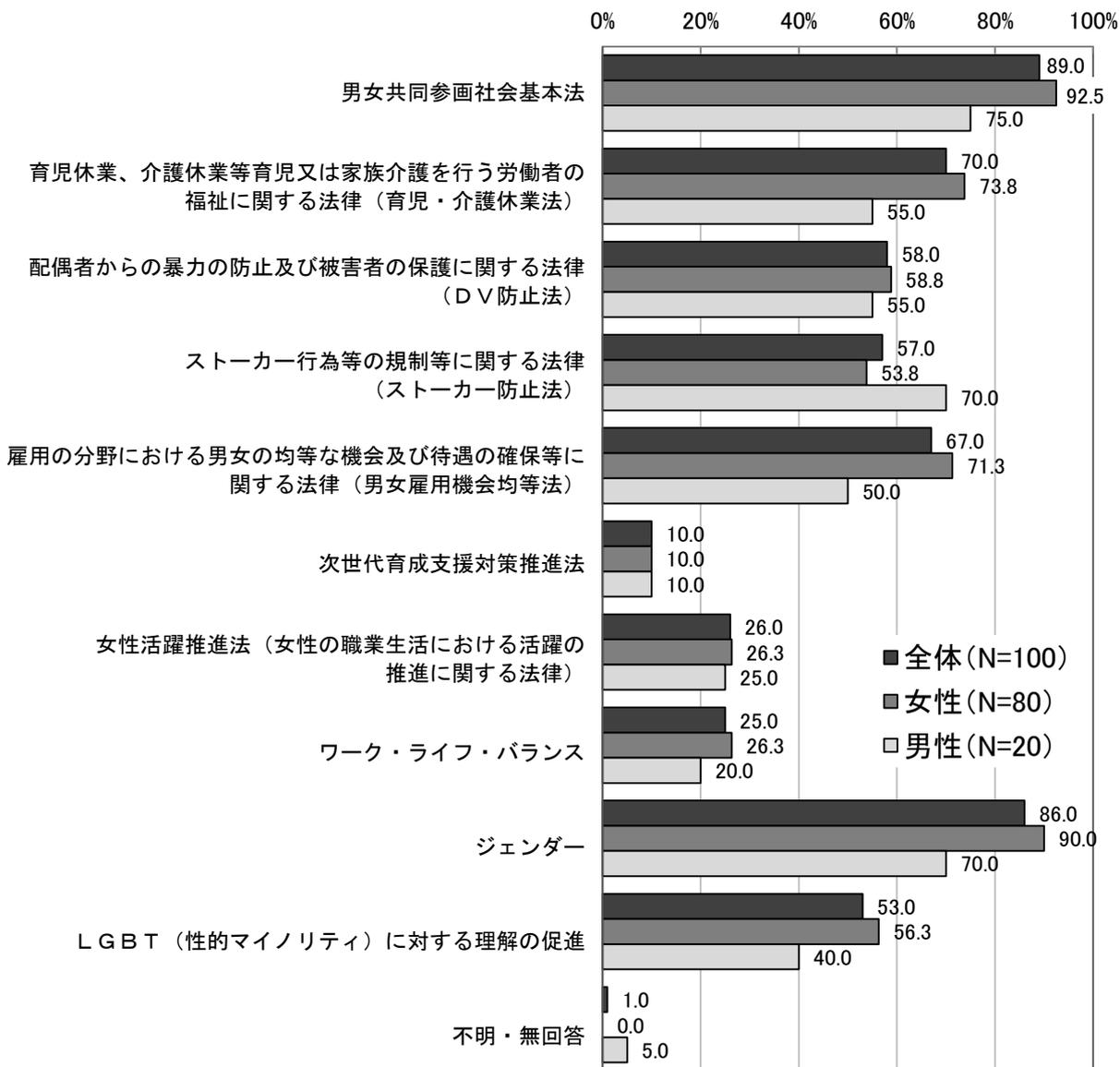


- 期待している
- どちらともいえない
- 期待しない
- 不明・無回答
- ▨ どちらかといえば期待している
- ▨ どちらかといえば期待していない
- ▨ わからない

問 19 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(複数回答)

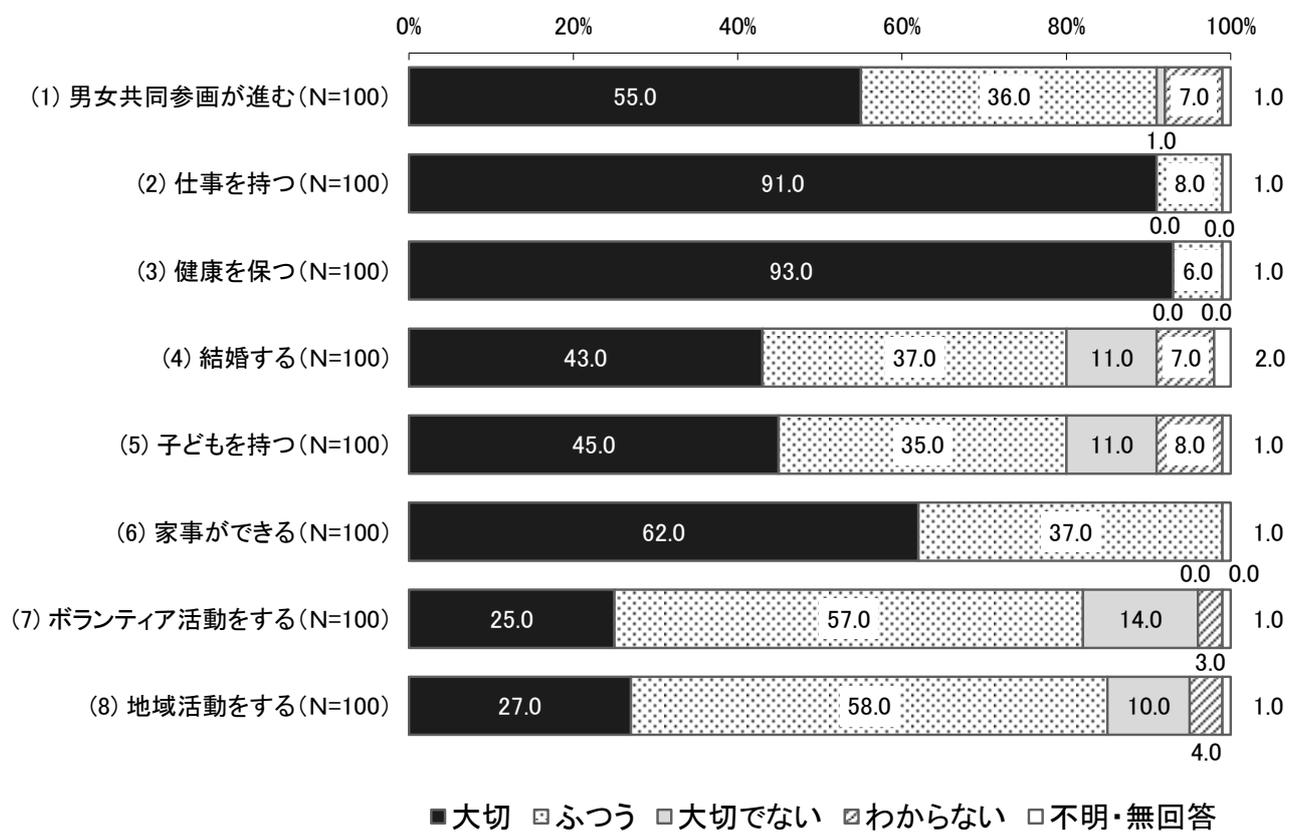
見聞きしたことがある言葉は、「男女共同参画社会基本法」が89.0%と最も高く、次いで「ジェンダー」が86.0%となっています。

性別でみると、男女ともに「男女共同参画社会基本法」が最も高く、次いで「ジェンダー」となっています。「ストーカー行為等の規則等に関する法律（ストーカー防止法）」、「次世代育成支援対策推進法」以外の項目は、すべて女性が男性よりも高くなっています。



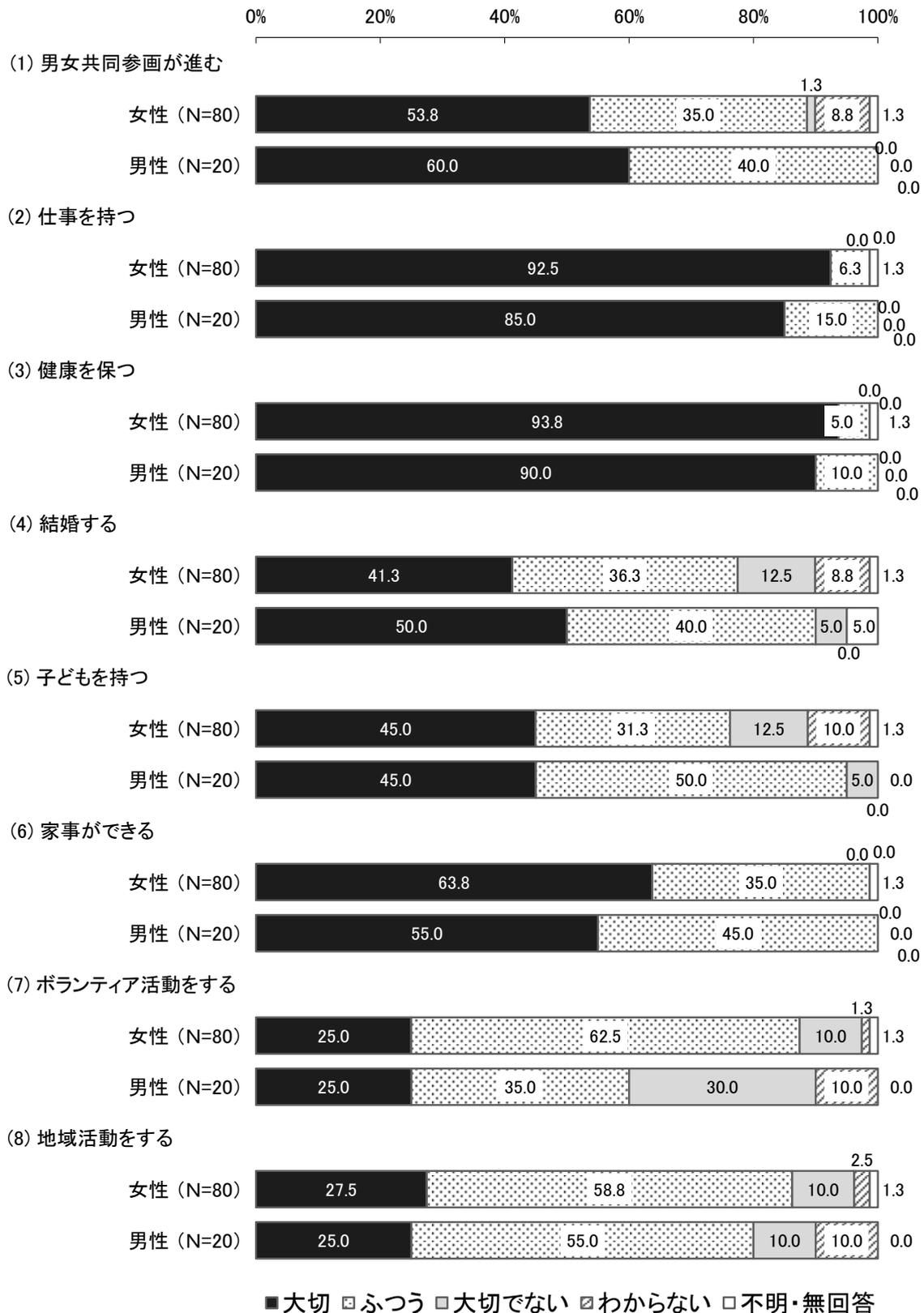
問 20 将来、あなたが希望する生活をするために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。
(単数回答)

希望する生活をするために「大切」と考える割合が最も高い項目は、「(3) 健康を保つ」で93.0%、次いで「(2) 仕事を持つ」で91.0%、「(6) 家事ができる」で62.0%となっています。「大切でない」と考える割合が最も高い項目は、「(7) ボランティア活動をする」で14.0%となっています。



男女別比較

性別で見ると、各項目で希望する生活をするために「大切」と考える割合が最も高い項目は、男女ともに「(3) 健康を保つ」となっています。また「大切でない」と考える割合の差異について「(4) 結婚する」、「(5) 子どもを持つ」で7.5ポイント、男性よりも女性の割合が高くなっています。一方、「(7) ボランティア活動をする」で20ポイント女性より男性の割合が高くなっています。

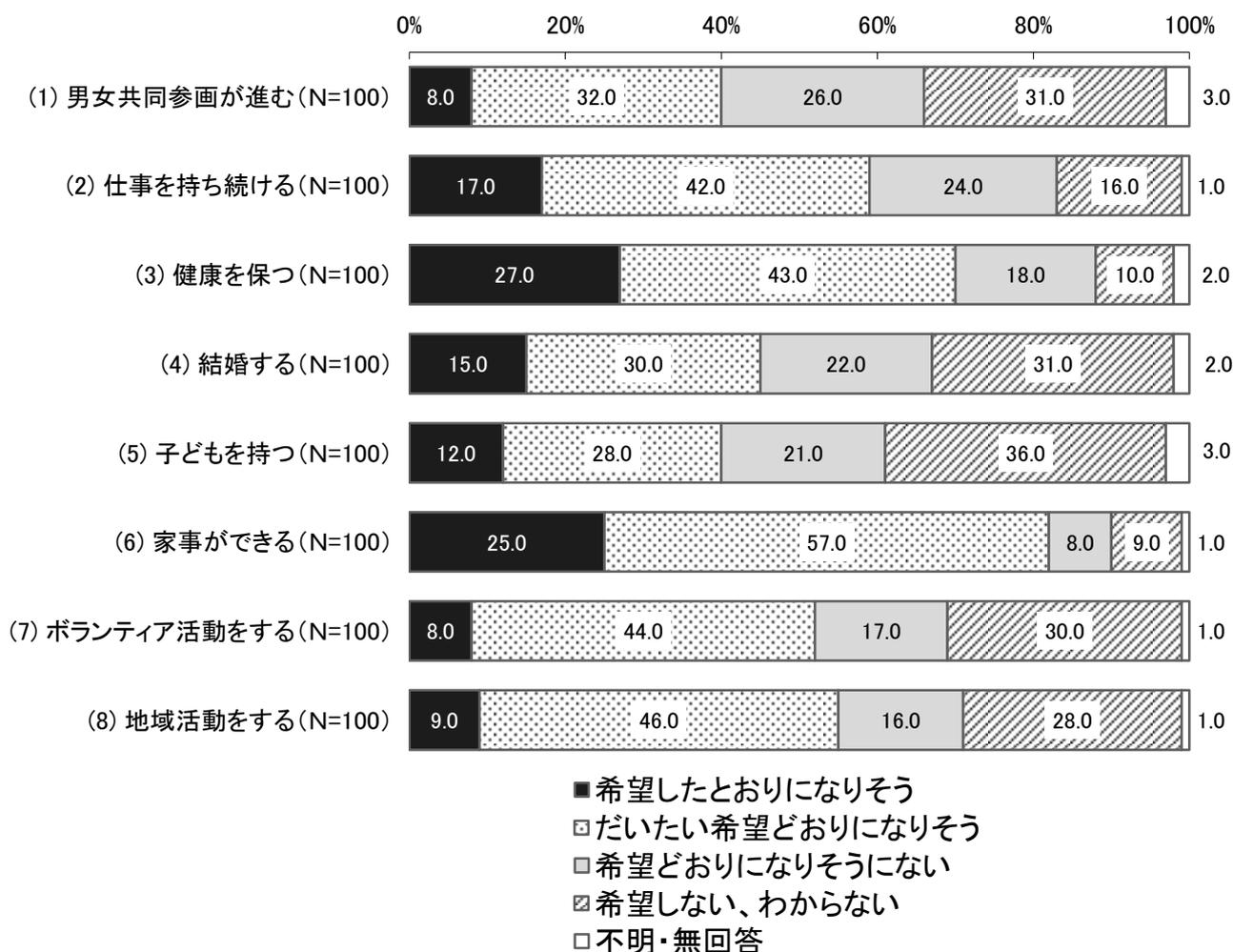


問 21 将来、あなたの希望どおりになりそうですか。(単数回答)

問 21 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

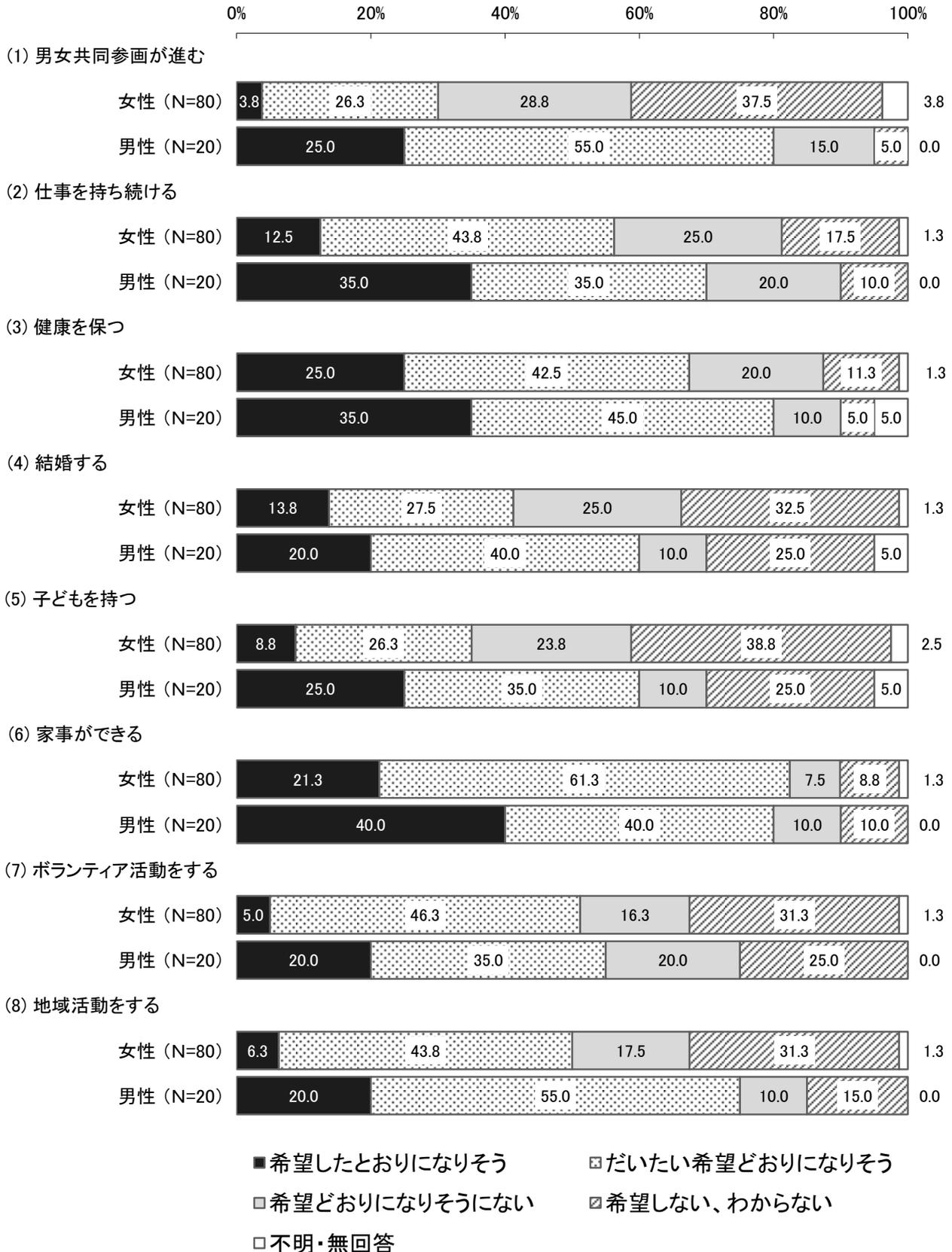
『希望どおり』…「希望したとおりになりそう」と「だいたい希望どおりになりそう」を合算

将来『希望どおり』と見込む割合が最も高い項目は、「(6) 家事ができる」で 82.0%、次いで「(3) 健康を保つ」で 70.0%となっています。「希望どおりになりそうにない」と見込む割合が最も高い項目は、「(1) 男女共同参画が進む」で 26.0%となっています。また、「希望しない、わからない」の割合は、「(5) 子どもを持つ」で 36.0%、「(1) 男女共同参画が進む」、「(4) 結婚する」で 31.0%と高くなっています。



男女別比較

性別で見ると、「(6) 家事ができる」以外のすべての項目で男性は女性に比べて『希望どおり』と見込む割合が高くなっています。また、「(6) 家事ができる」、「(7) ボランティア活動をする」以外のすべての項目で女性は男性に比べて「希望どおりになりそうにない」と見込む割合が高くなっています。

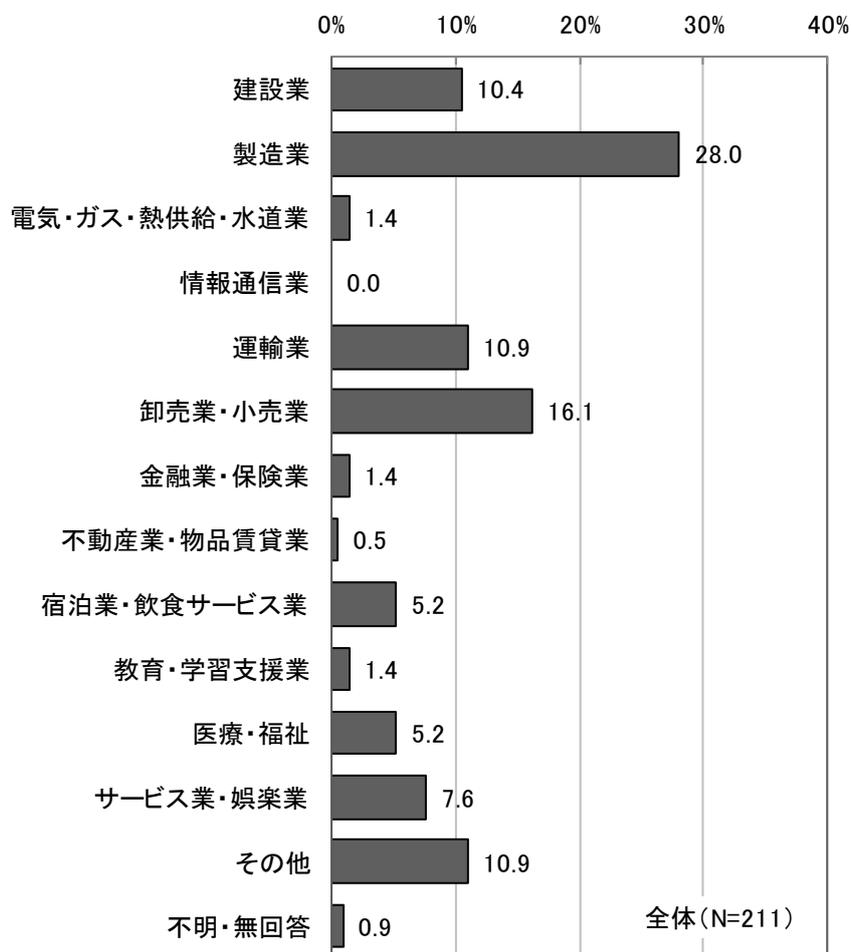


5 事業所調査結果

(1) 回答者の属性

問1 貴事業所の主な業種は何ですか。(単数回答)

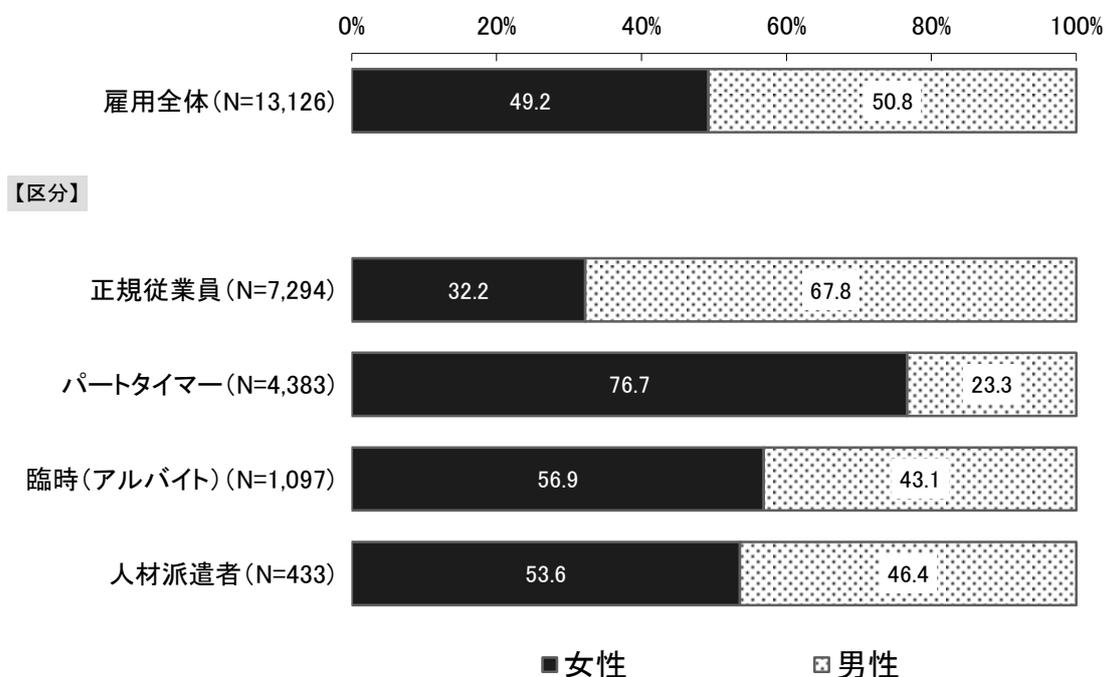
業種は、「製造業」が28.0%、「卸売業・小売業」が16.1%、「運輸業」、「その他」が10.9%となっています。



問 2 (1) 貴事業所の雇用状況 (数量回答)

雇用全体のうち、女性が49.2%、男性が50.8%となっています。

就業区分について、「正規従業員」では男性が67.8%で女性の32.2%より高く、「パートタイマー」では女性が76.7%で男性の23.3%より高くなっています。



※「不明・無回答」を除き、全事業所の従業員を合算して集計

問 2 (2) 貴事業所の雇用規模 (数量回答)

雇用規模は、「50人未満」が75.4%と最も高く、次いで「50～100人未満」が13.3%、「100～300人未満」が7.6%となっています。

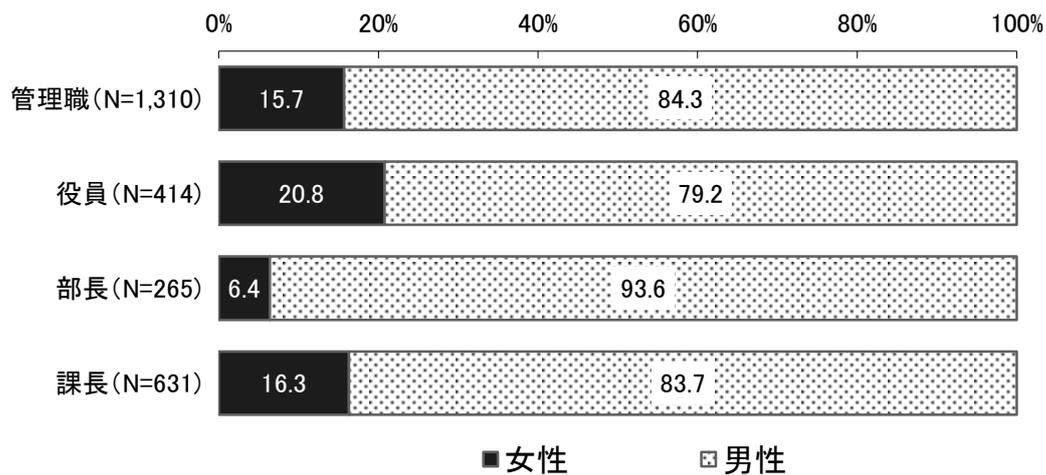


(2) 従業員の就労状態について

問3 貴事業所の管理職（数量回答）

管理職は、女性が15.7%、男性が84.3%となっています。

「役員」で79.2%、「部長」で93.6%、「課長」で83.7%といずれも男性の割合が高くなっています。

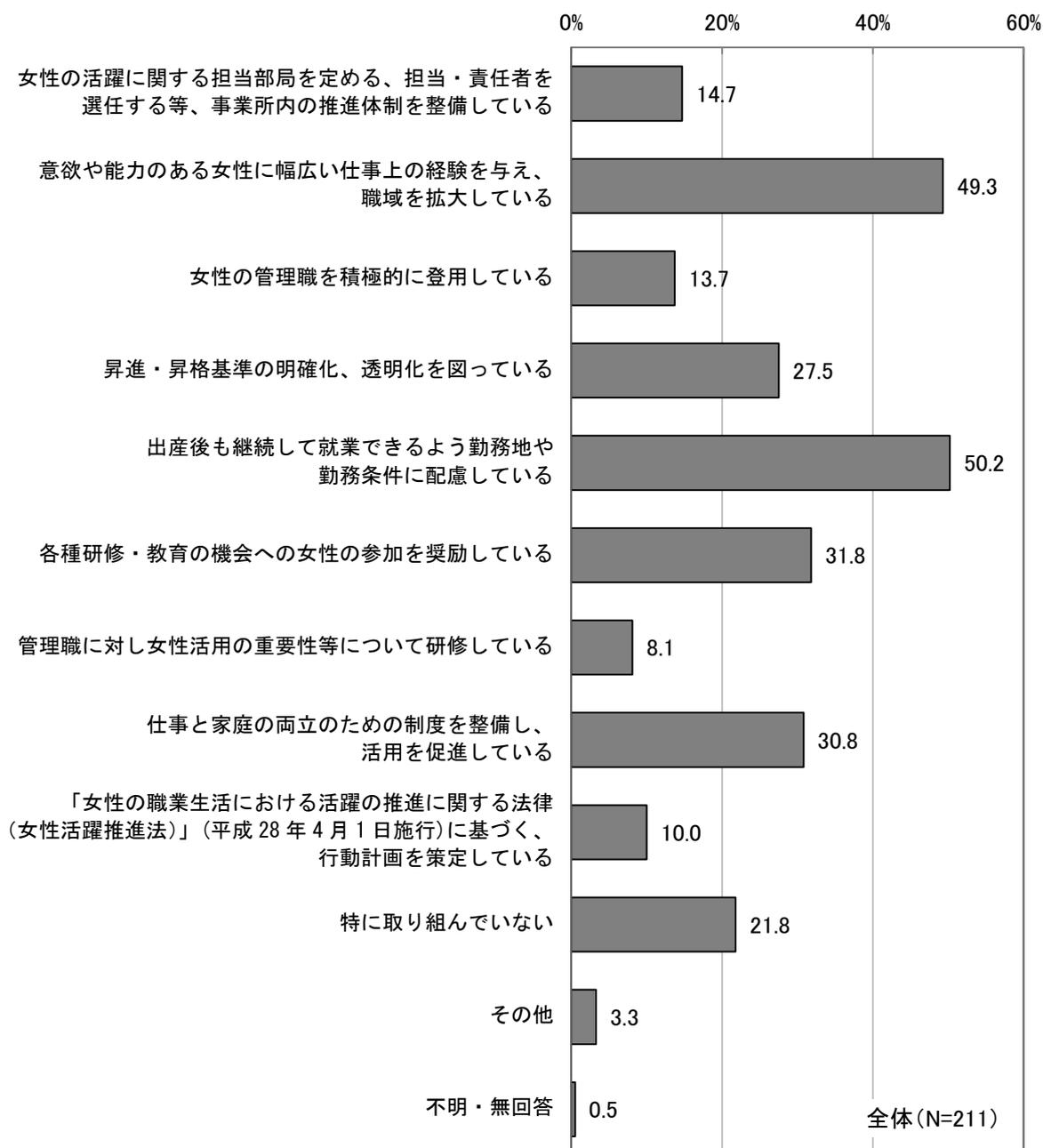


※「不明・無回答」を除き、全事業所の管理職を合算して集計

(3) 女性の雇用管理の状況等について

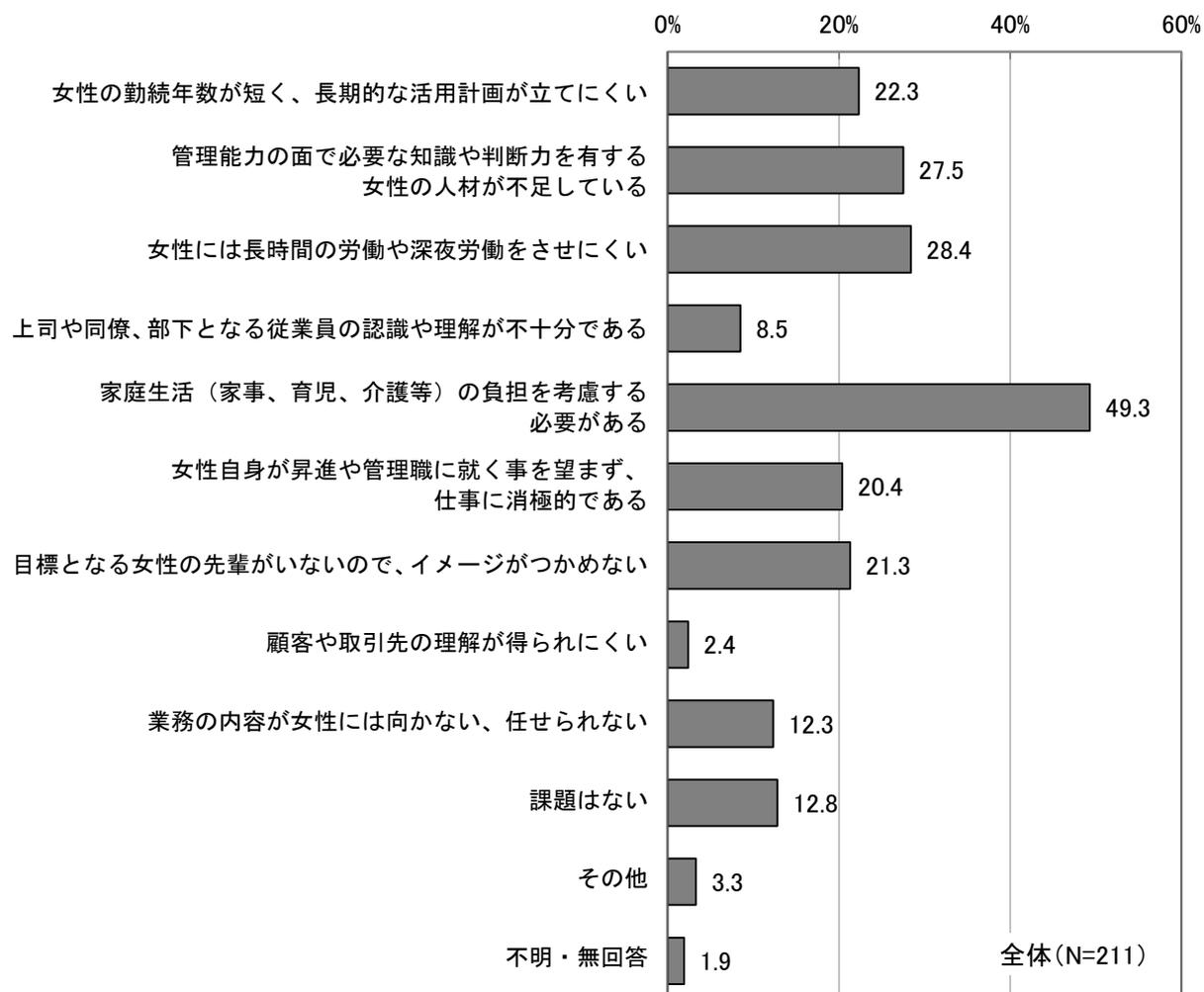
問4 貴事業所では、女性を活用するためにどのようなことに取り組んでいますか。(複数回答)

女性活用で取り組んでいることは、「出産後も継続して就業できるよう勤務地や勤務条件に配慮している」が50.2%と最も高く、次いで「意欲や能力のある女性に幅広い仕事上の経験を与え、職域を拡大している」が49.3%、「各種研修・教育の機会への女性の参加を奨励している」が31.8%となっています。



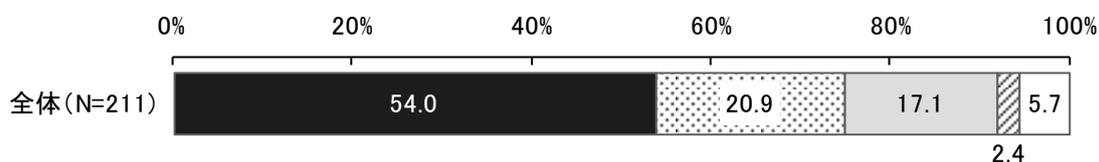
問5 貴事業所では女性の管理職への登用や人材活用に当たってどのような課題がありますか。
(複数回答)

女性管理職の登用や人材活用での課題は、「家庭生活（家事、育児、介護等）の負担を考慮する必要がある」が49.3%と最も高く、次いで「女性には長時間の労働や深夜労働をさせにくい」が28.4%、「管理能力の面で必要な知識や判断力を有する女性の人材が不足している」が27.5%となっています。



問6 貴事業所ではこれから女性を管理職へ登用することについて、どのようにお考えですか。
(単数回答)

今後の女性管理職登用の考えは、「本人の能力や意思によって男女の区別なく管理職へ登用したい」が54.0%と最も高く、次いで「女性に適したと思われる職種や業務については管理職へ登用したい」が20.9%となっています。



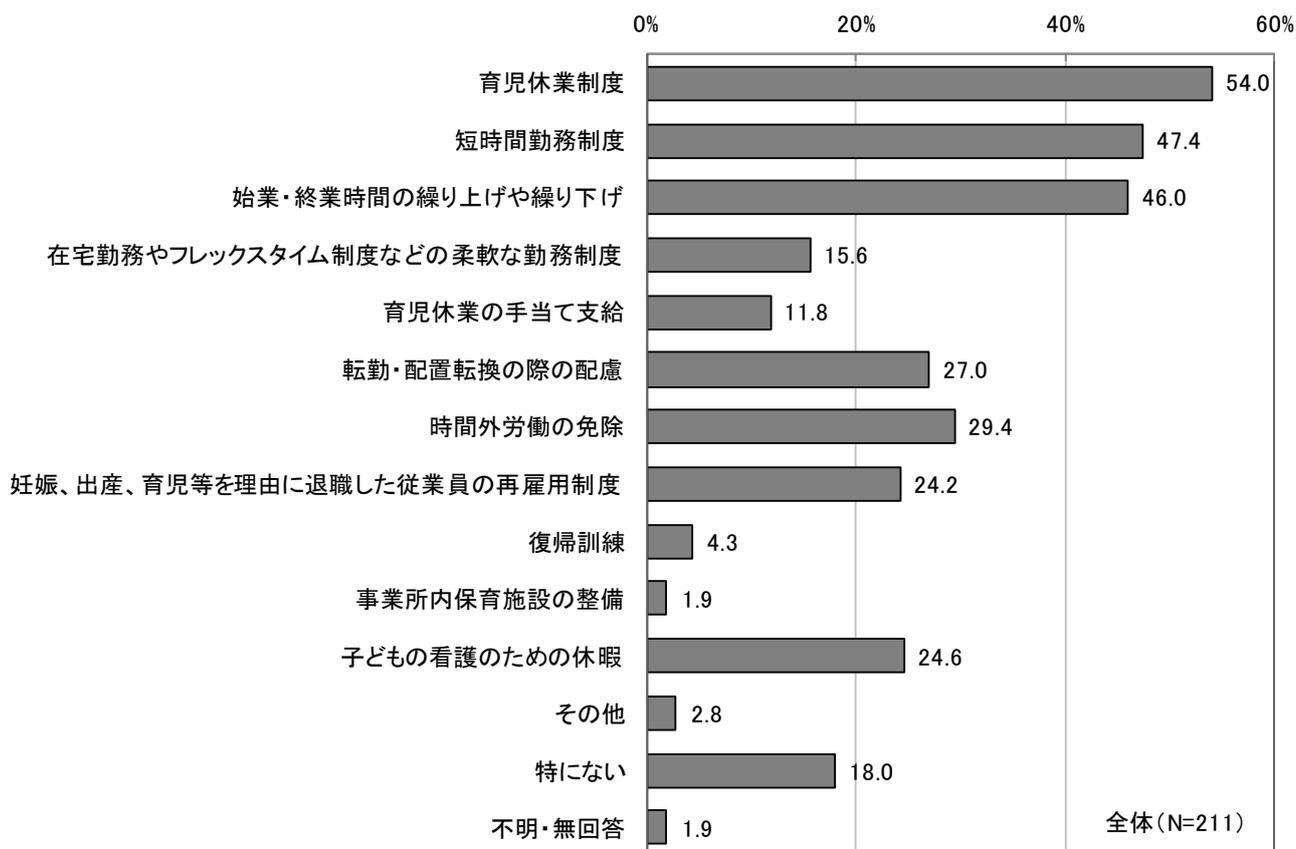
- 本人の能力や意思によって男女の区別なく管理職へ登用したい
- ▣女性に適したと思われる職種や業務については管理職へ登用したい
- 女性を管理職に登用する予定はない
- ▣その他
- 不明・無回答

(4) 「仕事」と「育児や介護」の両立支援について

問7 仕事と育児や介護の両立を支援するために取り組んでいることがありますか。(複数回答)

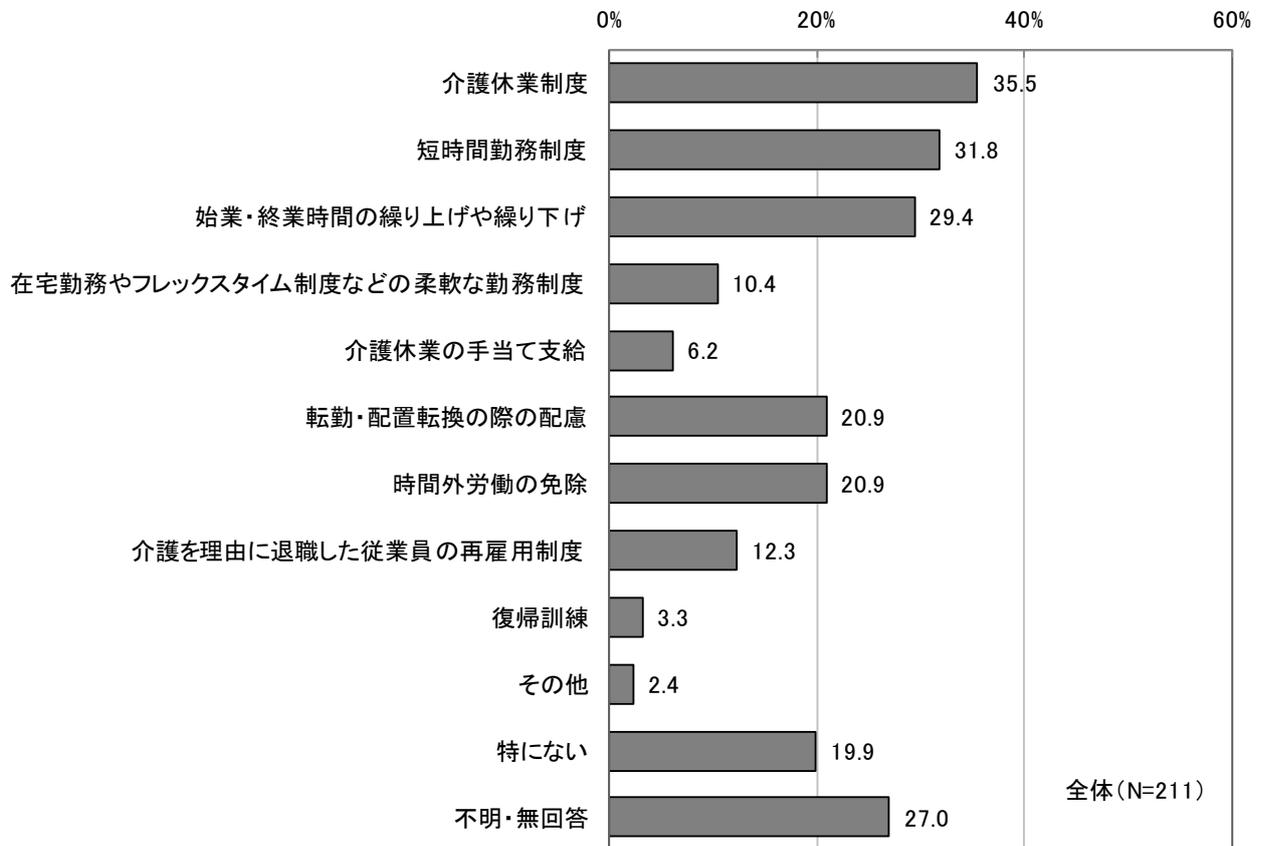
(1) 仕事と育児の両立支援

仕事と育児の両立支援のために取り組んでいることは、「育児休業」制度が54.0%と最も高く、次いで「短時間勤務制度」が47.4%、「始業・終業時間の繰り上げや繰り下げ」が46.0%となっています。



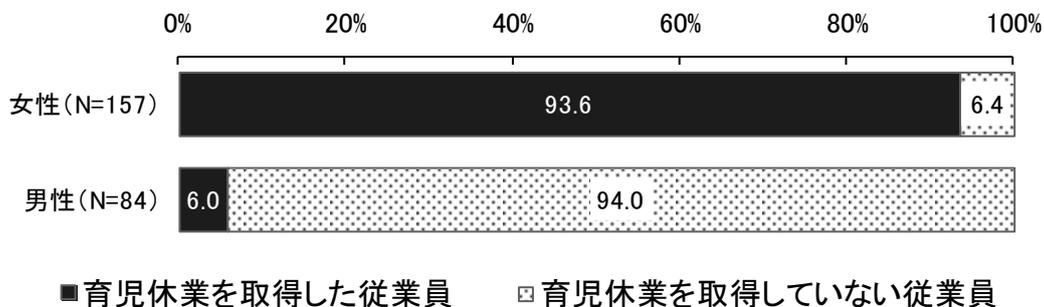
(2) 仕事と介護の両立支援

仕事と介護の両立支援のために取り組んでいることは、「介護休業」が35.5%と最も高く、次いで「短時間勤務制度」が31.8%、「始業・終業時間の繰り上げや繰り下げ」が29.4%となっています。



問8 育児休業の取得状況（平成27年10月1日から平成28年9月30日までの期間）について、男女別にお答えください。（数量回答）

育児休業の取得状況は、女性では出産した157人中147人、男性では配偶者が出産した84人中5人となっており、育児休業取得対象者に占める取得者の割合は、女性が93.6%、男性が6.0%となっています。



※N数は、すべての企業の出産した女性従業員と、配偶者が出産した男性従業員の合算

問9 介護休業の取得状況（平成27年10月1日から平成28年9月30日までの期間）について、男女別にお答えください。（数量回答）

介護休業の取得状況は、男女ともに「0人」の事業所が95%以上と最も高く、女性が1人以上取得した事業所は3.3%、男性が1人以上取得した事業所は2.4%となっています。

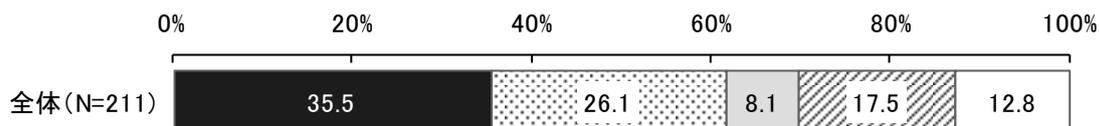


※N数は、回答企業全数。女性、男性それぞれに介護休業の取得人数の割合を掲載している。

(5) ワーク・ライフ・バランスについて

問10 貴事業所ではワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組(例:有給休暇の時間単位の取得、フレックス制度、ノー残業デー等)を行っていますか。(単数回答)

ワーク・ライフ・バランスについて、「取り組んでいる」が35.5%と最も高く、次いで「今後、取り組みたいと考えている」が26.1%、「ワーク・ライフ・バランスについて知らない」が17.5%となっています。

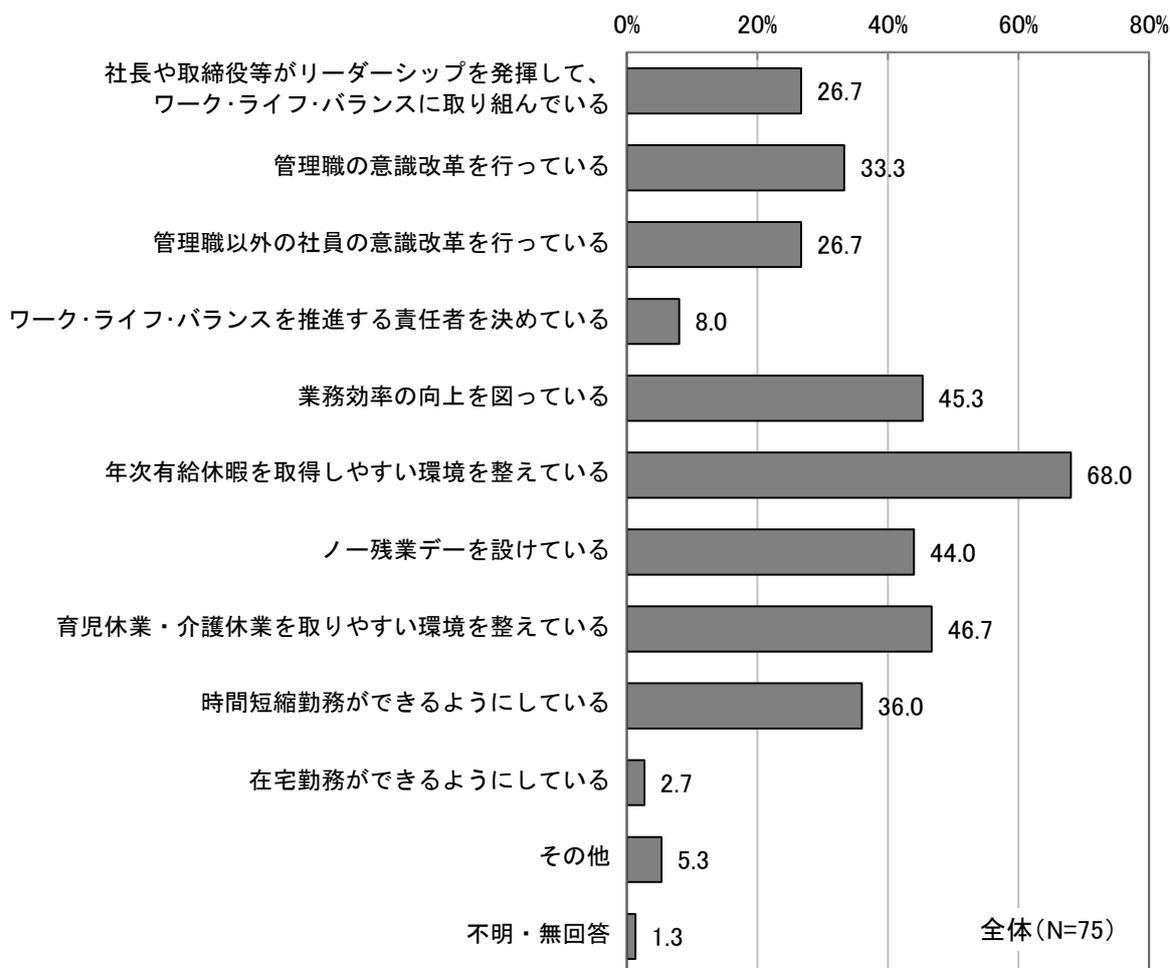


- 取り組んでいる
- ▣ 今後、取り組みたいと考えている
- 取り組むつもりはない
- ▣ ワーク・ライフ・バランスについて知らない
- 不明・無回答

【問 10 で「取り組んでいる」と回答した方のみ】

問 10-1 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けてどのような取組を行っていますか。(複数回答)

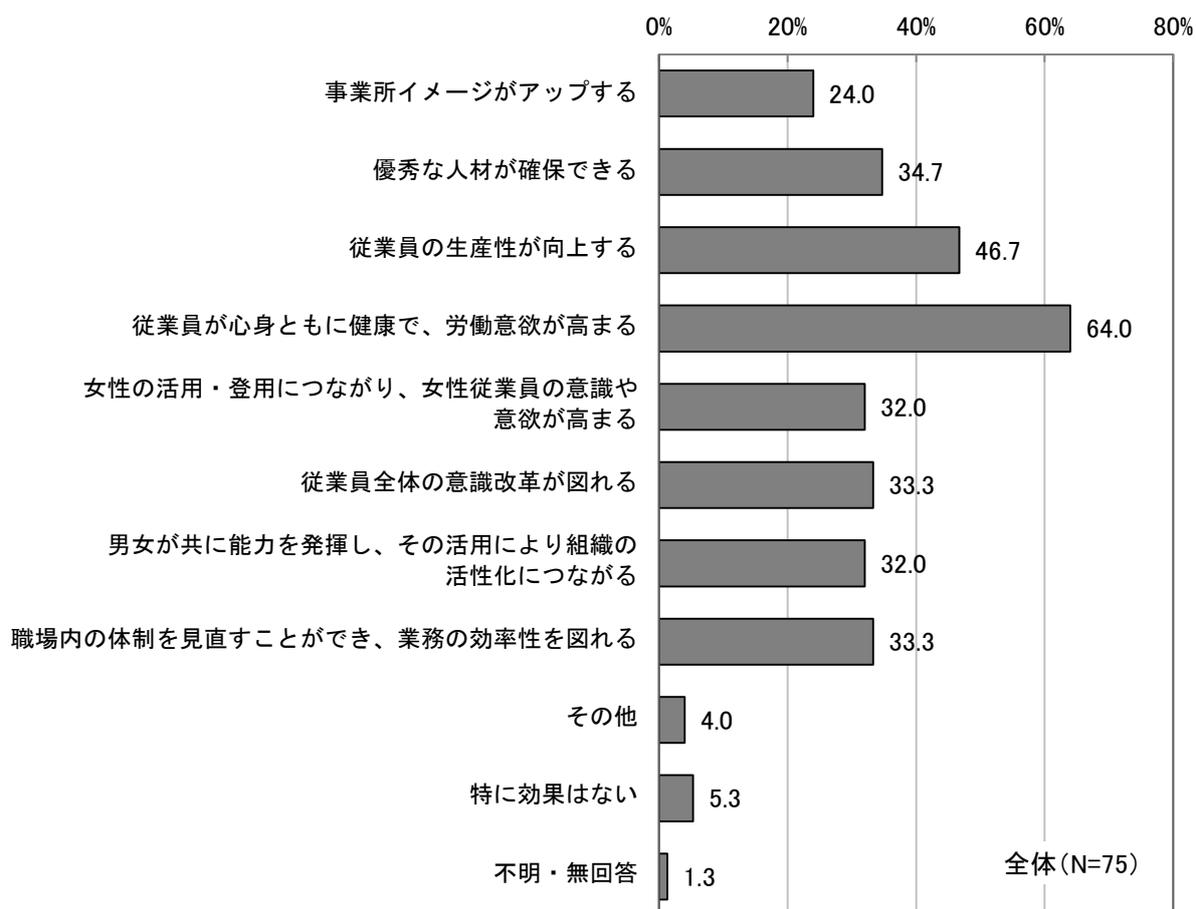
ワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組は、「年次有給休暇を取得しやすい環境を整えている」が 68.0%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業を取りやすい環境を整えている」が 46.7%、「業務効率の向上を図っている」が 45.3%となっています。



【問 10 で「取り組んでいる」と回答した方のみ】

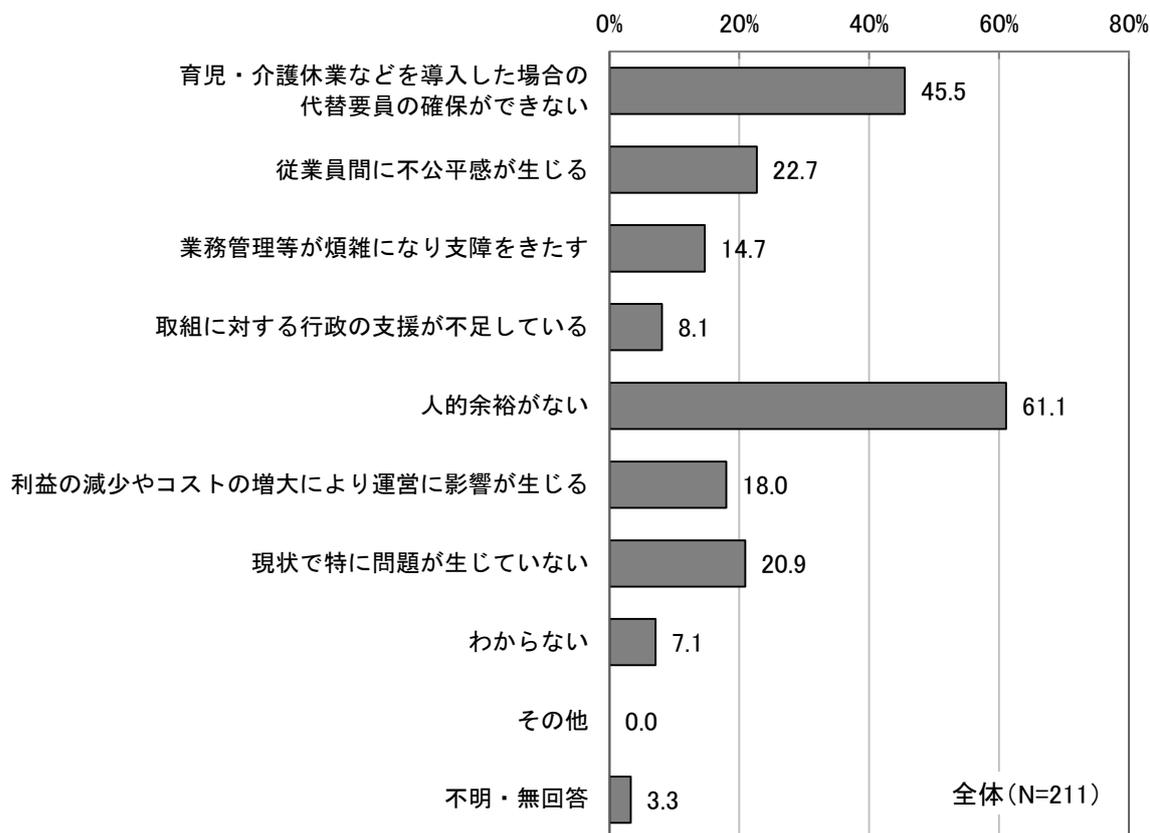
問 10-2 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むことで、どのような効果がありますか。(複数回答)

ワーク・ライフ・バランス推進の効果は、「従業員が心身ともに健康で、労働意欲が高まる」が 64.0%と最も高く、次いで「従業員の生産性が向上する」が 46.7%、「優秀な人材が確保できる」が 34.7%となっています。



問 10-3 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスを推進するためにどのような課題がありますか。
(複数回答)

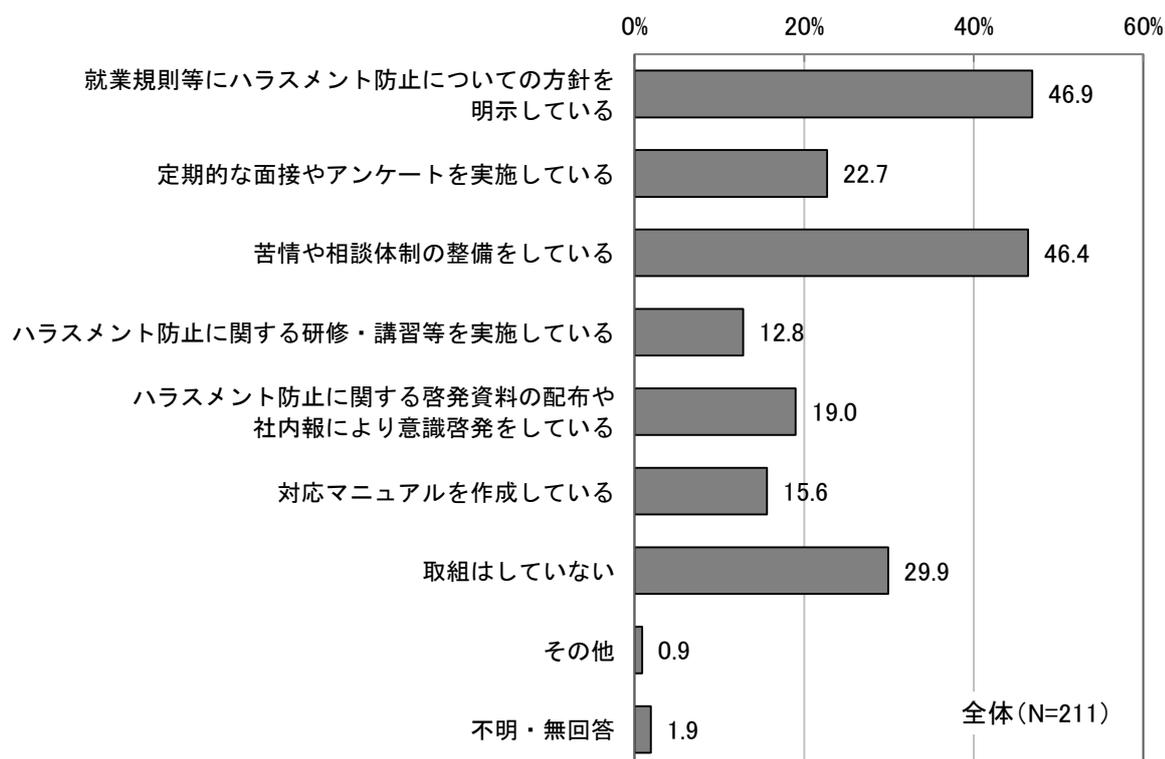
ワーク・ライフ・バランス推進の課題は、「人的余裕がない」が61.1%と最も高く、次いで「育児・介護休業などを導入した場合の代替要員の確保ができない」が45.5%、「従業員間に不公平感が生じる」が22.7%となっています。



(6) ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）を防止する取組について

問11 ハラスメント（セクハラ、パワハラ等）防止のために、どのような取組をしていますか。
(複数回答)

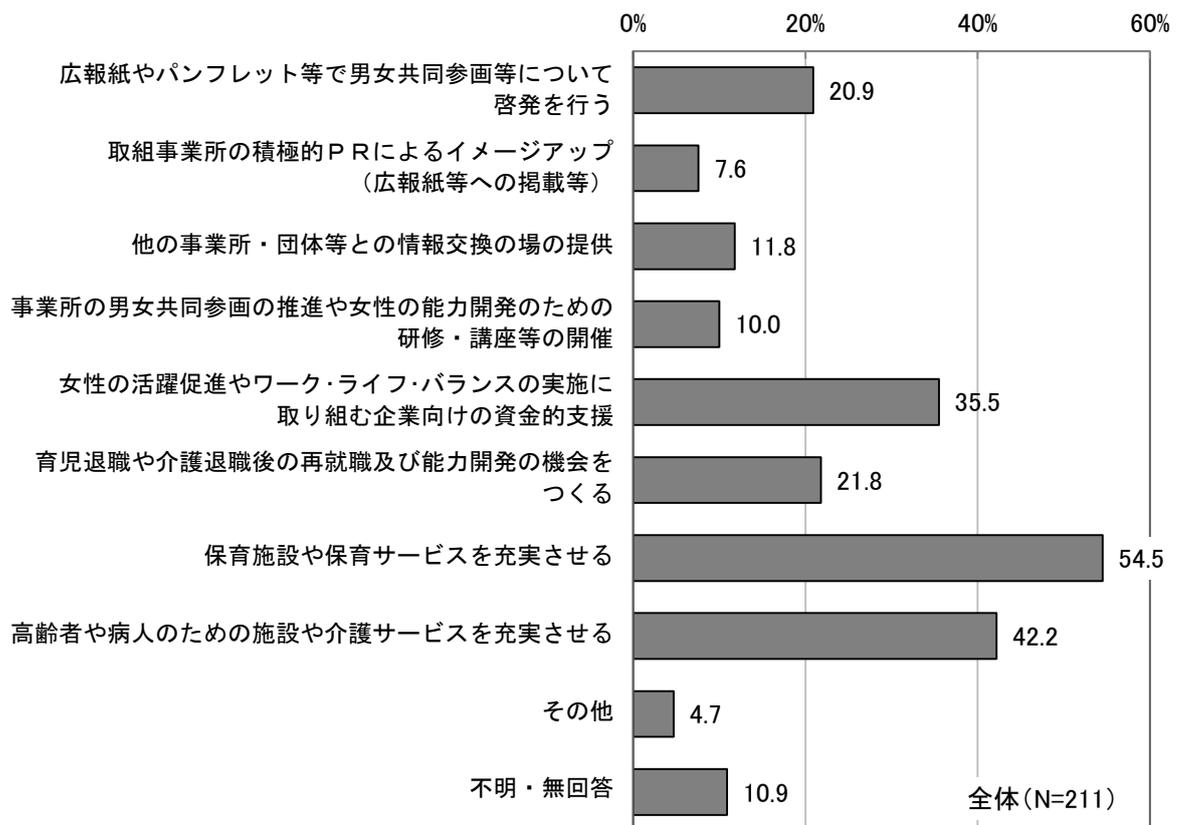
ハラスメント防止のための取組は、「就業規則等にハラスメント防止についての方針を明示している」が46.9%と最も高く、次いで「苦情や相談体制の整備をしている」が46.4%となっています。一方で、「取組はしていない」が29.9%となっています。



(7) 男女共同参画を推進する上で市に期待することについて

問12 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスを推進する上で、市に期待することは何ですか。
(複数回答)

市に期待することは、「保育施設や保育サービスを充実させる」が54.5%と最も高く、次いで「高齢者や病人のための施設や介護サービスを充実させる」が42.2%、「女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスの実施に取り組む企業向けの資金的支援」が35.5%となっています。



6 国・愛知県との比較／経年比較

(1) 国・愛知県との比較

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

- ・内閣府 平成 28 年 9 月実施「男女共同参画社会に関する世論調査」
- ・愛知県 平成 26 年度実施「第 3 回県政世論調査」

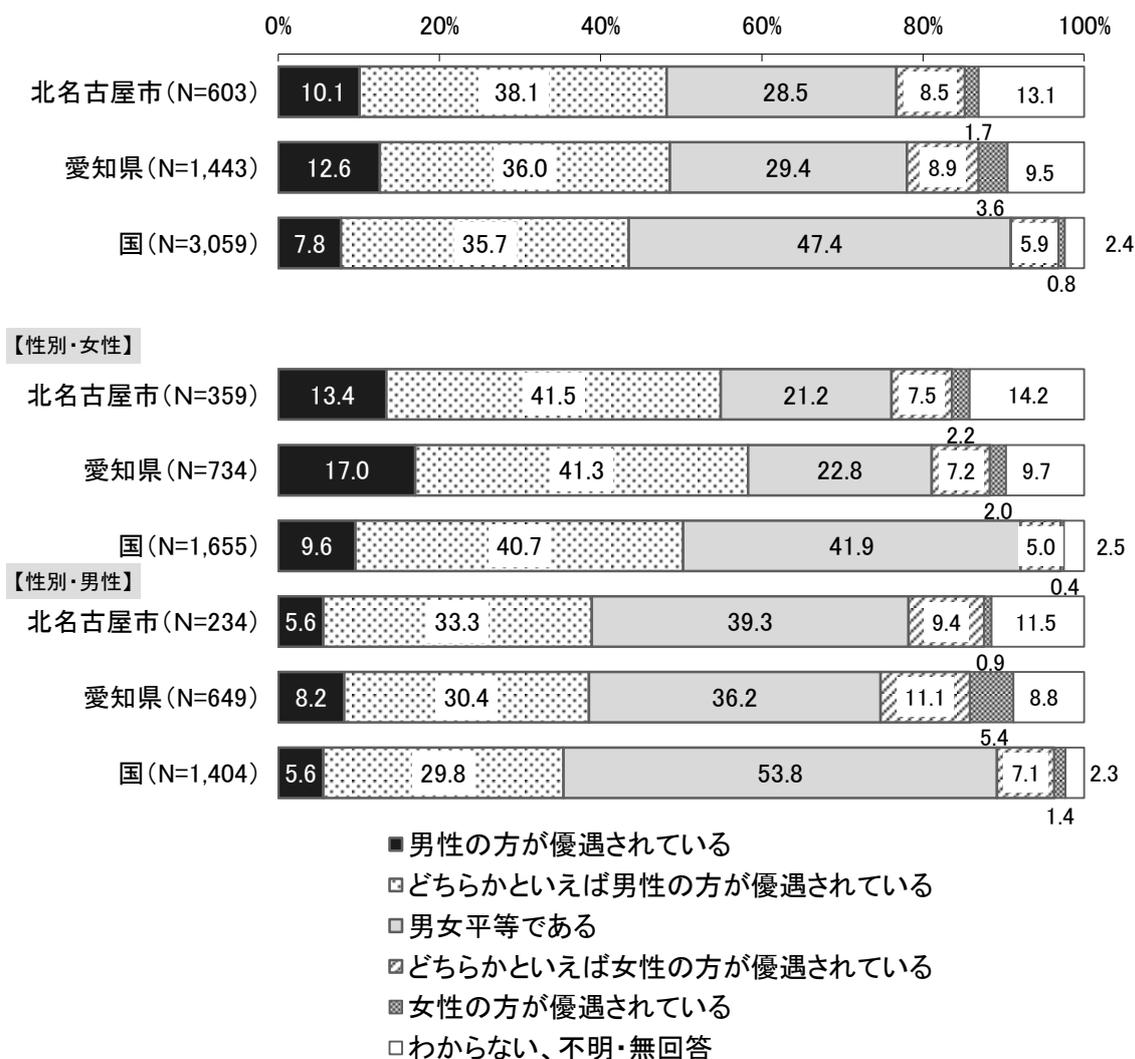
問 17 あなたは、家庭生活で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 17 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

『女性優遇』…「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

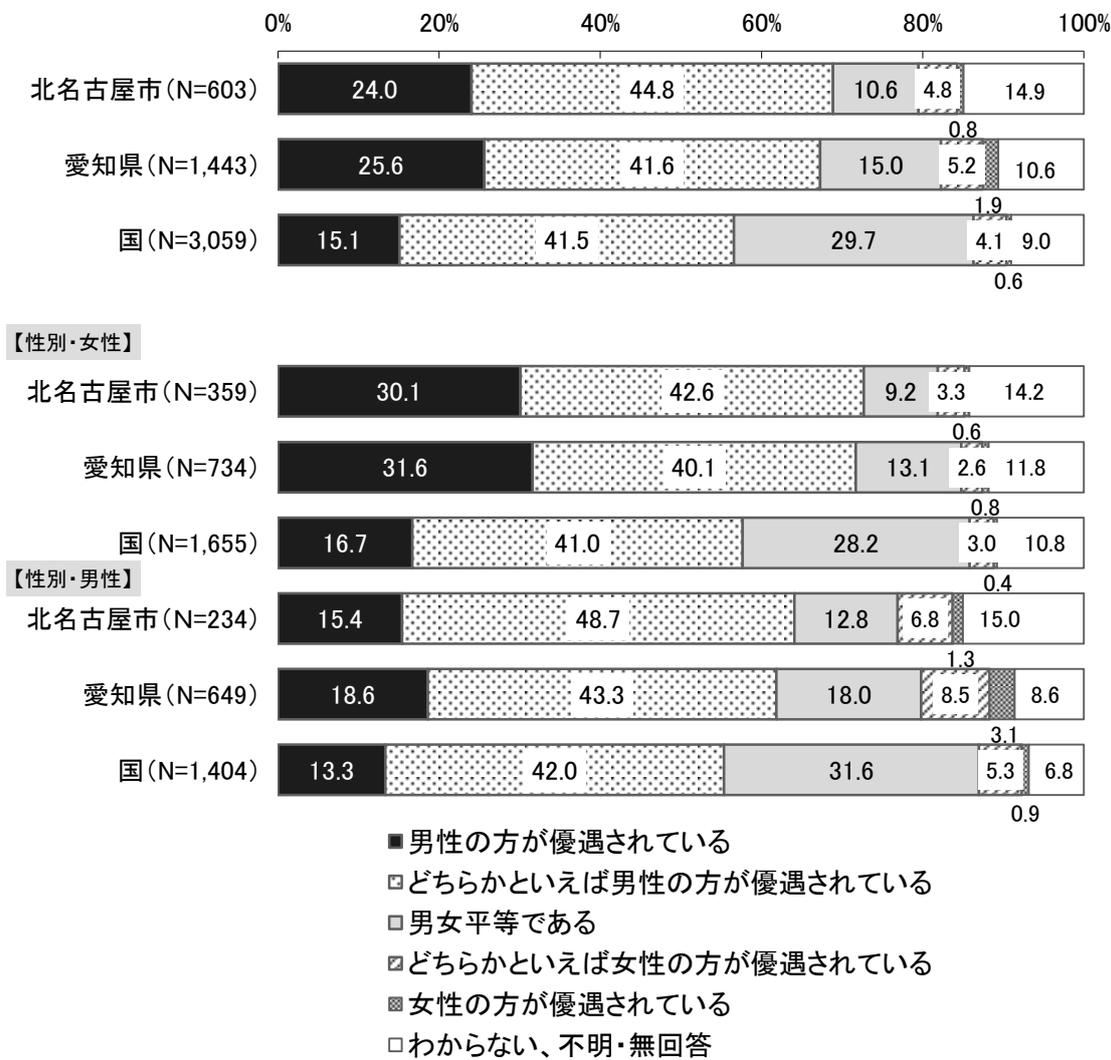
北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも、国より『男性優遇』の割合が高く、「男女平等である」の割合が低くなっています。女性では愛知県よりもやや『男性優遇』の割合が低くなっています。



※比較にあたって、北名古屋市と愛知県の「わからない」と「不明・無回答」を合算して表記しています。(以下、同じ)

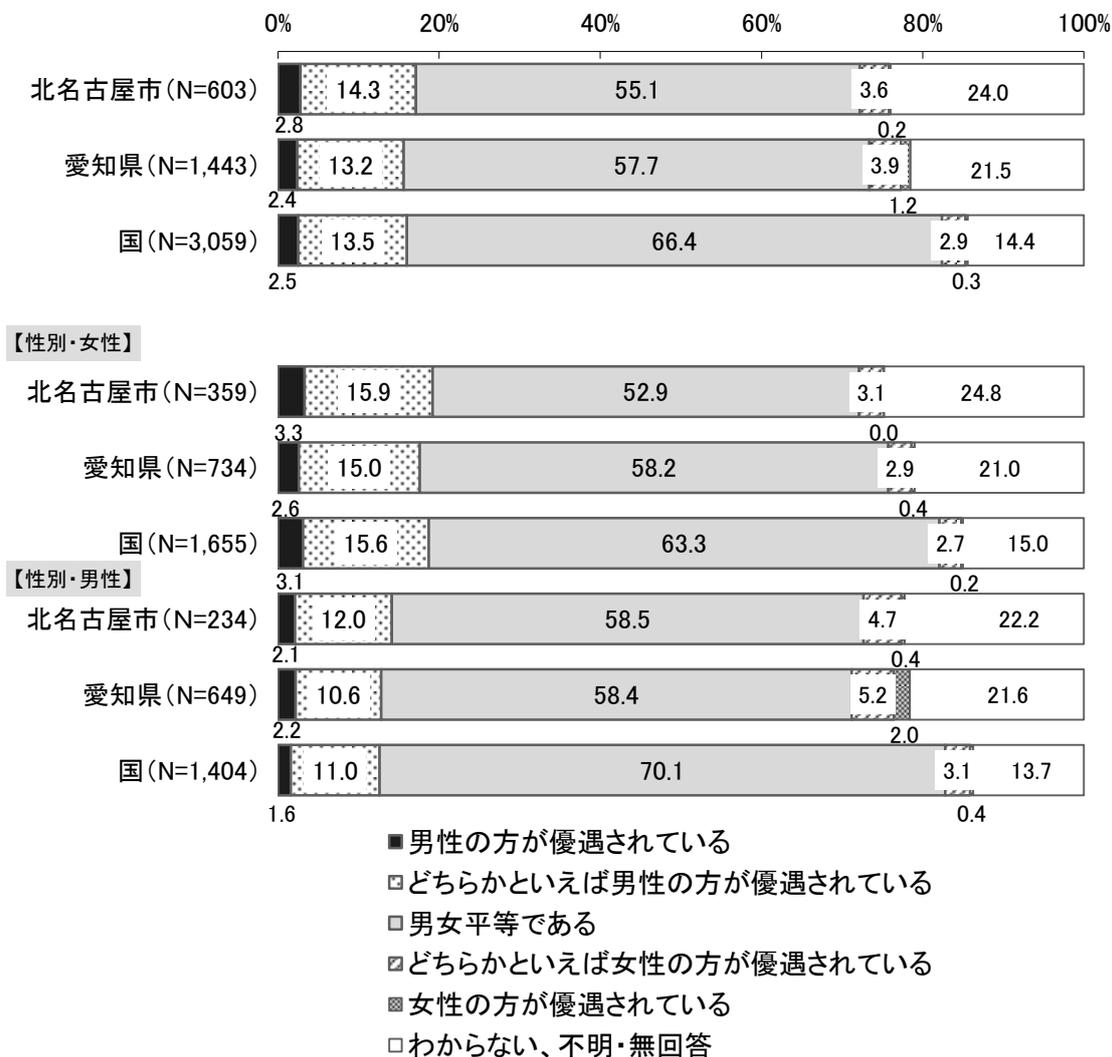
問17 あなたは、職場（労働上で）で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも国、愛知県よりも『男性優遇』の割合が高く、「男女平等である」の割合が低くなっています。



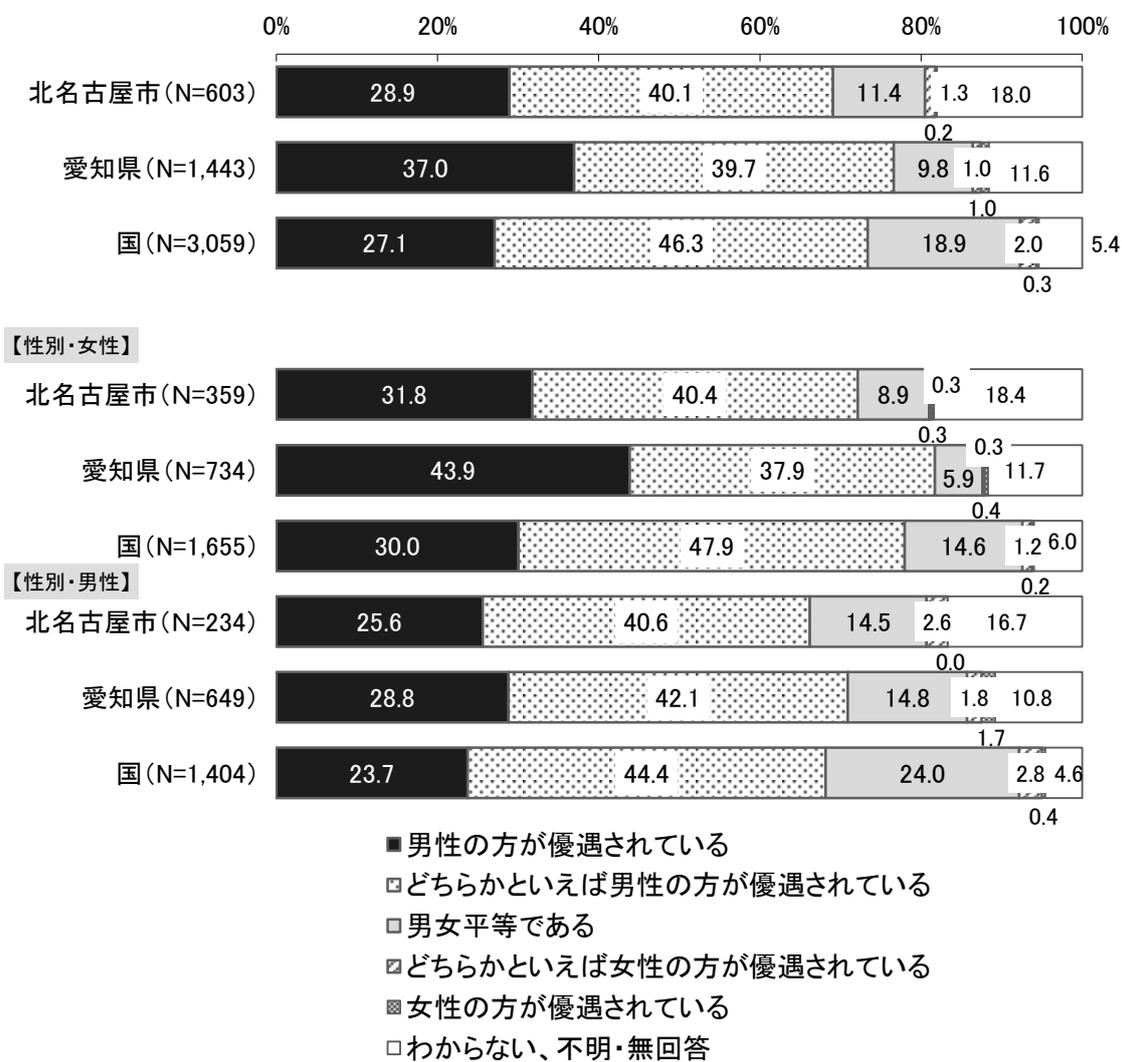
問17 あなたは、学校教育の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも国よりも「男女平等である」の割合が低くなっています。



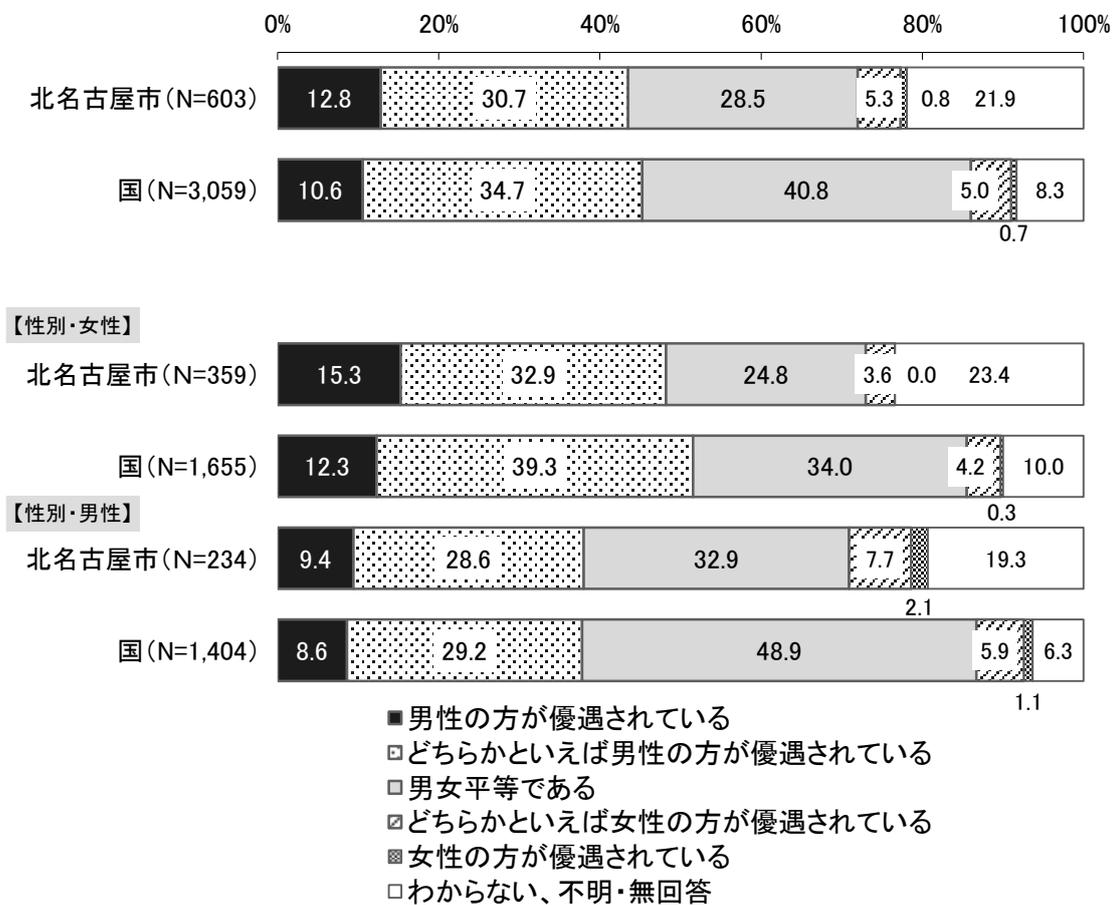
問17 あなたは、政治の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも、国、愛知県より『男性優遇』の割合が低く、国よりも「男女平等である」の割合が低くなっています。



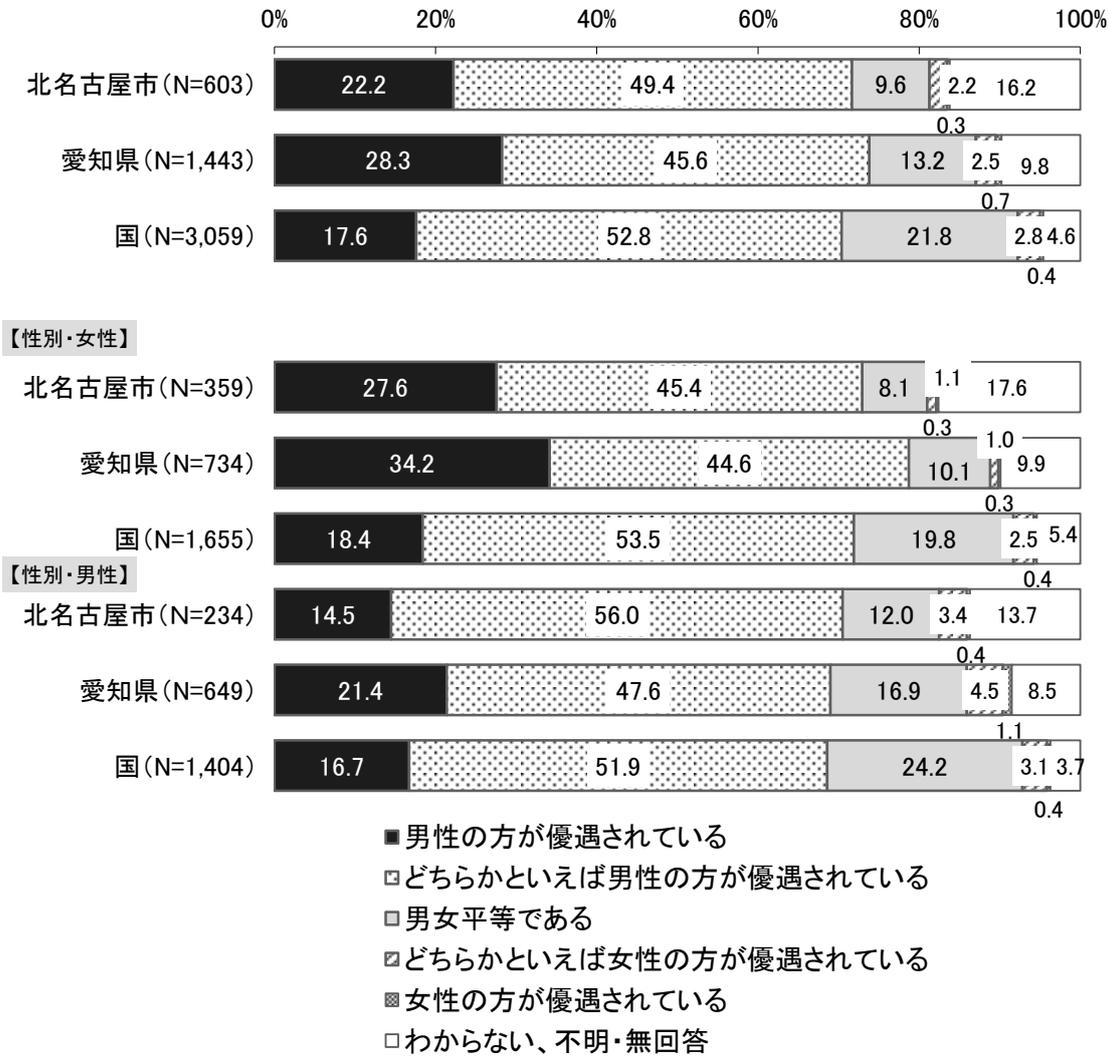
問17 あなたは、法律や制度の上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(北名古屋市、国のみの調査項目)(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれも国よりも「男女平等である」の割合が低くなっています。



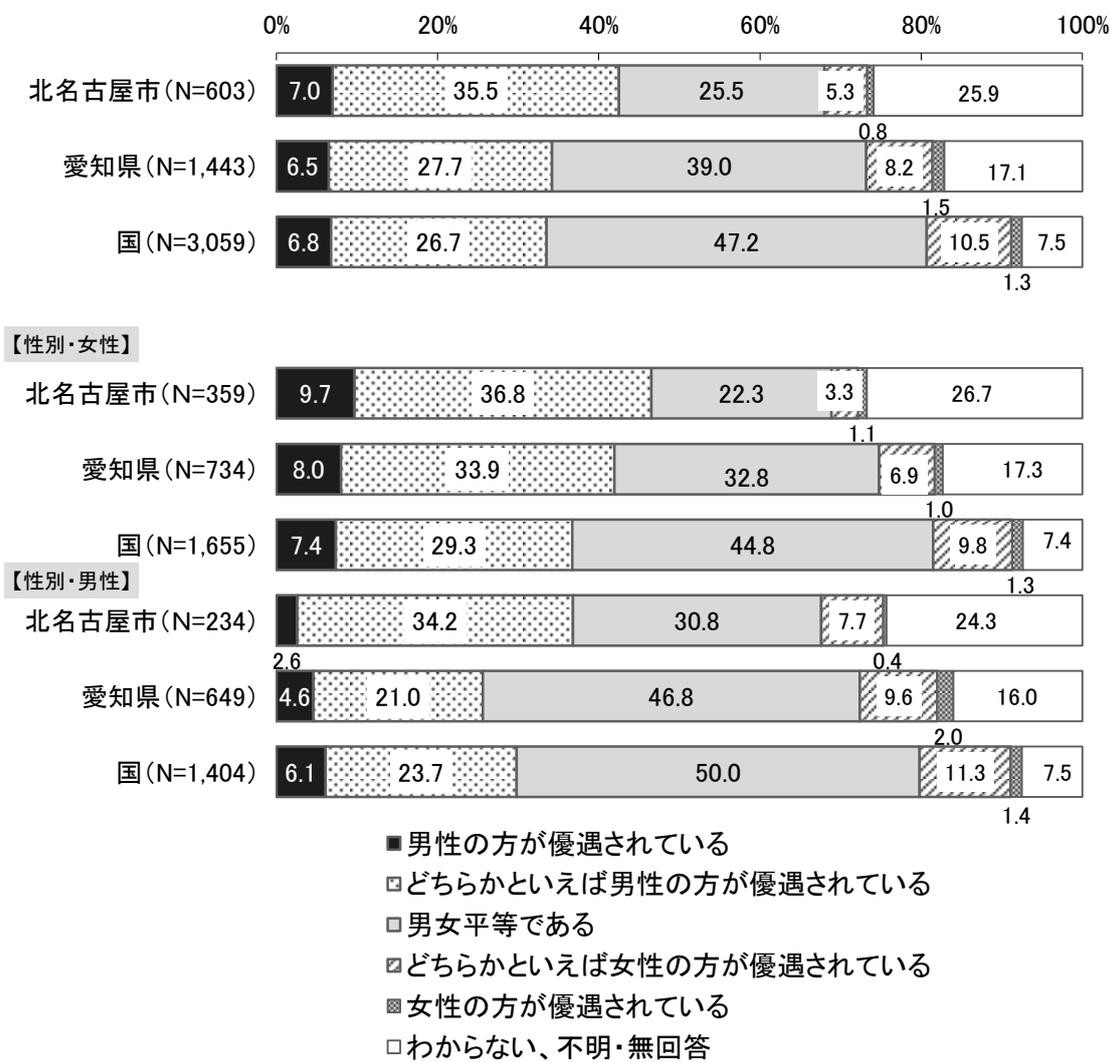
問17 あなたは、社会通念・慣習・しきたりで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれにおいても、国より『男性優遇』の割合が高くなっています。また、『男性優遇』の割合について愛知県よりも女性では低く、男性では高くなっています。



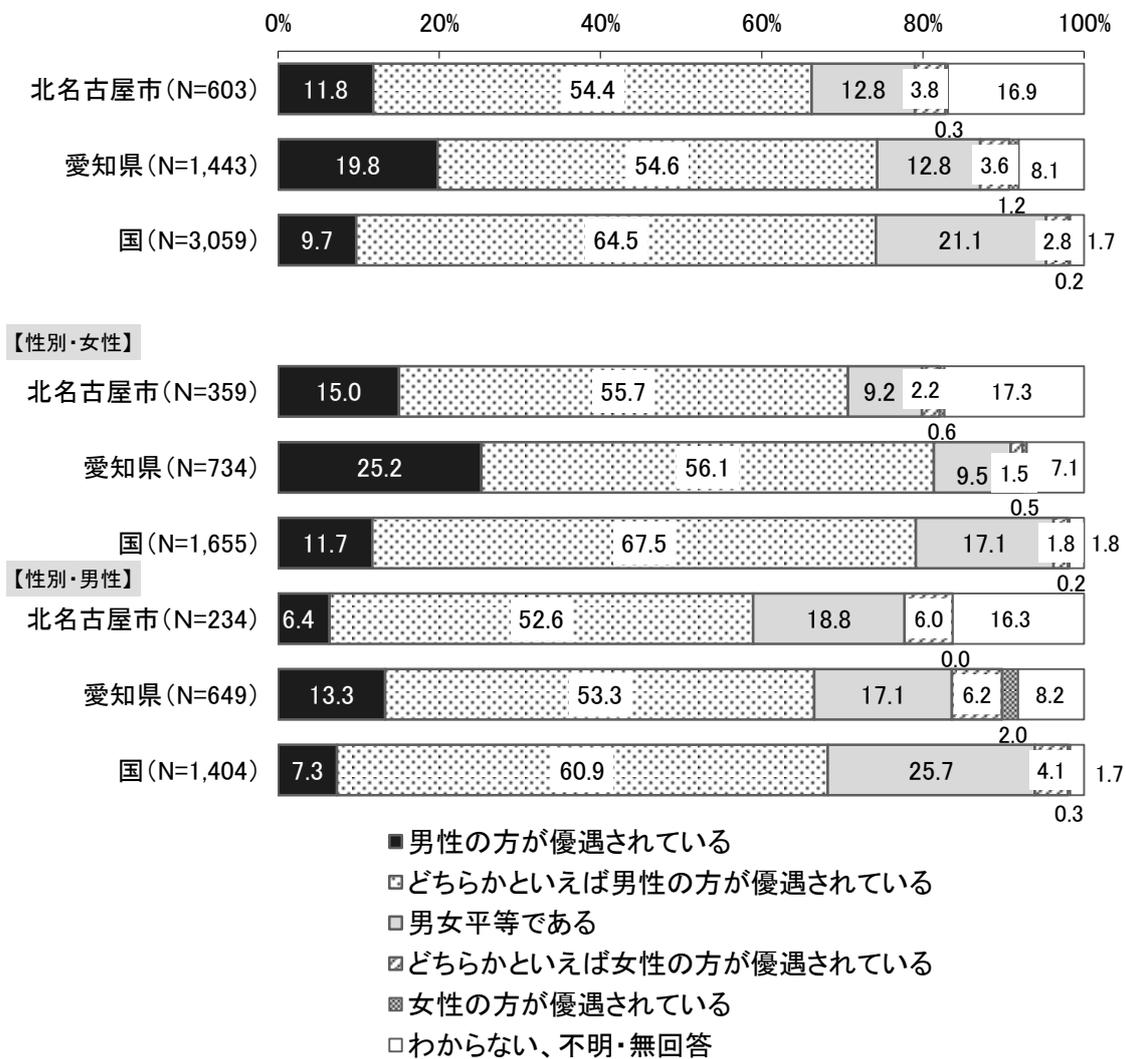
問17 あなたは、地域活動の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれにおいても、国、愛知県より『男性優遇』の割合が高く、『女性優遇』、「男女平等である」の割合が低くなっています。



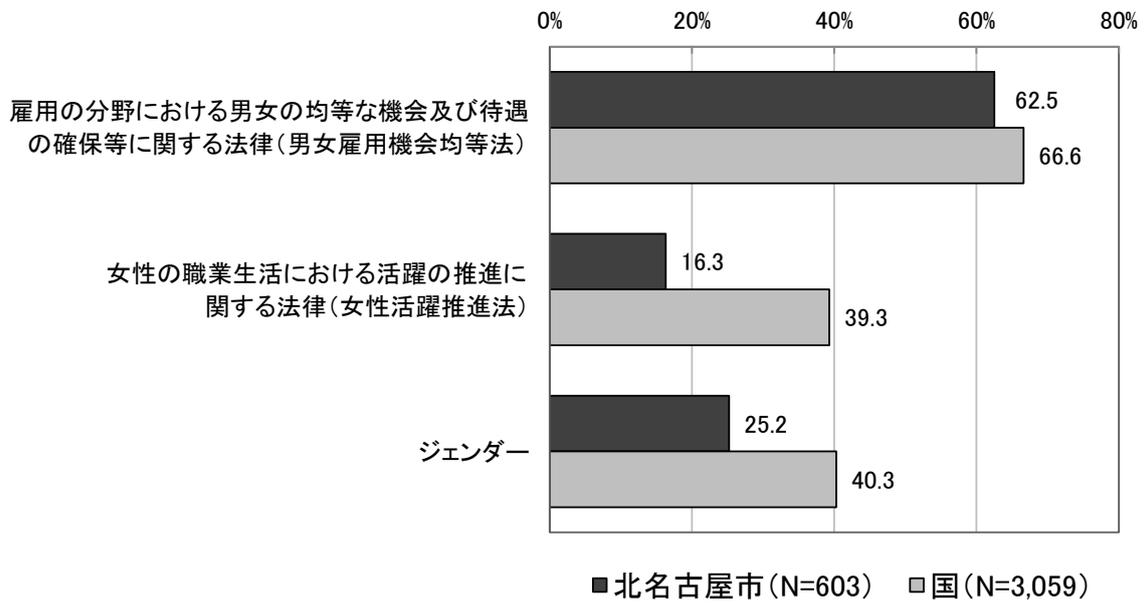
問17 あなたは、社会全般で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

北名古屋市では、全体、女性、男性いずれにおいても、国、愛知県より『男性優遇』の割合が低くなっています。



問 21 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(北名古屋市、国のみの調査項目) (複数回答)

北名古屋市では、3項目すべてにおいて国よりも認知度が低くなっています。



(2) 経年比較

1 市民調査結果

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

- ・北名古屋市 平成 18 年度実施「北名古屋市男女の人権尊重・社会参画アンケート」

■調査の回収状況

対象調査	全体	女性	男性	無回答
北名古屋市男女の人権尊重・社会参画アンケート	548	339	203	6

問 4 (1) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、現実の生き方はどれでしょうか。(単数回答)

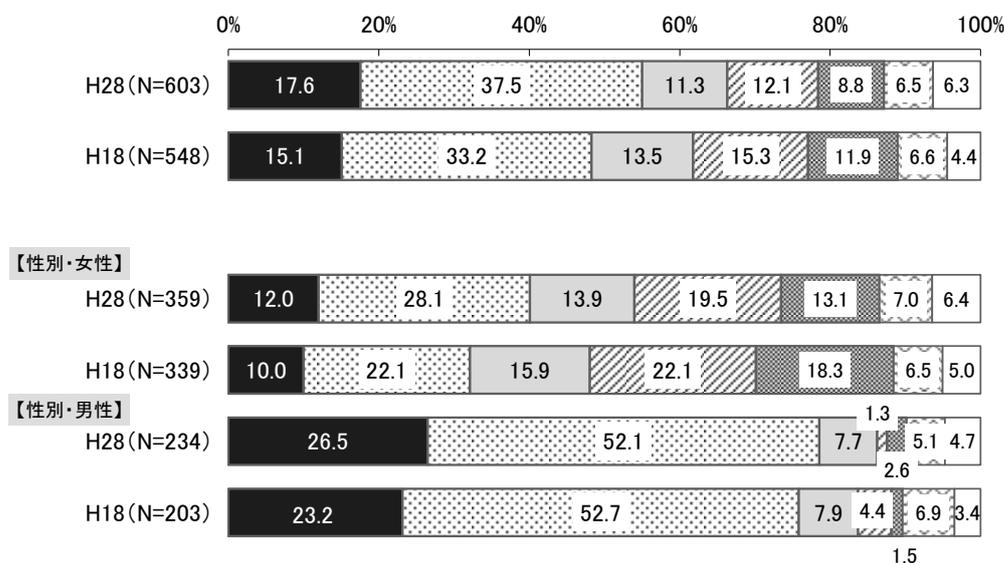
問 4 (1) の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

現実の生き方について、女性では平成 18 年度調査に比べて『仕事優先』が高くなり、『家庭・地域優先』が低くなっています。男性では平成 18 年度調査に比べて『仕事優先』が高くなっています。



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
- ▣ 家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる
- 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
- ▣ 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
- 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する
- ▣ わからない
- 不明・無回答

問4 (2) あなた自身の、仕事と家庭生活または地域活動について、望ましい生き方はどれでしょう。(単数回答)

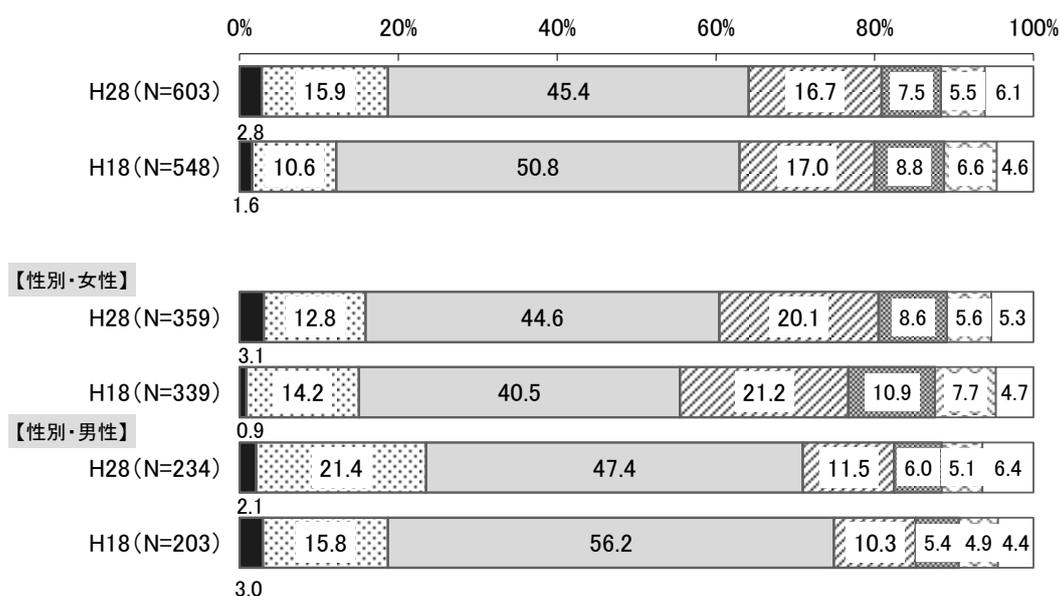
問4 (2) の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『仕事優先』…「家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する」と「家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合算

『両立』…「家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる」

『家庭・地域優先』…「仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する」と「仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる」を合算

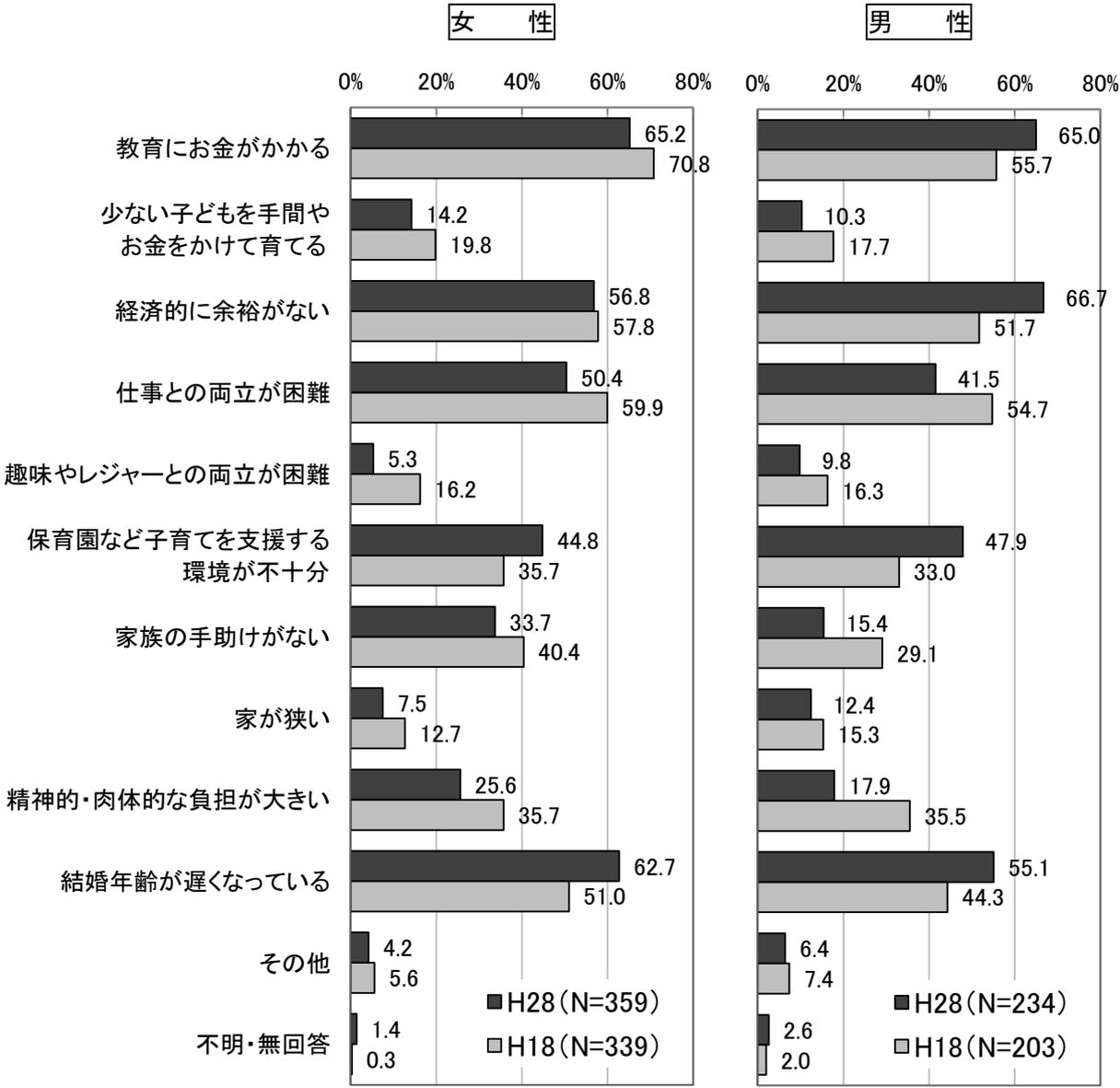
望ましい生き方について、平成 18 年度に比べて女性では『両立』の割合が高くなっていますが、男性では『両立』の割合が低くなり、『仕事優先』の割合が高くなっています。



- 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
- ▣ 家庭生活または地域活動に携わるが、あくまで仕事を優先させる
- 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
- ▣ 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
- 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する
- ▣ わからない
- 不明・無回答

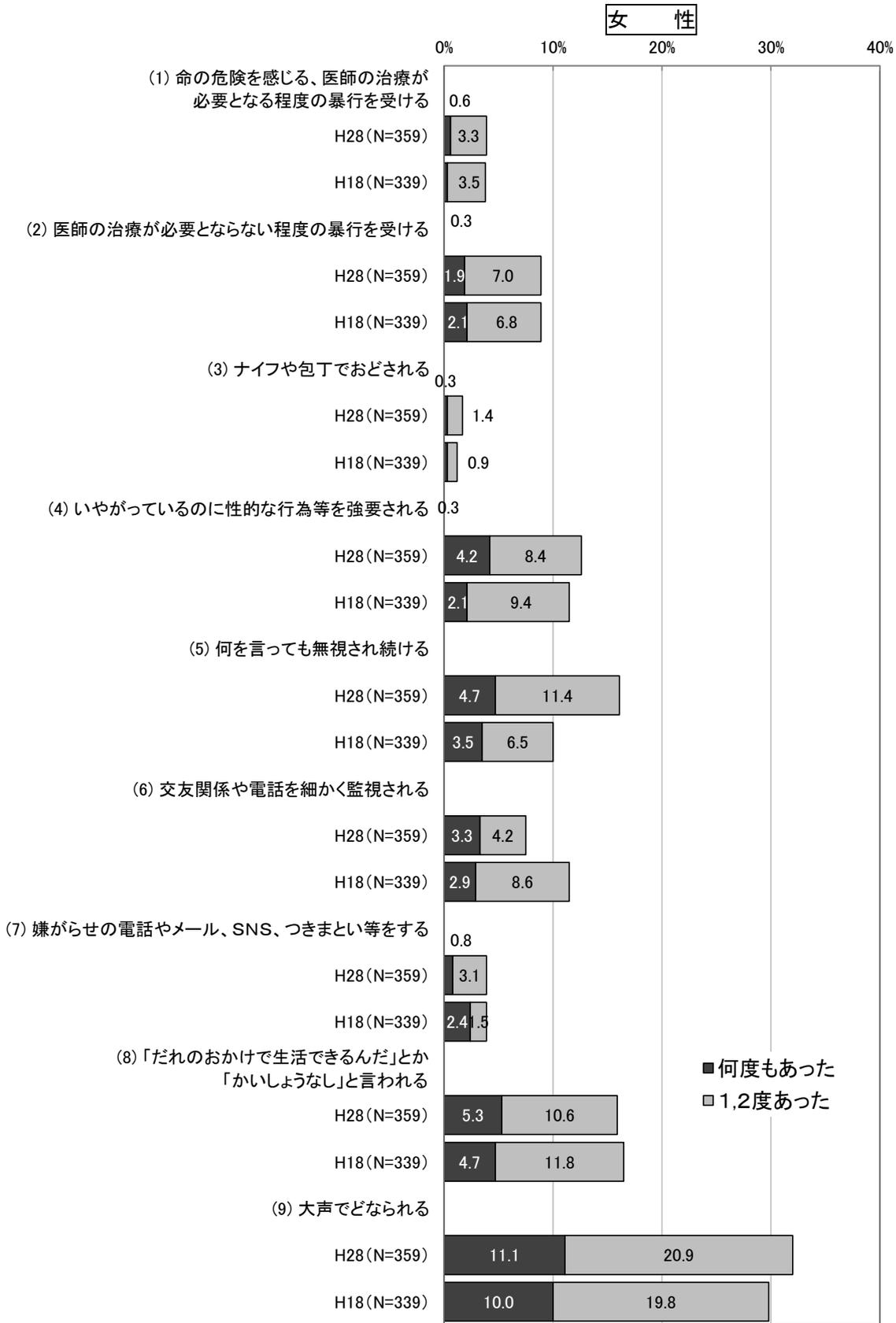
問12 あなたは、子どもの数が少なくなる原因はどのようなことと思いますか。(複数回答)

少子化の原因について、女性では平成18年度調査に比べて「保育園など子育てを支援する環境が不十分」、「結婚年齢が遅くなっている」が高くなっています。男性では「教育にお金がかかる」、「経済的に余裕がない」、「結婚年齢が遅くなっている」が高くなっています。

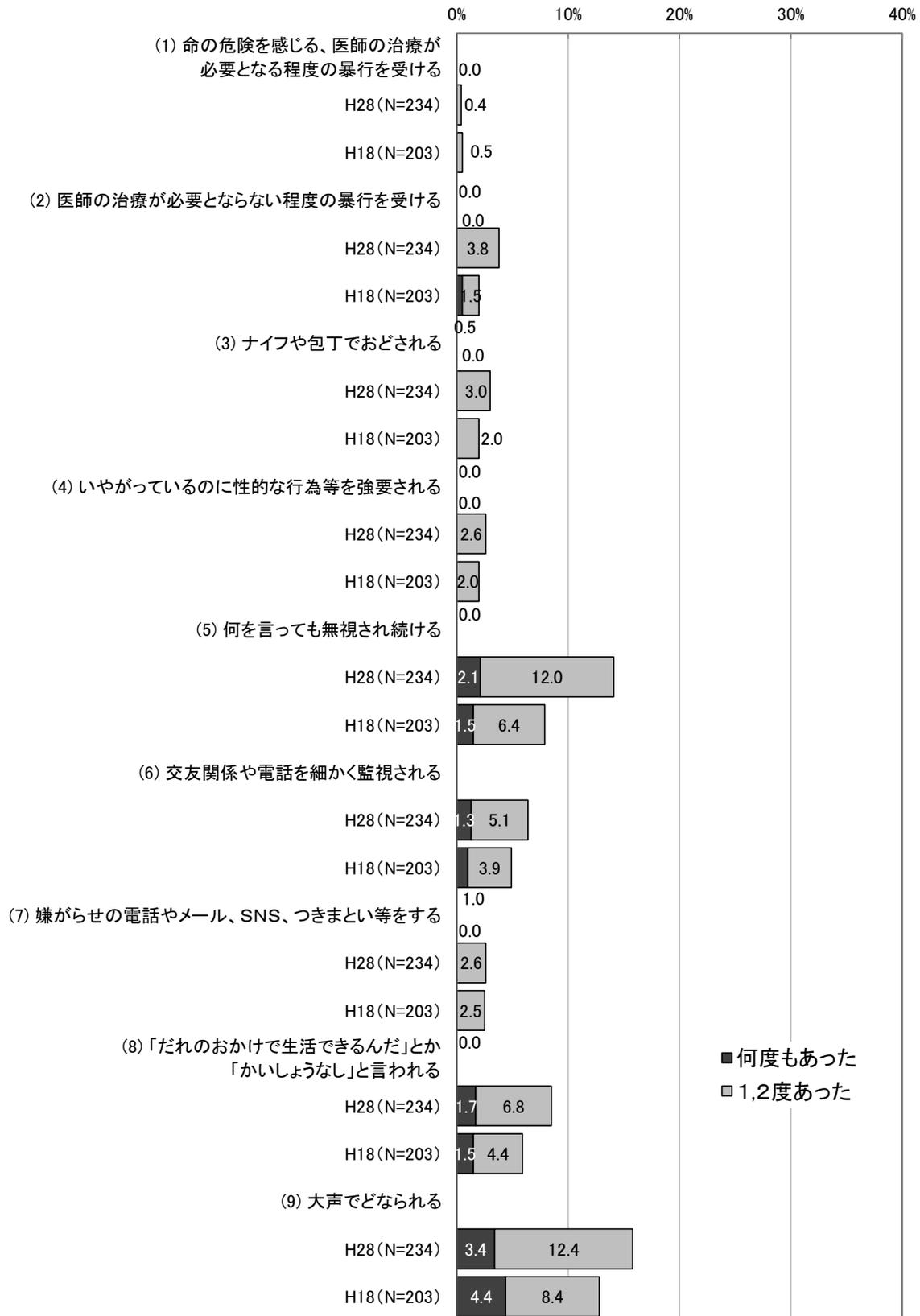


問 14 あなたはこれまでに、あなたの夫や妻、恋人などから、次のようなことをされたことがありますか。(単数回答)

DVの被害経験について、平成 18 年度調査に比べて、男性では「(1) 命の危険を感じる、医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける」以外のすべての項目で割合が高くなっています。

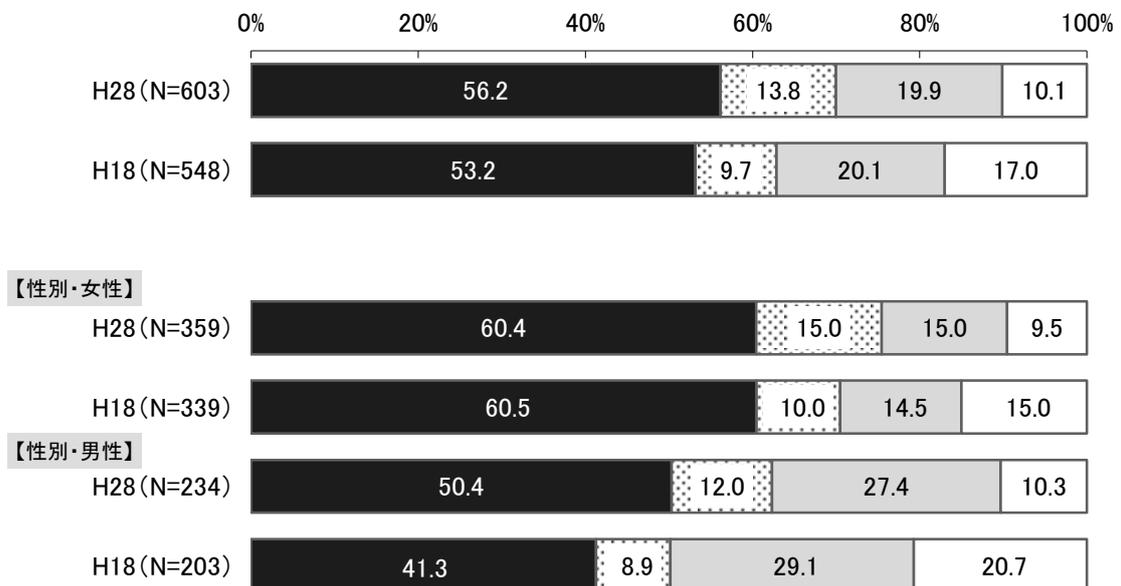


男 性



問 15 夫や妻、恋人などから、暴力を受けた場合に誰かに打ち明けたり、相談しましたか。暴力を受けたことがない人は受けた場合を想定して教えてください。(単数回答)

暴力を受けた時の相談状況について、男性では平成 18 年度調査に比べて「相談した(する)」が高くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。

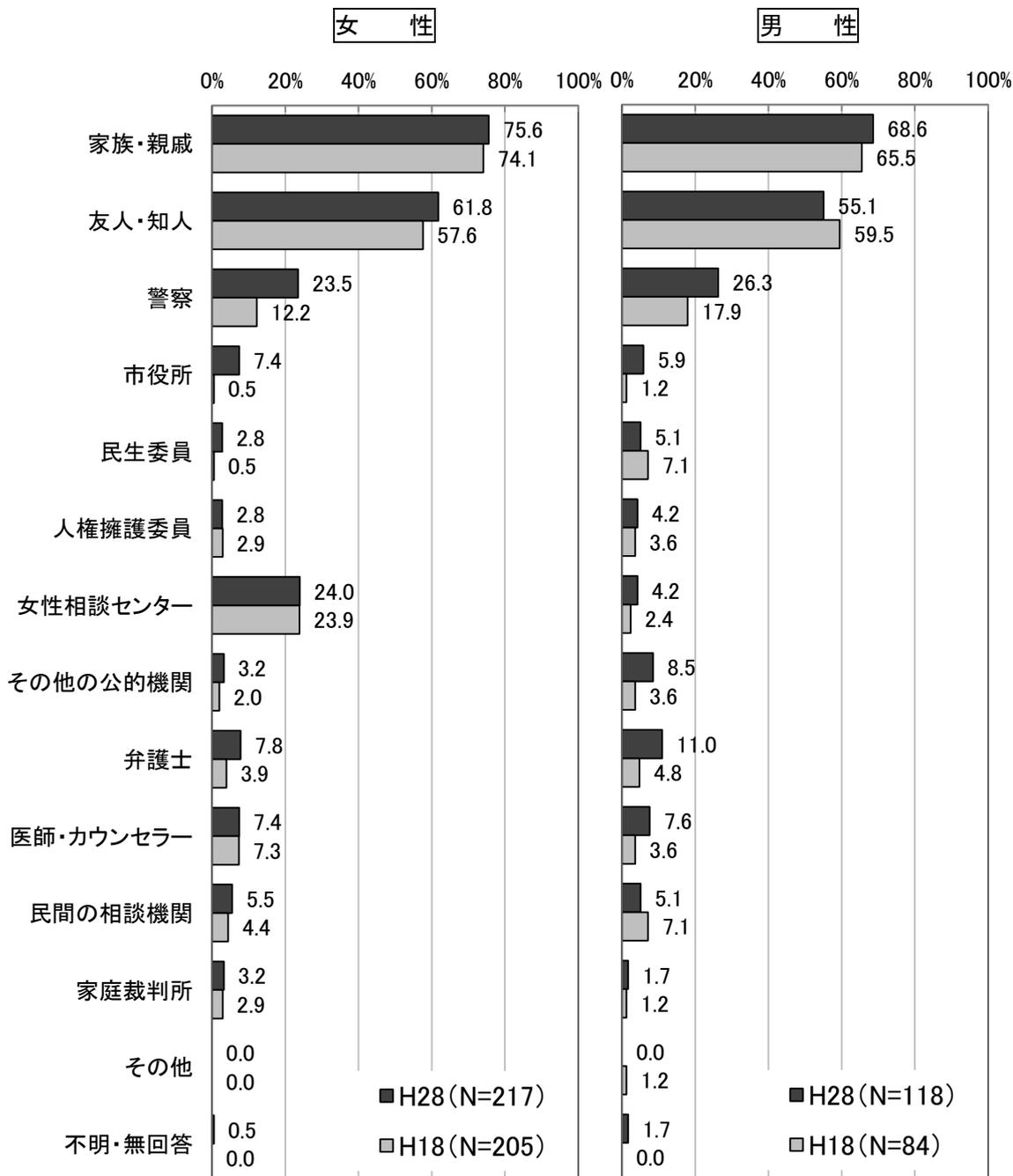


- 相談した(する)
- ▣ 相談できなかった(できない)
- 相談しようと思わなかった(思わない)
- 不明・無回答

【問 15 で「相談した（する）」と回答した方のみ】

問 15-1 誰（どこ）に相談しますか（しましたか）。（複数回答）

誰（どこ）に相談するかについて、女性では平成 18 年度調査に比べて「警察」、「市役所」が高くなっています。男性では「警察」、「弁護士」が高くなっています。



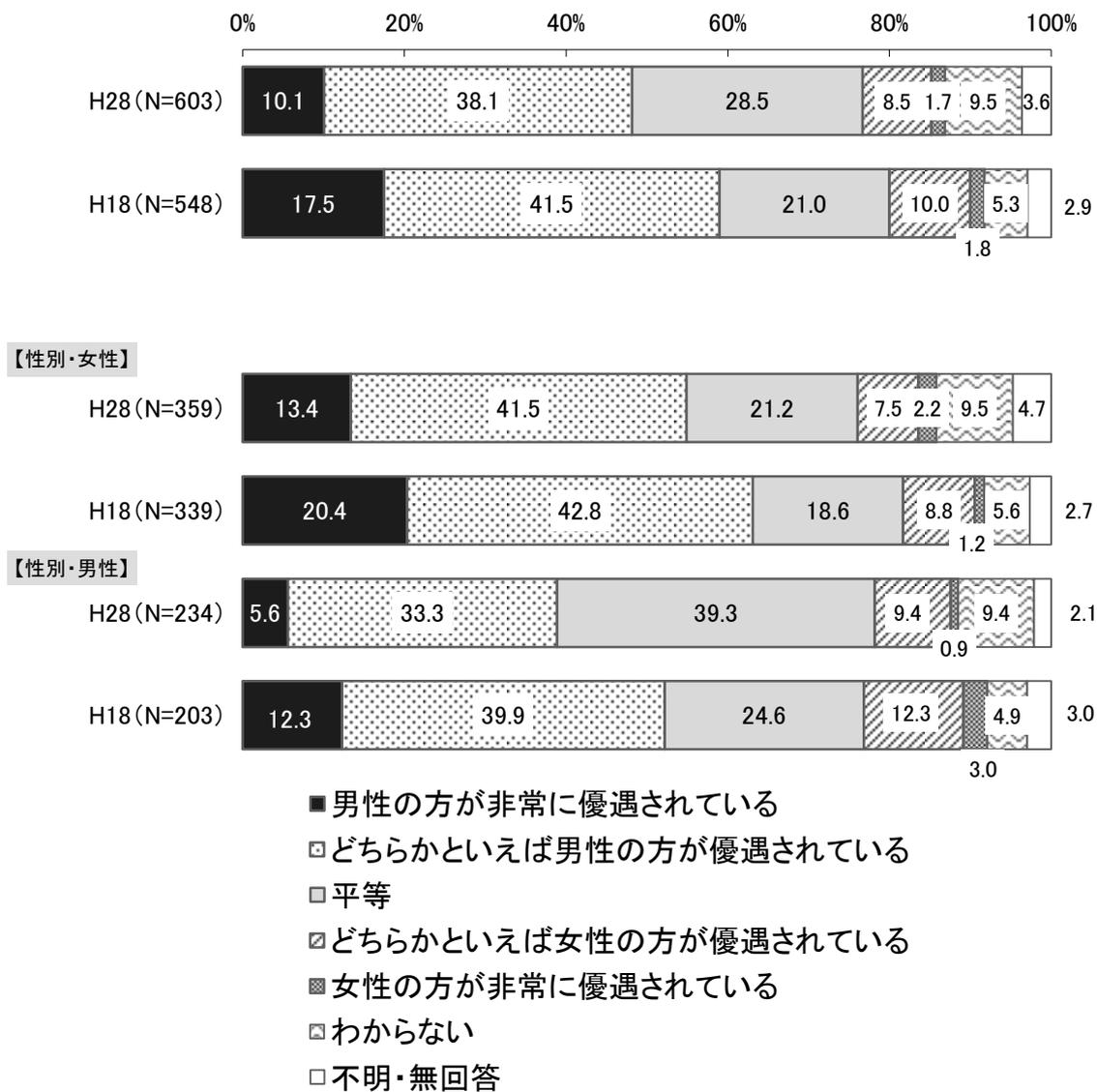
問 17 あなたは、家庭生活中で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 17 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『男性優遇』…「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算

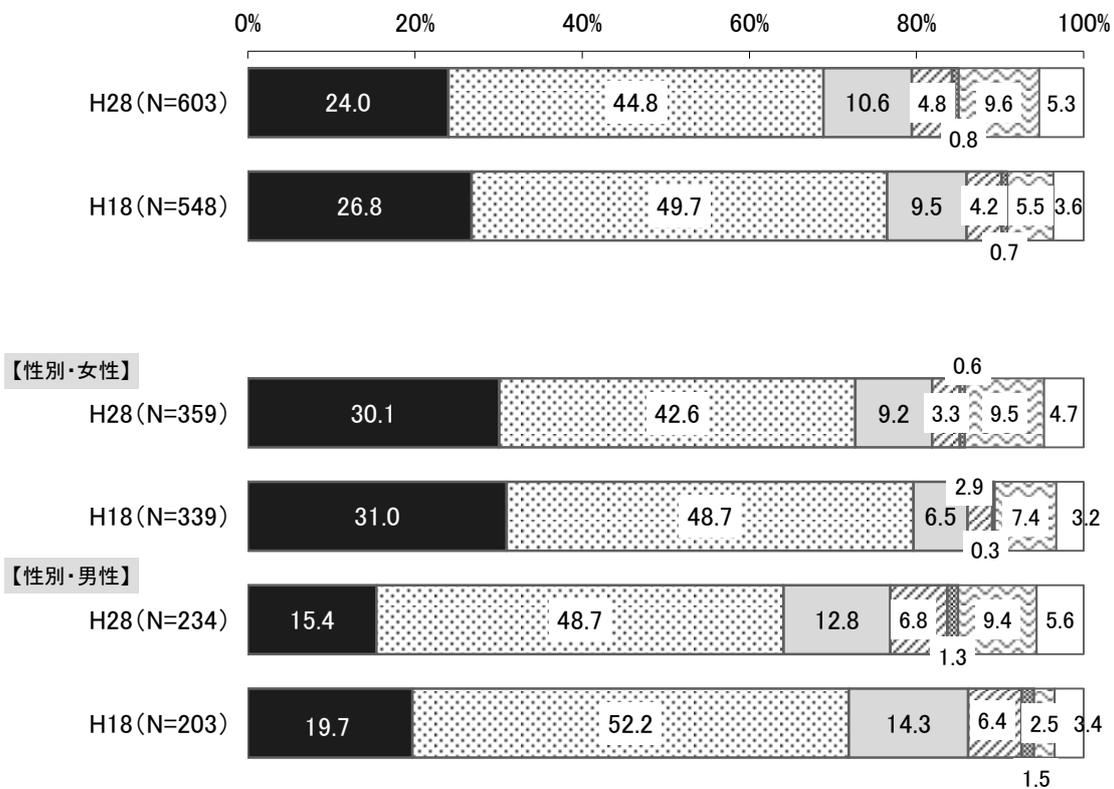
『女性優遇』…「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

家庭生活における男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低くなり、「平等」が高くなっています。



問 17 あなたは、職場（労働上で）で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）

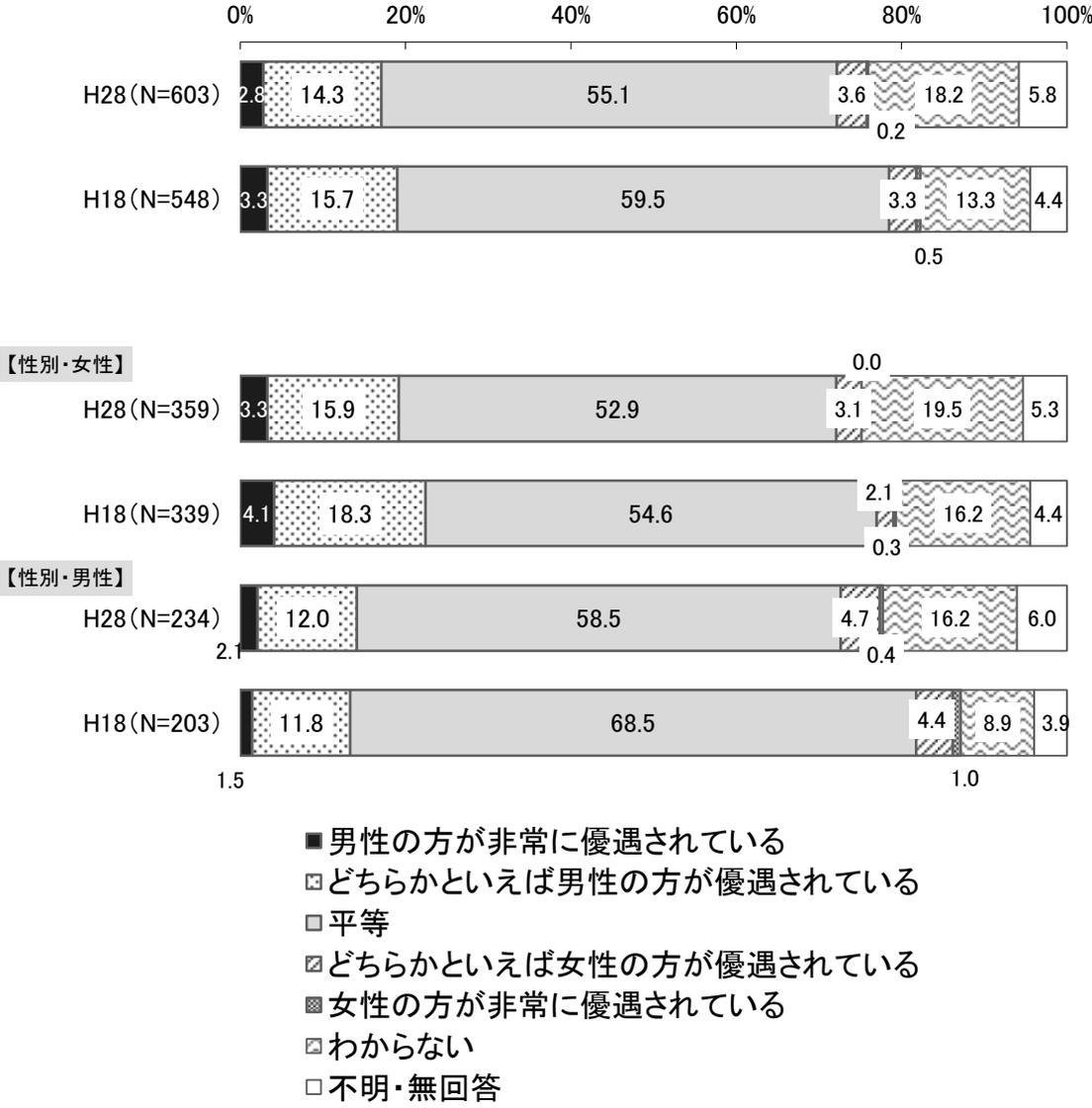
職場における男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▤ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▥ 女性の方が非常に優遇されている
- ▧ わからない
- 不明・無回答

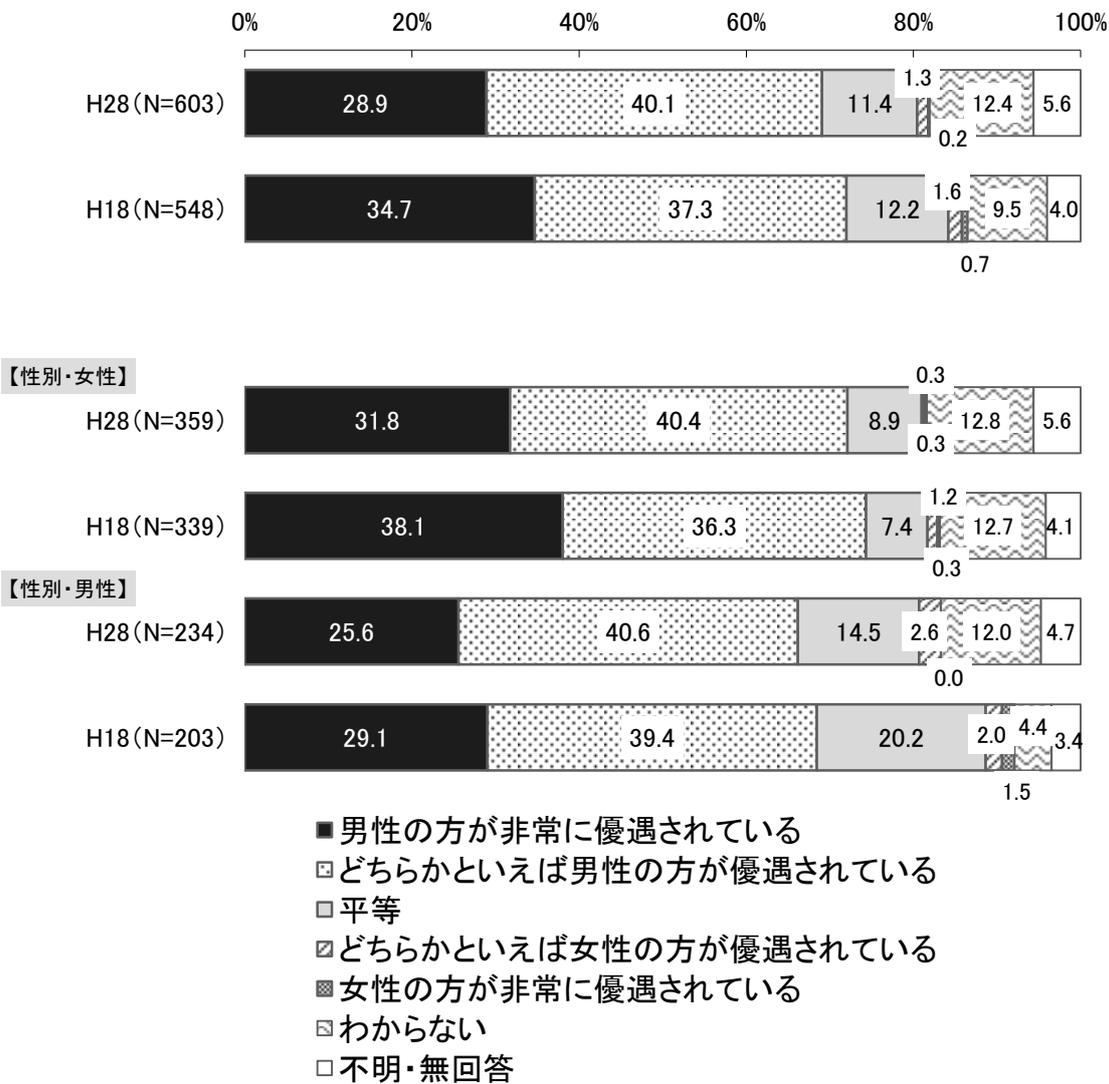
問 17 あなたは、学校教育の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

学校教育の場における男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて「平等」が低くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



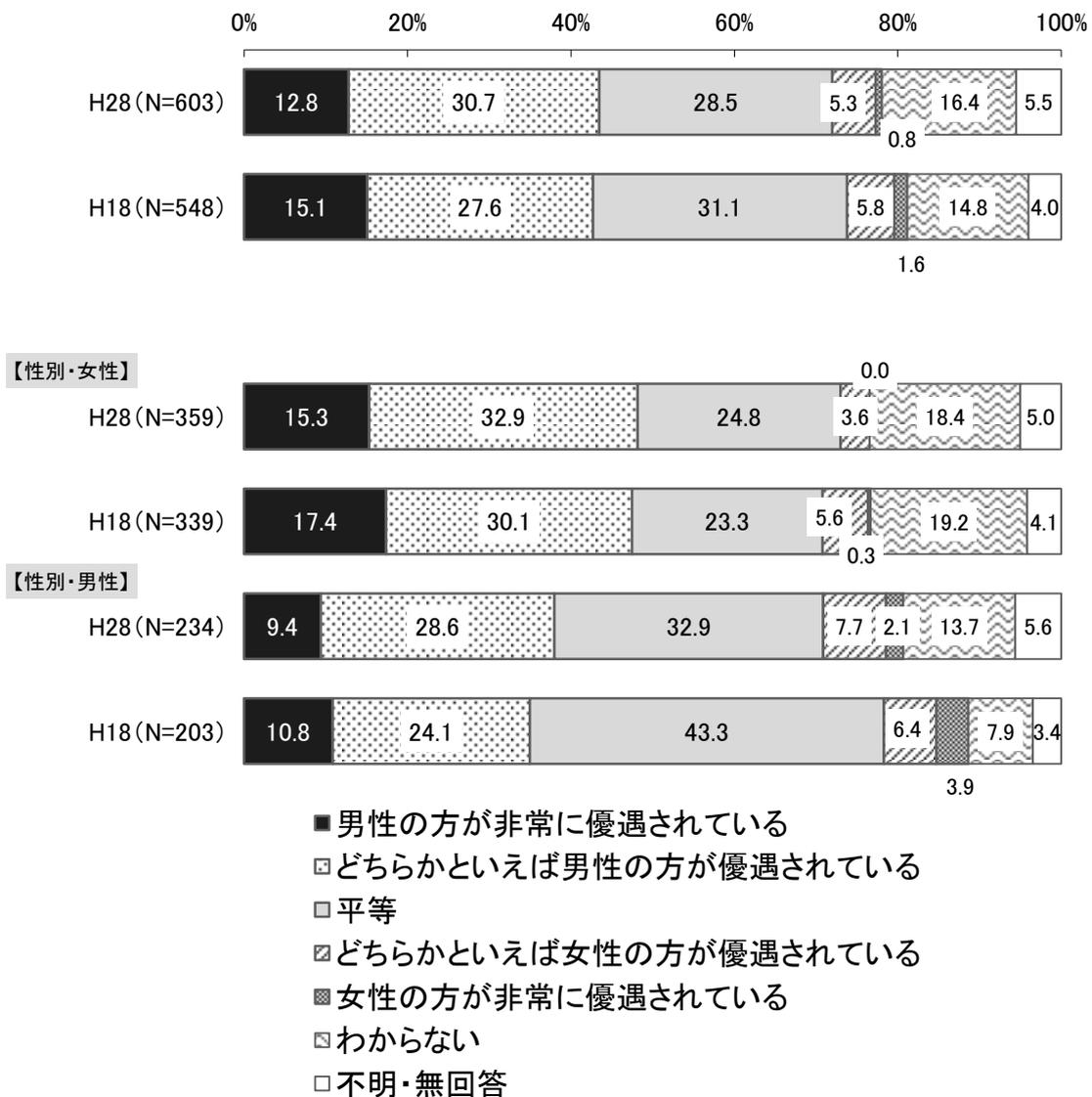
問 17 あなたは、政治の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

政治の場における男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて「平等」が低くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



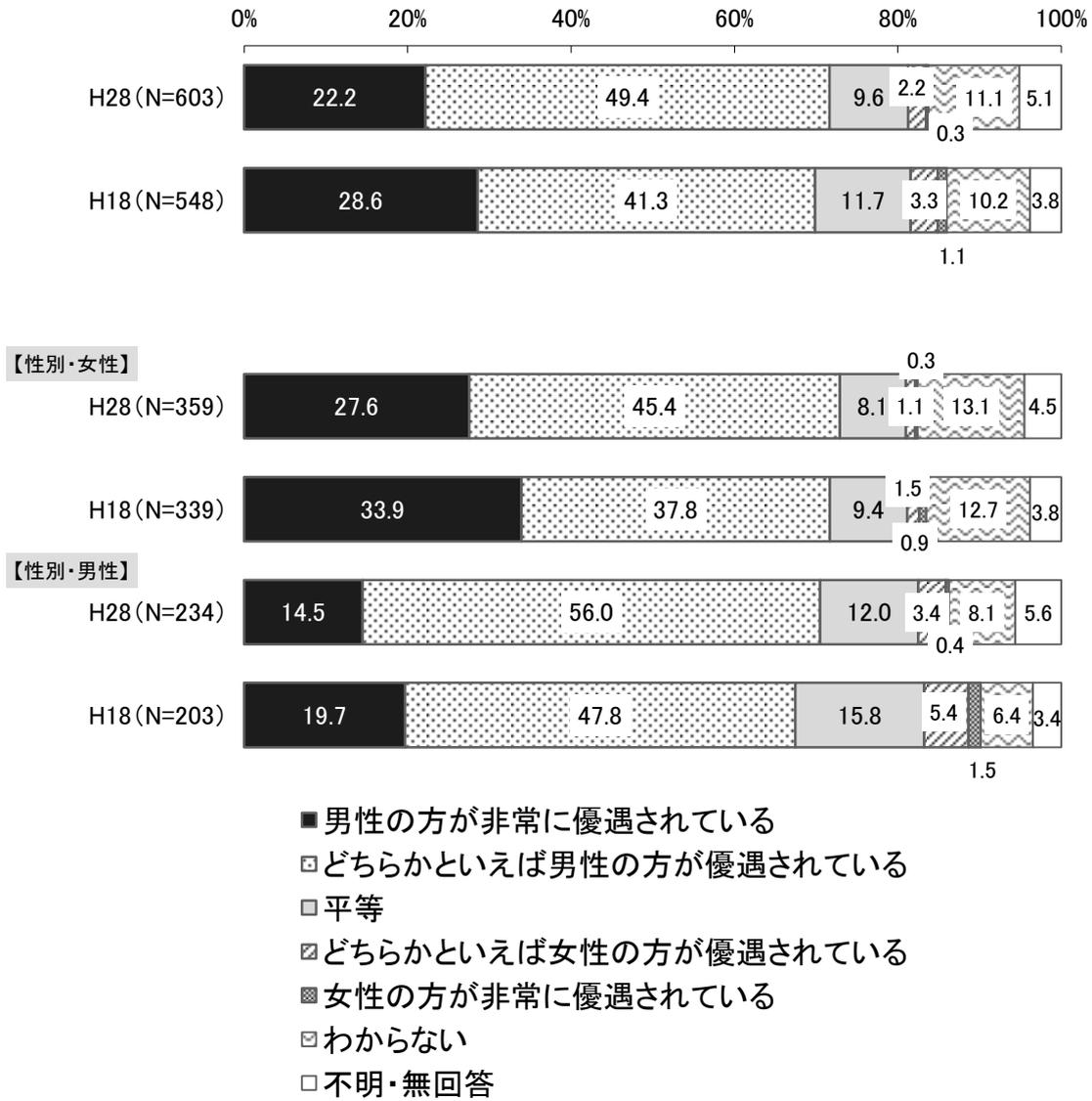
問 17 あなたは、法律や制度の上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

法律や制度の上における男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて「平等」が低くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



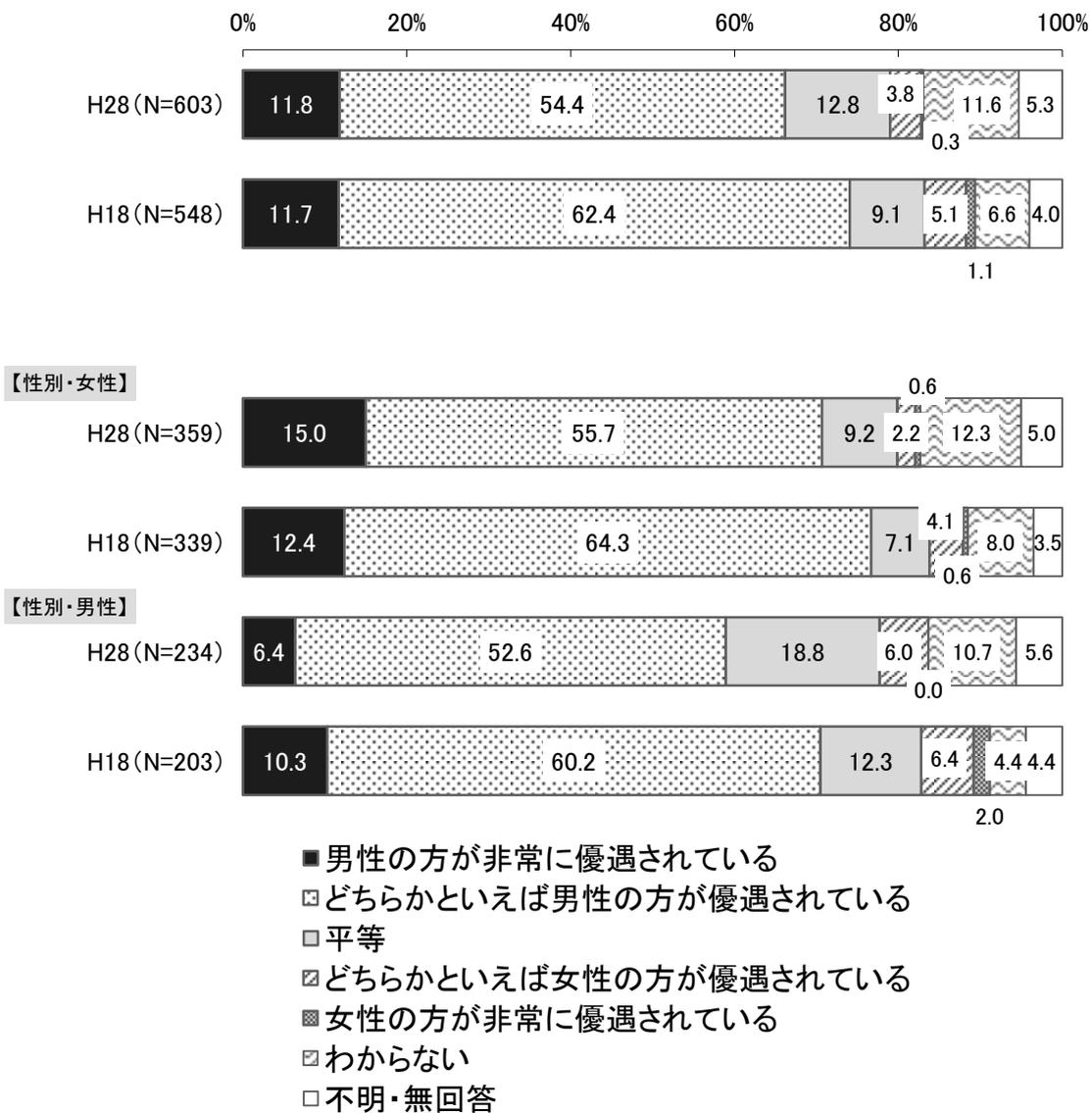
問 17 あなたは、社会通念・慣習・しきたりで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(単数回答)

社会通念・慣習・しきたりにおける男女の地位については、男女とも大きな変化は見られませんでした。



問17 あなたは、社会全般で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

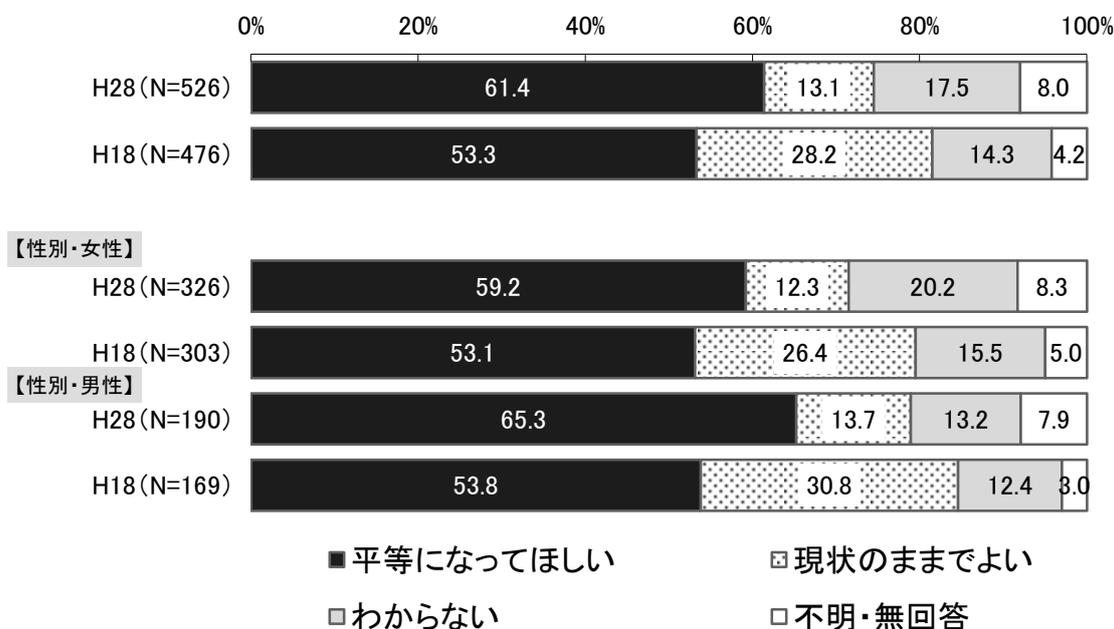
社会全般における男女の地位については、女性では平成18年度調査に比べて『男性優遇』が低くなっています。男性では『男性優遇』が低くなり、「平等」が高くなっています。



【問 17 の項目（8）社会全般で「平等」以外を回答した方のみ】

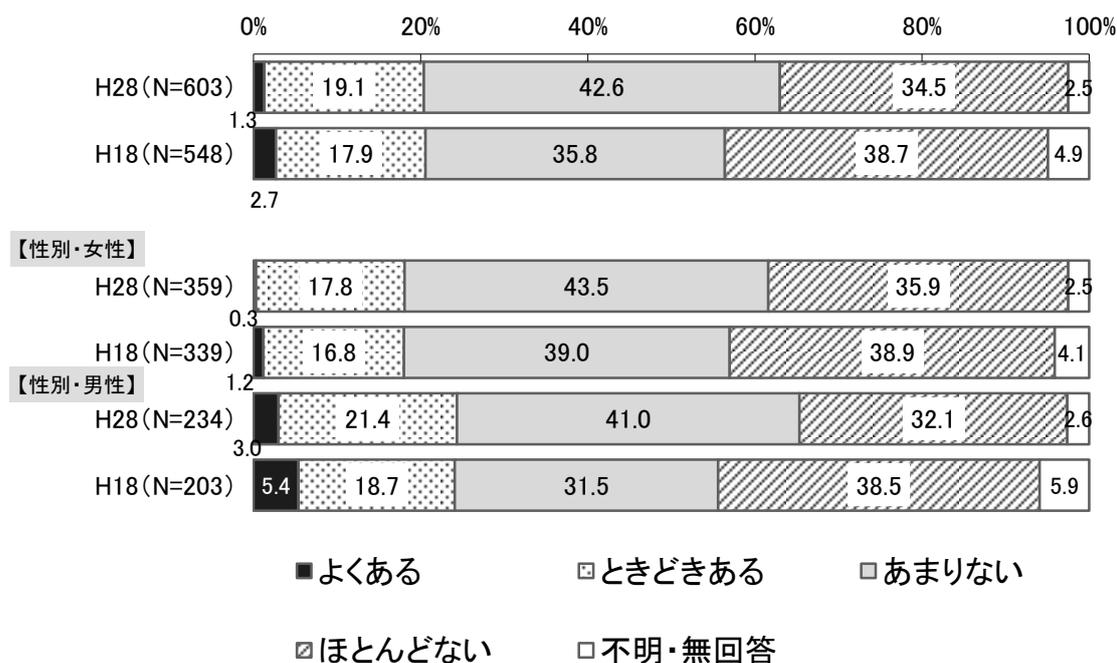
問 17-1 あなたは、社会全般で男女の地位が平等になることについてどのように思いますか。
（単数回答）

社会全般で男女の地位が平等になることについては、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「平等になってほしい」が高く、「現状のままでよい」が低くなっています。



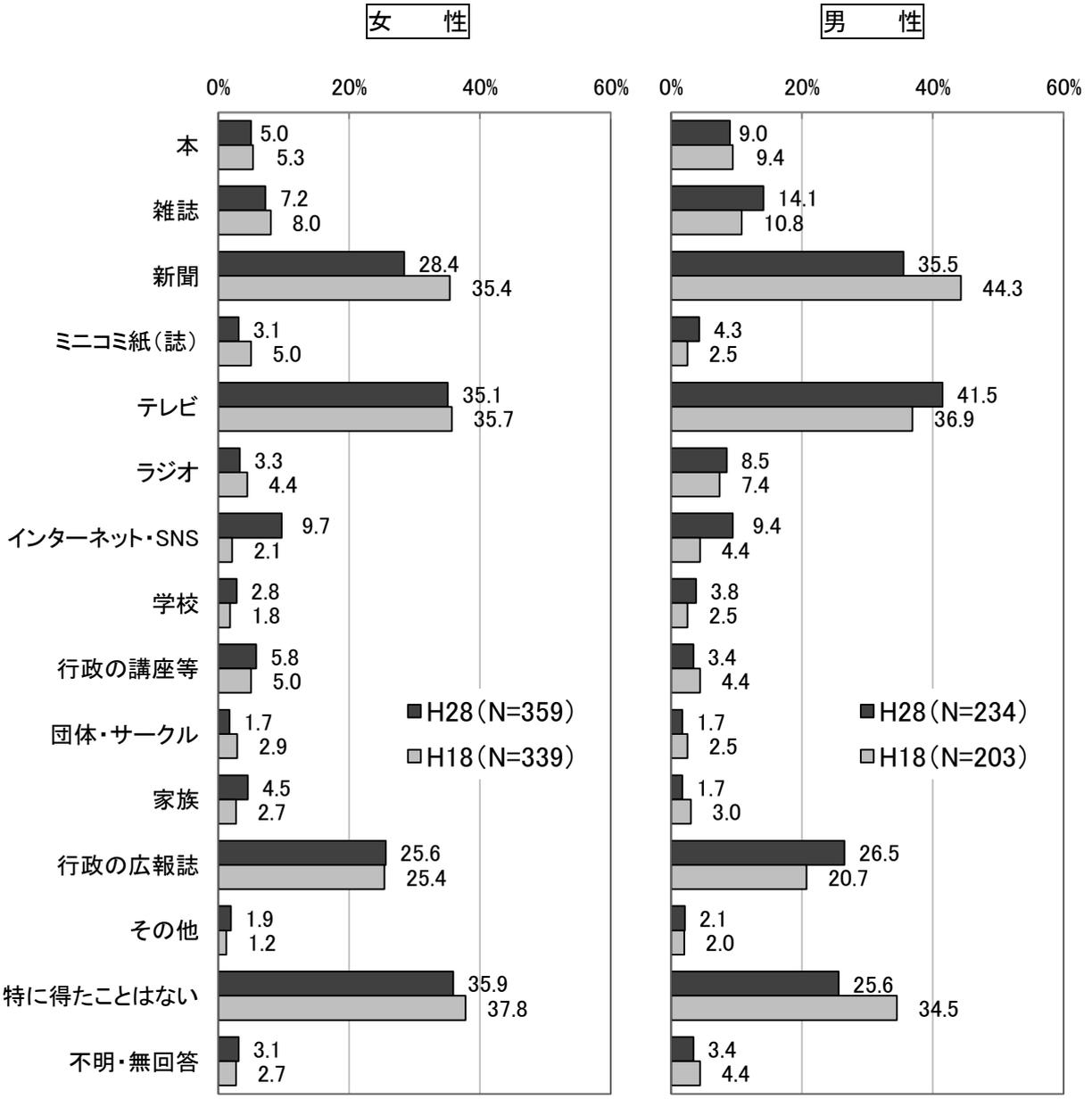
問 18 男女共同参画社会についての情報を得る機会がありますか。（単数回答）

男女共同参画に関する情報を得る機会の有無については、男性では平成 18 年度調査に比べて「あまりない」が高くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



問 19 男女共同参画社会についての情報は何かから得ましたか。(複数回答)

男女共同参画社会の情報源については、平成 18 年度調査に比べて男女ともに「新聞」が低く、「インターネット・SNS」が高くなっています。男性では「テレビ」、「行政の広報誌」が高くなっています。



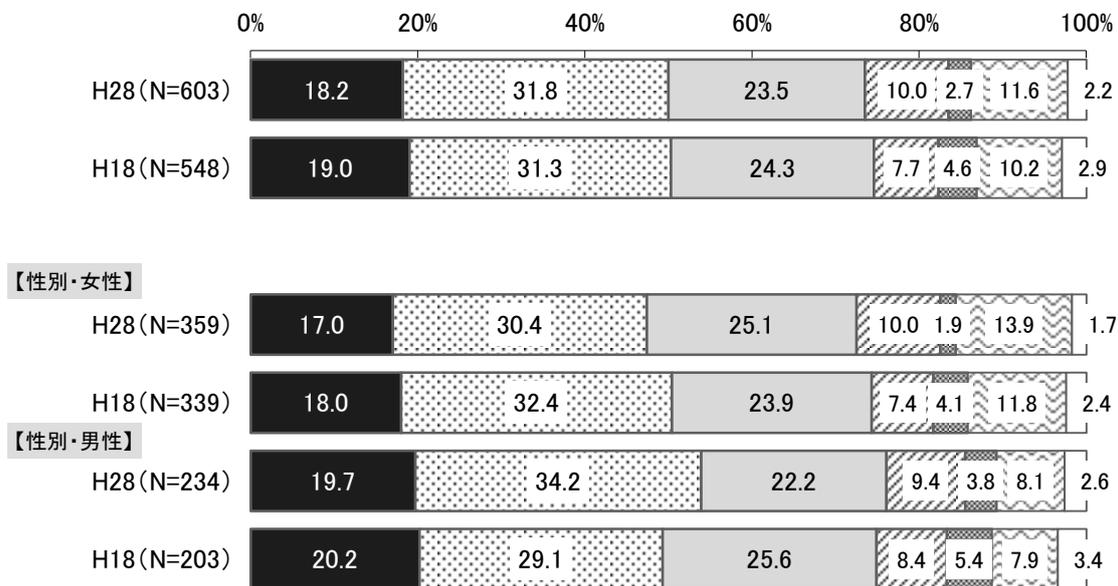
問 20 あなたは、男女共同参画社会の実現についてどのように思いますか。(単数回答)

問 20 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『期待している』…「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合算

『期待していない』…「期待しない」と「どちらかといえば期待していない」を合算

男女共同参画社会の実現に対する期待感については大きな変化は見られませんでした。

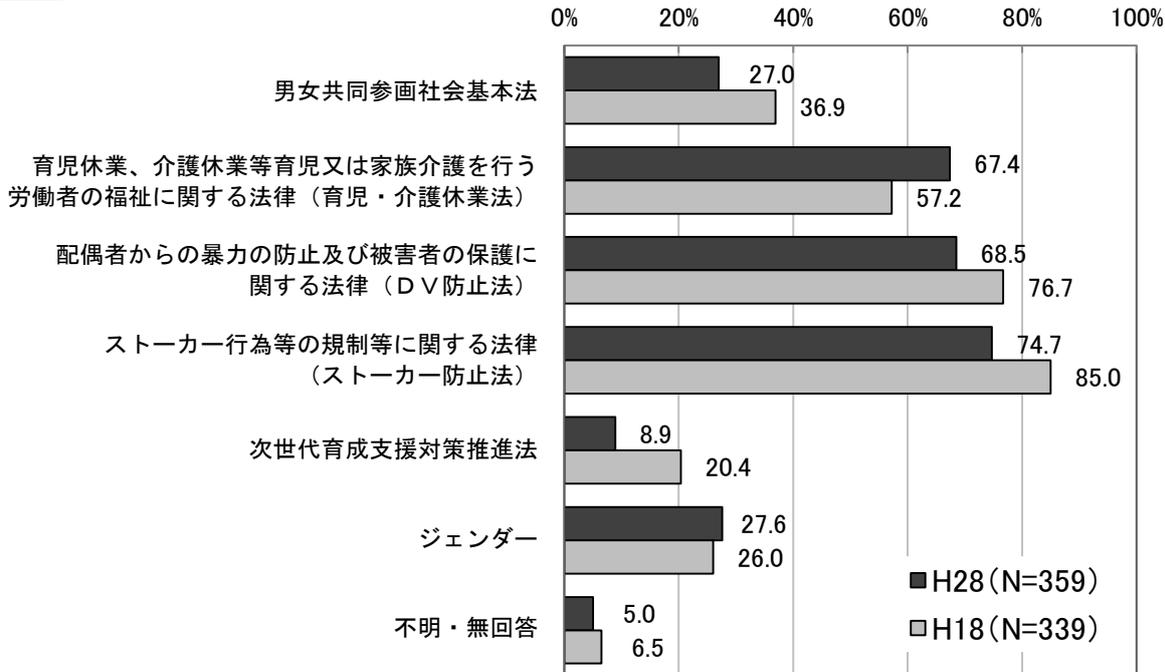


- 期待している
- ▣ どちらかといえば期待している
- どちらともいえない
- ▤ どちらかといえば期待していない
- ▥ 期待しない
- ▧ わからない
- 不明・無回答

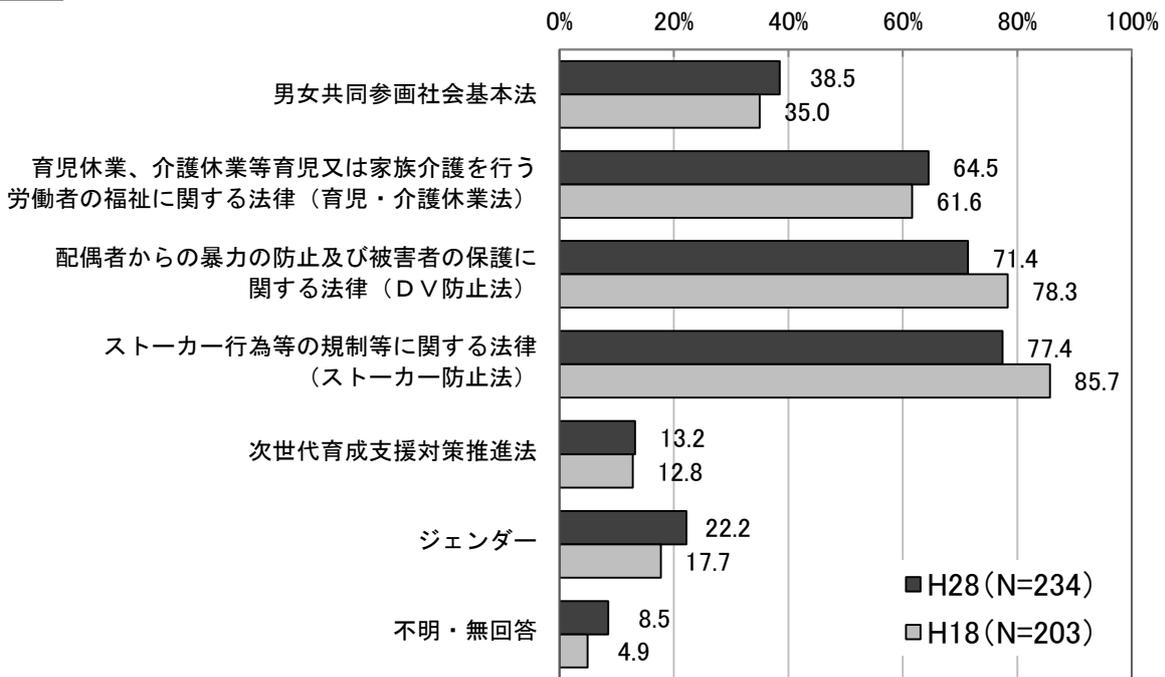
問 21 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）」「ジェンダー」が高くなっています。一方で「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」、「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー防止法）」が低くなっています。

女 性

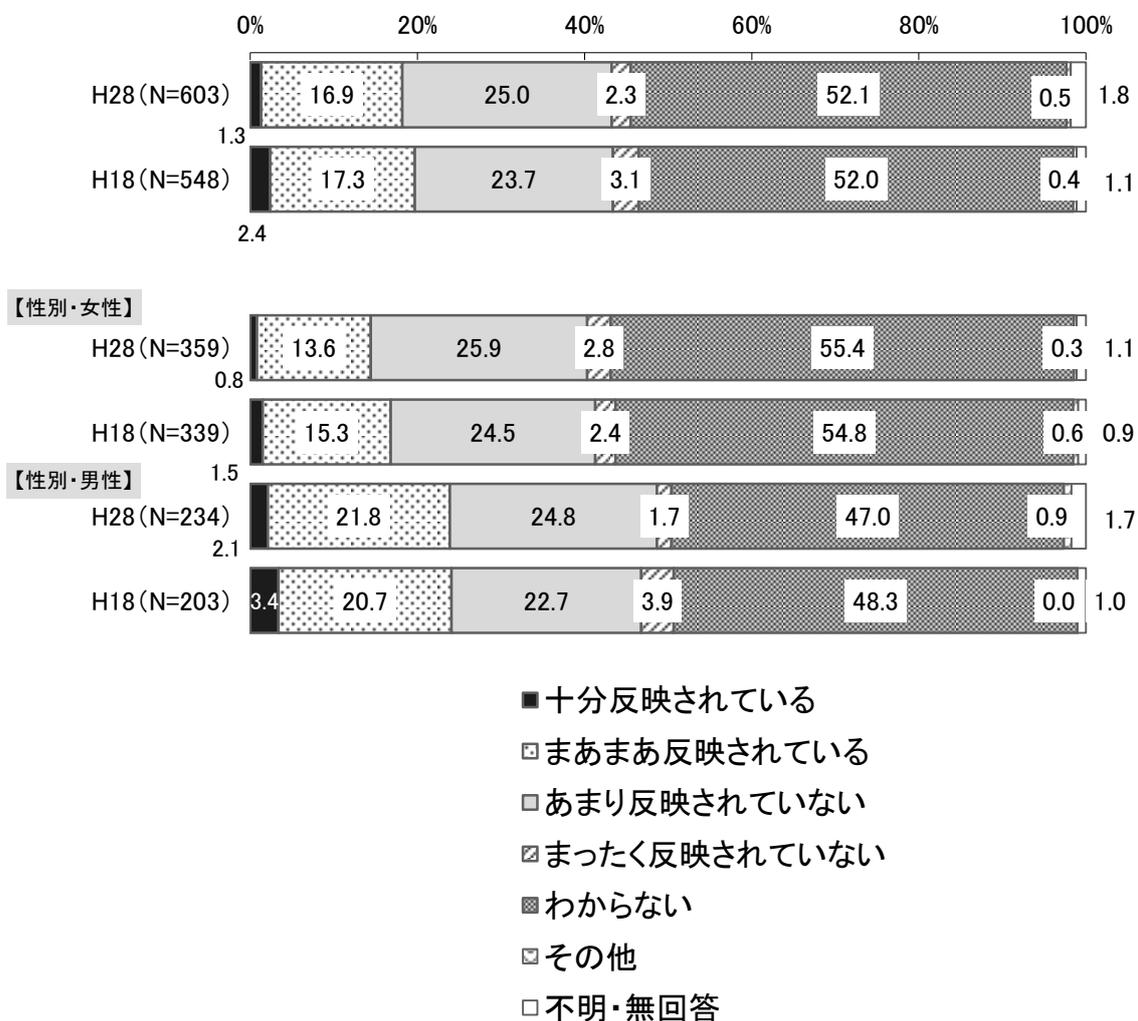


男 性



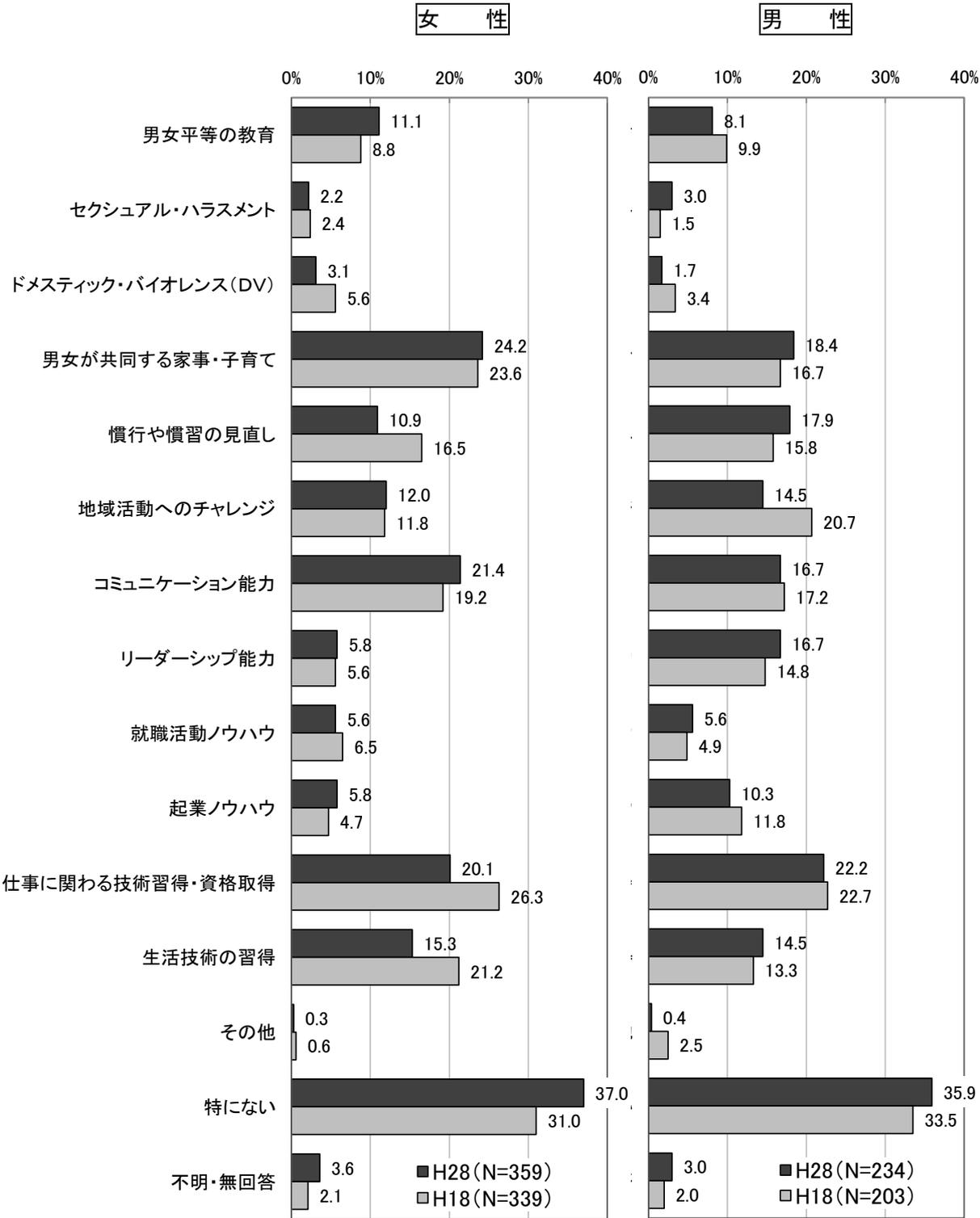
問 23 あなたは、市の政策に女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。
(単数回答)

政策に対する女性の意見や考え方の反映状況について、大きな変化は見られません。



問24 今後、あなたはどのようなテーマの講座・講演会等があれば参加したいですか。
(複数回答)

参加したい講座・講演会のテーマについては男女ともに平成18年度調査に比べて「特にない」が高くなっています。女性では「慣行や慣習の見直し」、「仕事に関わる技術習得・資格取得」、「生活技術の習得」で低くなっています。男性では「地域活動へのチャレンジ」で低くなっています。



2 中学生調査結果

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

・北名古屋市 平成 18 年度実施「北名古屋市男女の人権尊重・社会参画中学生アンケート」

■調査の回収状況

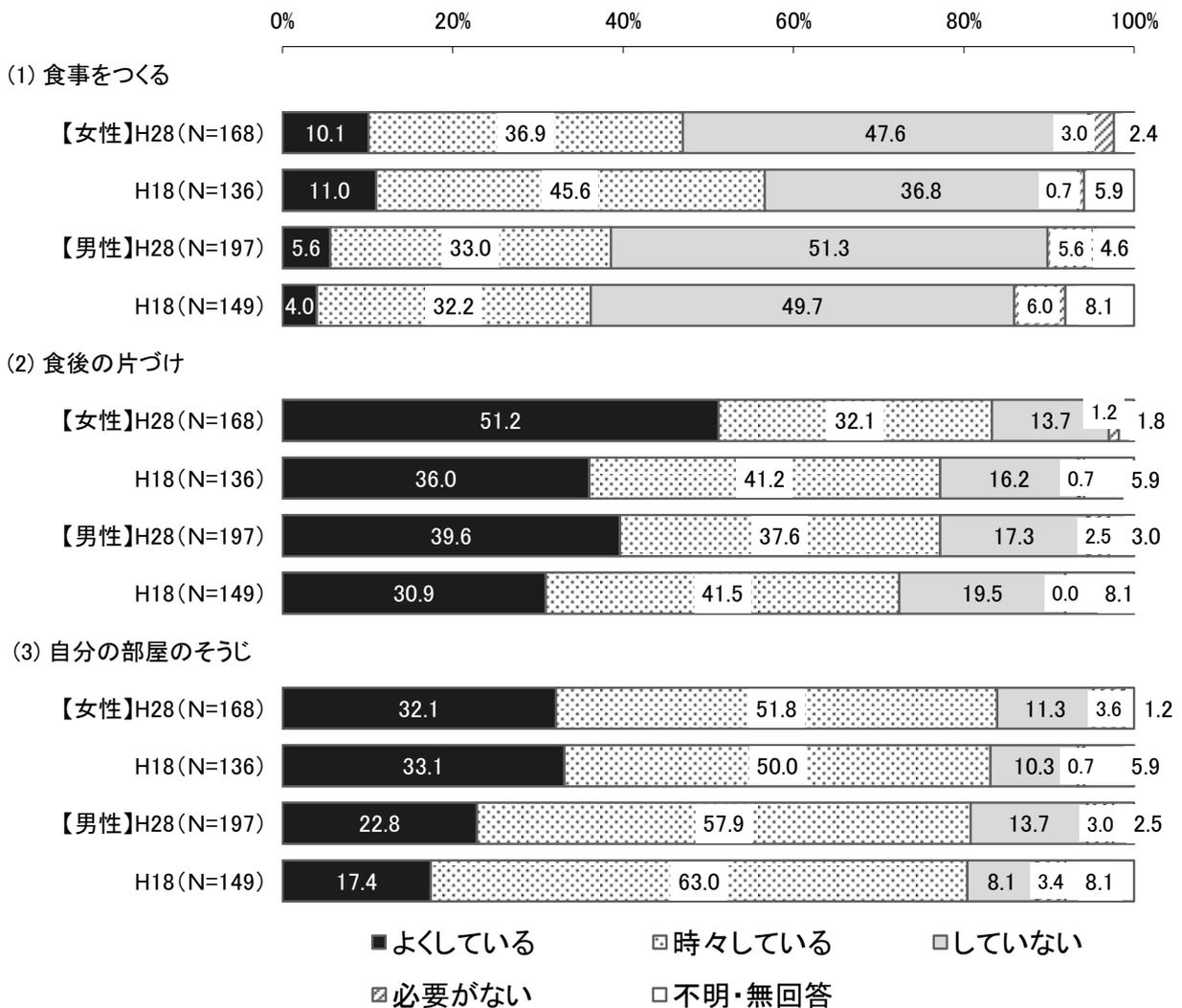
対象調査	全体	女性	男性	無回答
北名古屋市男女の人権尊重・社会参画中学生アンケート	285	136	149	0

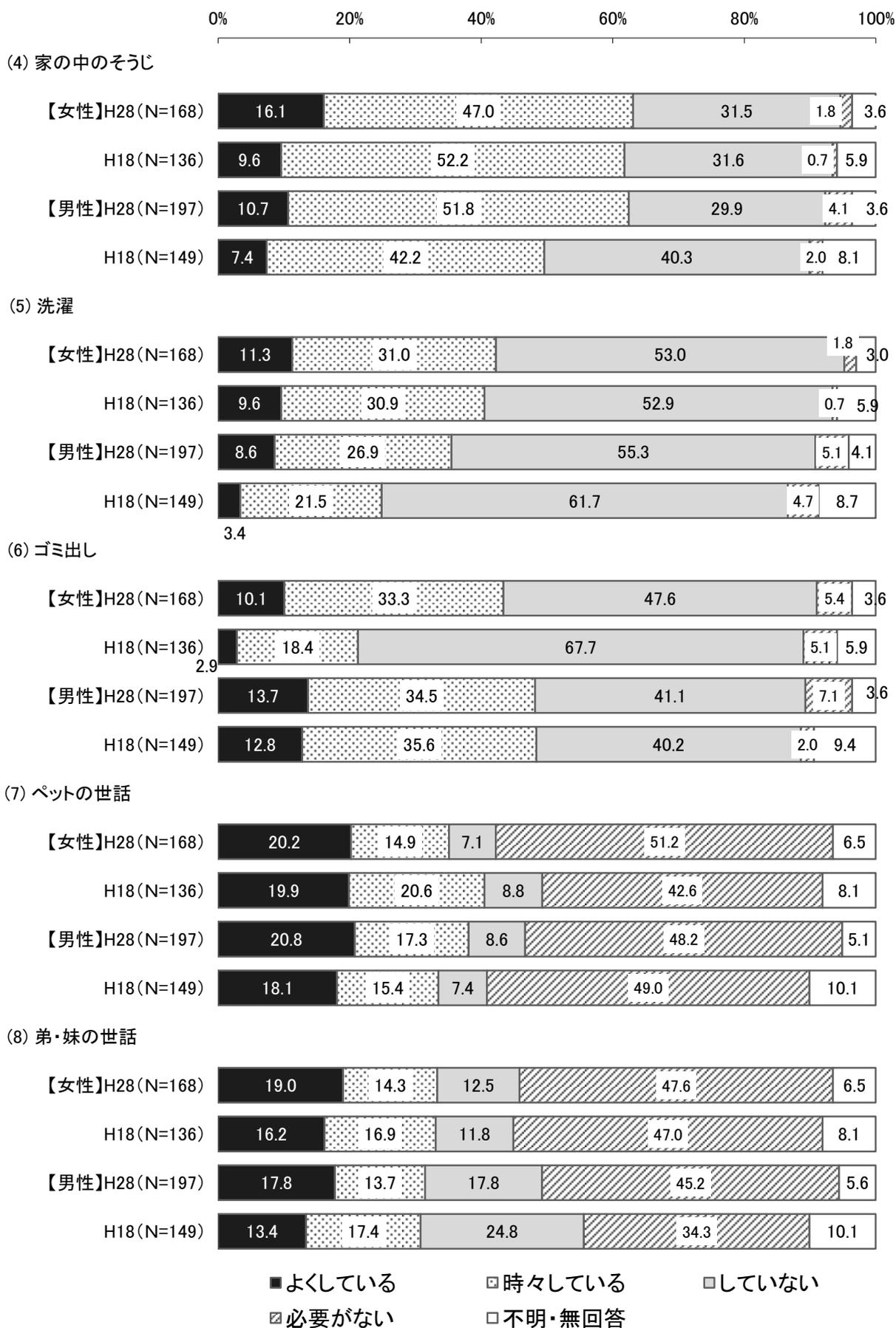
問1 あなたは、家の中でお手伝いをどれくらいしていますか。(単数回答)

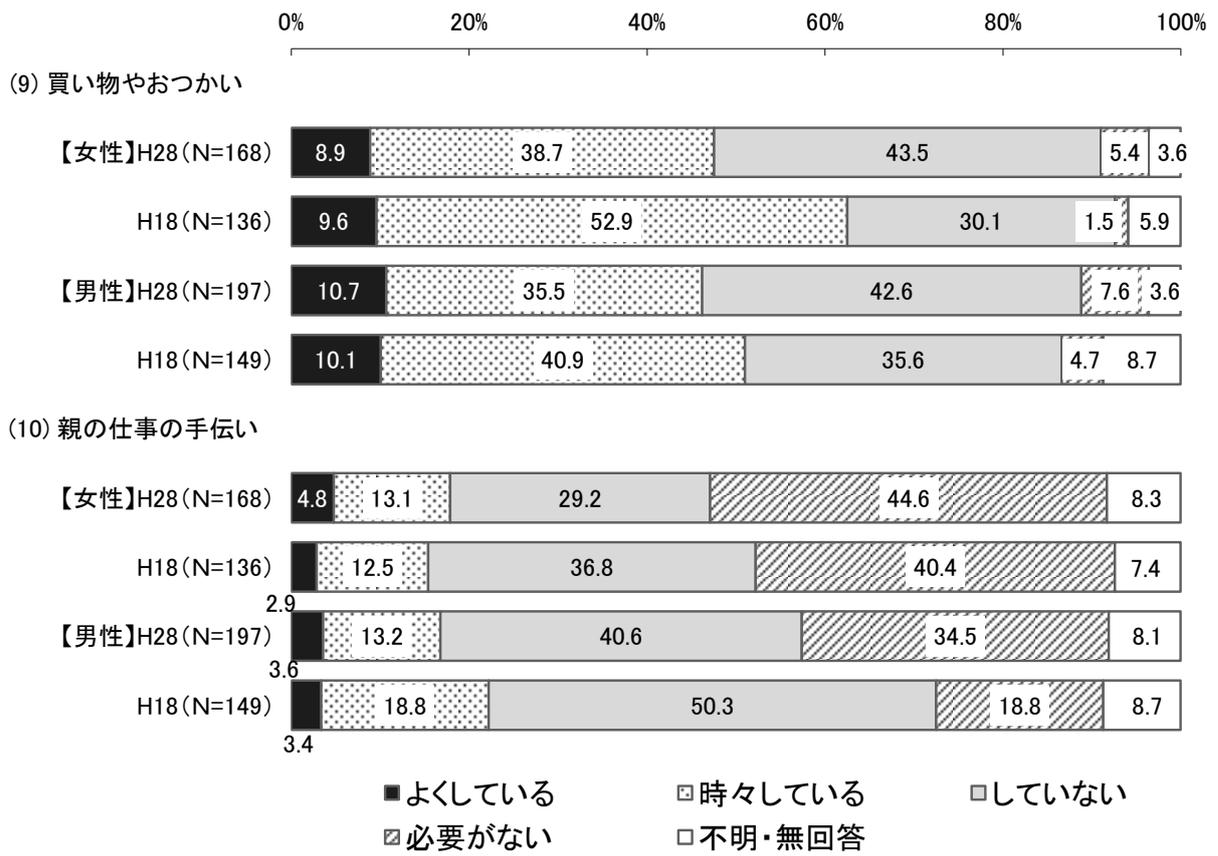
問1の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『している』…「よくしている」と「時々している」を合算

家の中でお手伝いの頻度については、女性では平成18年度調査に比べて「(2)食後の片づけ」、「(6)ゴミ出し」で『している』が高く、「(1)食事をつくる」、「(9)買い物やおつかい」で低くなっています。男性では「(4)家の中のそうじ」「(5)洗濯」で高くなっています。

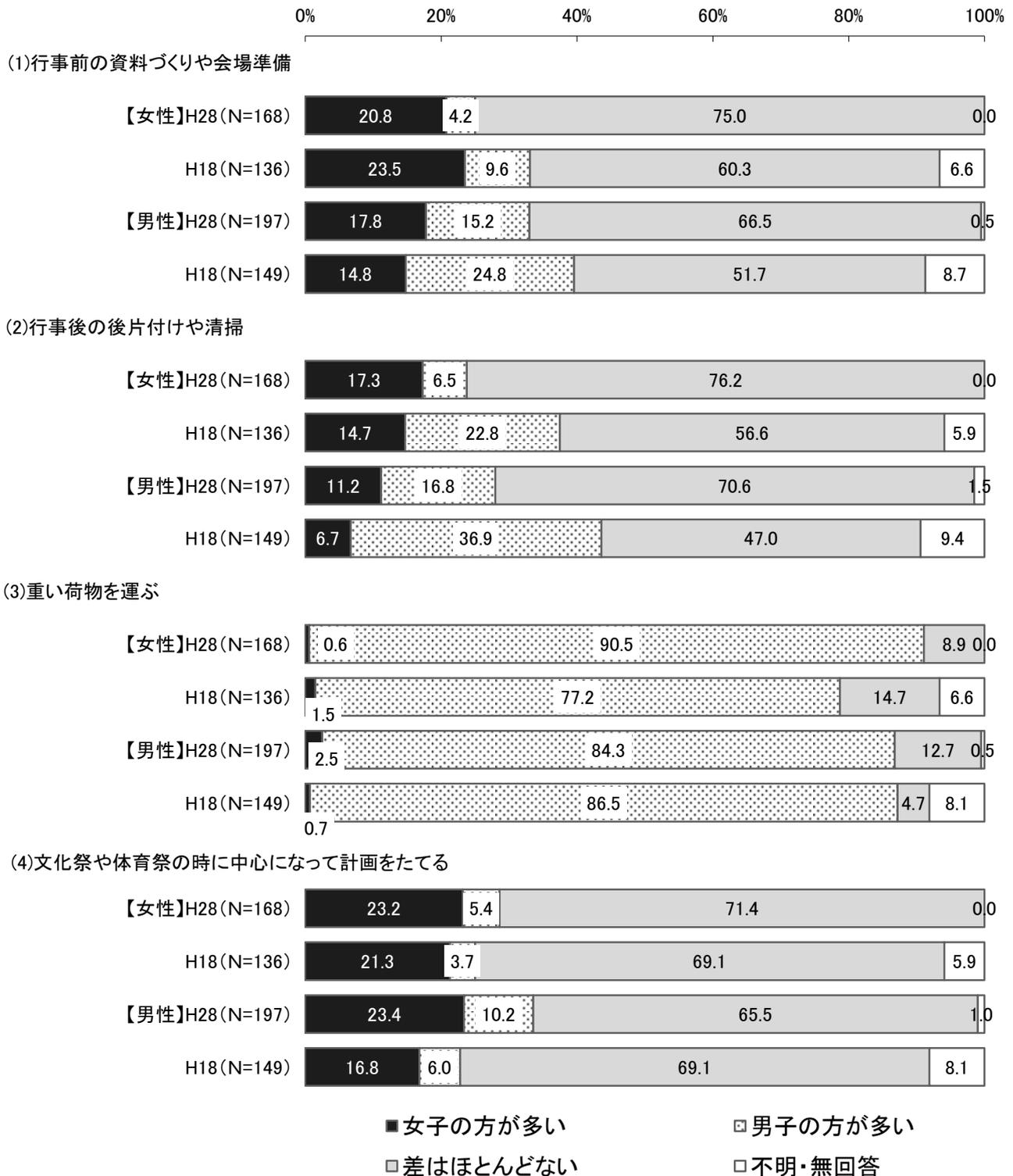


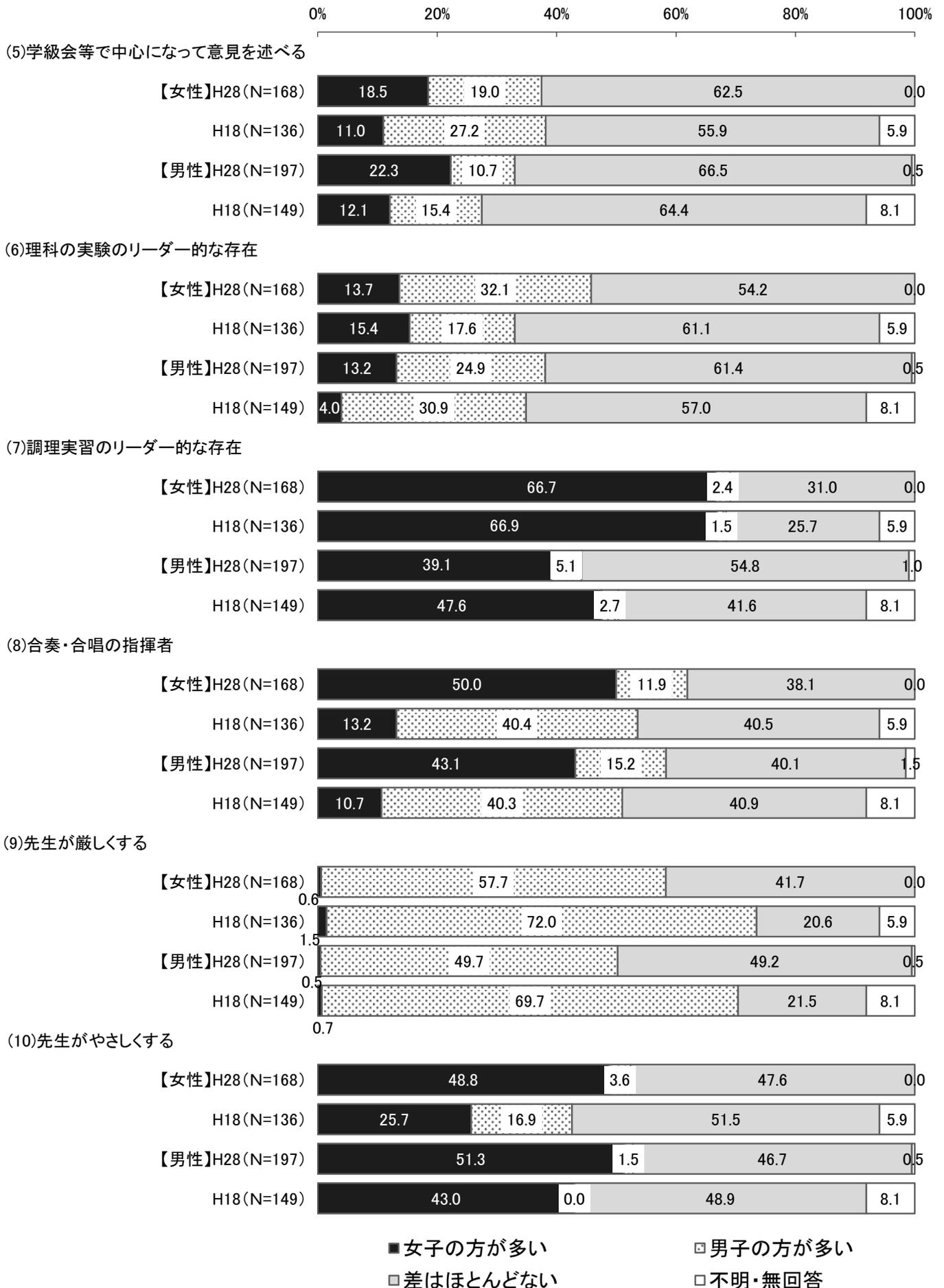




問2 あなたのクラスでまたは学校で、次のような時は女子と男子のどちらが多いとあなたは感じていますか。(単数回答)

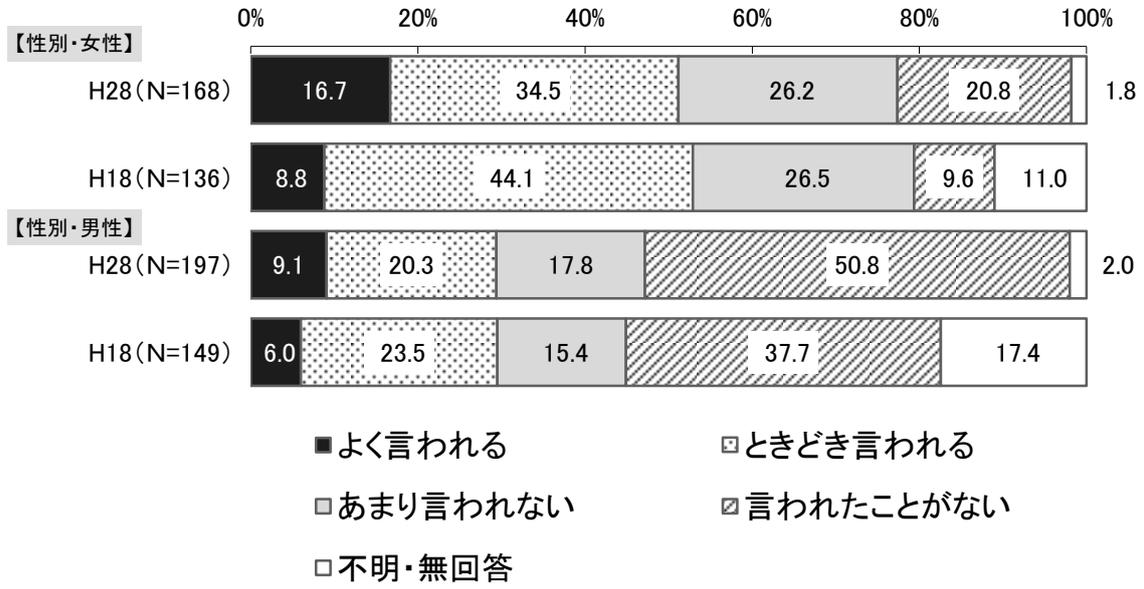
各項目での男女の分担等に対する意識について、平成18年度調査と比べて男女ともに「(1)行事前の資料づくりや会場準備」、「(2)行事後の後片付けや清掃」で「差はほとんどない」が高く、「(5)学級会等で中心になって意見を述べる」、「(8)合奏・合唱の指揮者」で「女子の方が多い」が高く「男子の方が多い」が低くなっています。また、「(9)先生が厳しくする」では「男子の方が多い」が低く、「(10)先生がやさしくする」では「女子の方が多い」が高くなっています。





問3 あなたは、「女だから〇〇〇しなさい」や「男だから〇〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

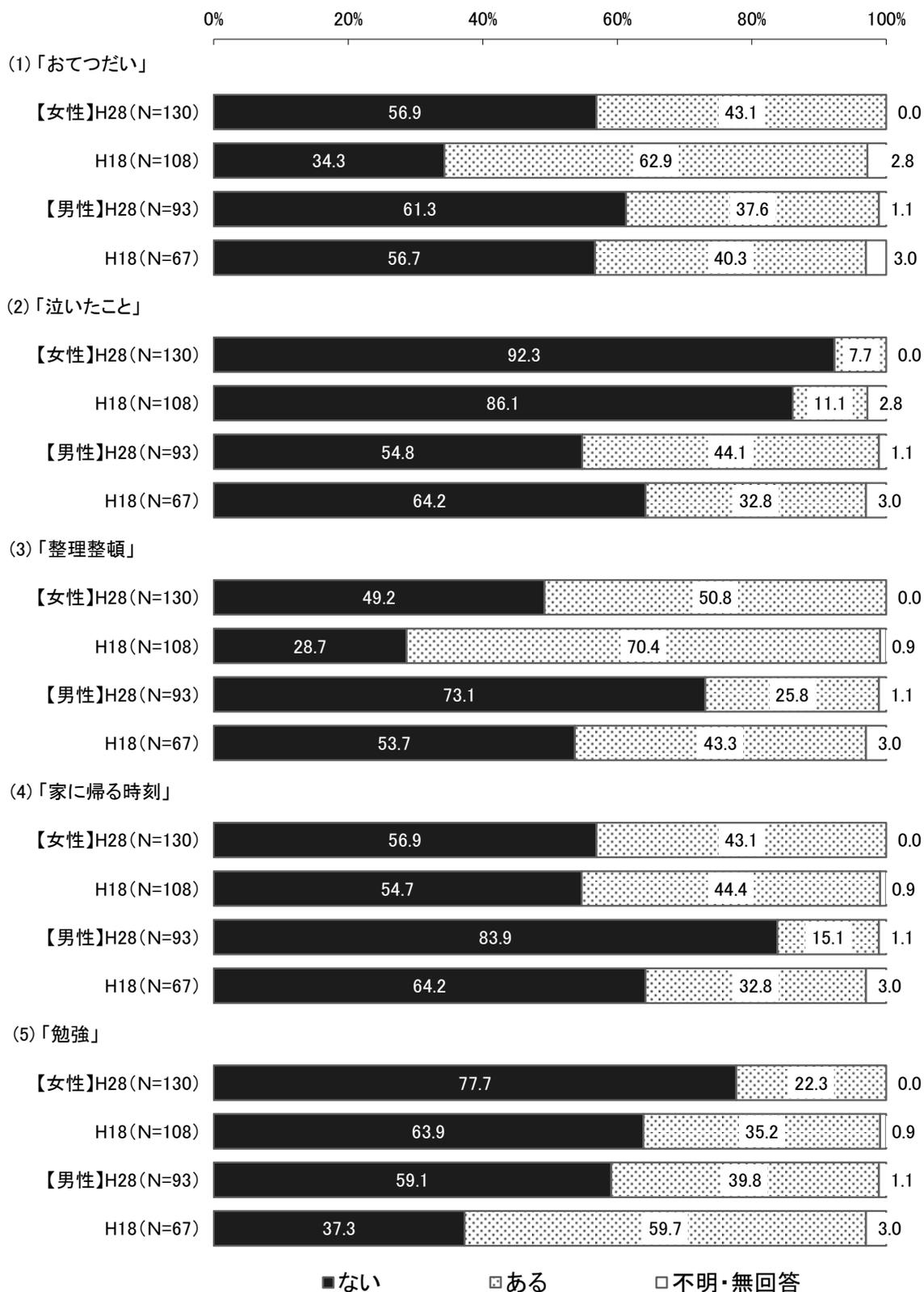
性別により行動を縛られる発言を受けた経験については、女性では平成18年度調査に比べて「よく言われる」、「言われたことがない」が高くなっています。男性では「言われたことがない」が高くなっています。

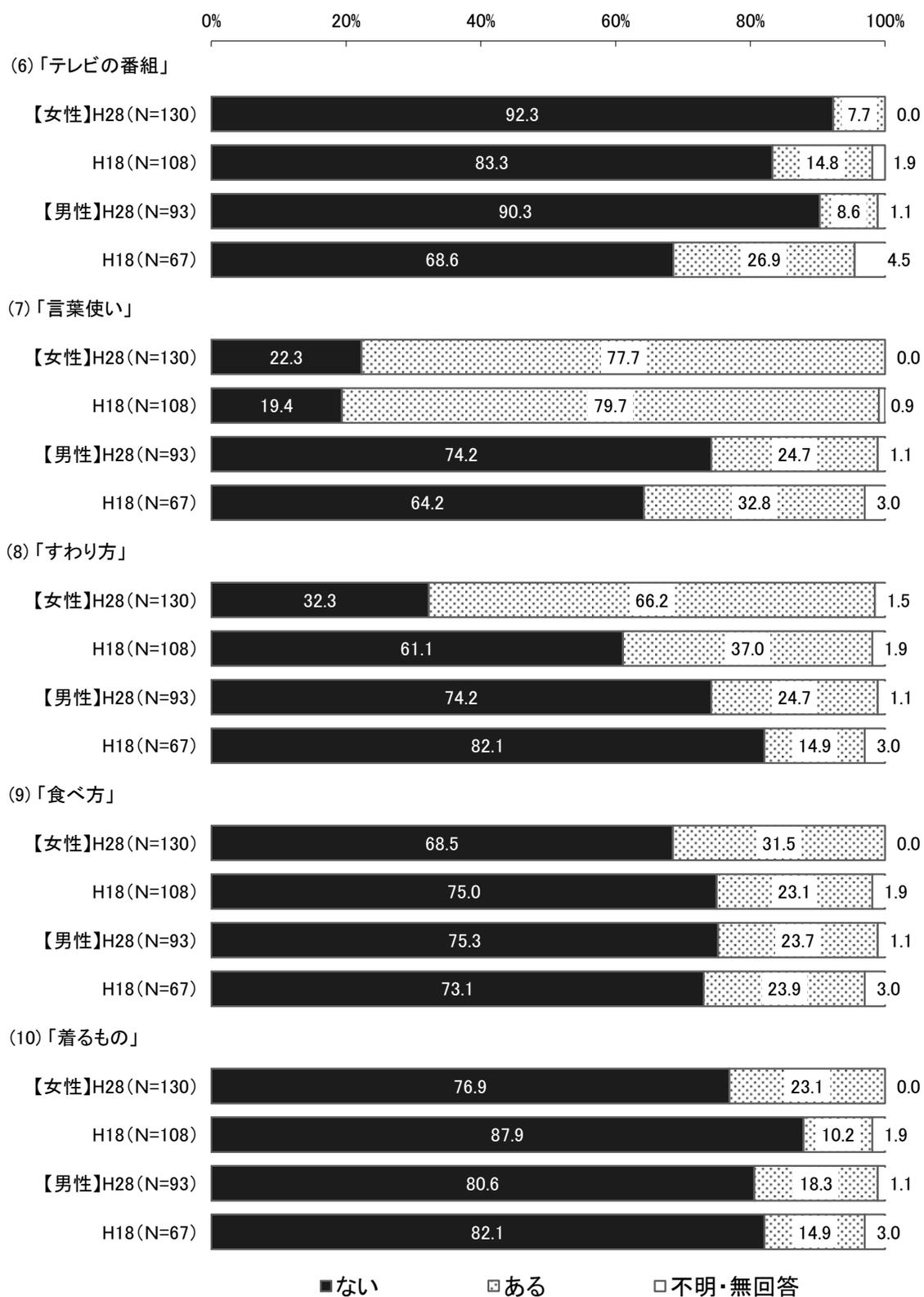


【問3で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われたい」と回答した方のみ】

問4-1 次のことで「女だから〇〇しなさい」や「男だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。(単数回答)

性別により行動を縛られる発言を受けた経験について、平成18年度調査に比べて男女ともに「(8)すわり方」、「(9)着るもの」で「ある」が高くなり、一方「(1)おてつだい」、「(3)整理整頓」、「(4)家に帰る時刻」、「(5)勉強」、「(6)テレビの番組」、「(7)言葉使い」では「ある」が低くなっています。

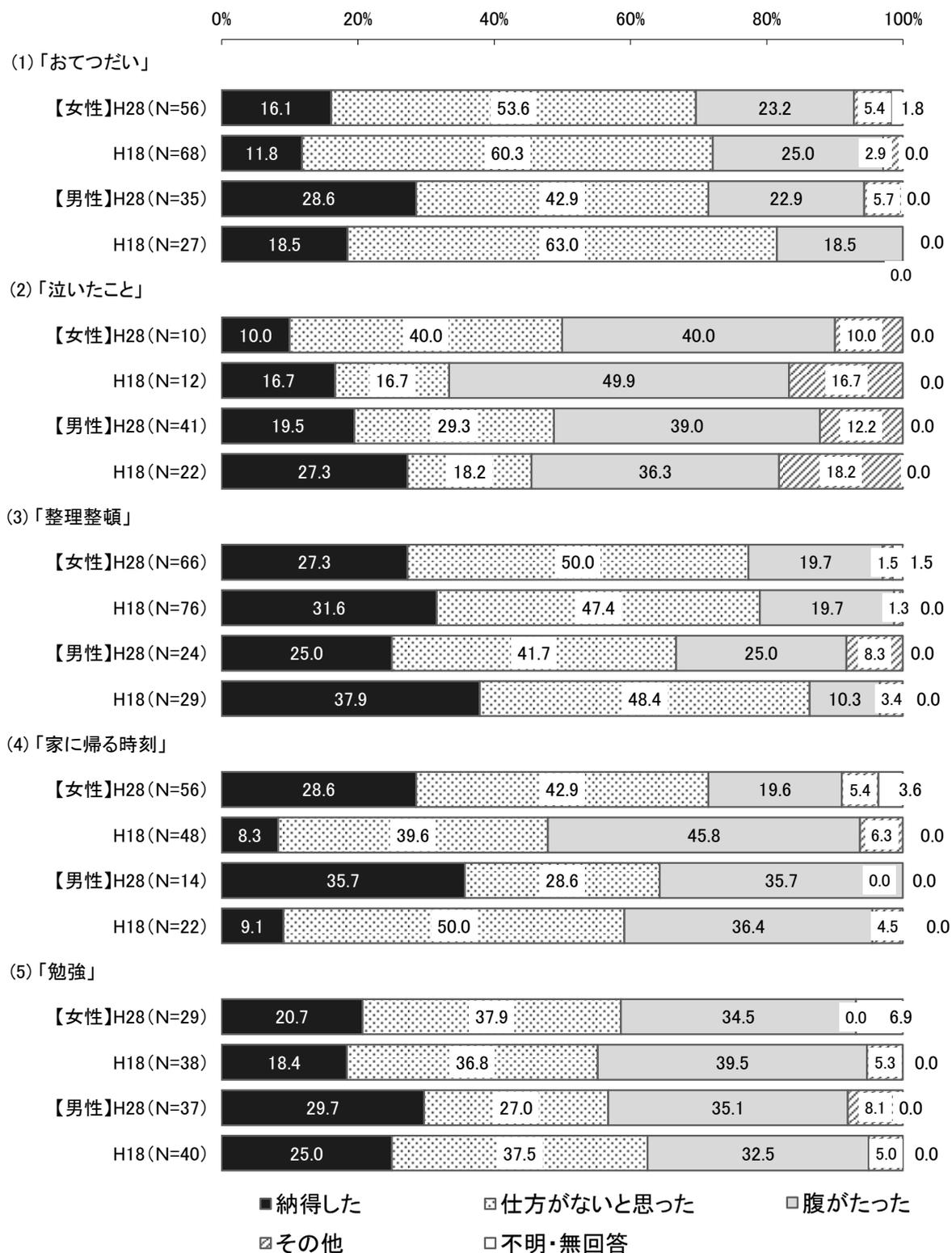


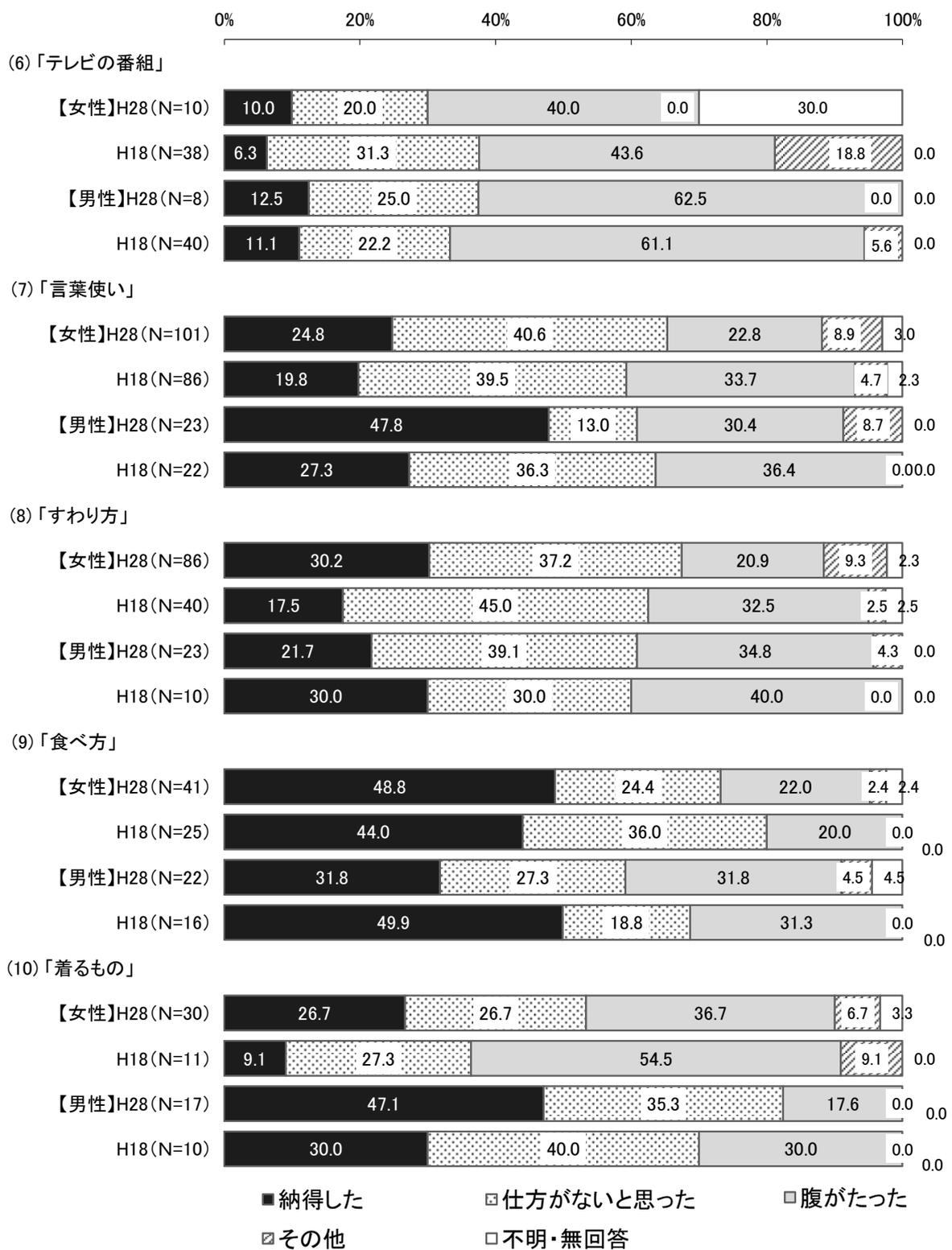


【問4-1で「ある」と回答した方のみ】

問4-2 次のことで、「女だから○○○しなさい」や「男だから○○○しなさい」と言われた時の気持ち（単数回答）

性別により行動を縛られる発言を受けた時の気持ちについて、平成18年度調査に比べて男女ともに「(1)おてつだい」、「(4)家に帰る時刻」、「(5)勉強」、「(6)テレビの番組」、「(7)言葉使い」、「(10)着るもの」で「納得した」が高く、「(2)泣いたこと」、「(3)整理整頓」で「納得した」が低くなっています。また、「(8)すわり方」、「(9)食べ方」については女性で「納得した」が高く、男性で低くなっています。

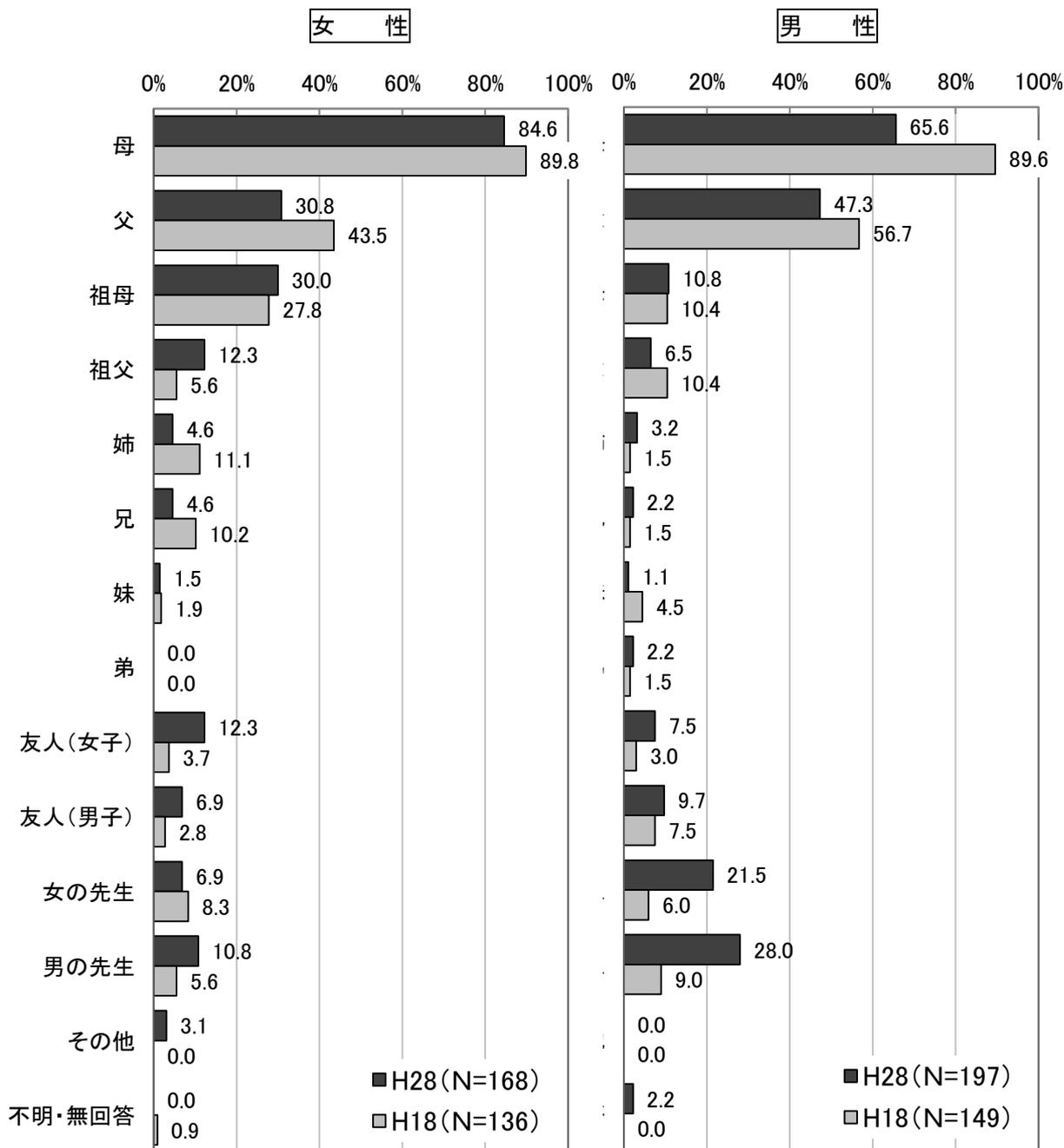




【問3で「よく言われる」「ときどき言われる」「あまり言われない」と回答した方のみ】

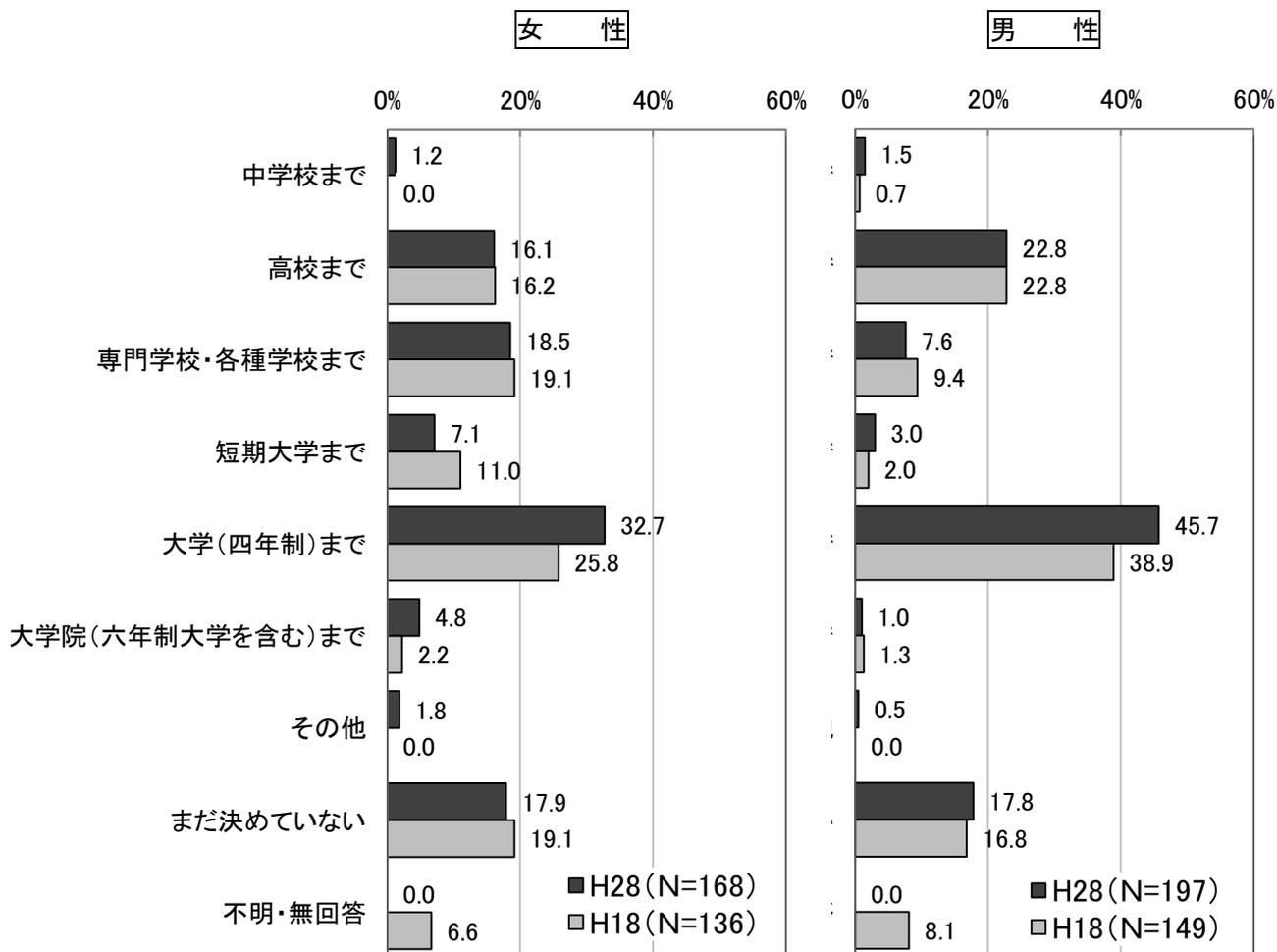
問5 だれから言われることが多いですか。(複数回答)

性別により行動を縛られる発言については、男女とも平成18年度調査に比べて「母」、「父」から言われる割合が低くなり、「友人（女子）」、「友人（男子）」、「男の先生」から言われる割合が高くなっています。



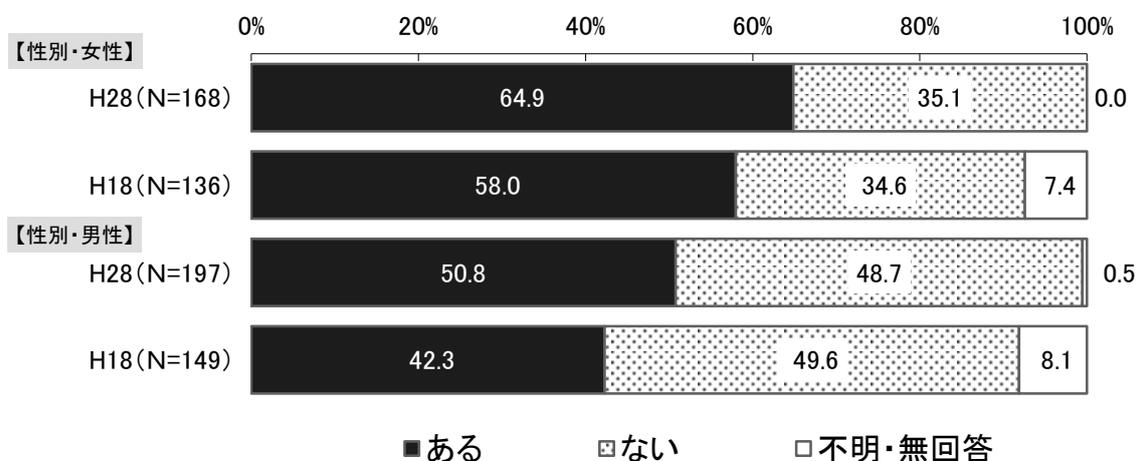
問7 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。(単数回答)

学歴について、男女ともに平成18年度調査に比べて「大学（四年制）まで」が高くなっています。



問8 あなたには、将来なりたい職業はありますか（単数回答）

なりたい職業について、男女ともに平成18年度調査に比べて「ある」が高くなっています。



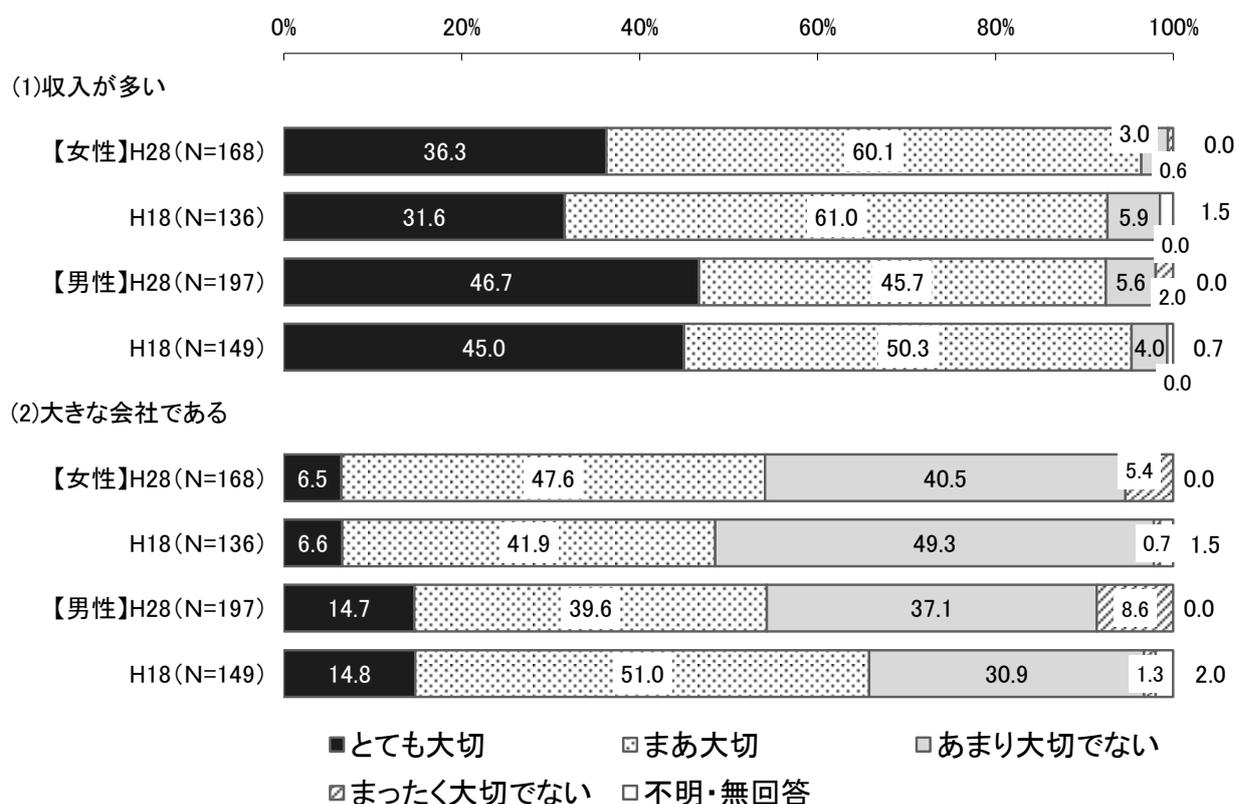
問9 職業を選ぶとしたら、あなたは次のようなことをどれくらい大切に考えますか。（単数回答）

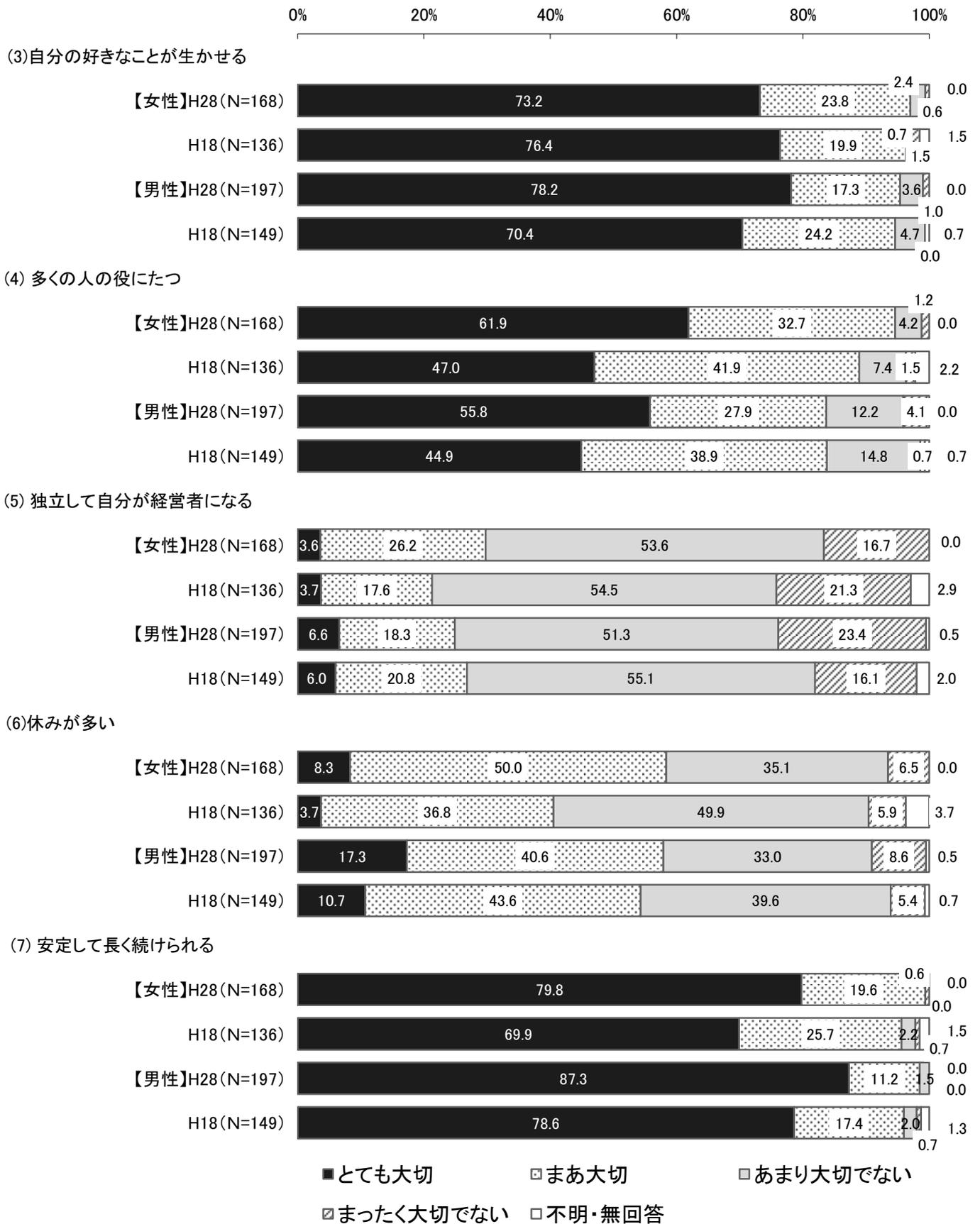
問9の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『大切』…「とても大切」と「まあ大切」を合算

『大切でない』…「まったく大切でない」と「あまり大切でない」を合算

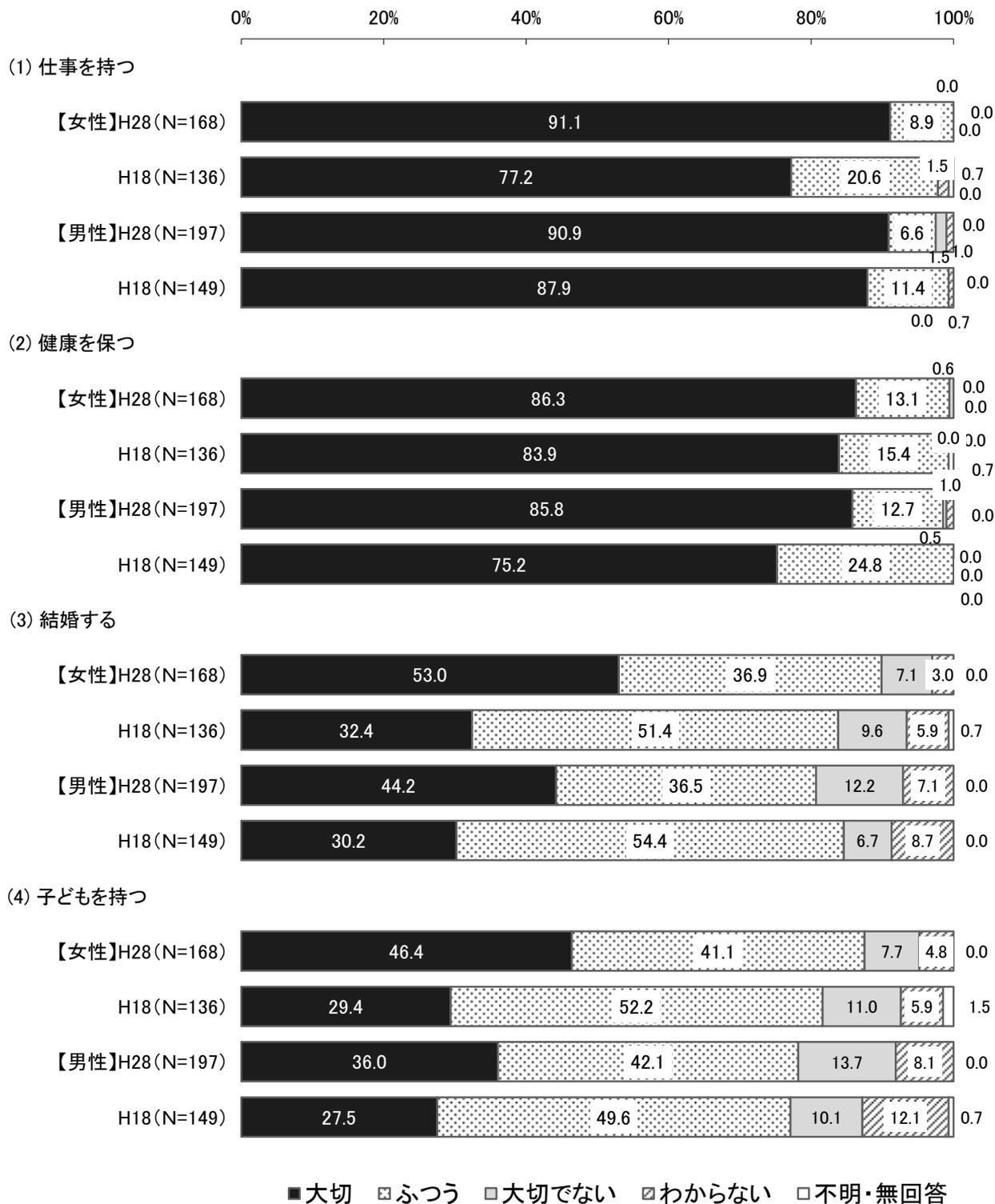
職業を選択する上で『大切』と考えることについて、男女ともに平成18年度調査と比べて「(6) 休みが多い」、「(7) 安定して長く続けられる」で割合が高くなっています。女性ではすべての項目について『大切』と考える割合が高くなっています。

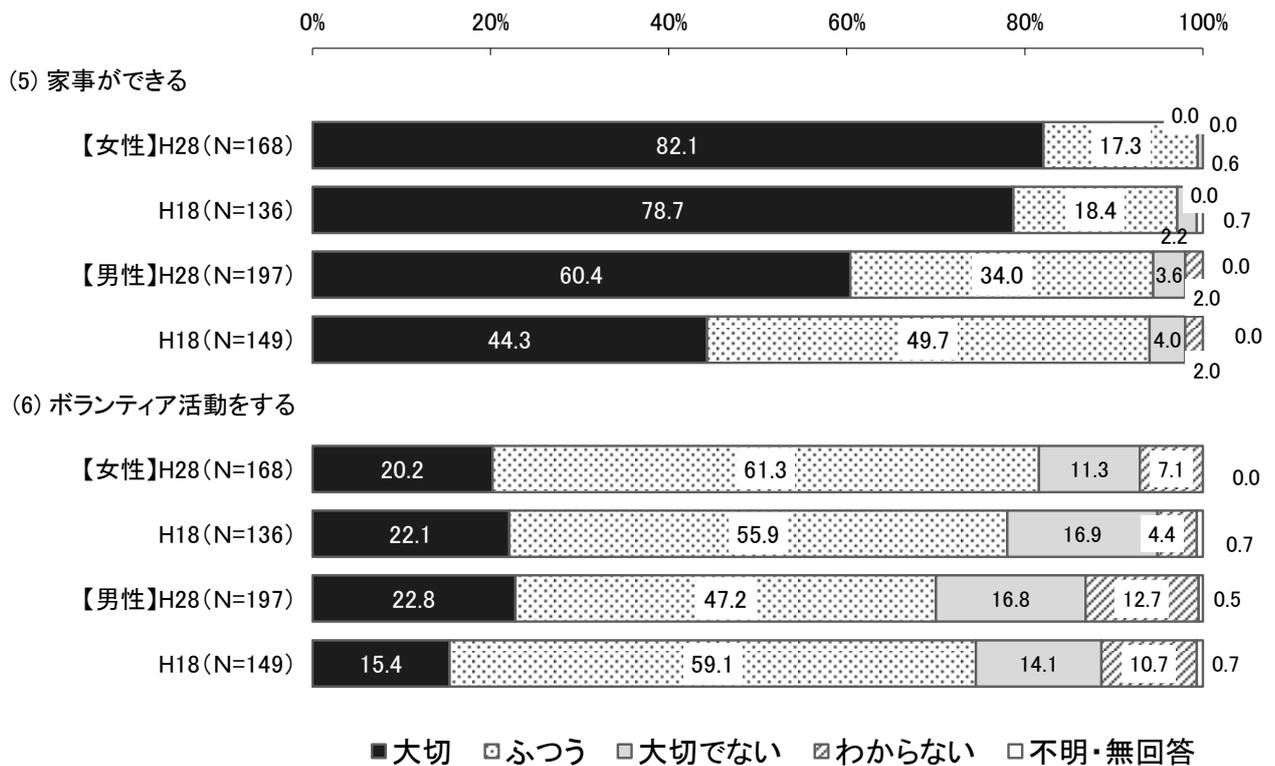




問 10 将来、あなたが希望する生活をするために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。
(単数回答)

希望する生活をするために「大切」と考えることとして、平成 18 年度調査と比べて男性ではすべての項目で「大切」と考える割合が高く、女性では「(6) ボランティア活動をする」以外のすべての項目で「大切」と考える割合が高くなっています。また、「(3) 結婚する」、「(4) 子どもを持つ」については「大切でない」と考える割合が女性で低く、男性で高くなっています。



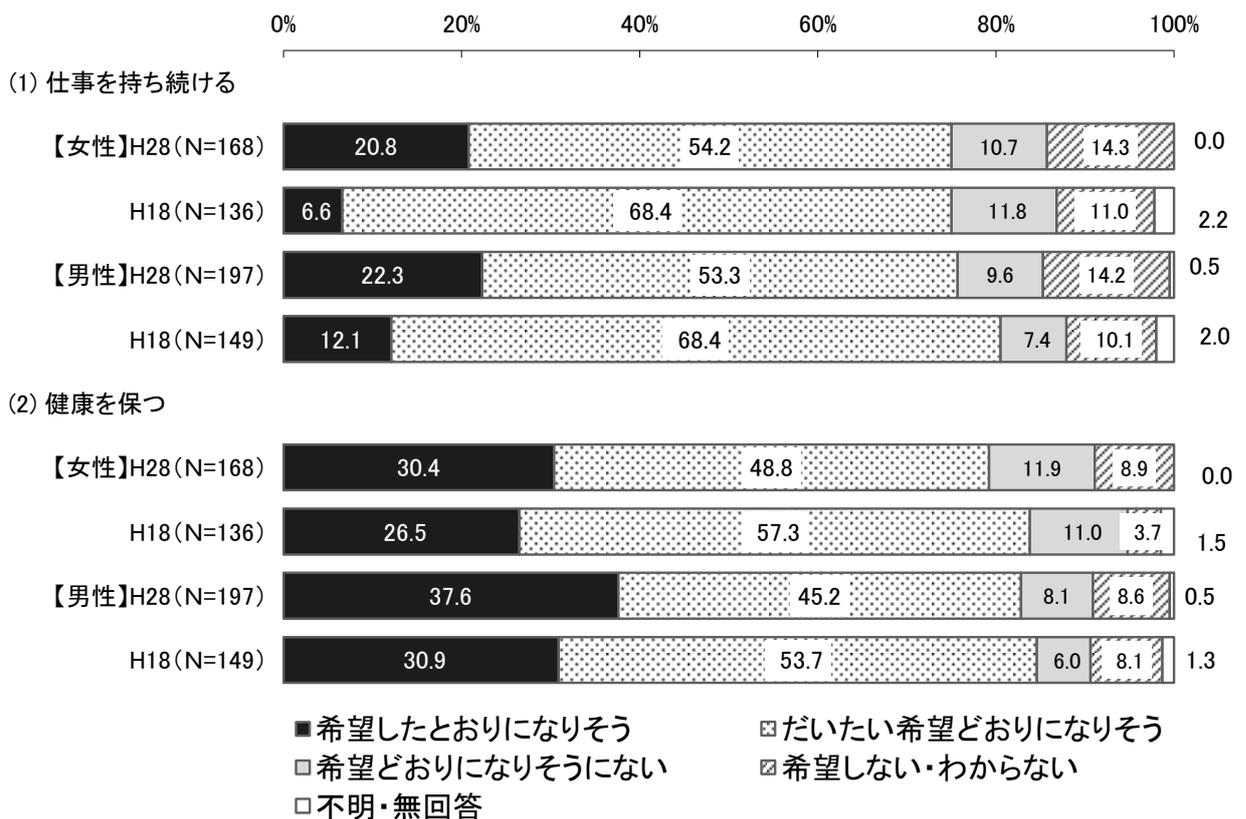


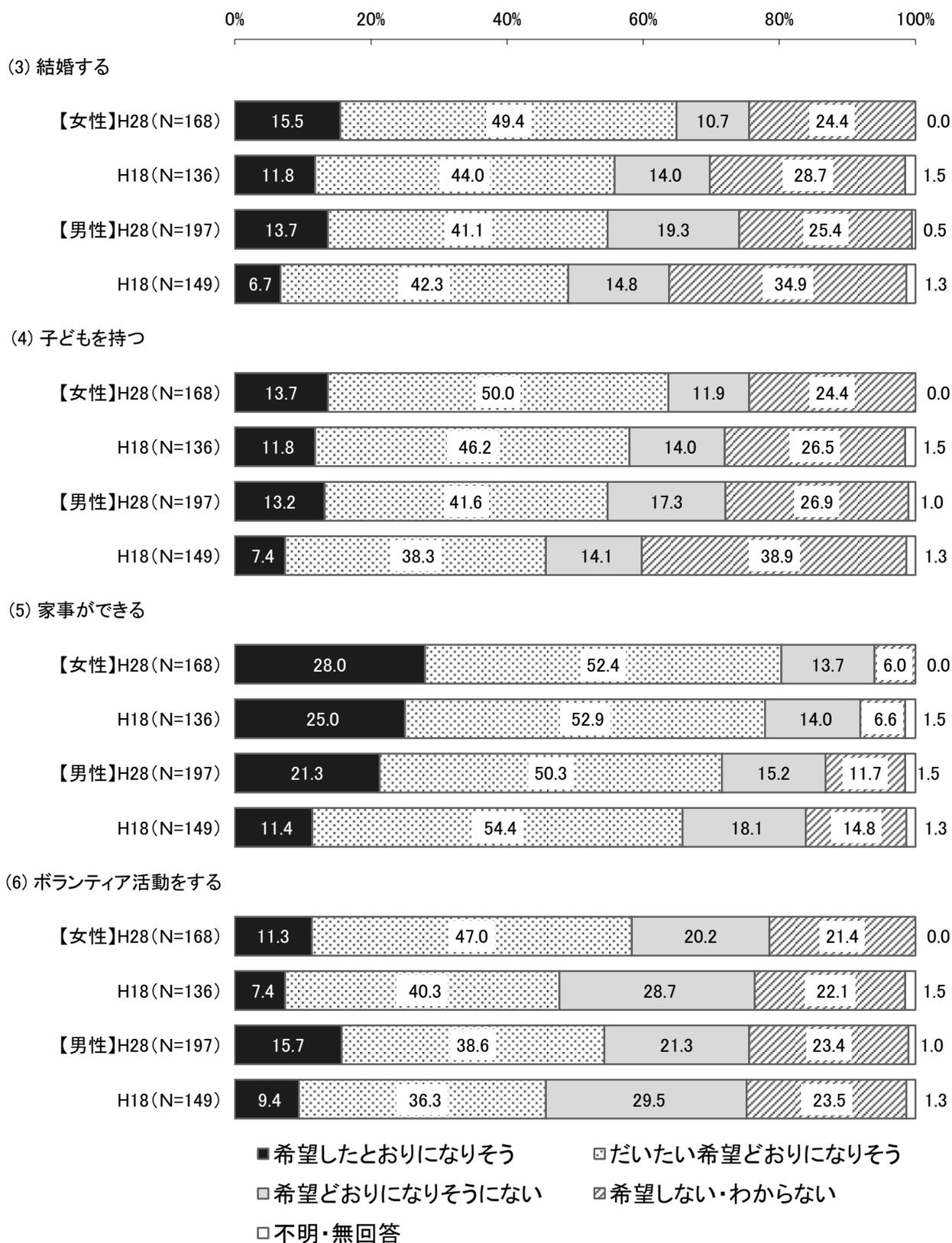
問 11 将来、次のことはあなたの希望どおりになりそうですか。(単数回答)

問 11 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『希望どおり』…「希望したとおりになりそう」と「だいたい希望してとおりになりそう」を合算

将来、『希望どおり』と見込む割合については、男女ともに平成 18 年度調査と比べて「(1) 仕事をもち続ける」、「(2) 健康を保つ」以外の項目で高くなっています。

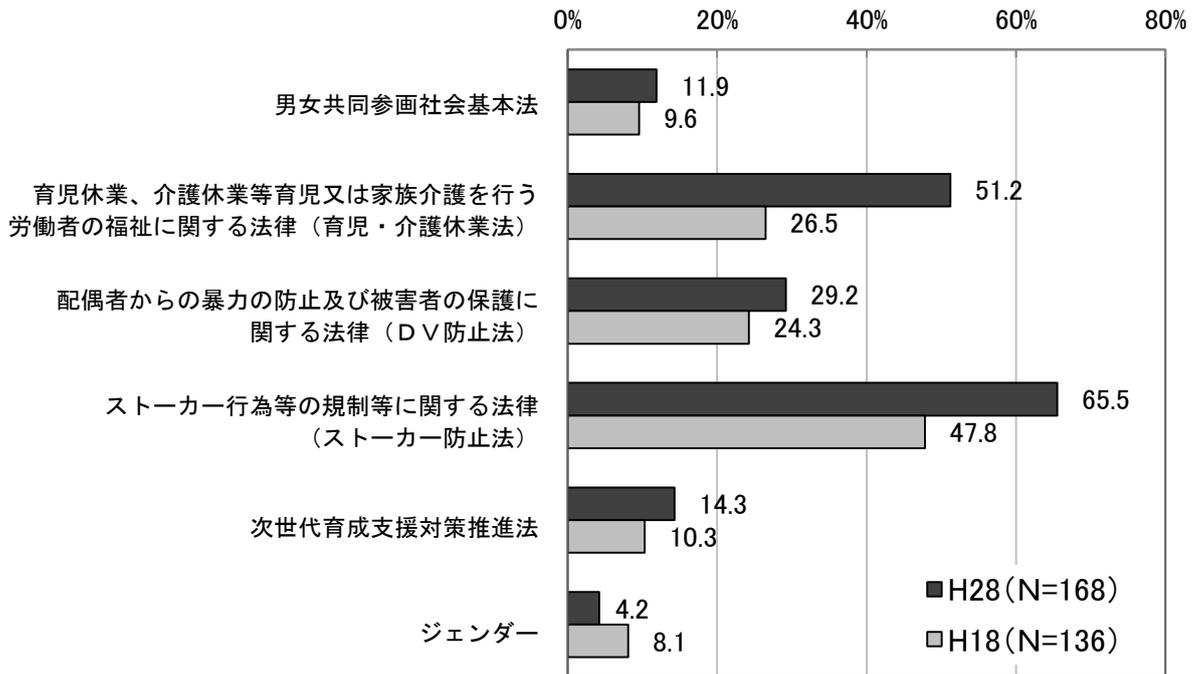




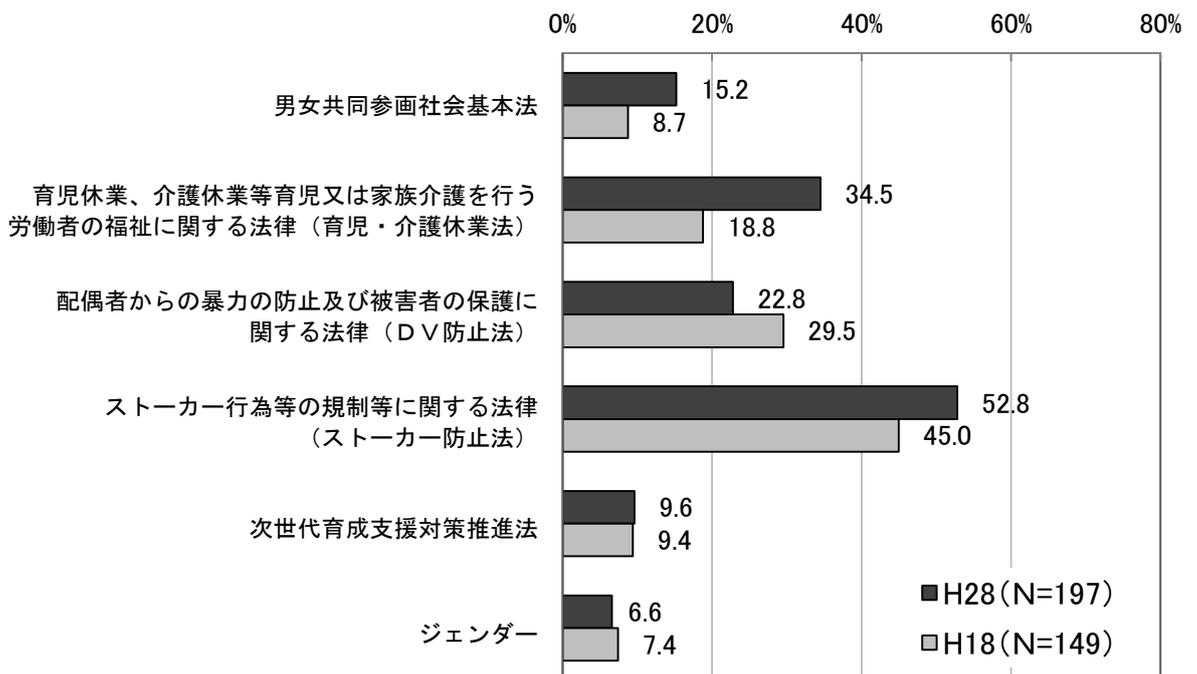
問 15 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがある番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「男女共同参画社会基本法」、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）」、「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー防止法）」、「次世代育成支援対策推進法」で高く、「ジェンダー」で低くなっています。「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」については女性で認知度が高まっていますが、男性で低くなっています。

女性



男性

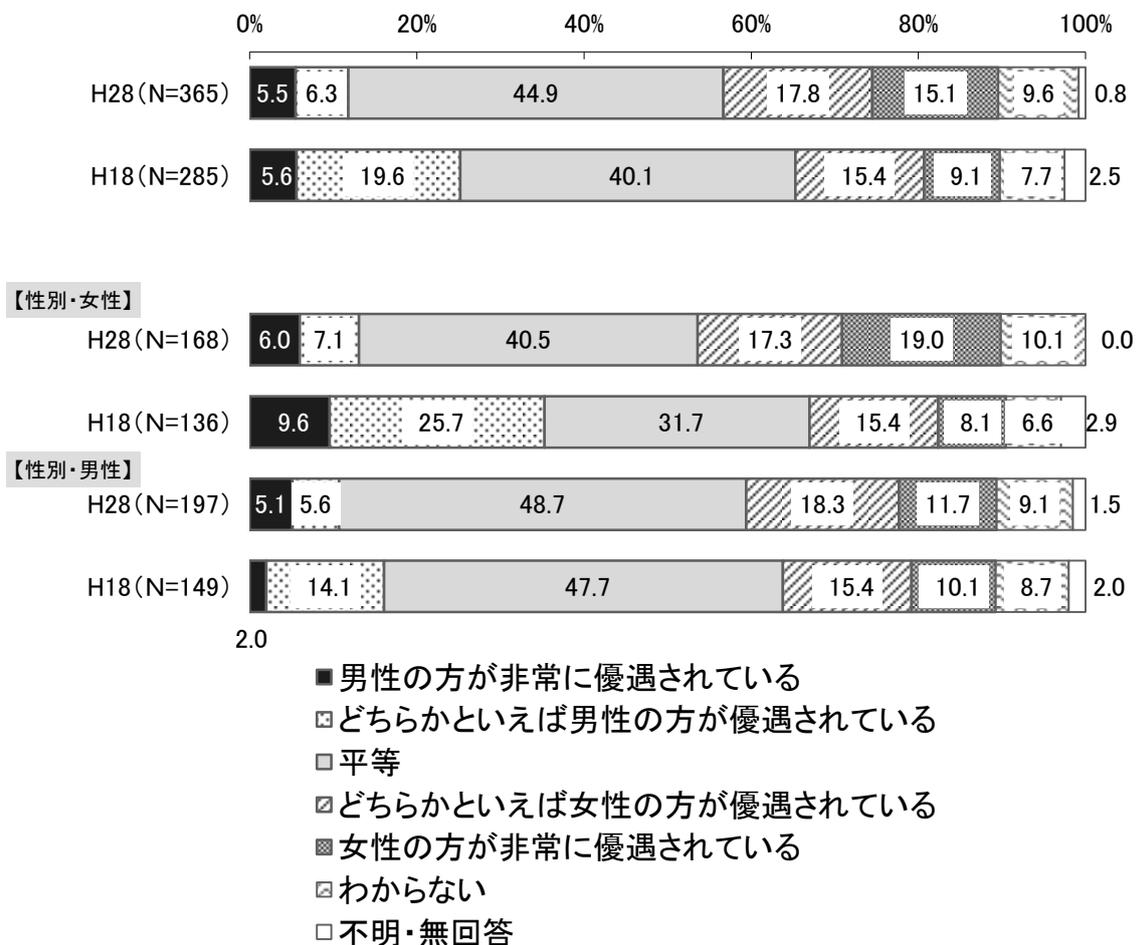


問 16（1） あなたは、家庭で男女の地位は平等になっていると思いますか。（単数回答）

問 16 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

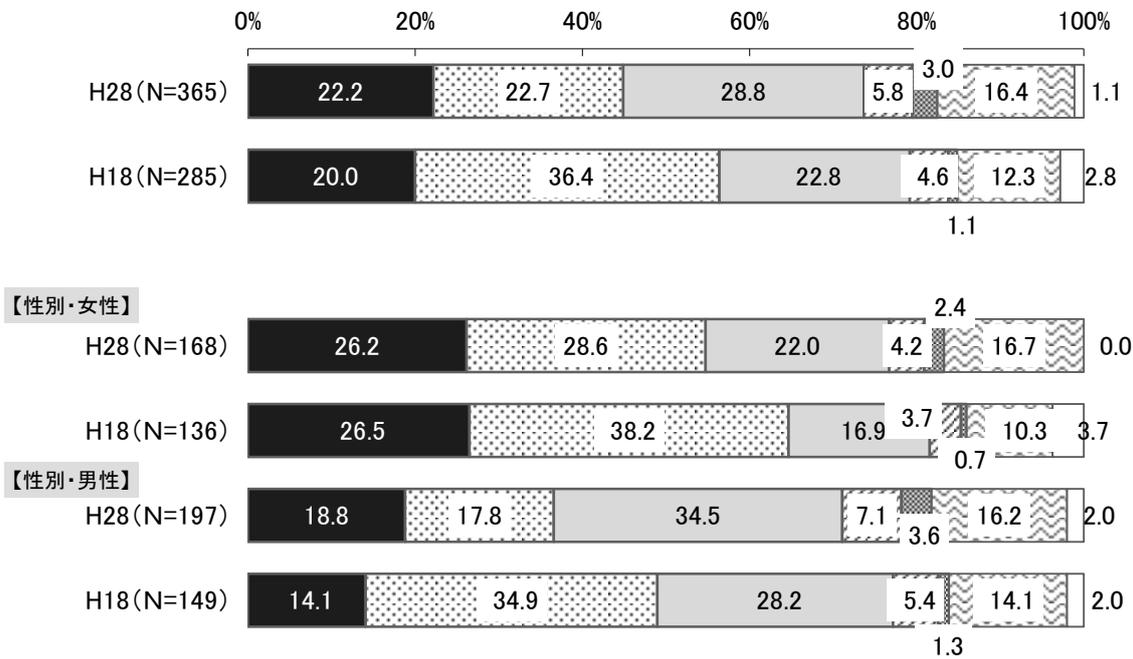
- 『男性優遇』…「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算
- 『女性優遇』…「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

家庭での男女の地位について、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く、「平等」『女性優遇』が高くなっています。



問 16 (2) あなたは、仕事で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

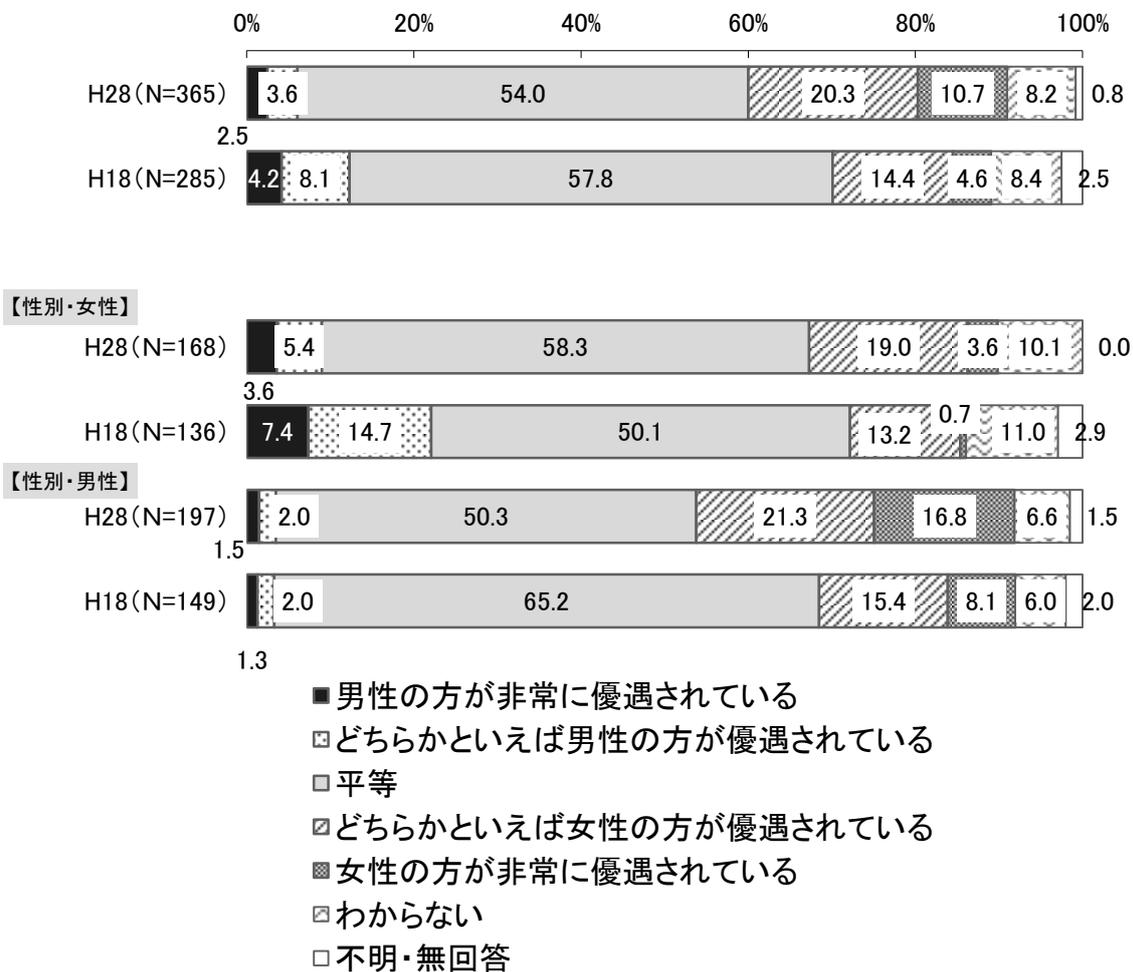
仕事での男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く、「平等』『女性優遇』が高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▣ わからない
- 不明・無回答

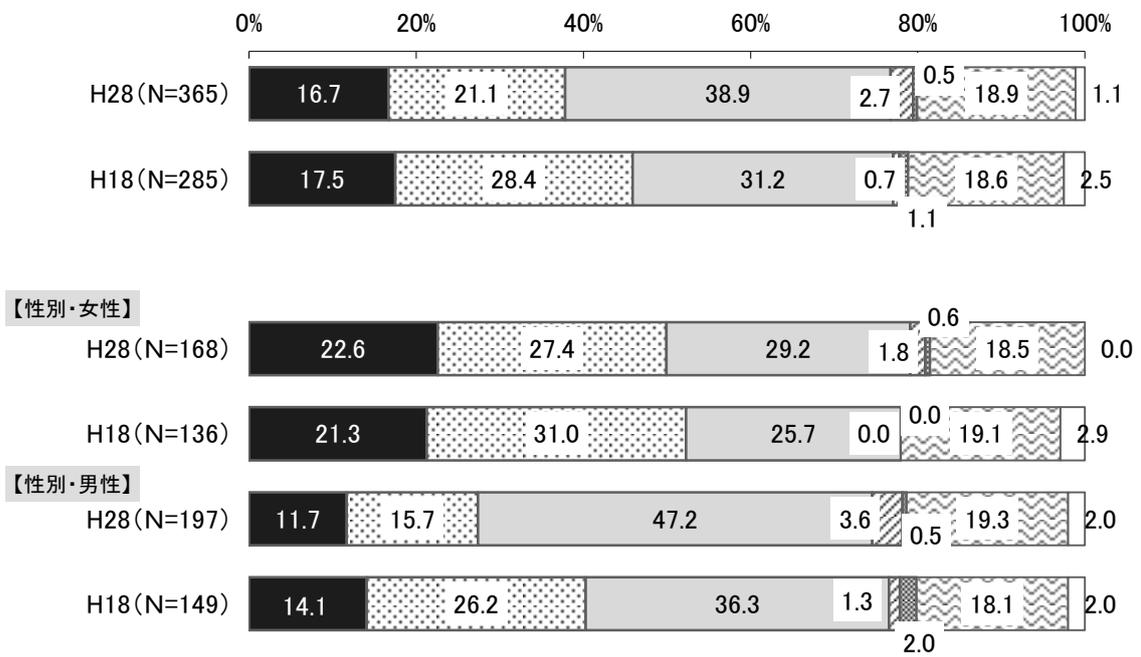
問 16 (3) あなたは、学校で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

学校での男女の地位については、女性では平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く、「平等」『女性優遇』が高くなっています。男性では「平等」が低く、『女性優遇』が高くなっています。



問 16 (4) あなたは、選挙や議会で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

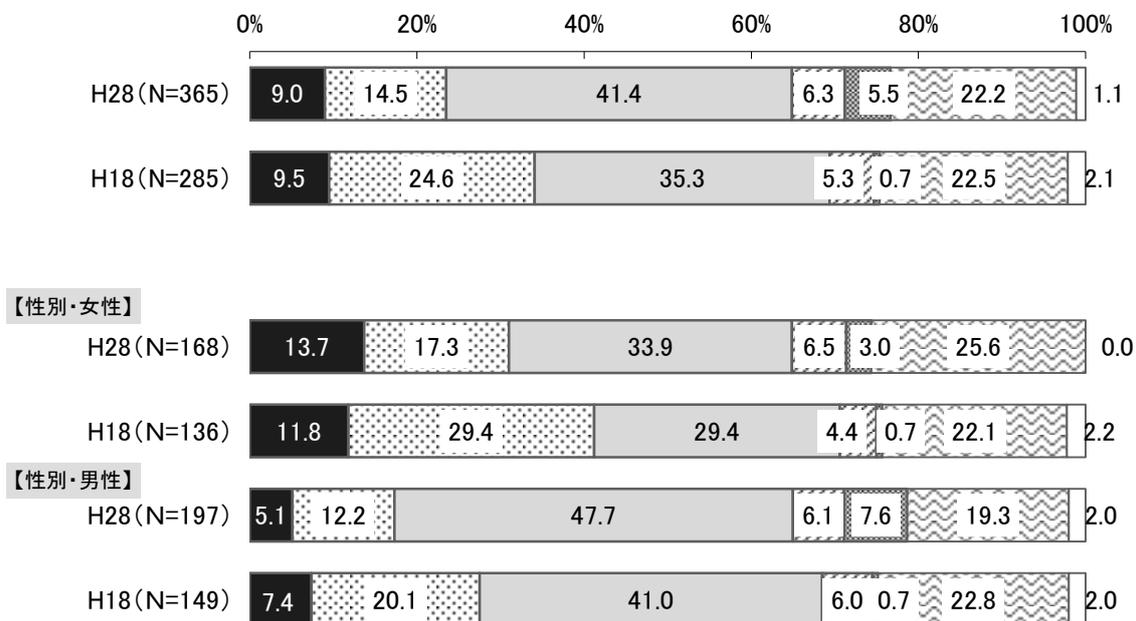
選挙や議会での男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く、「平等」が高くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▣ わからない
- 不明・無回答

問 16 (5) あなたは、社会の決まりで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(単数回答)

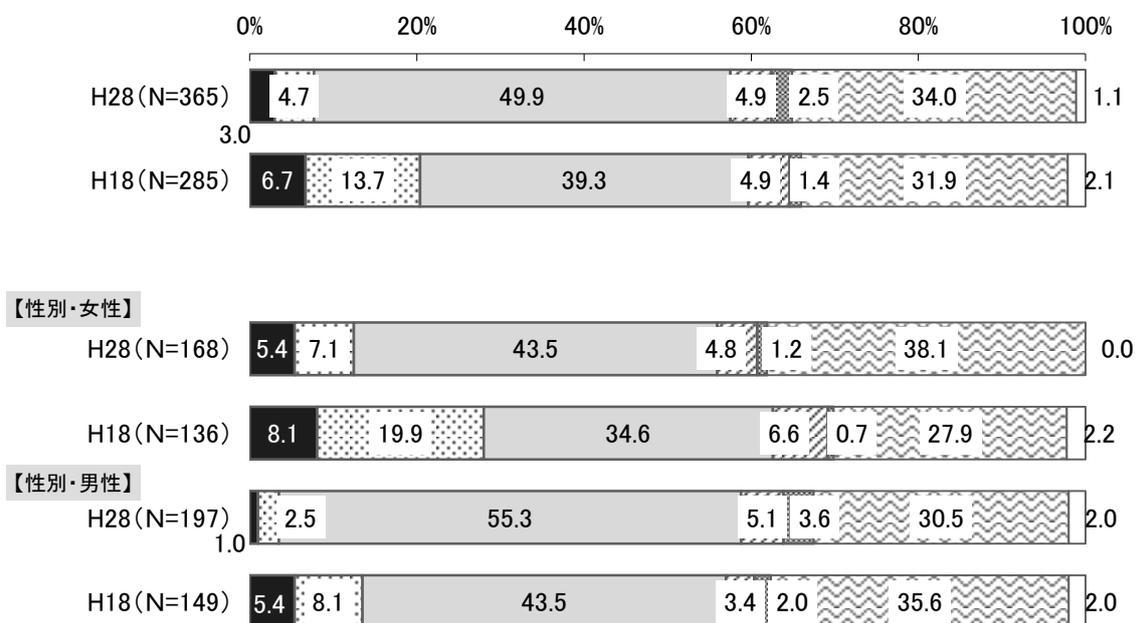
社会のきまりにおける男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く、「平等」『女性優遇』が高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- ▣ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- ▣ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▣ わからない
- 不明・無回答

問 16 (6) あなたは、地域のしきたりで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(単数回答)

地域のしきたりでの男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く、「平等」が高くなっています。



- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 不明・無回答

3 大学生調査結果

比較分析に使用した調査は次のとおりです。

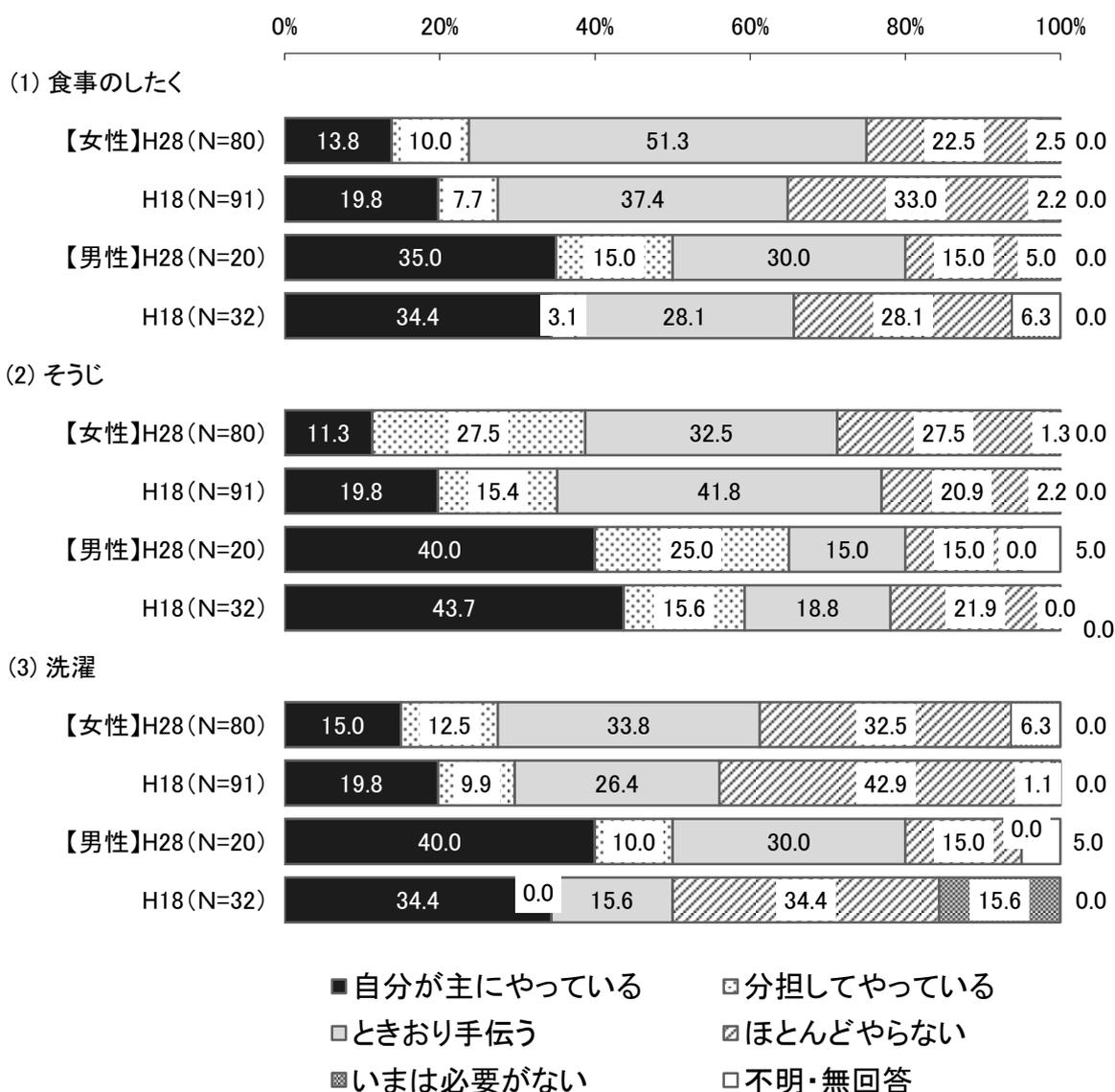
・北名古屋市 平成 18 年度実施「北名古屋市男女の人権尊重・社会参画大学生アンケート」

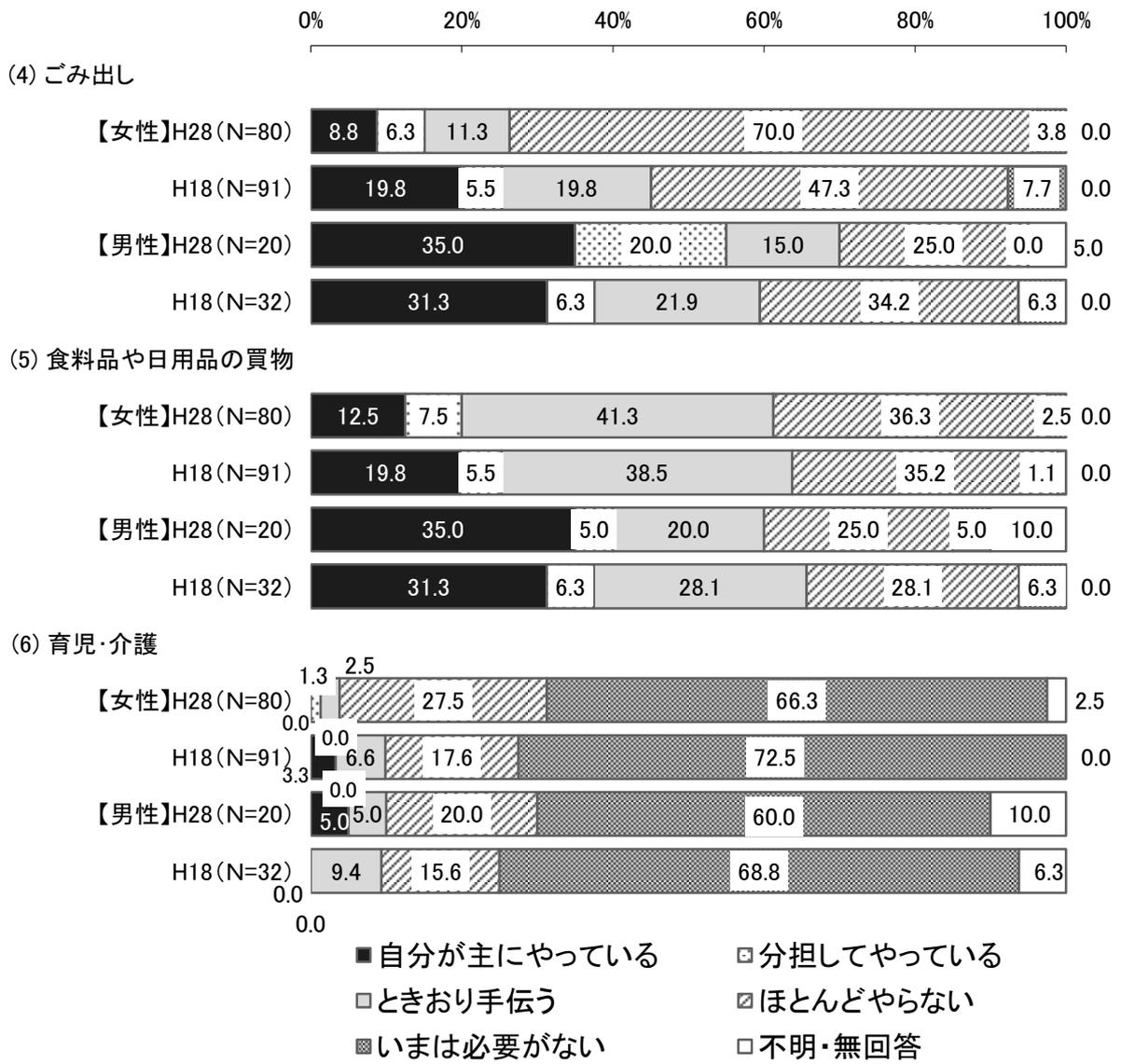
■調査の回収状況

対象調査	全体	女性	男性	無回答
北名古屋市男女の人権尊重・ 社会参画大学生アンケート	129	91	32	6

問1 あなたは、次のことがらをどの程度やっていますか。(単数回答)

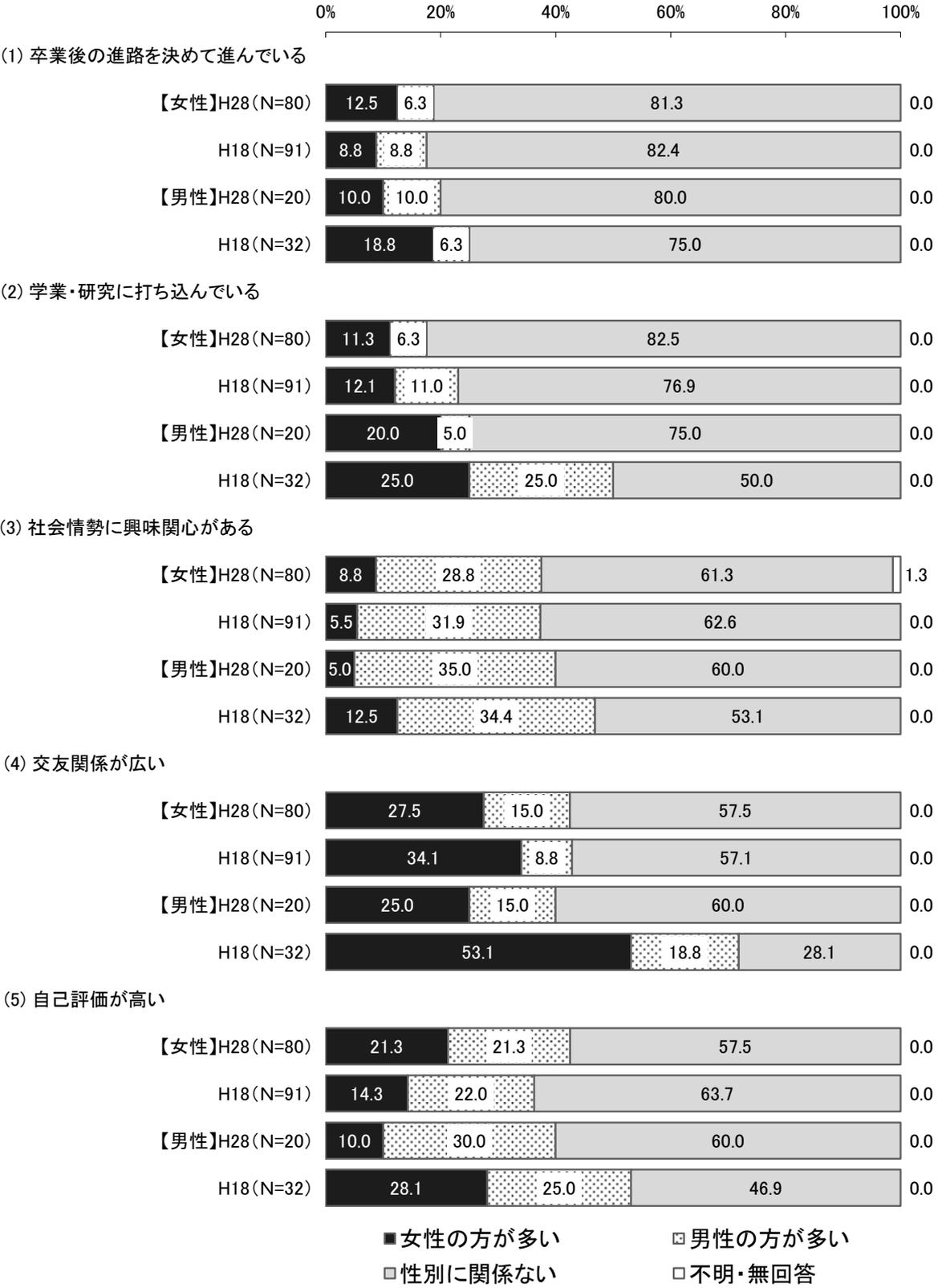
家事について、男性では平成 18 年度調査と比べて「(2)そうじ」以外の項目で「自分が主にやっている」が高くなっています。一方で、女性ではすべての項目で「自分が主にやっている」が低くなっています。

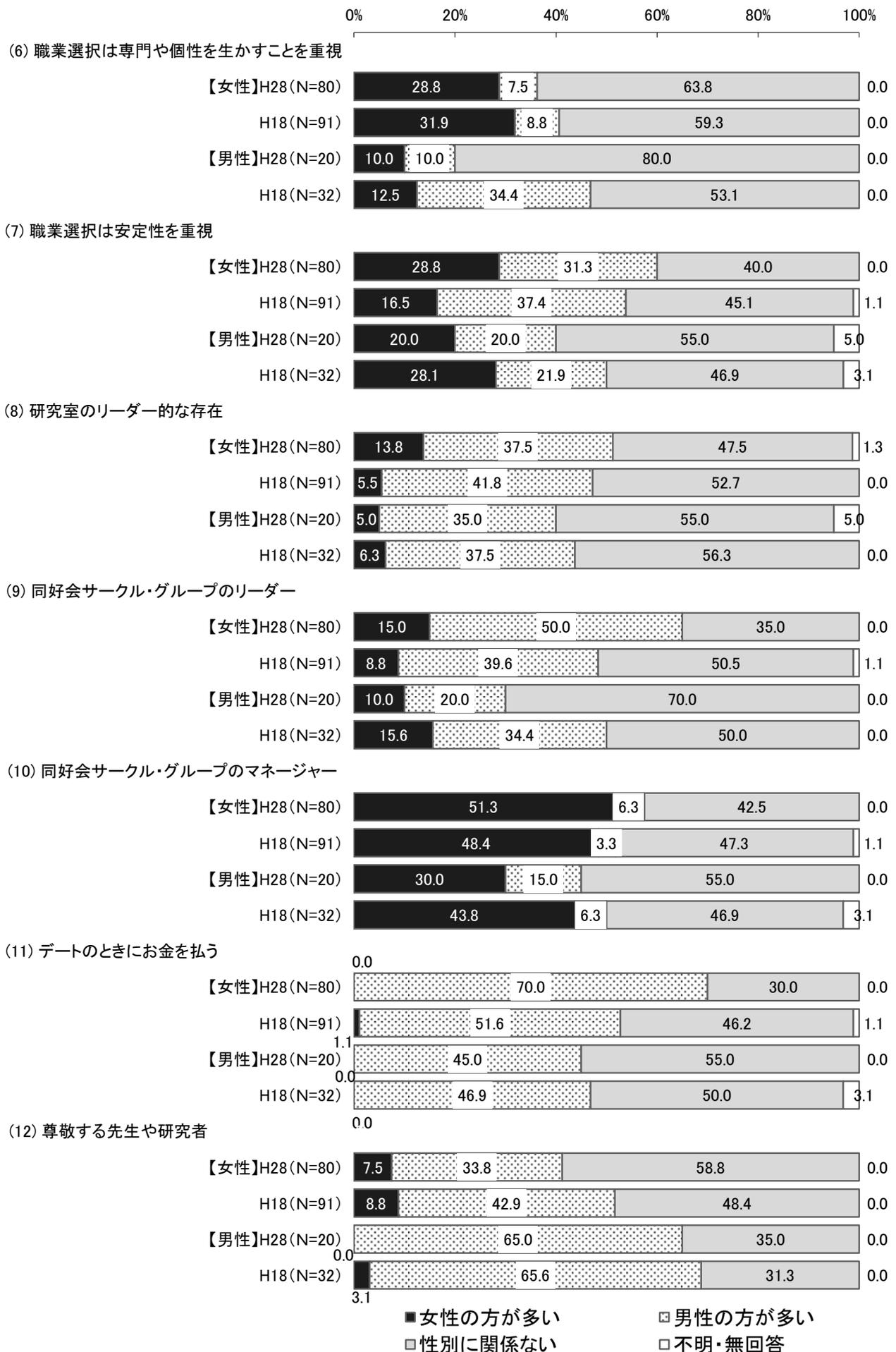




問2 あなたのまわりで、次のようなことは女性と男性のどちらに多いと思いますか。(単数回答)

男女ともに平成18年度調査と比較して、「(2) 学業・研究に打ち込んでいる」、「(4) 交友関係が広い」、「(6) 職業選択は専門や個性を生かすことを重視」、「(12) 尊敬する先生や研究者」では「性別に関係ない」が高くなっています。男性では「(8) 研究室のリーダー的な存在」以外の項目すべてにおいて「性別に関係ない」が高くなっています。





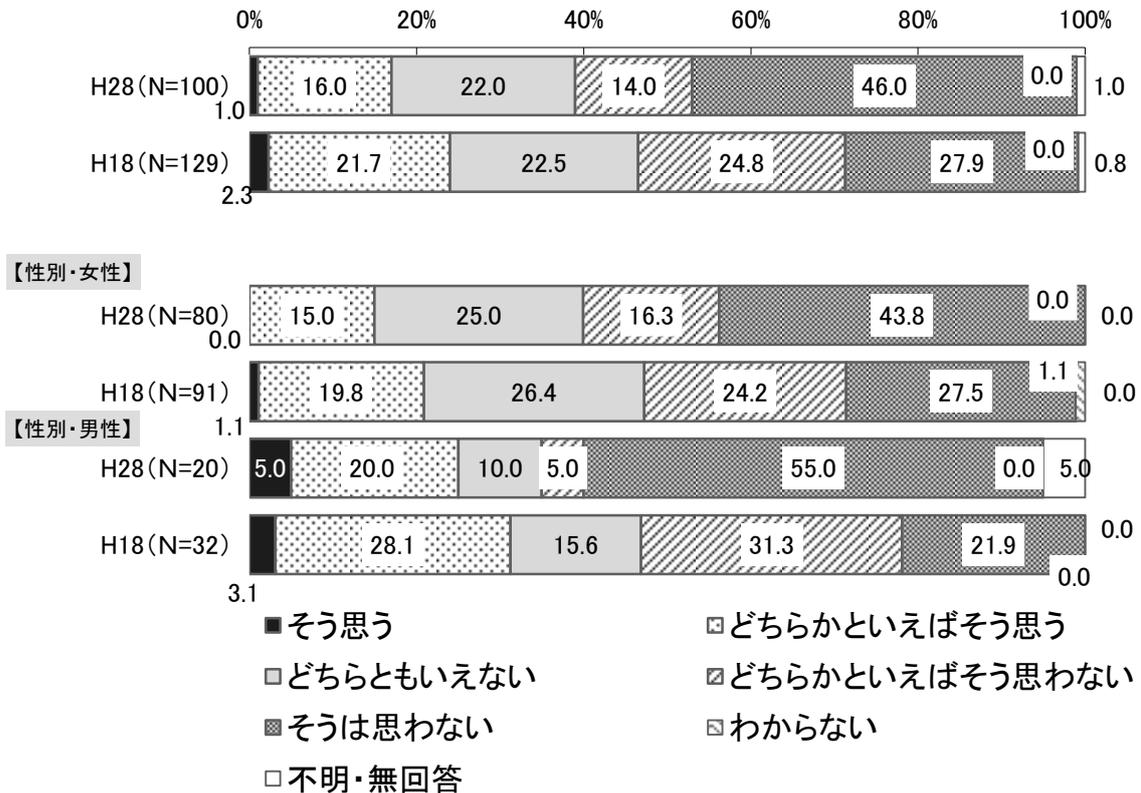
問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどう思いますか。(単数回答)

問3の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合算

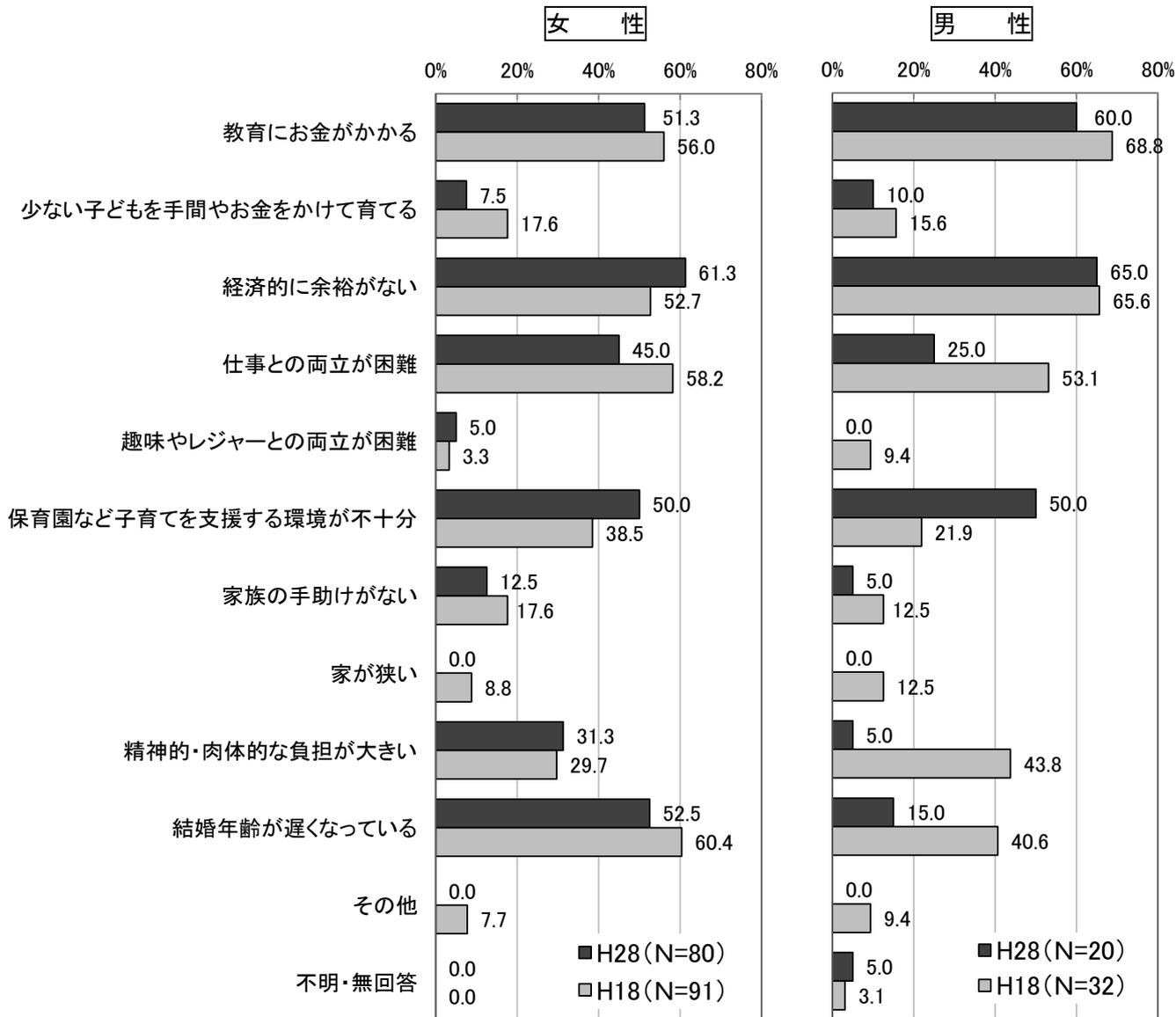
『反対』…「そうは思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合算

男女の役割分担の考え方について、全体、男女いずれも平成18年度調査に比べて『賛成』が低く、『反対』が高くなっています。



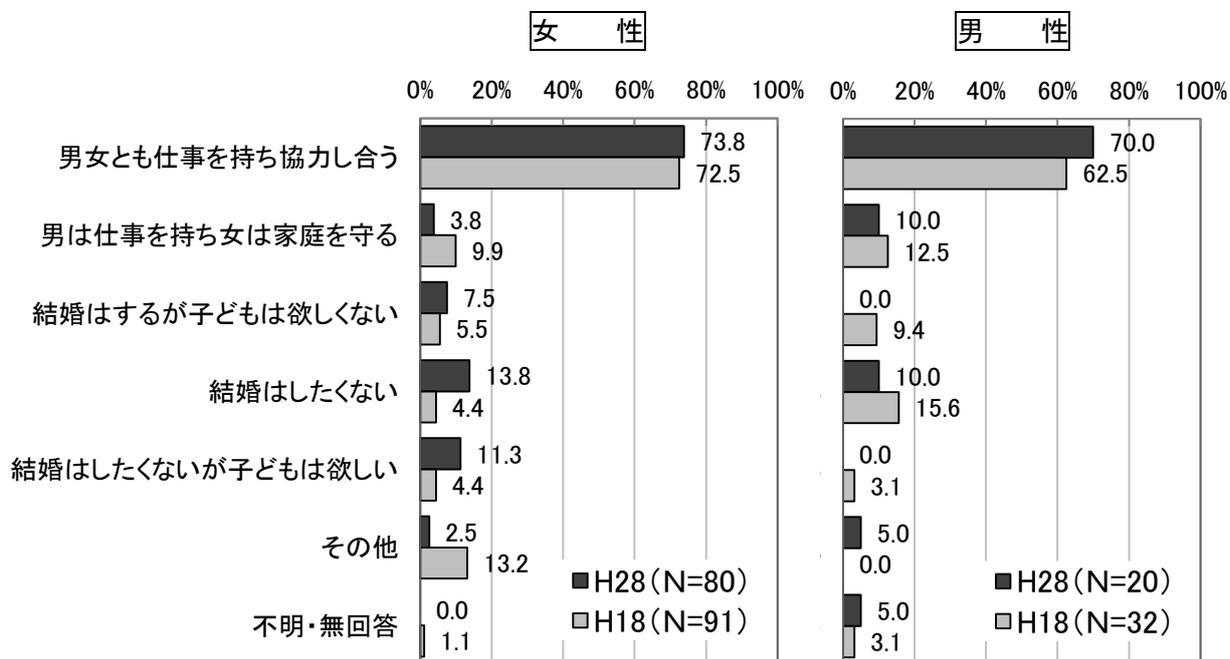
問5 あなたは、少子化の原因はどのようなことと思いますか。(複数回答)

少子化の原因については、女性では平成18年度調査に比べて「経済的に余裕がない」、「保育園など子育てを支援する環境が不十分」、「精神的・肉体的な負担が大きい」で割合が高くなっています。一方男性では、「保育園など子育てを支援する環境が不十分」のみ割合が高く、それ以外の原因は低くなっています。



問7 あなたは、結婚生活についてどんな考えをもっていますか。(複数回答)

結婚生活については、女性では平成18年度調査に比べて「結婚はしたくない」、「結婚はしたくないが子どもは欲しい」が高くなっています。また、男女ともに「男女とも仕事を持ち協力し合う」が高くなっています。

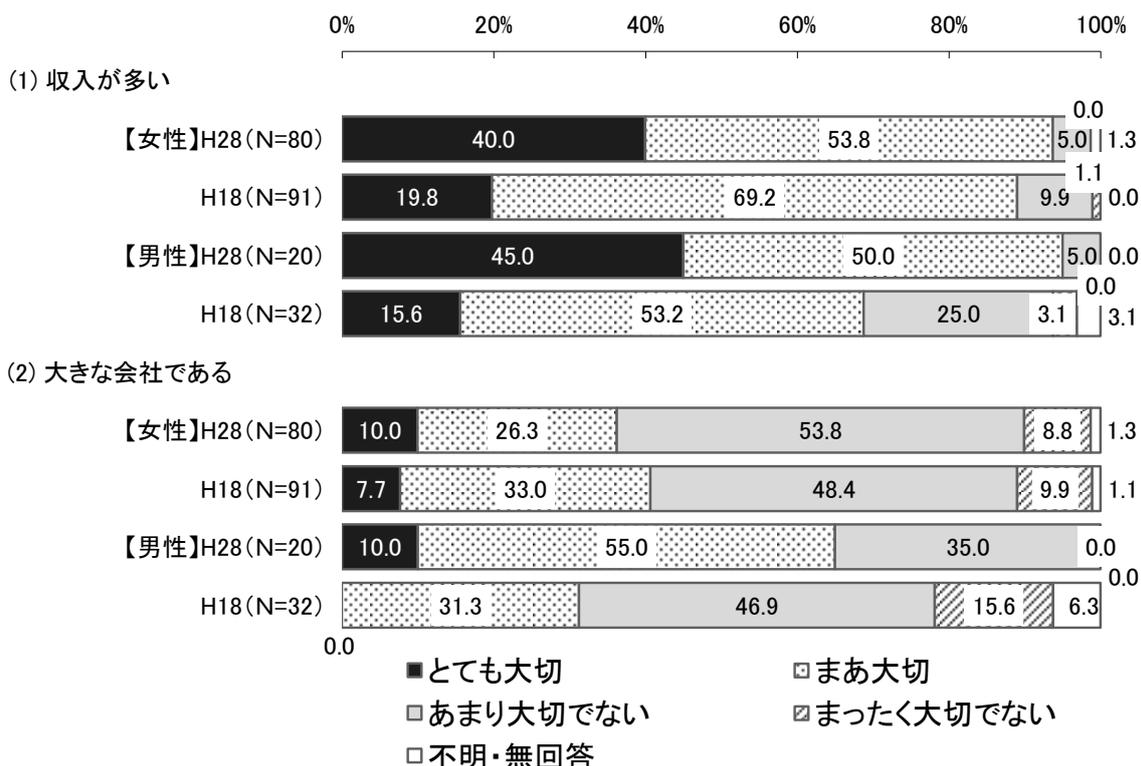


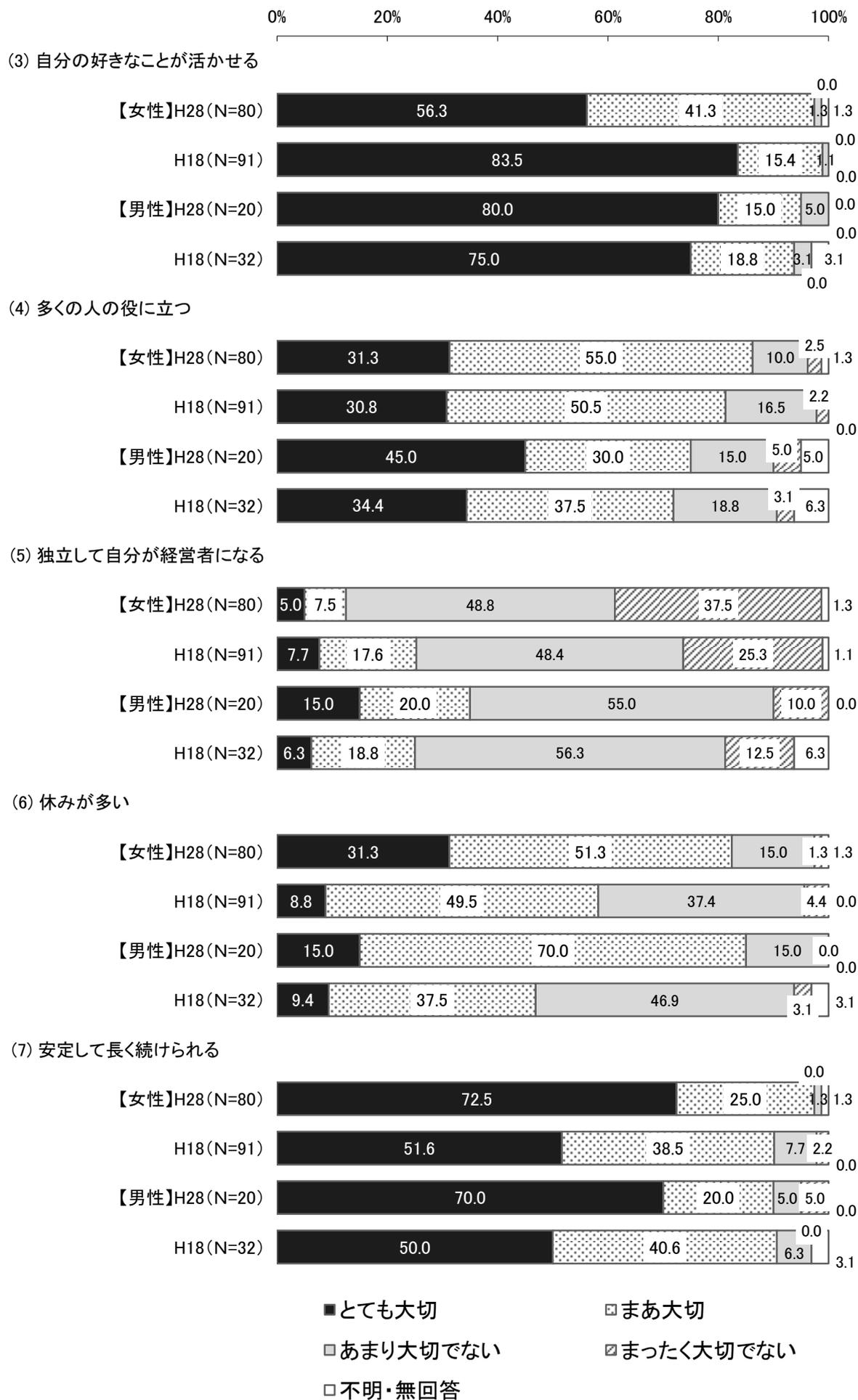
問10 職業を選ぶとしたら、あなたは次のようなことをどれくらい大切に考えますか。(単数回答)

問10の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『大切』…「とても大切」と「まあ大切」を合算

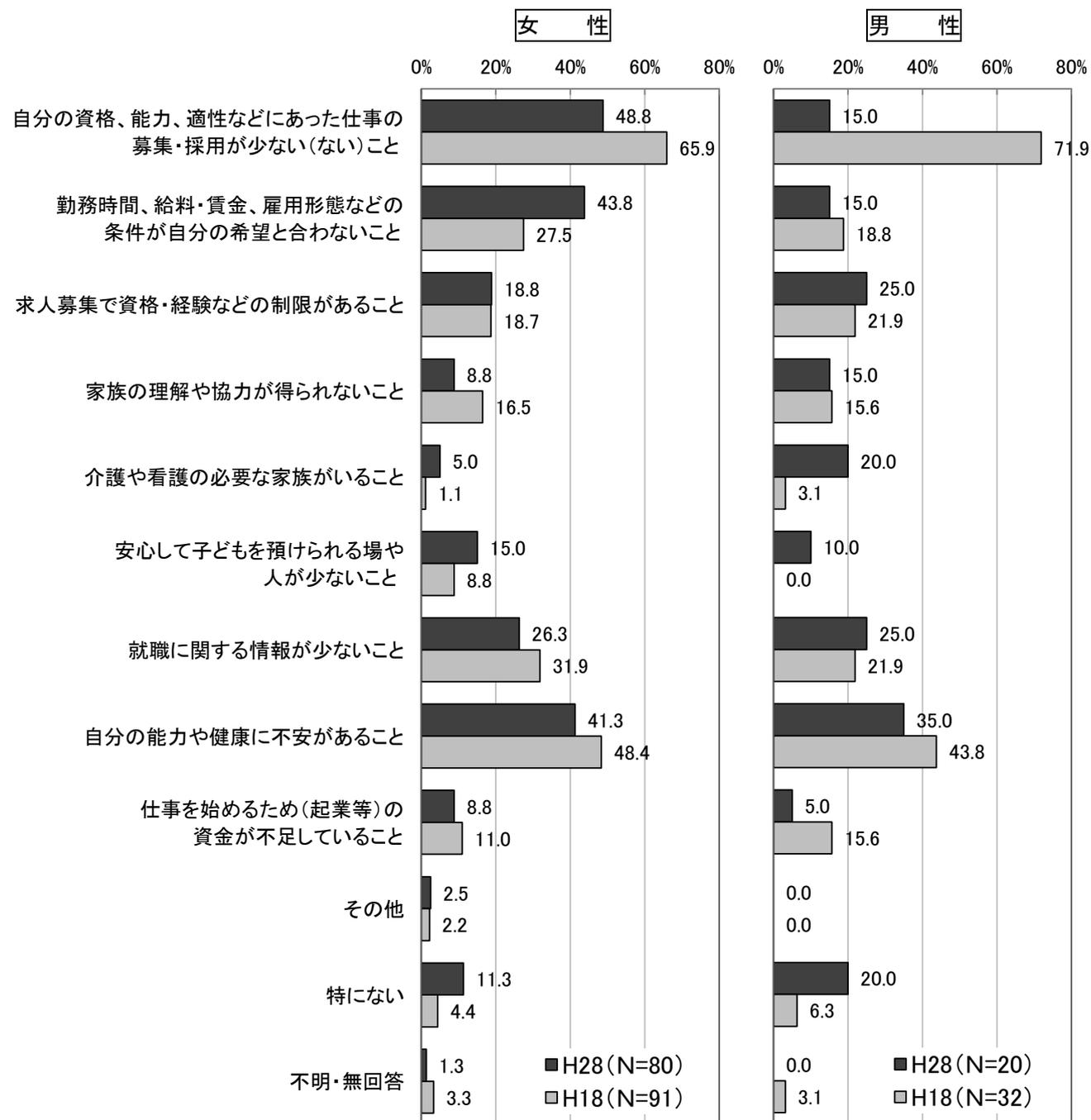
職業を選択する上で『大切』と考えることについて、男女ともに平成18年度調査と比べて「(1) 収入が多い」、「(4) 多くの人の役に立つ」、「(6) 休みが多い」が高くなっています。





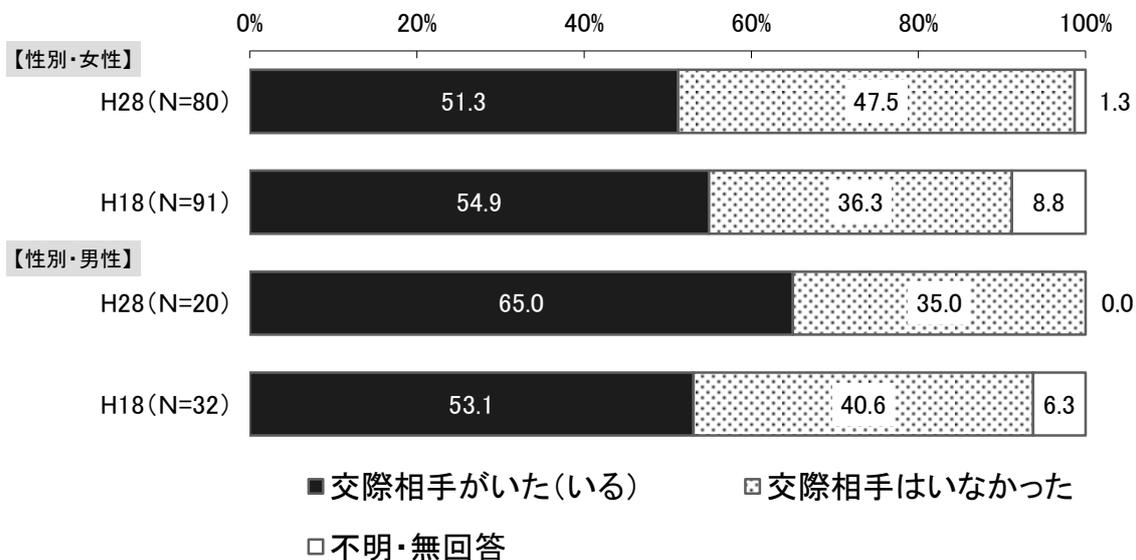
問11 あなたは、希望する職業や働き方をする上で、何か不安がありますか。(複数回答)

適性などにあった仕事の募集・採用が少ない(ない)こと」、「自分の能力や健康に不安があること」が低くなっています。女性では「勤務時間、給料・賃金、雇用形態などの条件が自分の希望と合わないこと」、「安心して子どもを預けられる場や人が少ないこと」が高くなっています。男性では「介護や看護の必要な家族がいること」、「安心して子どもを預けられる場や人が少ないこと」が高くなっています。



問 12 あなたには、10代からこれまでに交際相手（配偶者含む）がいましたか。（単数回答）

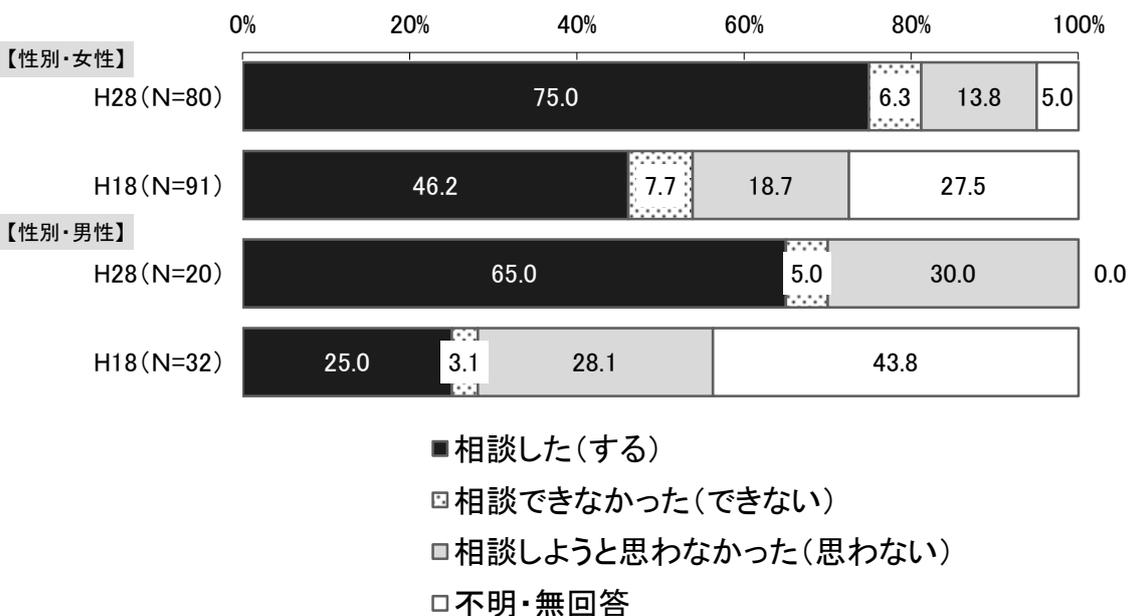
交際相手の存在については、女性では平成 18 年度調査に比べて「交際相手はいなかった」が高くなっています。男性では「交際相手がいた（いる）」が高くなっています。



問 14 あなたは、交際相手から暴力を受けたとき、誰かに打ち明けたり、相談しましたか。（単数回答）

※DVを受けたことがない人は、を受けた場合を想定して回答

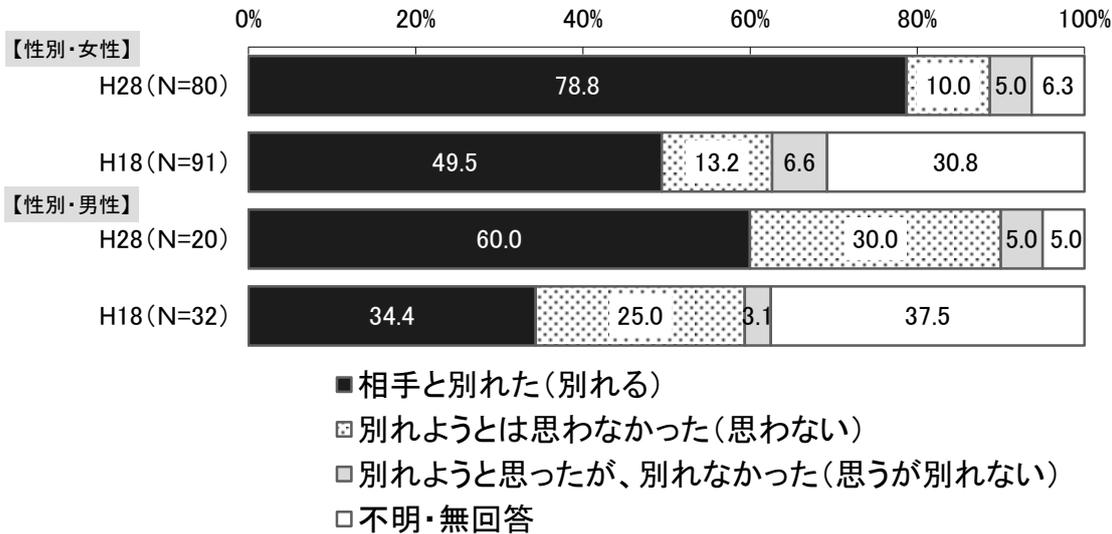
暴力を受けた時の相談状況について、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「相談した（する）」が高くなっています。



問 14-2 あなたは、交際相手から暴力を受けたとき、どうしましたか。(単数回答)

※DVを受けたことがない人は、受けた場合を想定して回答

暴力を受けたときの対応については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「相手と別れた (別れる)」が高くなっています。男性では「別れようと思わなかった (思わない)」も高くなっています。

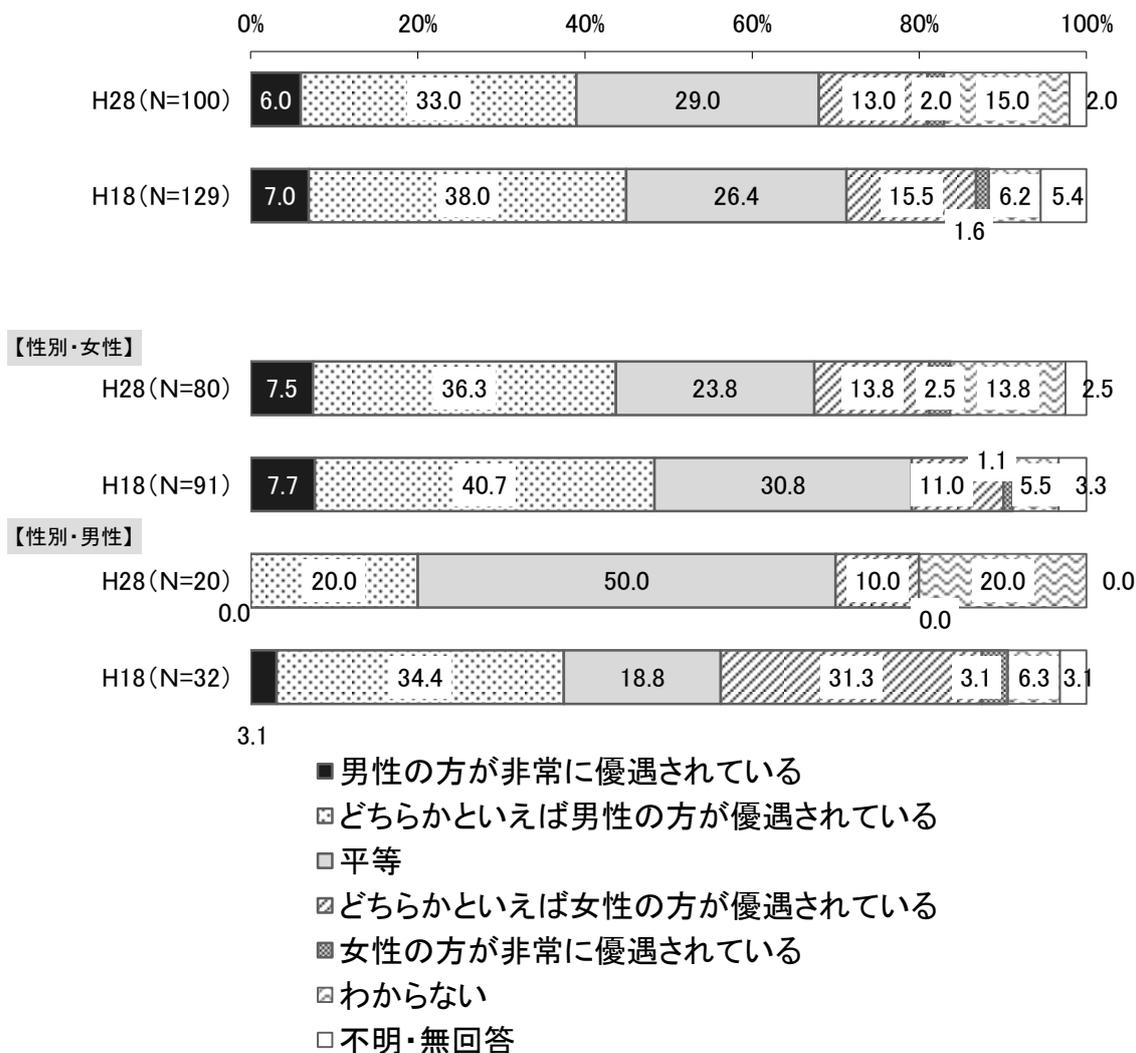


問 15 (1) あなたは、家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

問 15 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

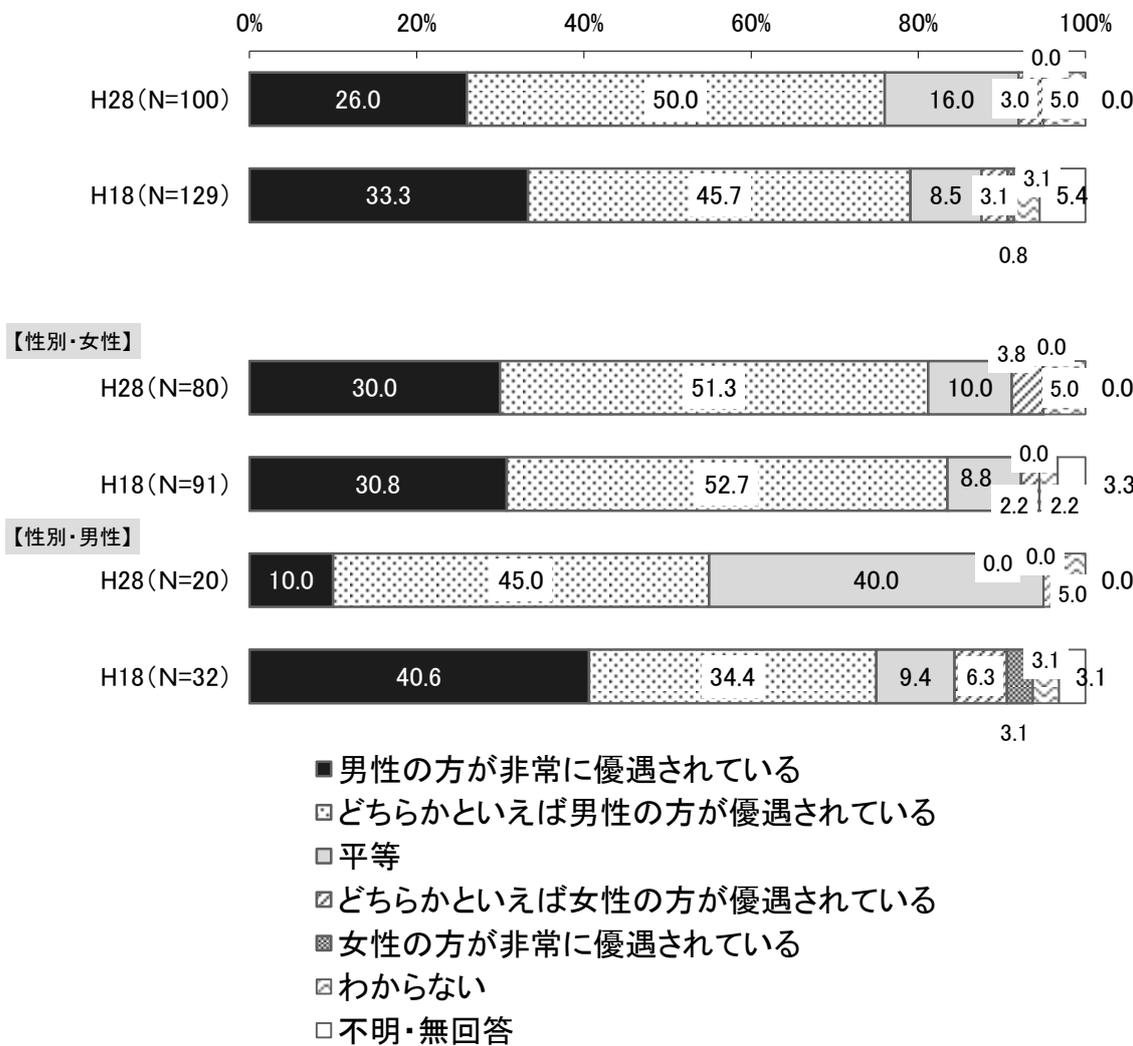
『男性優遇』…「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算
 『女性優遇』…「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

家庭生活における男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低くなっています。また、女性では「平等」が低く、男性では『女性優遇』が低く「平等」が高くなっています。



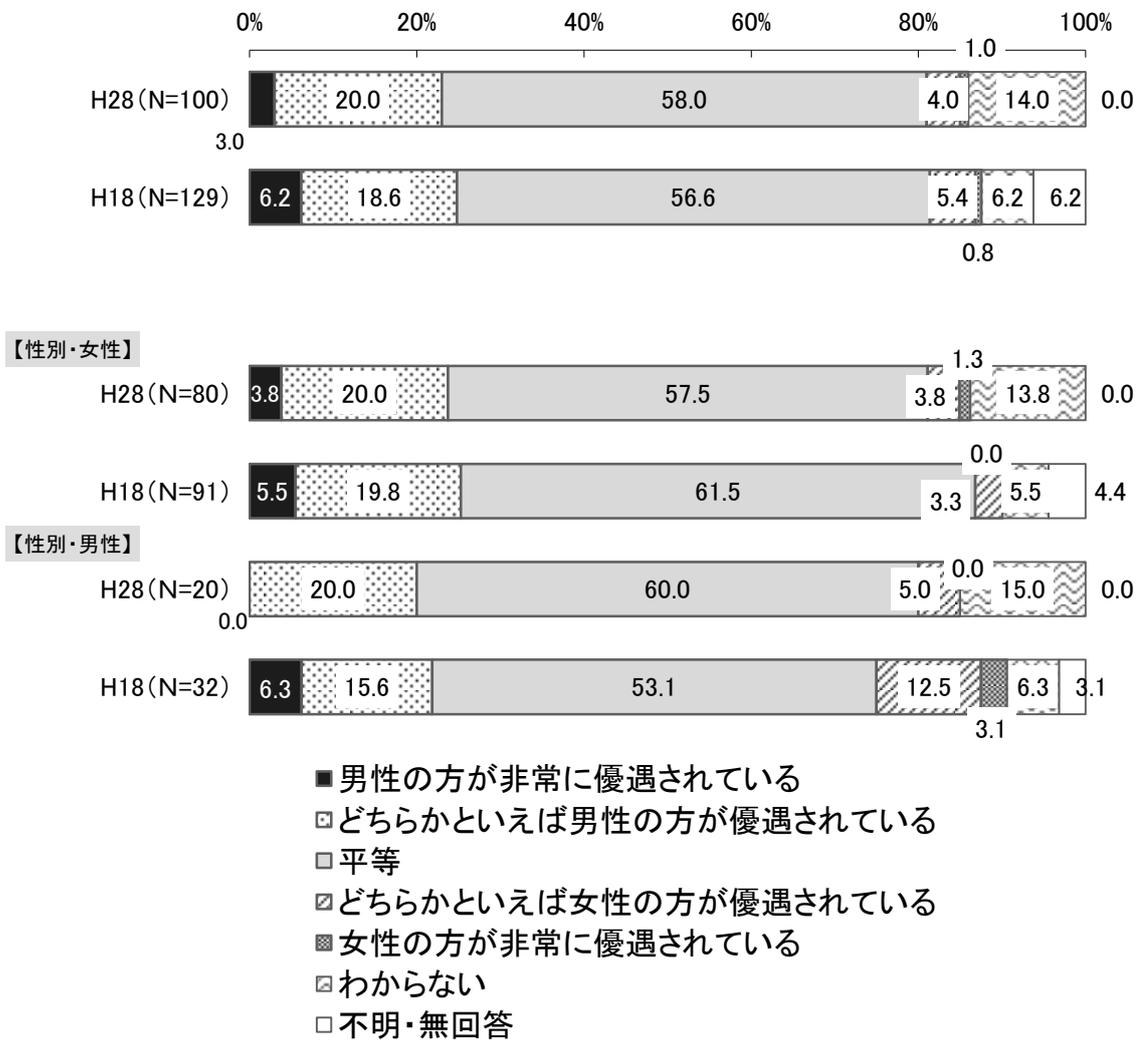
問 15 (2) あなたは、職場（労働上で）で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (単数回答)

職場（労働上）における男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』、『女性優遇』が低く、「平等」が高くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



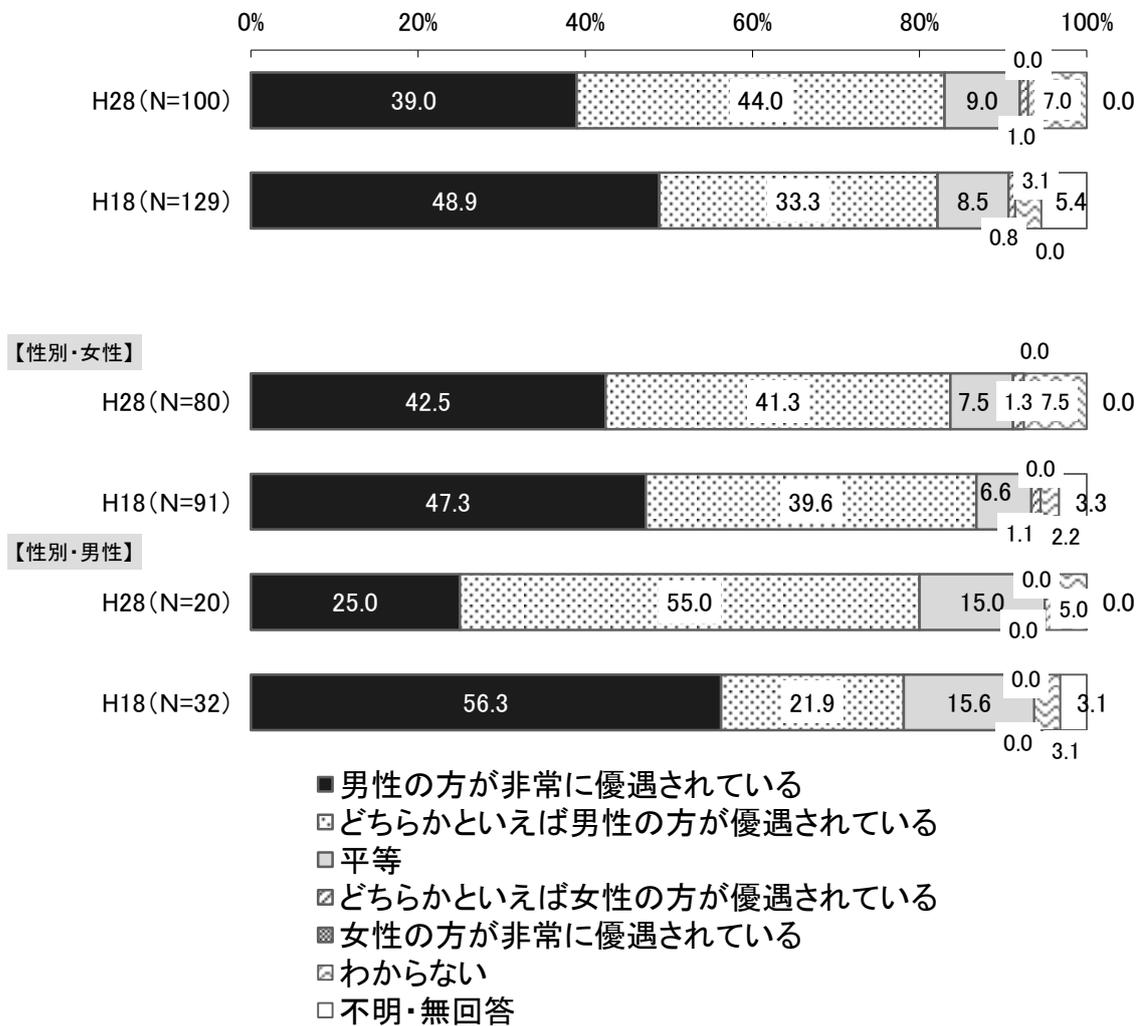
問 15 (3) あなたは、学校教育の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

学校教育の場における男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて『女性優遇』が低くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



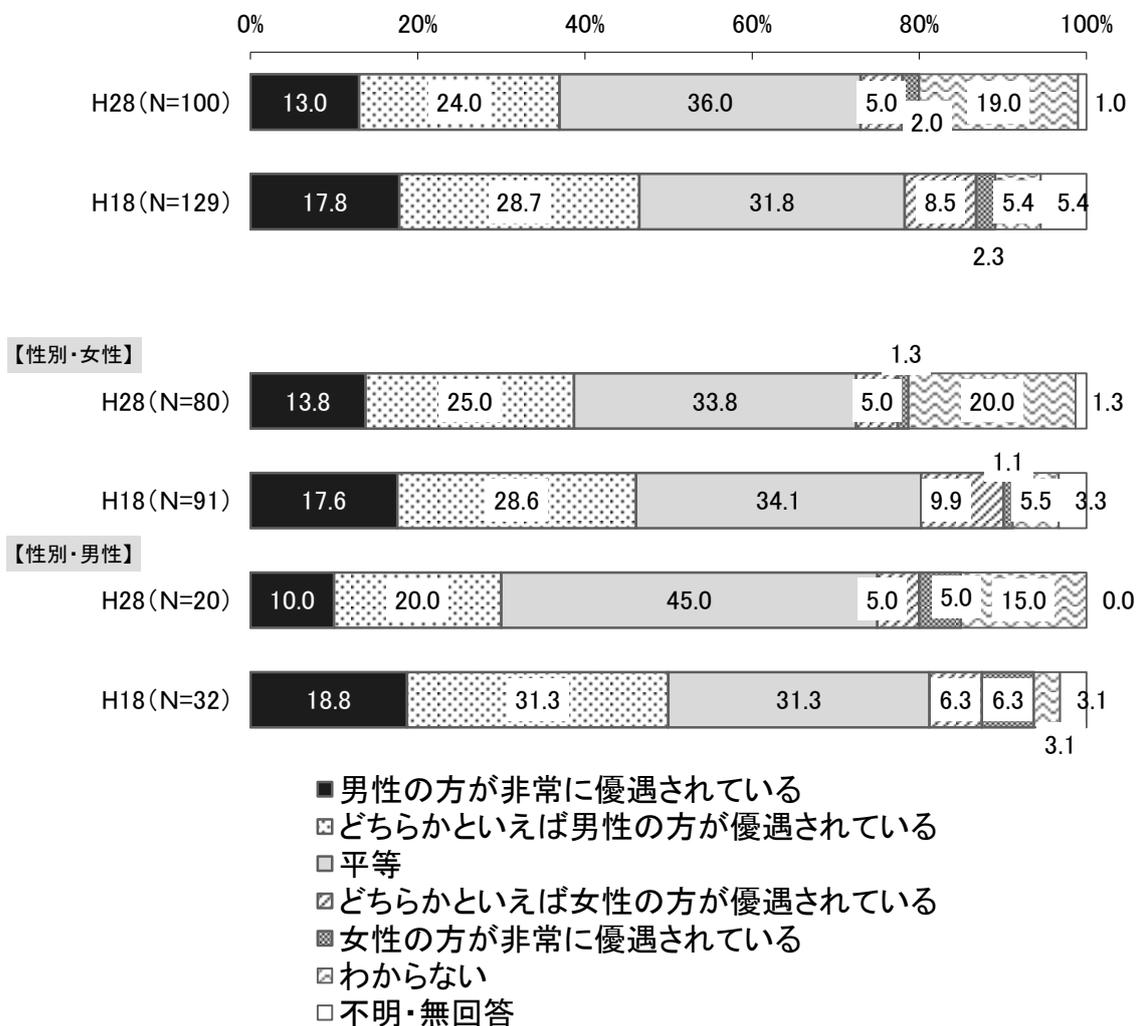
問 15 (4) あなたは、政治の場で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

政治の場における男女の地位については、男女ともに大きな変化は見られませんでした。



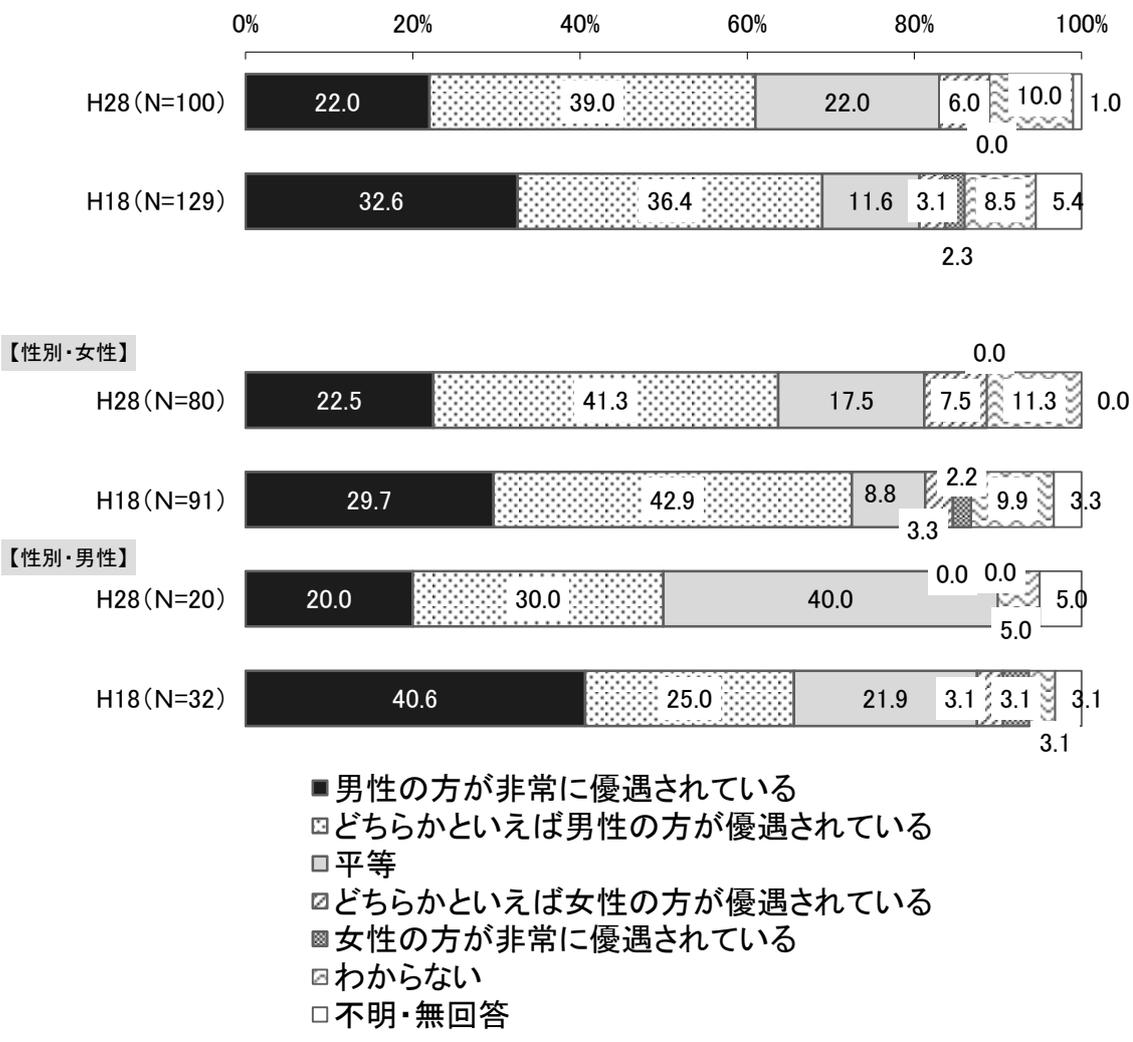
問 15 (5) あなたは、法律や制度の上で男女の地位は平等になっていますか。(単数回答)

法律や制度の上における男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低くなっています。また、男性では「平等」が高くなっています。



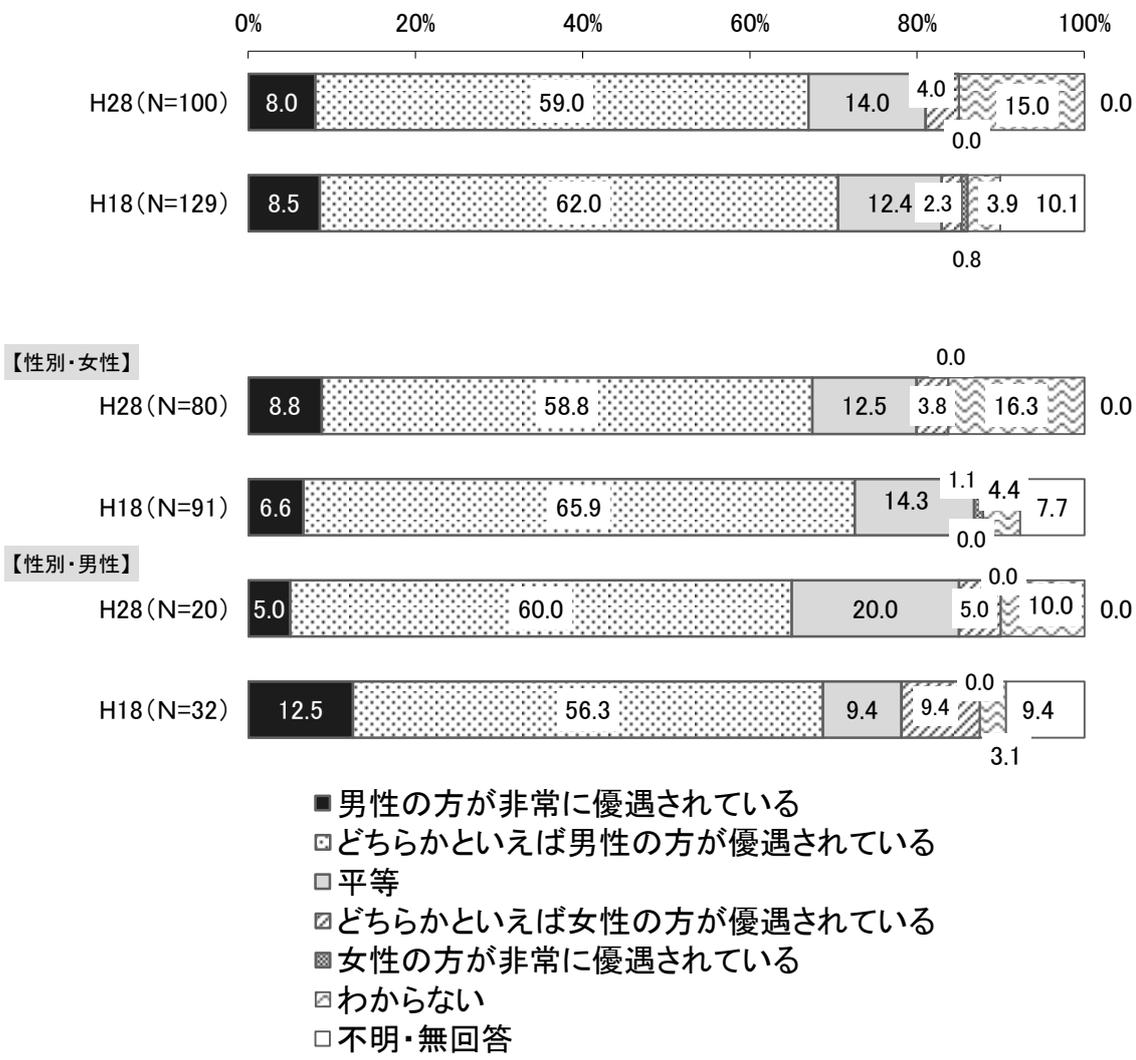
問 15 (6) あなたは、社会通念・慣習・しきたりで男女の地位は平等になっていると思いますか。
(単数回答)

社会通念・慣習・しきたりにおける男女の地位については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『男性優遇』が低く「平等」が高くなっています。



問 15 (7) あなたは、社会全般で男女の地位は平等になっていると思いますか。(単数回答)

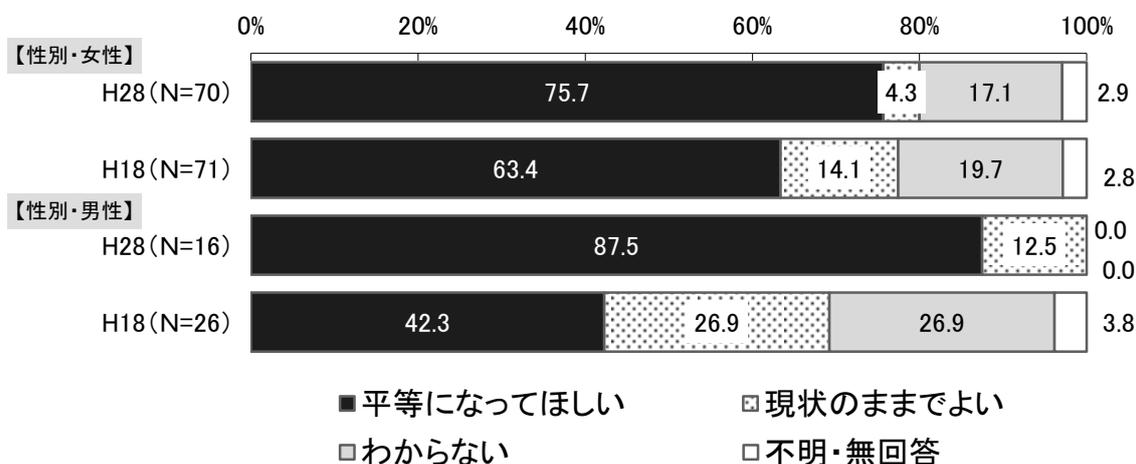
社会全般における男女の地位については、男性では平成 18 年度調査に比べて「平等」が高くなっています。女性では大きな変化は見られませんでした。



【問 15（7）の社会全般で「平等」以外を回答した方のみ】

問 15-1 あなたは、社会全般で男女の地位が平等になることについてどのように思いますか
（単数回答）

男女の地位平等については、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「平等になって欲しい」が高く「現状のままでよい」が低くなっています。

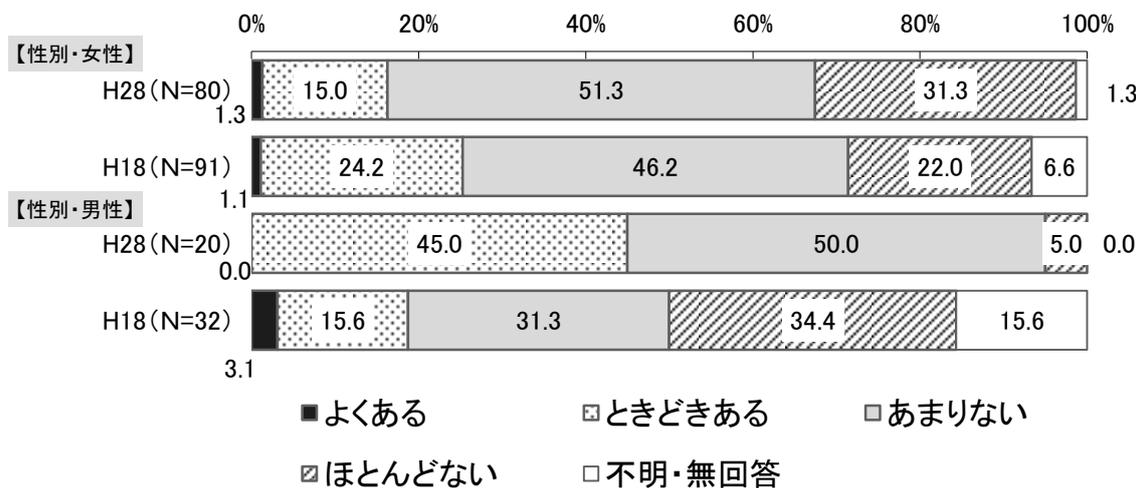


問 16 男女共同参画社会についての情報を得る機会がありますか。（単数回答）

問 16 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

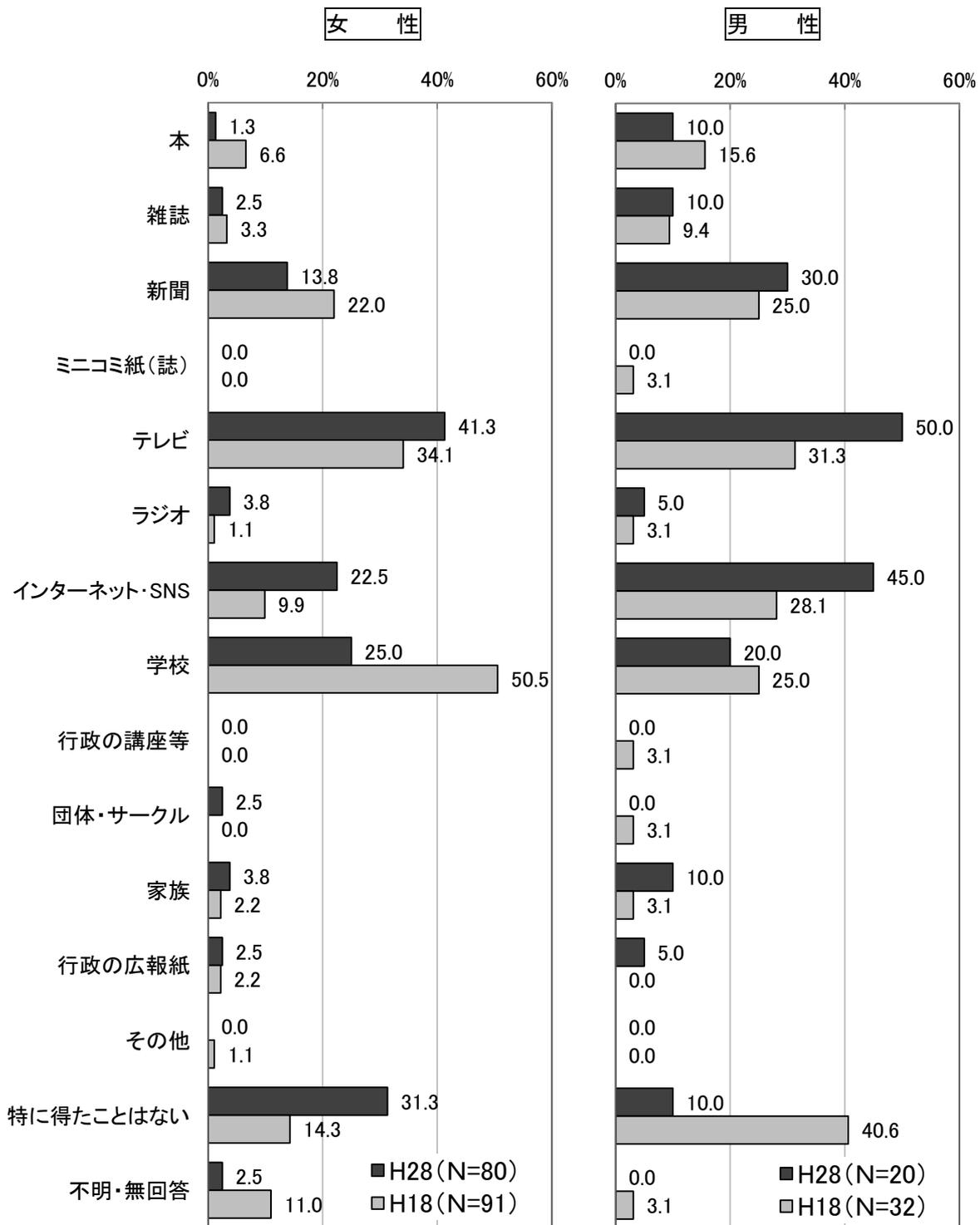
『ある』…「よくある」と「ときどきある」を合算

男女共同参画社会に関する情報入手の機会については、女性では平成 18 年度調査に比べて『ある』が低くなっています。男性では『ある』が高くなっています。



問17 男女共同参画社会についての情報は何かから得ていますか。(複数回答)

情報源については、女性では平成18年度調査に比べて「テレビ」、「インターネット・SNS」で高くなっています。男性では平成18年度調査に比べて「新聞」、「テレビ」、「インターネット・SNS」、「家族」、「行政の広報紙」で高くなっています。一方で男女ともに「本」、「学校」では低くなっています。

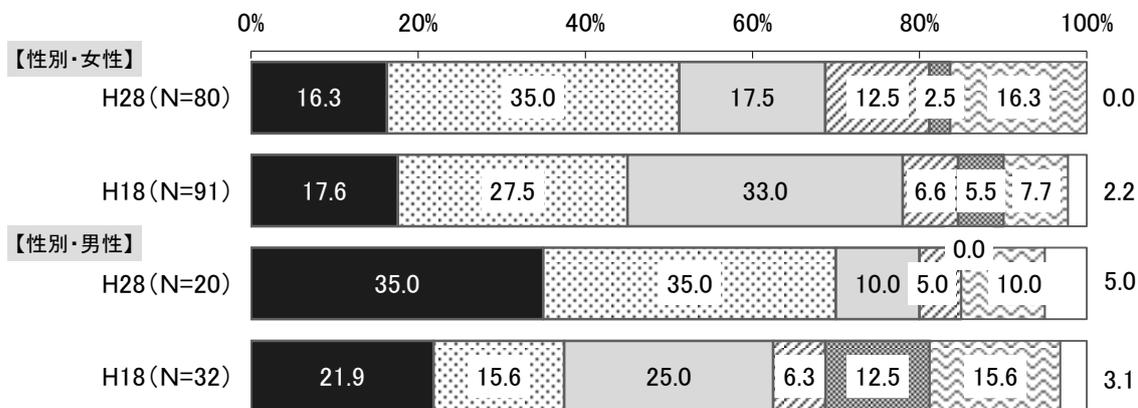


問 18 あなたは、男女共同参画社会の実現についてどのように思いますか。(単数回答)

問 18 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『期待している』…「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合算

男女共同参画社会の実現について、男女ともに平成 18 年度調査に比べて『期待している』が高くなっています。

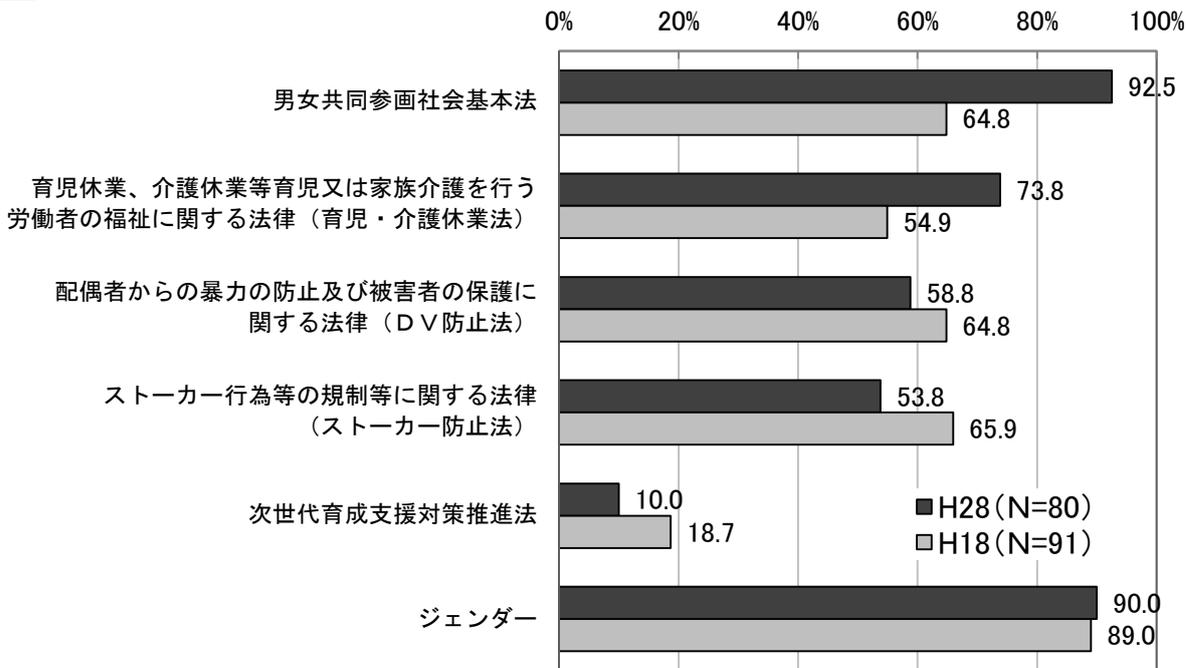


- 期待している
- ▣ どちらかといえば期待している
- どちらともいえない
- ▤ どちらかといえば期待していない
- ▥ 期待しない
- ▦ わからない
- 不明・無回答

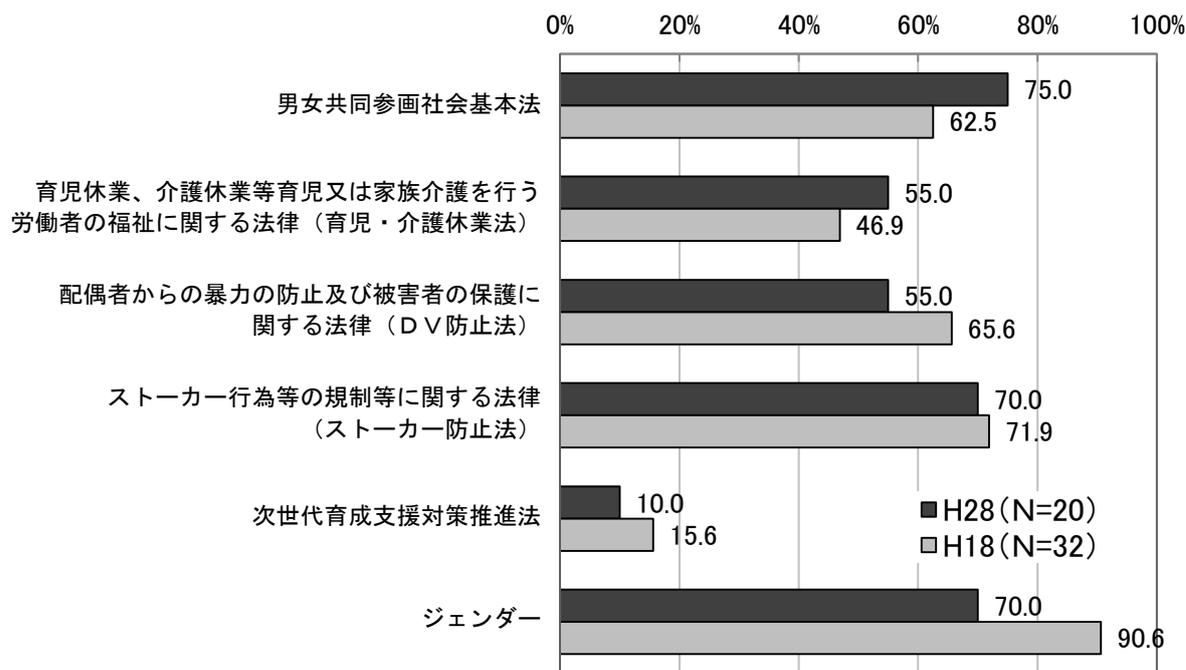
問 19 あなたが見たり聞いたりしたことがある言葉はどれですか。(複数回答)

男女共同参画に関する言葉の認知度について、男女ともに平成 18 年度調査に比べて「男女共同参画社会基本法」、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）」が高く、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」、「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー防止法）」、「次世代育成支援対策推進法」で低くなっています。

女 性

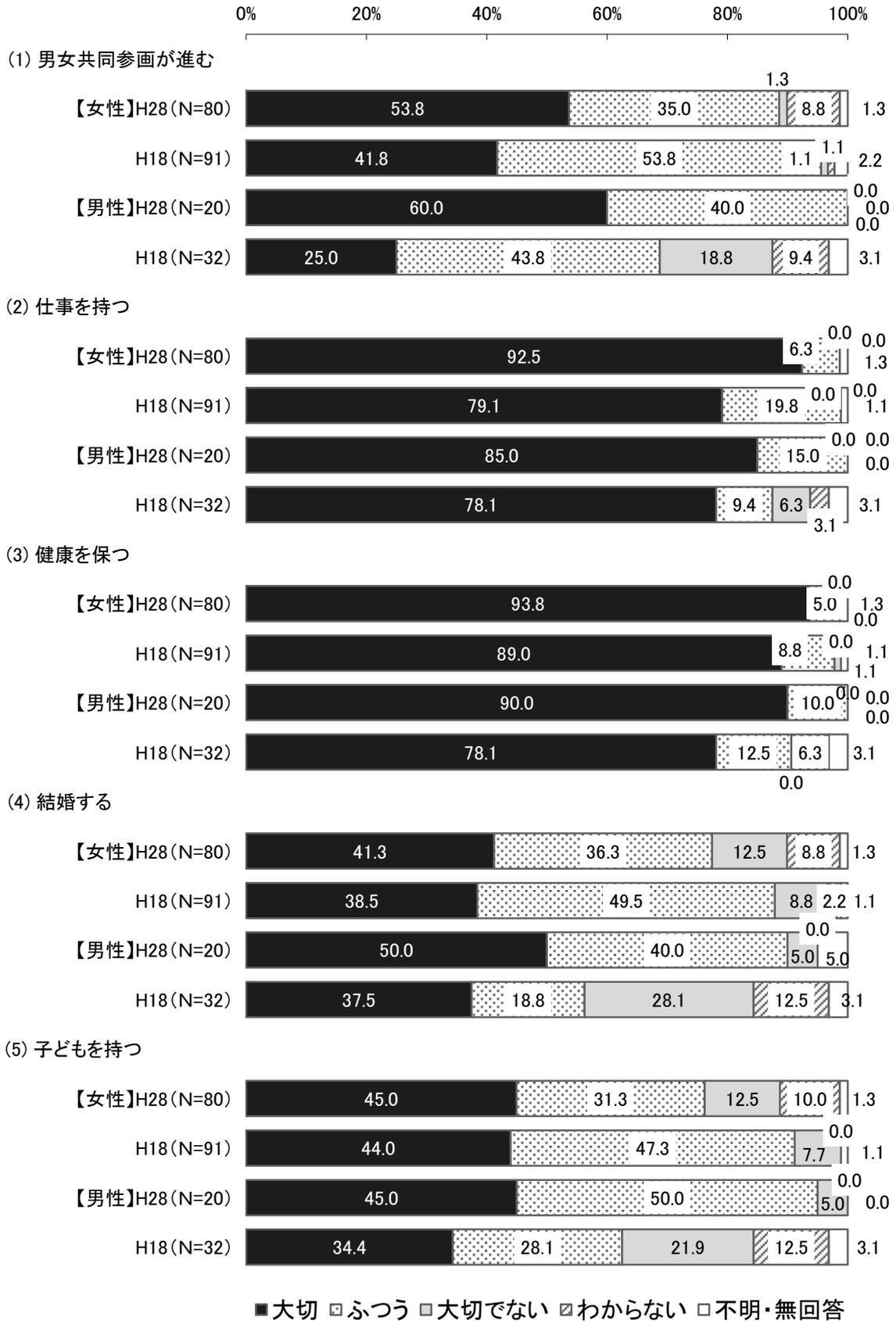


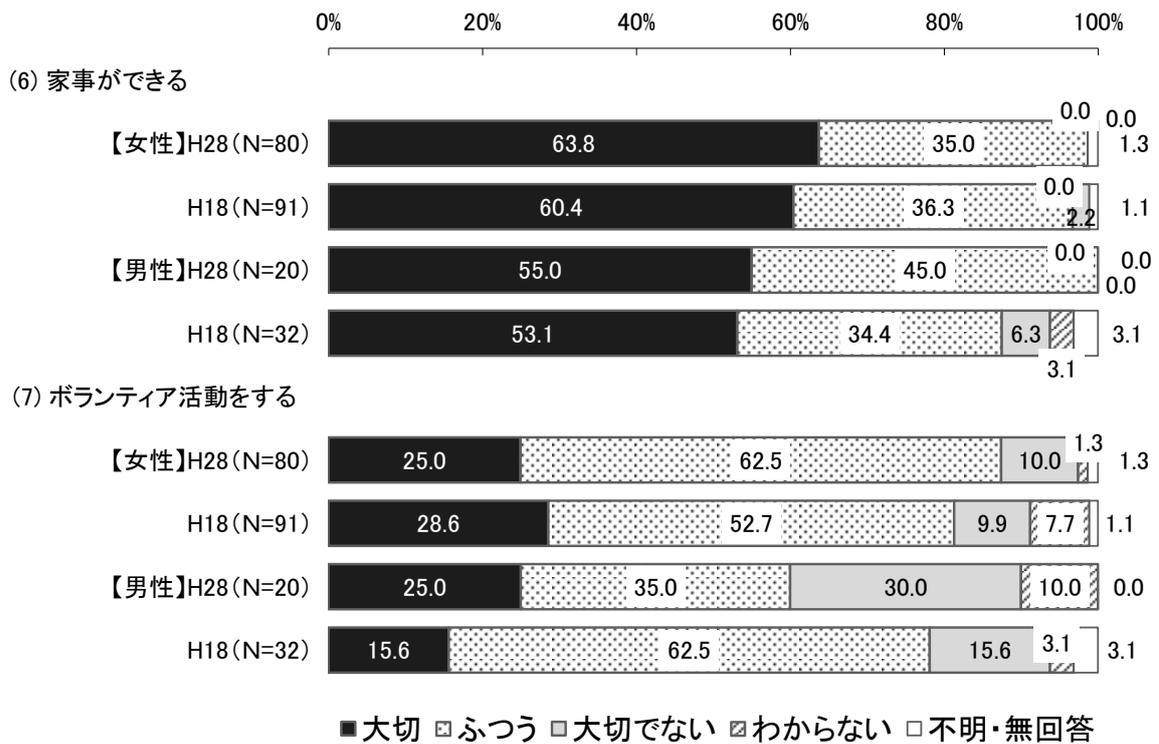
男 性



問 20 将来、あなたが希望する生活をするために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。(単数回答)

希望する生活をするために「大切」と考えることについては、平成 18 年度調査と比べて男女ともに「(7) ボランティア活動をする」以外の項目ですべて「大切」の割合が高くなっています。



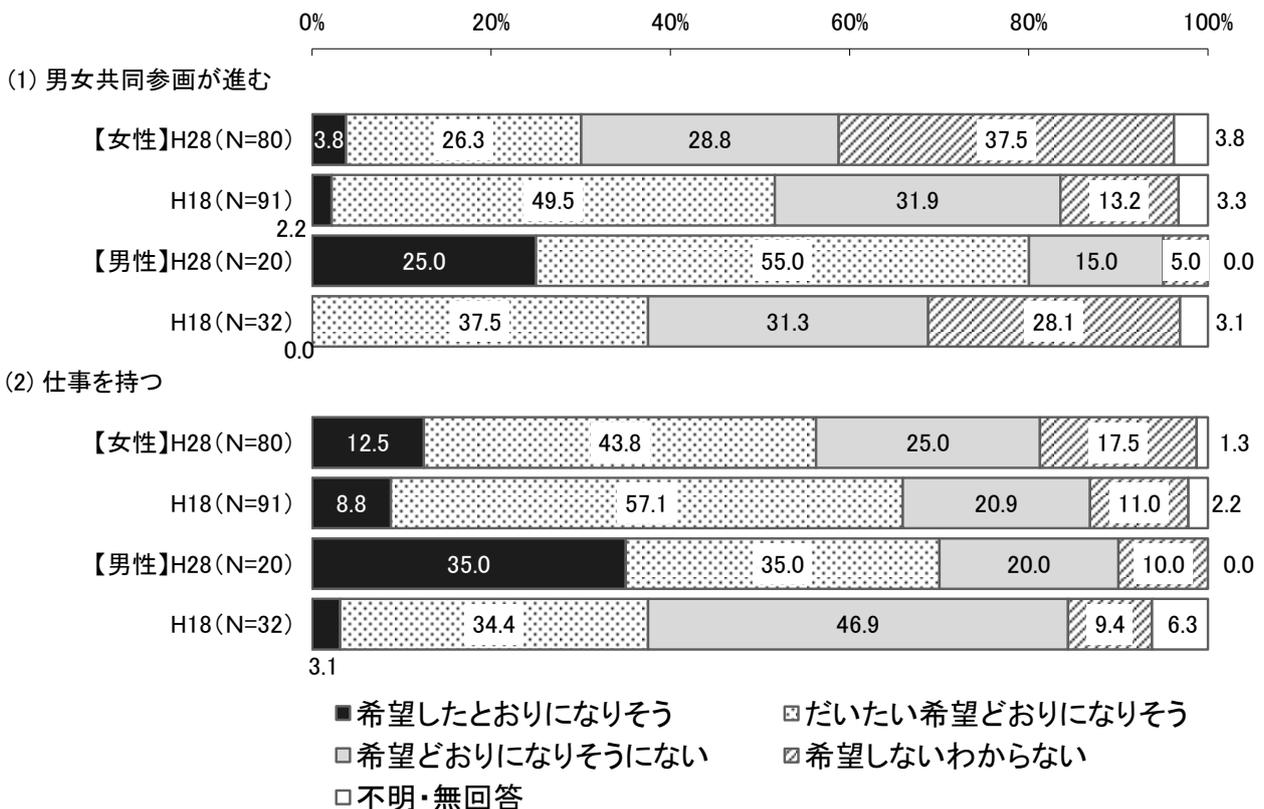


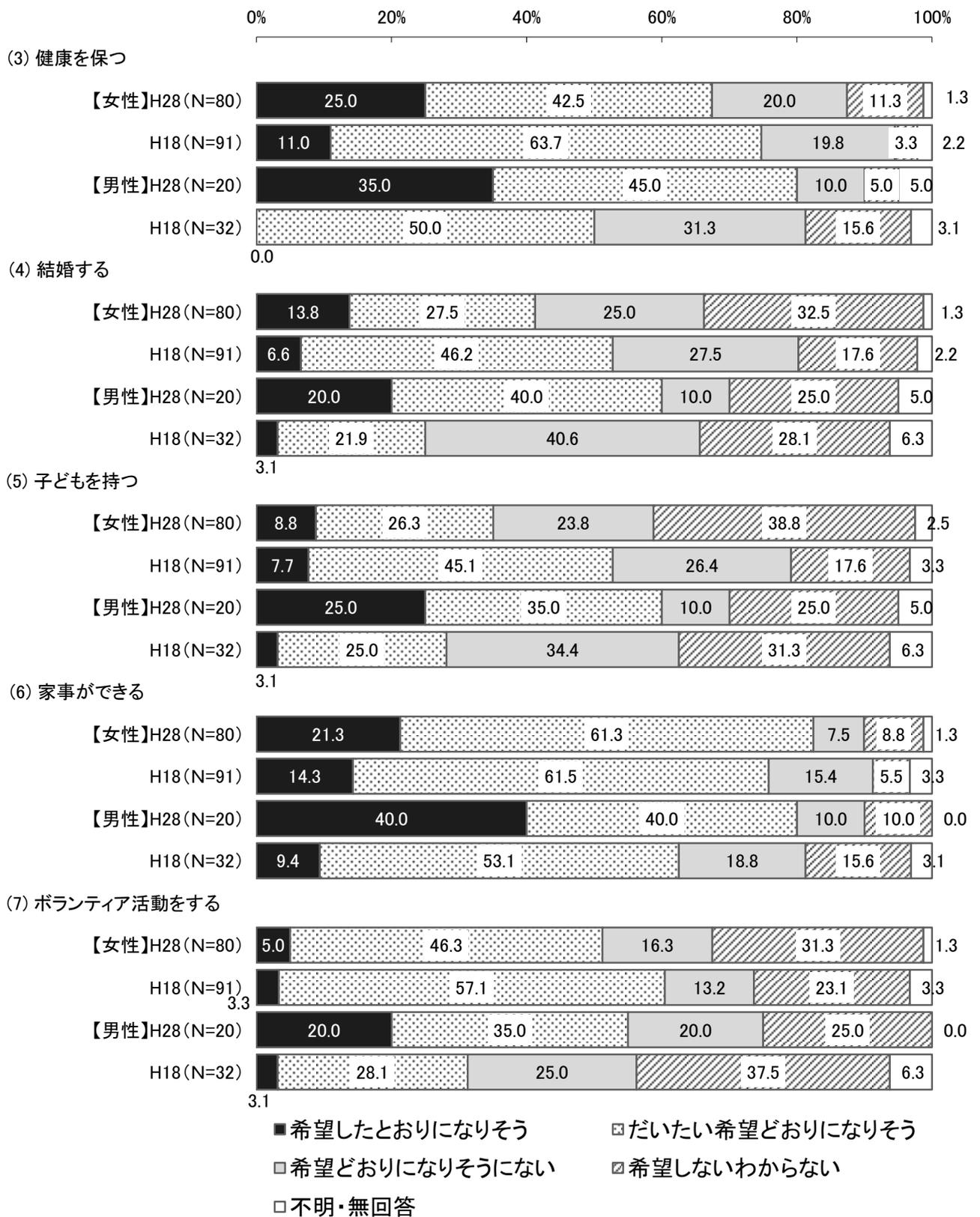
問 21 将来、あなたの希望どおりになりそうですか。(単数回答)

問 21 の選択肢にかかる表現は以下のように定義します。

『希望どおり』…「希望したとおりになりそう」と「だいたい希望どおりになりそう」を合算

将来の見込みについては、女性では平成 18 年度調査と比べて「(6) 家事ができる」以外の項目で『希望どおり』が低くなっており、一方で男性はすべての項目で『希望どおり』が高くなっています。





7 自由回答

(1) 市民調査

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について
<p>主人が妻に対する理解をしようとしなない。自分が一番である。どんな機会を作ってもらっても、夫がその講習等に参加し、理解し、妻のありがたさをわからないかぎり無理だと思う。人前ではいい顔をするのが男だと思う。感謝をすることからしてほしい。男女平等その以前の話だと思う。</p> <p>(女性、60～69 歳、正社員・正職員)</p>
<p>男女平等の考え方がない日本、日本古来の考え方であり、特に年長者の女性への差別はヒドイもの。国や市が男女平等を言っているが、その団体が心から思っていないのではないのでしょうか。女性が進出すれば男性が足を引っばるなど東京都などを見ていれば一目瞭然。日本での男女平等は無理だと思います。それを北名古屋市は本気でやろうとしているのなら、ぜひがんばっていただきたいと思いません。心から応援しています。</p> <p>(女性、50～59 歳、専業主婦)</p>
<p>このアンケートを通じてきた名古屋市が男女平等、男女共同参画について大変前向きに取り組もうとしている姿勢が伝わってきました。私は昭和時代に子どもの頃を過ごし、「男は働き、女は家のことを担当する」や「女は男の言うことに逆らわない」をよしとする風潮を目の当たりにしていたので、自分がこれから生きていく上で男女すべて平等にとはそれほど切望していません(すみません。40代という年代的なものもあると思います)が、私の子がこれから生きていく上で、男女差別のない仕事や生活をしていく上で性差による不自由や息苦しさを感ずることがない社会になってくれれば良いなと思っています。そのためにできることがあれば微力ながら参加させて頂きたいと考えております。それについていろいろとご教授いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。このアンケートに参加させていただき、誠にありがとうございました。</p> <p>(女性、40～49 歳、パートタイム)</p>
<p>働く女性には2パターンの方がいると考えます。1つは生活のためにやむなく、一つは仕事そのものにやりがいを感じている方。この二つを同じ枠組みにあてはめようとするとうりがあると思います。そのことを踏まえた上で検討されると良いと思います。</p> <p>(女性、30～39 歳、正社員・正職員)</p>
<p>このアンケートで「男女共同参画」の内容が少し理解できた気がします。(さんちゃん、かくちゃんのキャラクターは見たことありましたが…) 男性女性それぞれの良いところを生かせる社会になるといいですね。40代の私が気になるのは少子化です。「男女平等」、「男女共同参画を推進することが少子化を防ぐことになるのか、ちょっと疑問です。</p> <p>(女性、40～49 歳、農業、漁業・水産養殖業者、商業・工業・サービス業などの経営者、自由業の家族従事者)</p>
<p>男女には得意不得意があり科学的にも証明されている。無意味な男女平等推進とならないよう注意いただきたい。</p> <p>(男性、20～29 歳、正社員・正職員)</p>

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について
<p>女性の社会活動が消極的なこと。意識の低さに問題がある。制度としては十分に整っている。ここに費用を費やすのはムダである。</p> <p style="text-align: right;">(男性、50～59 歳、正社員・正職員)</p>
<p>声高に男女平等を唱える方がよっぽど差別をしている様に思います。完全に平等とは言えない所はありますが、もう随分前から男女平等は唱えられ進化してきていると思う。男女がまず人として尊重し合いお互いに長所は認め合い短所は補い合えればそれが本来の平等ではないでしょうか？一般にパワーに勝る男性が重い物を持てば良いし、繊細さに勝る女性がある様な事を中心に行えばよいのであって、無理に男性が女性のまねをしたり、女性が男性になろうとするような行動は好きになれません。形や数（データ）とか制度（これは大事かも）ばかりが前面に出るのはどうかと思います。そういう事を声高く言う奴が一番わかっていない!!</p> <p style="text-align: right;">(男性、50～59 歳、正社員・正職員)</p>
<p>子育て支援等手助けしたいけど現実には何もできなくて残念です。ちょっと淋しい毎日です。習い事等行きたい所もあるけれど主人に友人がいないため自由にさせてもらえなくて毎日がイライラです。</p> <p style="text-align: right;">(女性、70～79 歳、専業主婦)</p>
<p>男女共同参画は男女が社会の対等な構成員としてとして、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動を参画する機会が確保され男女が均等に政治的、経済的、社会的、文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会の定義のはずだが、実際は結婚すると男性の名字にするのが当然とか、家の事は女性がやりくりを（家事・育児・その他家事・教育全般）まかされているのが、おおむねだと思う。まだまだ昭和的考えの男性社会のような気がする。市の議員も男性ばかりで女性の意見考えが表に出されるのは少ないのではないかと思う。議員ももっと若い人がたくさんでてきてくれればいいなと思う。これからの北名古屋市に期待します。自分の好きな町なので。</p> <p style="text-align: right;">(女性、40～49 歳、正社員・正職員)</p>
<p>男である事女である事それらの事がマイナスになるのではなくプラスになるような社会になるのが一番いいと思います。現時点では女性の方にマイナスが多い気がします（力の弱さ、DV、マタハラ等）</p> <p style="text-align: right;">(男性、40～49 歳、正社員・正規職員)</p>
<p>私が子育てをしていた頃はまだ子どもが小さいうちは家庭にいるという風潮があったが、今は共働き世帯がおおくなったようだ。街を歩いても男性がお子さんを抱いて荷物を持って、女性が手ぶらで先に行くという姿をよく見かける。ところが、友人知人の話を聞くと、娘さんやお嫁さんが仕事を続けたくても保育所等に空きがなかったり、自身の体調や親の介護などでやむなく専業主婦をせざるを得ない状況になっていることが多い。この街は他の市町村に比べ比較的福祉や子育て支援の環境が整っているように感じていますが、まだまだよく知らない住民が多く家族がボランティア活動などを行っているので相談されることもあります。災害などが起こった時みんなが団結していけるよう男女共同参画運動の推進を強く希みます。</p> <p style="text-align: right;">(女性、50～59 歳、内職・在宅就業)</p>
<p>男女平等なんて言葉だけ。いつも男がいばっている。本当にそんな日が来るのかな？</p> <p style="text-align: right;">(女性、60～69 歳、会社・組織などに雇用されている方 その他)</p>

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について

そもそも市政についてはよく知りませんが、男性らしい、女性らしい意見や政策だなど考えたりする時点で差別的ではないかと思います。電車の女性専用車両や、女性の方のみ割引があったりなど、正直男性側への差別的な扱いになっているのではと感じる時たまにあります。非常に難しい問題ではあると思いますが、僕達市民も含め、みんなで考えていかなければいけないと思います。

(男性、20～29歳、正社員・正職員)

男女はもともと心体平等になりえない。ことさら共同参画をうたわれても、では参画できていない自分はダメな人間なのか。あおらないで!!

(女性、50～59歳、専業主婦)

男女共同参画あまり聞きなれない言葉でした。今回、アンケートで知るきっかけとなりましたので、自身で勉強してみたいと思いました。

(女性、40～49歳、派遣・契約社員)

今回初めて「男女平等」という言葉について改めて考える良い時間機会となりました。

(女性、20～29歳、学生)

男性は、言わなくても分かる、大人だから言いたいことは分かるだろうという意識が高いようですが、何でも言葉にして伝えなければ分かるはずがありません。こういう意識をなくすのは無理でも、少しでも言葉にする意識を持ってもらうことが大切ではないかと思います。

(女性、30～39歳、派遣・契約社員)

男女の性差あるいは個人差等、あまり平等へと画一的(観念的)になることは好ましくないと思います。(たとえば育児に協力的なパパはOKで、苦手なパパは×みたいな)男女協力のもとにより良い社会(家庭)になればと思います。

(女性、60～69歳、その他無職)

一言にすれば「男女平等」なのだと思うが、何を以て平等とするのか。北名古屋市に在住する人にとって何がよいのか?行政としてどこを目指すのかという点が具体的に現われてくるとよい。平等は広義であるように感じ、言葉だけが一人歩きしても生活の満足感にはつながらない。様々な生活スタイルがあると思うが、それぞれ男女またはその他の視点で生活のしやすさと追及していけるとよいと考えます。

(女性、40～49歳、正社員・正職員)

家庭・学校・地域における男女平等教育

男性はまだ家事は女性が…という考え方が多いと思います。女性がパートに出て働いても家事負担は減りません。男性の意識の改革は子どもの頃から必要です。そして、社会での取り組みも重要だと思います。息子が成人した以降は、少しでもこの点において、成熟している社会になればと願っています。

(女性 40～49歳、パートタイム)

男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し

町内会に参加しても高齢者、その土地に長く生活している年長者が取り仕切っていて男女平等の意識も、女子の参加も良く思っていない人が多かった。「後から来た者は言うことを聞くだけでいい」という態度で、とても嫌な思いをした。男女平等、共同参画については、まだ無理だと思う。

(女性、30～39歳、正社員・正職員)

男女共同参画に関する政策・制度の見直し

全国で行われているようなありきたりのことの寄せ集めでなく北名古屋市独自のものが取り入れられているようにしてください。やっつけ仕事で仕方なく作成するような計画であれば、そんな計画は批判を浴びようがどうだろうが無い方がましです。よろしく願いいたします。

(男性、50～59歳、正社員・正職員)

正直、このアンケートを受け取って初めて「男女共同参画」なるものを知りました。アンケートに答えましたが、何を目標にしていて、どう進めていくのか具体的な内容が全くわかりませんでした。もう少しわかりやすくした内容で、市民だれもが知るよう情報を発信していただけたらと思いました。

(女性、30～39歳、内職・在宅就業)

我が家は女性が職業を続け、男性が家事を分担して、将来子育てしようと考えています。男性が育児休暇を取りやすいこと、女性が育児休暇を取らなくても周囲に変に思われないようになることが私たちにとってとても重要だと感じています。ですので、北名古屋市には是非、企業に対してそのような意識改革を積極的に進めていただきたいです。また、政策の考えとして「女性も働きやすくなる環境」を目指すのではなく「女性も男性も働くことも働かないことも選びやすい環境」を目指していただきたいと思います。

(女性、20～29歳、正社員・正職員)

ぜひ、働きやすく福祉の整った市にしてください。

(女性、30～39歳、パートタイム)

男女平等にするにしても、頭のかたい年配の市議の方がやられていては、何も話が進まないような気がします。若い年代の方もたくさん含めてやっていただきたいです。

(女性、40～49歳、農業、漁業・水産養殖業者、商業・工業・サービス業などの経営者、自由業の家族従事者)

個人レベルの意識は大きな集団が変わることで徐々に変化していくと思います。ですのでまず地域や企業の組織の意識の変化を促す制度等が必要なのではないのでしょうか。ただ組織における女性役員の登用率を規定するなどには制度があるだけになってしまったり、逆に男性差別ととられかねないと思います。

(男性、20～29歳、学生)

北名古屋市で暮らし、北名古屋市の会社で働く世帯ばかりではないので、北名古屋市だけで独自の取組をされても困る。必ず日本全体の動きも注視して国全体の取り組みをしてください。現在、平等ではないから平等にするという考え方も短絡的だと感じる。平等という言葉にはメリットしかないのか。デメリットも含めて考えられているのか。アンケートの質問にもその辺りの北名古屋市としての考え方がよく分からなかった。

(男性、30～39歳、正社員・正職員)

男女共同参画に関する政策・制度の見直し	
<p>子どもの支援料をもっと増やしてほしいです。子どもの出産祝い金も増やして欲しいです。夫1人の給料だと、生活が苦しく、今でも毎月のマイナスです。貯金がすぐなくなりました。保育園も増やして欲しいです。少子化の原因だと思います。国がなんとかしないと、少子化が続きます。なんとかよろしく願いいたします！</p>	(女性、30～39歳、内職・在宅就業)
<p>「男女平等」というけど、今は、女性の方がすべて優遇されている。父子家庭より母子家庭の方がすべて優遇。女性は子どもの給食費も払わずに手当を役所からもらっているのに服や遊び、自分の為に使い、子ども達に使っていない。行政からの支給されるお金の使い方、使い道をよく検討して欲しい。給食費等は強制的に差し引いて、渡すべき。生活保護費、母子手当がちゃんと使われているのか、不正はないのか、子どもに反映されているのか「とりしまりGメン」を役所に設置すべき。いじめも徹底的に監視すべき。</p>	(男性、60～69歳、パートタイム)
<p>私は5歳の娘が一人いますが、子どもが1歳の時から時短制度を利用して正社員として職場復帰し、現在はフルタイム(8:30～17:30勤務)で仕事をしています。娘は2歳児までは保育園、3歳児からは幼稚園へ通っています。仕事をする母も、子どもの教育について考えるのは真剣です。現状、保育園よりも幼稚園の方が教育体制やサービスが充実していると思います。私の子どもが通う幼稚園では、保育時間の終了後に外部の講師による習い事に参加できたり、保育時間内でも音楽や体操、絵の先生による指導があります。働きながらも、子どもの教育には手を抜きたくない、あきらめたくないのが親心です。私は近所の方からの情報もあり、運よく幼稚園に入れましたが、働きながらの幼稚園の通園は難しいとあきらめた保育園のママ友も何人かいます。女性が働いていても、保育園や幼稚園等の子どもの教育の選択が自由にできる制度の充実、もしくは認定こども園の新設を希望します。また、「男女共同参画」を北名古屋で推進するのであれば、北名古屋市の市議会議員の女性議員を増やすことを考えてはいかがでしょうか。20名中女性が6名だったかと思います。女性の意見が反映されやすい市議運営を期待しています。最後に女性の中には家事や子育てに専念することで自己実現し、輝いている人も多くいますし、男性も仕事に集中してしまうと家庭に気を配ることができない人も多くいますので、男女共同参画が強制されることなく、個人の自由な選択できる制度として実現していくことを望んでいます。</p>	(女性、30～39歳、正社員・正職員)
<p>例えば、小学生児童の医療費の件など、女性が社会復帰したくなる要因等の面からも色々対策して頂きたい。</p>	(男性、30～39歳、正社員・正職員)
<p>女性が社会でもっと活躍できるようにしてほしい。女性(子育て中)が再就職できるように支援・相談所などを充実させてほしい。</p>	(女性、30～39歳、専業主婦)
<p>知人が夫のDVで相談センターに電話しましたが、担当がいませんとか、なかなか相談できないと聞きました。一体どうなってるのでしょうか？</p>	(女性、30～39歳、パートタイム)

地域活動・学習活動への男女共同参画と交流の推進

男性が家事、育児に協力するために料理教室や家事教室にもっと参加してもらおう。女性が安心して働けるよう、子どもが一人で家や塾に行っても安心な環境作り。パトロールの強化。

(女性、30～39歳、正社員・正職員)

就業機会の確保の促進と就業環境の改善

特に役職についての男性職員は、よく仕事がないと言います。女性の人は残業をして仕事を追いつかせて休業を取る。そうすると又仕事がたまっていく。そんな課はありませんか？もう少し男女平等に仕事を分納して早く片付けるようにして努力してほしい。又朝早く来所した人は誰でもお客様がいつ来られても良いようにはき出したり、水をうったり、ゴミ出しゴミ拾い等等整理整頓に心がけてください。特に自転車置き場、トイレの掃除等々男女問わず気がついた者が片づけるように！特に図書館下の駐車場、物置場所汚い。今夏は玄関前、道路側にひまわりの花すてきてました。北名古屋市もきれいでありたい。

(女性、70～79歳、商業・工業・サービス業などの経営者)

私の職場では産休・育休を取得する方が少なく女性は結婚したら辞める方が多いです。女性の働きやすい職場環境になったら良いと思います。

(女性、20～29歳、正社員・正職員)

女性が仕事と家事を両立できるような職場づくりに努めてほしい。

実際熱がでたり（子どもが急に）した時休みづらかったり、休んでもその後出勤しづらかったりする空気が精神的に仕事が続かなくなる原因なのかなと感じる。そのような職場があると、せつかくのいい人材が主婦となり仕事から離れてしまうこともあると感じた。（やる気がある人材に限りである。やる気がないのに仕事をしたがる人に対しての話は別である）

保育園のあり方は、色々子どもを預ける条件が（労働時間など）変わってきているが、もう一度見直した方が良くと思う。他の市と比べても良く思う。

(女性、30～39歳、正社員・正職員)

「女性を積極的に登用する」とか「女性の登用割合を100%にする」というような目標は意味がないと思う。男女関係なく有能な人にはそれなりの活躍の場を与えれば良い。

(男性、30～39歳、正社員・正職員)

北名古屋市に対してではないですが、私と子どもが大学生になり子育ても終わりつつホッとしている間に、両親の介護が入り仕事を休みがちになります。私はパートなので主人より自分が仕事休んだ方が…という気持ちになります。育児休暇も大切ですが、介護休暇も企業として作ってほしい。それから成人式で北名古屋市は何も記念品などないのはなぜ？と思いました。子どもも昨年成人式できたが清須市は記念品があったと聞きましたが…これは男女平等とは言いませんが…（すみません）もう1つ自治会は個々の字で活動が違いますが、これも町内の役などがあると主人が仕事になれば女性が動かないといけないから大変な面も（付き合いなど）あります。また、小さな子どもがいる家庭が大役などされたりそれを理解して町内で回しているのか？と思うところもあります。自治会も年功序列の地区もあり、高齢化している地区もあり、今一度見直しして考えてもいいのでは？と思いました。

(女性、40～49歳、パートタイム)

就業機会の確保の促進と就業環境の改善	
男女平等で職場で働けるようになると良いと思います。まだまだ男性主体の職場が多く、女性は働きづらいと思います。	(女性、30～39歳、その他の無職)
女性が働きやすいまちになっていくことは、これからの社会で求められると思います。北名古屋市が、そのようなまちづくりを率先して行ってほしいと思います。アンケートの提出が遅れてしまい、大変申し訳ありませんでした。	(男性、20～29歳、学生)
結婚後、出産・子育て・親の介護と仕事と両立は不可能でした。少しでも家計の足しにパートに出ると子育て中であることで(子どもの病気等)同じ女性からも差別的対応や嫌がらせを受けたこともあります。「男女共同参画」ととても大きくて難しい問題です。	(女性、40～49歳、専業主婦)

子育て環境の見直し	
保育所の数が少なすぎる。	(男性、40～49歳、正社員・正職員)
男女平等とかの意見ではないのですが、北名古屋市の保育園は上の子が2歳児で園に通っていて下に子どもが産まれた時に、産まれてから2か月までしか上の子が園に通園ができなくて、やはり他の市みたいに、このような場合でも上の子が園に通園できるようにしてくれたら良いと思います。下の子に手がかり、こういう時こそ見てくれたら良いなと思います。	(女性、50～59歳、パートタイム)
子どもを育てやすい(たとえばある程度距離ごとに老人も憩えるような公園の設置)市を望む。	(女性、50～59歳、パートタイム)
名古屋市と同等の子育ての環境を作ってほしい。	(女性、30～39歳、アルバイト)
保育園の環境が悪い、設備や建物が古すぎて安心して預けられないと感じます。トイレがすごくくさかったりもしたので、衛生面も心配でした。掃除をすればキレイになるようなレベルではないと思います。避難所にも指定されているような(鹿田北保育園、鹿田南保育園など)場所があんなに古い建物でいいのでしょうか?いったい何年前から建っているのかと思うほどです。遊具がサビついててをすりむいた子を見た事もあります。	(女性、30～39歳、正社員・正職員)
今回のアンケートは男女平等と書いてあるが、女性に片寄った質問が多かった!!それで男女平等といえるのか疑問だった。今の時代、男性のDVの相談が多くなってきている時代なのに…。北名古屋市は子育て、医療など子どもに対して不親切なまちだと周囲によく言われる。そんな環境で「男女平等」や「男女共同参画」とかよく理解できない。もっと、市が協力すべき、考えるべきだと思います。	(男性、40～49歳、正社員・正職員)

子育て環境の見直し

名古屋市においては中学生（小学生？）まで医療費が無料と聞いています。当市においても同様の取組ができると経済的な負担も減り、私が労働日数を減らす事で妻が社会に出やすくなります。今の私の労働状況がかわらないまま妻がフルタイムで働くとなると、子どもをほったらかしにしてしまう事になります。「女は家庭」という考え方は古い考え方ではありますが、昔は家庭内での教育が充実していたとも言えます。自分は子どもの教育はせず、学校に責任を転嫁するいわゆる「モンスターペアレント」が増えているのもこのあたりの影響があるのではと個人的には思います。男性は内を向き、女性は外へ向き、社会全体が子を育てるある種のコミュニケーションのようになっていけませんが、包括的な考えでやっていかないとどこかでひずみが生ずると思います。

（男性、40～49 歳、正社員・正職員）

男女の職業生活と家庭生活の両立支援

会社や社会では随分男女平等になってきていると思います。しかし、そこに参加するためにはまず、家庭で家事、育児等の分担がなければ参加できません。また、平日の学校行事等に父親の参加も多くなっていますが、未だに子どもの事、町内の行事等は母親の役目という意識が強いです。核家族だったらもっと父母の分担ができるのかもしれませんが。ただ、父親は仕事に集中し、家族を養っていているのでそれを気持ちよく送り出す事も重要だと思います。

（女性、40～49 歳、パートタイム）

男は仕事、女は家事全般という考えをやめて欲しい。家族なんだから2人で助け合い家事を手伝うべきだと思う。子どもが生まれて間もないので私は仕事をまだしていませんが、家事（子どもをみながら）をするのは難しいです。なので、手伝えることは、女は家事が仕事といわず、やってほしいと思う。

（女性、20～29 歳、専業主婦）

仕事をして家事をして子育てをして毎日1分も休まず動いている状態です。子どもが夜泣きをしても主人を起こすと会社の仕事にさしつかえるので、できずに夜あやして寝かせて…。私も仕事をしているので精神的にきつい日が時々あります。男性が子どもを理由に仕事を休んだり影響してはいけないけれど、女性は子どもを理由に仕事を休んでもいいと思っている男性がとて多いけれど、女性も仕事に穴をあけるわけにはいかなくて、結局自分の体を犠牲にして働いていると思う。育児中、仕事をしていない時は主人に昼間はずっと自由時間で昼寝し放題だろうと、言われたが、1分も昼寝したことはない。男性の意識改革をしてほしい。

（女性、40～49 歳、内職・在宅就業）

その他	
<p>北名古屋市に転居して1年くらいとなりますが、「男女平等」や「男女共同参画」を意識することはありませんでした。私は一宮市、妻は名古屋市中で働いているからかもしれません。また、普段の生活においては、北名古屋市中心ですが、他の市と変わりないように感じます。私の目に見えていないところ（会社の中など）では男女平等、男女共同参画が進められているとしたら、今後も続けていってほしい。世の中の風潮も、「男だから」「女だから」と強要されることが少なくなってきたのではないかと思います。職場も女性のための制度が充実し、働きやすくなっていると思います。女性のための制度は良くなっていると感じますが、男性のための制度が不十分だと思います。男性も同じように育児ができる環境づくり、職場選択がより充実したものになってくれることを願っています。まだまだ、女性のための制度は不十分ですので、それを進めていくと同時に、男性のための制度の見直しを図られることが、「男女平等」「男女共同参画」の実現へと向かっていくのではないかと思っています。長々と書き、すみませんでした。</p>	<p>(男性、20～29歳、正社員・正職員)</p>
<p>私はもう子育ても仕事もあまり関係なくなっていますが、子ども達の家庭に関して言えば、父親達は夜遅くまで仕事ですし、母親達は、仕事がしたくても育児があつて思うようにはいっていません。保育園も条件がなかなか厳しく、私が子育てをしていた頃に比べると、入れるのも大変なようです。そこで私たちおばあさんが当てにされ、私の周りでも多くの友人が孫の面倒をみています。かわいい孫の為だからと引き受けますが、体力的にもかなり厳しいものがあります。男女平等も大事ですが、各々特性もありますので、すべて平等というのはよく分かりません。まずは女性が働きやすい育児環境の整備、安心して預けられる施設等の充実があつてからの話ではないでしょうか。父親達については各々の職場の条件で育児や家庭について参加したくても時間もなくやれないのが現状では？ただそんな状態でもお互いを認め合つて協力していける心を繋がりをもっていてほしいので、その為に私にできることはこれからもやっていたらと思います。とりとめもない内容でこのアンケートの主旨から外れていたら申し訳ありません。</p>	<p>(女性、60～69歳、パートタイム)</p>
<p>このアンケートの内容が多すぎます。</p>	<p>(女性、60～69歳、アルバイト)</p>
<p>全体に難しくあまり理解できませんでした。</p>	<p>(女性、60～69歳、その他の無職)</p>
<p>これを書くのに肩が痛くなりました。意見を生かしてもっとより良い社会を創ってください。送りつけておいて粗品1つも無いのはさすがお役所だと感じています。</p>	<p>(女性、40～49歳、正社員・正職員)</p>
<p>掛け声は素晴らしいです。しかし日々の実生活に浸透していない。今、現在思うに理想のアンケートだけの事だ。</p>	<p>(男性、70～79歳、パートタイム)</p>
<p>高齢者なのでよくわからないこともあった。</p>	<p>(女性、70～79歳、専業主婦)</p>
<p>早く名古屋市と合併してください。</p>	<p>(男性、70～79歳、その他の無職)</p>

その他
<p>名古屋市との合併、今一度慎重に考えること、もっと市民との会話が必要。</p> <p>(男性、70～79 歳、内職・在宅就業)</p>
<p>全北名古屋市民の平和と安定を望みます。</p> <p>(女性、60～69 歳、パートタイム)</p>
<p>頑張っ！</p> <p>(男性、60～69 歳、正社員・正職員)</p>
<p>全体最適かつ見える化。</p> <p>(女性、40～49 歳、アルバイト)</p>
<p>強いて言えば、「北名古屋」という地名が好きではありません。個性がないです。</p> <p>(女性、30～39 歳、専業主婦)</p>
<p>男女平等には関係していないが要望があります。自宅付近、もしくは学校付近の用水路がむき出しになっており、子どもが落ちる恐れがあると思うので、フタをしてほしいです。</p> <p>(男性、20～29 歳、正社員・正職員)</p>
<p>高齢者の福祉に金を使い過ぎもって子どもに金を使ってほしい。きたバス乗ってないのにムダ。あおい交通が儲かるだけ!!やめてほしい。</p> <p>(男性、60～40～49 歳、正社員・正職員)</p>
<p>鹿田の院田地区の町内会ではまだ長老制度の様なものがあり、それを農業実行委員、新宮の会などメンバーが後押ししており、この地区に住む人はすべて新宮神社の氏子であるといった強制的に神社活動を強いるなど一部の声の大きい人達が町内会を牛耳っている傾向があるが、これを解消するにはどの機関が指導できるか又できないのか。他の陸からこの地区へ移り住んで来た人はみんないやがっている。この様な差別のある地区では地域活動などの社会奉仕は難しい。この差別をなくす方法を考えてください。</p> <p>(男性、60～69 歳、その他の無職)</p>
<p>企業誘致。市役所業務の時間延長 20 : 00 くらいまで。市役所業務の休日業務開く事。(土日に手続き可能にする。住民票発行や印鑑証明等)</p> <p>(男性、50～59 歳、正社員・正職員)</p>
<p>高齢の為このようなアンケートは適さないので、困惑していろいろ判断に苦しみます。適格な答えはもう少し若い家庭にとおもいます。年齢によりいろいろと意見が違うようですから…。特に(ワークライフバランス)についてです。市民にもいろいろな方がおります。それにいちいち対応しては埒がいかないと思います。職員の方ももう少しプライドを持って職務にあたっていただきたいと思えます。北名古屋も市制 10 周年ということですので、これからの期待しております。よろしくね…。</p> <p>(女性、80 歳以上)</p>
<p>役所に仕事中にたばこを吸ったりポケットに手をつっこみうろろうして仕事をしていない人をよく見ます。税金をむだに使わないようにお願いします。</p> <p>(女性、60～69 歳、役員)</p>
<p>北名古屋市はベッドタウンだと思うからそんなに重点的に取り組まなくてもよいのでは？</p> <p>(女性、20～29 歳、正社員・正職員)</p>

その他
<p>なぜそのテーマを取り上げるのか少々疑問を感じます。市民活動という領域であれば、無関心層が多くなっている。活動する人達に偏りがある。近隣の交流がほとんどないなど、人として生活面でいいのかなと思ってしまう状態ではないでしょうか？</p> <p style="text-align: right;">(男性、60～69 歳、正社員・正職員)</p>

(2) 中学生調査

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について
<p>男女が平等になることはあまりないと思う。どちらかが優遇されていると思う。</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>これからの社会は男女平等がいい。</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>男女平等って大切なんですか？よくわからなかった。たぶんそういう人がいるから、この問題(重大さ?)が広まっていないと思う。だから、みんなに分かってもらえるようにしたほうが良いと思う。</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>男の人が女の人を受け入れることが男女平等で大切だと思う。</p> <p style="text-align: right;">(男子)</p>
<p>男女で仲良いだけで、悪口言われるのは、やっぱおかしいと思う。男女平等の世界なんて、こんなことから直していかないと男女平等なんて無理だと思う。</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>今でも偏見が持たれているのがおかしいと思う。</p> <p style="text-align: right;">(男子)</p>
<p>平等大事！</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>男女平等をもっと強めた方がいいと思いました。</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>今回このようなアンケートで、今までの学校のことを思い出していて、例えば、なんで出席番号は男女別々で男子が先なのだろうと思ったことがある。社会でも国会議員の男女比率とか話題になっているし…やはり、昔からの男女別々の雰囲気や性格があるのだろうけど…。</p> <p style="text-align: right;">(女子)</p>
<p>最近はいろいろな学校が共学になっている。</p> <p style="text-align: right;">(男子)</p>
<p>男女平等とはいつているけれどやはり少し違う。</p> <p style="text-align: right;">(男子)</p>
<p>男の人は女の人に弱すぎると思う。</p> <p style="text-align: right;">(男子)</p>

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について	
このアンケートの中にはなかったが、自分的にはレディファーストをはきちがえている（主に女性）と思う。もう少し自重してほしいものである。	(男子)
テレビで芸能人が浮気とかの時に男の人よりも女の人の方がすごいたたかかれてる。男の人はしょうがないかってなって終わるけど、女の人はいえぬとか。もちろん浮気はよくないけど。	(男子)
男女平等という考えは大切だと感じます。最近では女性が中心となって政治や仕事を行うことが増えてきているとニュースなどを見ていて思い、良いことだと思います。自分は女ですが、どちらかと言えばかっこよくありたいと思っています。女らしくとか男らしくとかはなく平等に考えることは大切だと思います。	(女子)
昔は、男性が技術、女性は家庭科など教科が分かれていたり、男性が働き、女性が家庭のことをするなど「平等」ではなかったと思います。しかし現在、技術、家庭科はどちらとも勉強するし、女性が仕事を立ち上げるのも多く、時代が変わって男女平等になっているので、良いことだと思いました。	(女子)
昔ながらの男らしく、女らしくという考え方は好きなので完全になくすことはないと思うが「女だから〇〇してはいけない」というのはおかしいと思う。	(女子)
体のつくりがちがうのだから、男女の立場に違いができるのはしかたがない。	(男子)
男女の間や人と人之間にどうしてもできてしまう差を見下すなど決してやってはいけないことをどう対応するのか大事だと思った。	(男子)
男女平等というのはむずかしいと思う。一部の女性は男は働いていればよいという人もいるし、人により価値観が違うものなので不可能に近いと思う。	(男子)
今の時代多くが男性の方が優遇になっていると思う。	(男子)

就業機会の確保の促進と就業環境の改善	
出産などをし、会社や仕事に復帰するのが難しいことに疑問を抱きます。	(女子)

家庭における男女平等	
家の中での立場を父も母も平等にしたいな…。	(女子)

学校内での男女平等	
学校は女にひいきしている。	(男子)
学校の先生は怒る時、男女平等ではないと思う。	(男子)
男子がよってたかって女子1人をからかったりするのは良くないと思う。もう少し体の関係で女子を優しく扱うようにしてほしい etc。	(女子)
男女差別について女性が差別されていることについて目を向けていることが多いが、学校内などでの男性の差別についても目を向けるべきだと思います。	(女子)
学校の先生はひいきが激しいので平等にした方がいいと思う。	(女性)
女子好き差別先生が多くて腹がたちますね。女に弱い男に力があるって考えただけで言動する先生もイラッとくる。体育の走るやつとか。女子だけにやさしい、差別する先生はいやです。男だけにやさしいのもあるけど。	(男子)
男子だけ強く怒られて女子は悪いことをしてもあまり怒られない。部活の時に男子は更衣室がない。忘れ物を男子は強く怒られることが多い。	(男子)
学校での男女差別をする先生がほとんど変えてほしい。	(男子)
学校で女子がひいきされるのがだめだと思う。	(男子)
女子は更衣室や着替えるための部室などで着替えているが、男子は教室や駐車場できがえさせられるのはどうかと思う。それに男子には先生は本気で怒鳴ったりして起こるが、女子に怒鳴っているのを見たことがない。	(男子)
学校で少しひいきがあつて男子がいやな思いをしていることがあつたりする。	(男子)

その他	
学校ではやはり男性の方が優遇されていると思う。教師は女性に甘い感じはする。でも、それはそれでいいと思う。ただ、ずっとマジメで通ってきた人が社会に出て失敗するという実例もあるため、そのような講座も行ってほしい。やはり今の日本、世界では男性の方が上の立場にいると思う。	(女子)

その他
<p>家でよく、お父さんが家の社長と言っているんですが、うちの家では、お母さんの方が絶対社長だと思っています！学校では、女子の方が怒られる頻度は少ないと思います。あと、生徒会も女子の方が積極的です。</p>
(女子)

(3) 大学生調査

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について
<p>父親が仕事をしないため両親が離婚しました。母親が出張し、重労働をしていることで家が成り立っています。社会的には平等が望ましいけれど生物的・体力的には男女平等は難しい。どうすれば是正されるでしょうか。</p>
(女性)
<p>全ての物事について男女平等が良いとは思いません。それぞれの得意な所を認め合える関係を築く事が大切だと思います。その上で助け合える社会が生まれると良いと思います。</p>
(女性)
<p>家庭や学校など男性の少ない環境にいたので、自分自身の自覚はないが、テレビ・インターネットの情報を聞いていると、男女平等や男女共同参画社会はまだ完全に行われていないように思います。</p>
(女性)
<p>男性はこうであるべき、女性はこうであるべきというものはもう古い考えだと思う。性別がどっちであろうが誰もが自分のなりたいうようにやりたいようにできる権利があるのだから、社会もそういった人たちの背中を押してあげるようになればいいなと思う。弱い男性、強い女性。なにもおかしくないことだと思う。</p>
(男性)

就業機会の確保の促進と就業環境の改善
<p>女性でも働ける環境があるといい。土日働きやすいほうがいい。</p>
(女性)

その他
<p>今まで深く考えたことがなかったので、このアンケートを通して少し考える事ができました。</p>
(女性)
<p>学校でも家でも男女の差はなく、みんなが平等に接しており、特別優遇させることは感じたことはありません。また、就職に関してもそこまで女性、男性の差はないように思います。</p>
(女性)

(4) 事業所調査

男女の人権の尊重、男女平等、男女共同参画について
実現される事は大変望ましい事だと思うが、まだまだ時間を要すると思う。実際に女性が仕事をするのに、障害が多すぎる。バリバリやれる女性が増えることに期待します。そのためには北名古屋市への期待も大きい。意識改革が必要!! <p style="text-align: right;">(サービス業・娯楽業)</p>
子育て環境の見直し
女性の社会進出は良い事だと思うが、行政マスコミ等が課題な取り組みを行う事で女性の意識が変わり結果離婚率の増加シングルマザー率の増加、その補助金の増加等悪循環が止まらない現状になっているように思う。女性の社会進出よりもシングルマザーへの補助よりも、もっと子どもを安心して産める環境を作る事の方が日本の未来には大切だと思う。 <p style="text-align: right;">(卸売業・小売業)</p>
0才児からの育児の充実をするという。 <p style="text-align: right;">(不動産業・物品賃貸業)</p>
愛知県は待機児童が多く、年度途中での保育所入所は殆ど無理。本人は早期復帰を目指していても、子どもの預け先が確定しないと難しい状況が増加している。会社として「つなぎベビーシッター制度」の導入を検討しているが、やはり子どものことを考えると同じところに通わせられたらと思う。保育所の増設、保育士の確保をぜひよろしくお願いします。 <p style="text-align: right;">(卸売業・小売業)</p>
就業機会の確保の促進と就業環境の改善
能力のある女性はたくさんいます。第一線から育児などで離脱してしまった人も再び雇って活躍できるような社会になれば良いと思います。 <p style="text-align: right;">(製造業)</p>
ワークライフバランスを実現する前に社内的改善や業績向上、人で不足の解消と取り組む事が沢山あり、優先順位的に後手にまわってしまう。 <p style="text-align: right;">(運輸業)</p>
男女共同参画に関する政策・制度の見直し
女性ありきの職場なのですが、人材不足です。職種として、たくさんの時給が払えるわけでもなく、募集をかけてもなかなか人が来てくれません。こちら側が来て欲しくて労働環境を整備しても最終的には時給で判断されてしまう時代のようなようです。自治体による被雇用者の補助も大切ですが、中小企業に対する援助も検討して頂きたいです。中小だからこそ、こまわりのきいた労働環境が用意できると思います。 <p style="text-align: right;">(製造業)</p>

家庭・学校・地域における男女平等教育、男女共同参画の推進

夫が稼ぎ、妻は子育て家事の社会風潮がまだまだ根強いと思います。主婦の就労は家計の助ける目的が強く、仕事に対して社会的な貢献意識がまだ薄いと思います。生活費が足りるなら、ママ友とランチ、お茶、習い事…女性の社会進出を創り上げるには幼い頃からの教育が必要だと思います。まだまだ男性社会です。

(宿泊業・飲食サービス業)

その他

中小企業向けに市内雇用対策、人材の募集をできると良い（ハローワークでは、エリアが広すぎる、登録に手間がかかり、近郊で募集ができると雇用問題、上記問題の対策も考えられる）。

(製造業)

公共福祉サービスの充実で、女性の働ける時間は、増えると思うので、特に高齢者の介護の充実を期待している。

(宿泊業・飲食サービス業)

アンケート用紙のホチキスの位置が悪いので、正しく三つ折りできない。

(製造業)

8 考察

1 家庭生活・地域活動への参画について

市民調査における望ましい家事分担の在り方については、家事、子育て、家計管理、介護、地域活動を「男女協力して行う」とする割合が68.1%となっています。しかし、実際の家庭内の役割分担について「すべて女性が担当」または「主に女性が担当、男性は手伝う程度」の割合は、「食事のしたく」が87.4%、「洗濯」が83.2%、「そうじ」が79.1%となっており、家庭的な負担が女性に偏っていることがわかります。

市民調査では、男女がともに家庭生活や地域活動に積極的に参画していくために必要なこととして、「職場において家庭生活や地域活動に参加しやすい雰囲気をつくること」が53.7%となっています。

市民調査では、男性の育児休業の取得について、「積極的に取得した方がよい」または「どちらかといえば取得した方がよい」とする割合が全体の70.6%となっています。しかし、事業所調査で過去1年間に配偶者が出産した男性従業員の育児休業取得状況をたずねたところ、取得率は6.0%にとどまっています。

市民調査において、男性が育児・介護休業を取得しにくい理由は、「職場に取りやすい雰囲気がないから」が70.0%で最も高く、次いで「取ると工作上、周囲に迷惑がかかるから」が66.8%、「仕事が忙しいから」が46.9%となっています。

【課題】

家事、育児、地域活動等の役割分担については、男女が協力して行う方がよいという認識があるものの、実際の負担は女性に多くかかっています。男性が希望しても職場の雰囲気などから育児休業等を取得することが難しい現状があるため、職場への働きかけなどを強化していく必要があります。

2 女性の活躍と職場における男女共同参画について

女性の職業と生活設計についての考えでは、「子どもができたなら職業をやめ、育児などがひと段落したら再び職業を持つ方がよい」の割合が市民調査では28.4%、大学生調査では29.0%、中学生調査では23.0%とそれぞれ最も高くなっています。

市民調査において、女性が働き続けるために必要なことは、「育児・介護休業制度の充実」が61.9%で最も高く、次いで「保育サービス等の整備充実」が58.7%となっています。特に男女間で認識の差が大きい項目は「女性が働くことに対する家族や周囲の理解と協力」で女性では56.0%、男性では40.2%となっています。

事業所調査で、過去1年間に出産した女性従業員の育児休業取得状況をたずねたところ、取得率は93.6%となっており、ほとんどの女性が取得している状況です。

事業所調査では、女性の管理職登用について、「本人の能力や意思によって男女の区別なく管理職へ登用したい」が54.0%と半数以上を占めています。

事業所調査では、女性の管理職登用に当たっての課題として、「家庭生活の負担を考慮する必要がある」の割合が49.3%と最も高くなっています。

【課題】

育児休業などの制度は整っており、活用する女性は多いものの、その後の子育てや家事等の負担が、女性の職場における活躍に影響を与えています。女性の管理職登用など職場における女性の活躍を考える際には、子育て支援施策の充実だけでなく、周囲の理解促進と男性の家庭参画も同時に進めていく必要があります。

3 男女の地位の平等感について

男女の地位の平等に対する期待について、「平等になってほしい」の割合が市民調査では 61.4%、大学生調査では 77.9%となっており、2006 年度調査と比較し期待感が高まっています。

男女の地位の平等感については、男女別にみると、女性は意識調査で設定した全ての場面において『女性優遇』よりも『男性優遇』と感じる割合が高くなっており、特に「家庭生活」では『男性優遇』と感じる男女の割合の差が 16.0 ポイントと大きく開いています。一方で、男性は全ての場面において女性の意識よりも「平等」『女性優遇』と感じる割合が高くなっており、「家庭生活」では平等と感じる男女の割合の差が 18.1 ポイントと大きく開いています。女性が感じているほど男性は『男性優遇』とは感じておらず、意識に男女差がみられます。また、大学生調査では、男性は意識調査で設定した全ての場面において女性の意識よりも「平等」と感じる割合が高くなっています。

場面ごとにみると『男性優遇』と感じる割合が、市民調査では「社会通念・慣習・しきたり」で 71.6%と最も高く、次いで「政治の場」で 69.0%、「職場（労働上で）」で 68.8%となっています。中学生調査では「仕事」で 44.9%と最も高く、次いで「選挙や議会」が 37.8%、「社会のきまり」が 23.5%となっています。大学生調査では「政治の場」で 83.0%と最も高く、次いで「職場（労働上で）」が 76.0%となっています。全体として、「社会通念・慣習・しきたり」、「政治の場」や「職場（労働上）」で男性の優遇感が高くなる傾向があります。

一方で、2006 年度調査と比較して『男性優遇』が低下した場面は、市民調査では男女ともに「家庭生活」であり、女性は 2006 年度調査で 63.1%、2016 年度調査では 54.9%、男性は 2006 年度調査で 52.2%、2016 年度調査では 38.9%となっています。

10 年間で『男性優遇』が低下した場面もありますが、未だ半数以上が『男性優遇』と感じている場面も残っています。

【課題】

2006 年度調査と比較し、男女平等への期待感が高まっていますが、実際には『男性優遇』と感じられる場面が多く残っています。また、地位の感じ方に男女差が生じているため、男性が感じているほど女性の平等感が高まっていません。

特に、全世代で著しく『男性優遇』の割合が高い「社会通念・慣習・しきたり」、「政治の場」、「職場（労働上で）」において、格差の是正が求められます。

4 男女共同参画に関する政策や用語の認知度について

男女共同参画社会の実現について、大学生調査では55.0%が『期待している』という意向を示しており、2006年度調査の41.1%と比較しても男女共同参画の実現に対する期待感が高まっています。

政策や用語の認知度は、市民調査、大学生調査で高い傾向にあり、中学生調査で低い傾向にあります。全体として、旧来から存在し、生活にかかわりの深い用語の認知度は比較的高く、それ以外の認知度は低くなっています。特に「女性活躍推進法」では市民調査で16.3%、大学生調査で26.0%、中学生調査で17.5%となっており、「LGBT」では市民調査で25.9%、中学生調査で11.8%となっています。このように比較的新しい用語については認知度が低い傾向にあります。

【課題】

男女共同参画社会の実現について、期待が大きく、推進が求められていると言えます。比較的新しい用語の認知度が低いため、男女共同参画に関する政策や用語の認知度を向上させることで、男女共同参画社会の実現への期待と動機づけをさらに高める必要があります。

5 DV・デートDVについて

市民調査では、「大声でどなられる(25.8%)」や「何を言っても無視され続ける(15.6%)」といったDV被害が多い一方で、「命の危険を感じる、医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける(2.8%)」等の被害も報告されています。「ナイフや包丁でおどされる」という被害以外は、いずれの割合も女性が男性を上回っています。

中学生調査では、男女交際において、「メール、SNS等の返信が遅いといつも怒る」、「だれとどこにいたのか、しつこく聞く」、「言うことを聞かないと不機嫌になる」などの関係性を「別に変だと思わない」と考える割合が2割を超えています。また、デートDVという言葉の認知度については、女性で7.7%、男性で5.1%と低くなっています。

大学生調査では、女性よりも男性の被害割合が高いDVとして、10代では「容姿や能力をけなす」、「何を言っても無視され続ける」となっています。20代では「強くつかむ、つねる、殴る、蹴るなどをする」、「容姿や能力をけなす」、「自分を最優先にしないと不機嫌になる」、「自分以外の異性と会うことを制限する」、「望んでいないのに頻繁に電話をかけたり、メールを送ってくる」、「携帯電話の履歴(電話・メール・SNS)を勝手に見たり、無断で削除したりする」となっています。

市民調査では、DVを受けた場合または受けたと想定した場合の相談の有無について、「相談できなかった(できない)」、「相談しようと思わなかった(思わない)」の割合は女性で30.0%、男性で39.4%と男性の方が高くなっています。男性がDV被害を「相談できなかった(できない)」、「相談しようと思わなかった(思わない)」理由として、「相談しても無駄だと思うから」が33.7%で最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思うから」が32.6%、「誰(どこ)に相談してよいかわからないから」、「恥ずかしくて誰にも言えないから」が30.4%となっています。

実際にDVを受けた場合の相談の有無については「相談した」が、市民調査では30.0%、大学生調査

では 64.3%となり、実際に被害を受けた場合には想定よりも、「相談する」という選択をしにくい現状があります。

【課題】

DV被害は全体的に女性でその割合が高いものの、精神的なDVに関して、特に若い世代で男性の被害割合が高くなっています。一方で、DVの男性被害者は、女性よりも「相談できなかった」、「相談しようと思わなかった」というケースが多く、身近な相談先の周知等が求められます。

また、どのようなことがDVにあたるかという認識が薄い面もみられるため、特にデートDVの被害者、加害者となりうる若い世代への啓発が必要です。

6 セクシュアル・ハラスメントについて

市民調査では、セクシュアル・ハラスメントを見聞きしたり、自分自身が受けた経験がある者の割合は6割に上ります。その内容は「女のくせに」「男のくせに」と差別的な言い方をする」が33.3%で最も高く、次いで「容姿について傷つくようなことを言う」が31.7%、「性的な経験、冗談を言ったり、聞いたりする」が28.2%となっています。

事業所調査では、ハラスメント防止対策として行っている取り組みとして、「就業規則等にハラスメント防止についての方針を明示している」が46.9%で最も高く、次いで「苦情や相談体制の整備をしている」が46.4%、「取り組みはしていない」が29.9%となっています。

【課題】

6割がセクシュアル・ハラスメントを見聞きしたり自分自身が受けた経験がある現状に対し、事業所の約3割は「ハラスメント防止の取り組みはしていない」と回答しており、改善の必要があります。正しい知識の啓発やハラスメントを許さない環境づくり等により、ハラスメント防止に努めていくことが重要です。

北名古屋市男女共同参画意識調査報告書

平成 30 年 3 月発行

発行 北名古屋市 総務部 市民活動推進課

〒481-8531

北名古屋市西之保清水田 15 番地

TEL : 0568(22)1111

FAX : 0568(25)0611